# 令和7年度 設計内訳書

工事名称 本庁舎分室耐震補強工事

工事場所 花巻市 城内 地内

・鉄筋コンクリート造耐震補強:内部鉄骨補強工事 屋根瓦改修(軽量化)

- ・木造耐震補強:耐力壁の増設、柱脚金物の設置、水平構面の補強
- ・木造 一部とりこわし工事
- ・耐震補強・とりこわしに伴う 外装・内装改修工事

単価適用年月:令和7年5月版(令和7年6月1日以降入札公告適用)

週休2日工事(発注者指定型) 月単位週休2日工事(全館無人改修 月4週8休) 工事費内訳 1

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費								
71.00								
建築工事			1					
			1	式				
電気設備工事			1					
			1	式				
機械設備工事			1					
			1	式				
計・								
共通費								
共通仮設費								
			1	式				
現場管理費				14				
			1	式				
一般管理費等				11				
			1	式				
<b>#</b>				I				
工事価格								
			1					
消費税等相当額				式				
们具机寸阳当积			1				消費税率 10 %	
工事費				式				
<b>上</b> 尹 頁			1					
				式				

工事種別内訳 2

名 建築工事	称	数	量	単位	金	額	備	考
			1	式				
電気設備工事			1	式				
機械設備工事			1	式				
計				I.				

		1						
名 本庁舎分室	称	数	量	単位	金	額	備	考
			1	定				
otic.	•							

別内訳							4
称	数	量	単位	金	額	備	考
		1	式				
		称  数	称 数 量	称     数量     単位       1     式	称     数量     単位     金       1     式	称     数量     単位     金額       1     式	称     数量     単位     金額     備       1     式

				-		T	
名 称 本庁舎分室	数	量	単位	金	額	備	考
		1	式				
<u>н</u>							

本庁舎分室						
名称	数量	単位	金	額	備	考
直接仮設	1					
とりこわし・撤去		式				
	1	式				
耐震(躯体)改修		IV.				
	1	式				
外部改修	1					
建具改修	1	式				
<b>建</b> 异以18	1	式				
内装改修		1/				
	1	式				
塗装改修	1	式				
外構	1	14				
	1	式				
発生材処理	1	式				
#H-						

本庁舎分室		T.				T	
名	称	数 量	単位	金	額	備	考
幹線設備		1					
6 Jan 20, 141:		-	눛				
<b>電灯設備</b>		1					
S. J. 30.14		1	式				
助力設備		1					
反表h ∃11.7世			式				
<b>a</b>		1					
# -			눛				
<b>構内情報通信網設備</b>		1					
# 中 · 大 梅 · 凯 / 供			式				
構内交換設備		1					
.b.—1; ≥0. Ht			式				
広声設備		1					
テレビ共同受信設備			式				
アレヒ共同気信設備		1					
I. (((±□/m=∃n./#:			式				
火災報知設備		1					
	1.		式				
п	T						

本庁舎分室								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
空気調和設備			1	式				
換気設備			1	式				
衛生器具設備			1	式				
給水設備			1					
排水設備			1	式				
給湯設備			1	走				
撤去工事			1	式				
計	•		-	式				

本庁舎分室							
科目名称	中科目名称	数 量	単位	金	額	備	考
直接仮設	解体用	1					
		1	式				
直接仮設	耐震補強・改修	1					
		1	式				
Ē.							
とりこわし・撤去	コンクリート	1					
		-	式				
とりこわし・撤去	木造上屋	1					
) ) = = 1 )	La der	-	式				
とりこわし・撤去	外部	1					
		1	式				
とりこわし・撤去	建具	1					
) ) = = 1 )	DOM: HtL-	-	式				
とりこわし・撤去	RC造撤去	1					
1 2 - 1 1	L Mis left L.	-	式				
とりこわし・撤去	木造撤去	1					
) ) = = 1 )	vini (de 10) also also de		式				
とりこわし・撤去	環境配慮改修	1					
とりこわし・撤去	外構		式				
とりこわし・撤去	グト作	1					
=1			式				
il							
耐震(躯体)改修	RC造補強						
	K C /旦州7虫	1					
耐震(躯体)改修	木造補強		式				
删 辰(雅神)以修	小坦州坦	1					
Ēl*			式				
āI							

# 建築工事 中科目別内訳

建梁上事 中科日 本庁舎分室	1/11 1H//						10
科目名称	中科目名称	数量	単位	金	額	備	考
外部改修	屋根						•
		1	式				
外部改修	軒天・外壁	1					
		1	式				
ii†							
74 C 74 W	7L Mr						
建具改修	改修	1					
# <del> </del>			式				
н							
内装改修	RC造改修						
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		1	-42				
内装改修	木造改修		式				
		1	式				
<b>#</b>			11				
塗装改修	改修	1					
		1	式				
Ē.							
外構	改修						
グト作号	以利多	1					
外構	東ポーチ		式				
) I:III3	*4. /	1					
Ħ+			式				
発生材処理	積込み						
		1	式				
発生材処理	運搬		1				
		1	式				

本庁舎分室							
科目名称	中科目名称	数 量	単位	金	額	備	考
発生材処理	処分	1					
7.8 H- 1-1-1 M	ats ets:24	•	式				
発生材処理	産廃税	1					
計			눛				
н							

電気設備工事 中	科目別内訳						12
本庁舎分室							
科目名称	中科目名称	数量	単位	金	額	備	考
幹線設備		1					
		1	式				
計							
電灯設備	電灯分岐						
		1	式				
電灯設備	コンセント分岐		11				
		1	式				
計			八				
動力設備	動力分岐						
277 3 174 114	200303	1					
計			式				
HI							
an ##=1.1#							
電熱設備		1					
21			式				
計							
構内情報通信網設備		1					
		1	式				
計							
構内交換設備							
		1	式				
計			11,				
拡声設備							
		1	, n				
計			式				
н							

本庁舎分室							
科 目 名 称	中科目名称	数量	単位	金	額	備	考
テレビ共同受信設備		1					
		1	式				
計							
火災報知設備							
		1	-45				
計			式				
н							

### 機械設備工事 中科目別内訳

機械設備上事 中	件日別內訳						14
本庁舎分室							
科目名称	中科目名称	数 量	単位	金	額	備	考
空気調和設備	機器設備						
		1	式				
空気調和設備	配管設備		10				
		1					
計			式				
П							
To I can the							
換気設備	機器設備	1					
		1	式				
換気設備	ダクト設備						
		1	式				
計			11				
衛生器具設備							
<b>用主命</b> 宗叹胂		1					
		-	式				
計							
給水設備							
		1	式				
計			I(				
排水設備							
1977/1943 /冊		1					
-7		_	式				
Ħ							
給湯設備		_					
		1	式				
計			11				
撤去工事							
1版厶丄尹		1					
			式				

合分室							
科目名称	中科目名称	数量	単位	金	額	備	考
計							
			1				

本庁舎分室			直接仮設			解体用	
名	称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
外部足場							別紙 00-0001
			1	式			
災害防止				工			別紙 00-0002
			1				
内部足場				式			別紙 00-0003
內印化物			1				万月和人 00-0003
				式			
仮設材運搬			1				別紙 00-0004
			1	式			
計							
			1	1		l .	I.

本庁舎分室			直接仮設					耐震補強・	改修	
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備考
養生										別紙 00-0005
				1	式					
整理清掃後片付け					-,					別紙 00-0006
				1	式					
外部足場										別紙 00-0007
				1	土					
内部足場										別紙 00-0008
				1	式					
災害防止										別紙 00-0009
				1	土					
仮設材運搬										別紙 00-0010
				1	式					
計										

18

本庁舎分室		とりこわし・撤去			コンクリート	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
コンケリート撤去	鉄筋切断共 人力 集積地	Ė.				
		6. 4				
コンケリート撤去	鉄筋切断共 コンケリートブ レーカ 集積す	H:	m3			
37/9 门联厶	奶奶奶奶 377	8. 6				
			m3			
鉄筋切断	集積共	14. 9				
		14. 9	m3			
コンケリート類	機 械		1110			
集積、積込み		14. 9				
発生材積込み	コンケリート類 人力		m3			
東石プロック	3779-194	1. 1				
		11.1	m3			
カッター入れ	SS-1、コンクリート面 厚さ20~30mm	0.4				
		21. 4	m			
計			111			

### 建築工事 細目別内訳

	細日別内訳										
本庁舎分室			とりこわし・拍			木造上屋					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
木造建物上屋解体 (東トイレ)	平面積			13	m²						
木造建物上屋解体 (南面減築)	手こわし 平面積			70. 7	m²						
小屋組み撤去 (南面庇)	桁: 角型鋼管、垂木	木製		22. 2	m²						
計					m						

20

本庁舎分室	л <u>а</u> п л л л л л		とりこわし・撤去	Ļ.				外部				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
屋根とりこわし	瓦、厚型スレートぶき	<u> </u>	**	-44.	+111	-12	ІІЩ	ZIZ	TEM	DHI	77	_
圧成とうこうし	TO PEN INC			179								
		-			m²							
屋根とりこわし	鉄板、波型スレートぶ	<b>*</b>		113								
				115	m²							
屋根とりこわし	鉄板、波型スレートぶ	き			111							
				22. 2								
非工长医+4h 十·	カラ-鉄板 100φ半割	生徒士			m							
軒樋撤去	ルプー鉄板 100 Φ 十計	果惧共		30. 9								
				30. 3	m							
竪樋撤去	カラ-鉄板 75φ 集積	共										
				32. 1								
軒天撤去	モルタル 一般 集積共	:			m							
平1 八1駅厶	以 水頂六	•		6. 6								
					m²							
天井下地撤去	集積共			00.0								
				30. 9	m²							
外壁撤去	金属系サイディン	グ			111							
, ,				107								
bil Bolth -i-					m							
外壁撤去	ラスモルタル			105								
				100	m²							
壁下地撤去	集積共											
				105	2							
モルが窓台 斫り	t =20 糸尺395mm				m²							
CM/MASID 1411 Y	t -20 /N/ (33311111			32								
					m							
石積み撤去	壁厚 280mm			1.0								
				1. 9	m3							
計					1113							

建築工事 細目別内訳

本庁舎分室			とりこわし・撤去				建具			
名 称	摘	要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
鋼製戸撤去	両開き戸 枠共					Harry .	-11/-	-01	110	
				68. 9 m²						
木製戸撤去	両開き戸 枠共	集積共								
				53. 1						
木製戸撤去	トイレブース 枠具	共 集積共		m²						
				17. 3 m						
既存アルミサッシ 木製額縁撤去	室内側 集積共									
木製額縁撤去				135						
計				m						

22

本庁舎分室			とりこわし・撤	去				RC造撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
床組撤去	つか立て 集積共										
				126	m²						
床組撤去	ころばし 集積共				111						
				116	2						
内装材とりこわし	/ - 間仕切壁下地(ポー)	『別涂》 集積共			m²						
TIXE COCO	/ 同压为至下码(* )	/// // // // // // // // // // // // //		102							
<b>广</b> 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	下地积州共 集積共	L			m²						
床外/撤去	ト地切が 果慎共	*		6. 3							
				0.0	m²						
ピニル床シート撤去	集積共			229							
				229	m²						
床下地板撤去	集積共										
				229	m²						
木製幅木撤去	集積共				111						
				156							
壁木製見切り撤去	:				m						
主小交元ガノ版ム	<b>本识八</b>			111							
					m						
上り框・付框 撤去	5			2. 5							
				2. 0	m						
壁モルタル・プラスター 撤去	集積共			301							
<b></b>				301	m²						
壁合板・ボード	一重張り 一般	集積共									
撤去	ベニヤ板・木ずり板			398	m²						
天井合板・ボード	一重張り 一般				111						
撤去	集積共			228	2						
天井合板・ボード	石膏ボード 一重張り 一般				m²						
撤去	集積共			9. 7							
T++-T+16+6++	ベニヤ板				m						
天井下地撤去	集積共			249							
				210	m²						
木製廻り縁撤去	集積共			136							
				136	m						

### 建築工事 細目別内訳

	細日別内訳		しゅっち! #	dr -f-				RC造撤去					
本庁舎分室	1-4-		とりこわし・推	<b>秋</b> 去	2011	***	N.担抓去						
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
				39. 6	m								
天井点検口撤去	集積共			2	か所								
計					,								

24

本庁舎分室				とりこわし・指	数去				木造撤去				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
床組撤去		つか立て 集積共			105								
					125	mi							
床組撤去		ころばし 集積共				111							
					35. 1	2							
内装材とり	こわし	間仕切壁下地(ボー	ド別涂) 集積共			m²							
112010	- 1,5 0	同压为土1.50(1	77727 76187		149								
床外/撤去		下地もりりは 集積其	+			m²							
床外服去		ト地切が 果傾き	4		3. 9								
						m²							
ピール床シート指	数去	集積共			127								
					127	m²							
床下地板撤	去	集積共											
					151	m²							
畳撤去		一畳 集積共				111							
					17. 5	.,							
木製幅木撤	土	集積共				枚							
八人交替田八八郎	.4	未很六			144								
	). W. I.	We sty II.				m							
壁木製見切	り撤去	集槓共			27. 9								
					21. 5	m							
上り框・付机	匡 撤去												
					4. 4	m							
壁モルタル・プラ	スター	集積共				111							
撤去					233	2							
壁合板・ボー	· }*	一重張り 一般	集積共			m²							
撤去		ベニヤ板・木ずり板			286								
壁合板・ボー	l*	一重張り 一般	集積共			m²							
壁台板・ホー 撤去	L	一里張り 一般 石膏ボード	果梖共		131								
					101	m²							
壁州撤去		下地积划共 集積共	<del>Ļ</del>		16. 6								
					10. 0	m²							
ステンレス板 撤	去												
					2	2							
		1				m²							

### 建築工事 細目別内訳

	細日別内訳										25
本庁舎分室			とりこわし・拍					木造撤去			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
天井合板•ボード 撤去	一重張り 一般 集積共 石膏ボード			152	mً	_			_		
天井下地撤去	集積共			152	m²						
木製廻り縁撤去	集積共			106	m						
カーテンポ゛ックス撤去				6. 3	m						
木製棚撤去	集積共			1	式					別紙 00-0011	
計					-						

26

本庁舎分室		とりこわし・撤去		環境配慮改修		
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
屋根 アスファルトルーフィンヴ 撤去 軒天	アルベスト含有建材	292	m²			
防火ライト撤去	アルベスト含有建材	24. 3	m²			
天井合板•ボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共	11. 9	m²			
流し台撤去 運搬・処分共	ステンレスシンク天板、ステンレスシンク L=1200 シンク裏防滴 アスヘ スト含有	1	台			
計						

建築工事 細目別内訳

<b>卜广舎分室</b>			とりこわし・撤去			外構						
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金 額	備考					
ッシュフェンス撤去	H=1000、基礎プロック	力共	6. 6	m								
計				111								

28

本庁舎分室		耐震(躯体)改修			RC造補強	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
鉄骨本体						別紙 00-0012
		1	式			
梁連結						別紙 00-0013
		1	式			
(耐圧版)			1/			
すきとり	耐圧版下 t =80mm					
	人力土工	10	m3			
砂敷き	耐圧版下 t=30		1113			
	人力土工	3. 8	m3			
床下防湿層敷き	ま。リエチレンフィルム 厚0.15		1113			
		126	m²			
花巻管内	花巻 JIS A5308 呼び強度 24 S18		III			
生コンケリート	粗骨材25 -	25. 1	2			
コンケリート打設手間	ー 耐圧版・スラブ 配管式ポンプ車		m3			
	50m3未満 S15~S18	25. 1	0			
床コンクリート直均し	金ごて 直均し仕上げ		m3			
仕上げ		126	2			
型枠目地棒	水切目地 幅15 ×深さ10程度		m²			
	13.73 A. C. Harris Block Strain	83				
異形棒鋼 D10	SD295		m			
2001747		1. 5				
鉄筋現場加工	一般 細物		t			
		1. 5				
鉄筋加工組立	S造		t			
27 (1/1/14 - 1-191 - 1/2.	床版 -	1. 5				
発生材 処分費	鉄筋スクラップ		t			
ALLEN ACTION	2000	41				
小計			kg			
וחי ני						

#### 建築工事 細目別内訳

	<b>柚日別內訳</b>	리프 (MILL) 기·/6			D 0.76 LD7/	29
本庁舎分室		耐震(躯体)改修	T 1		RC造補強	T
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(RC壁塞ぎ)						
花巻管内	花巻 JIS A5308 呼び強度 24 S18					
生コンケリート	粗骨材25 -	1				
小担構でかには到	-   10m3未満 小型構造物		m3			
手間(人力)	シュート打設	1				
			m3			
壁煙炉熔料	壁厚280 材工					
無収縮モルタル充填	₩	1	式			
型枠	打放合板型枠A種		1(			
	壁式構造地上軸部	10. 1	2			
型枠運搬費	階高2.8m程度 4 t 車 30km程度 往復		m <sup>2</sup>			
至件建加貝	41年 30㎞任及 任後	10. 1				
			m²			
差筋アンカー	D 13	50				
		52	か所			
異形棒鋼 D13	SD295		73 771			
		87				
異形棒鋼 D10	SD295		kg			
天川2个学到问 D 10	30293	4. 2				
			kg			
鉄筋現場加工	一般 細物	0. 1				
		0. 1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物					
		0. 1				
発生材 処分費	鉄筋スクラップ		t			
九上市。建力員	*/\frac{1}{2} \land \frac{1}{2} \land \frac{1}{2	2. 5				
			kg			
小計						
計						

本庁舎分室	_	耐震(躯体)改修		_	木造補強	<u> </u>
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(基礎部)						
根切り	山留め付き総掘り か ランド アンカ- 方式 バ ックホウ0. 8m3	10. 5				
	クラムシェル積込	10. 5	m3			
砂利地業	切込砕石	1. 8	m3			
コンケリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 	0. 4	m3			
埋戻し	人力土工 - A種(山砂の類)	7. 9	m3			
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度 21 S18 粗骨材25 -	12. 6	m3			
小規模コンウリート打護 手間(人力)	股 10m3未満 小型構造物 シュート打設	3. 6	m3			
コンケリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18	9	m3			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	22. 9	m²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	4. 1	m²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	27. 1	m²			
差筋アンカー	D10	391	か所			
異形棒鋼 D13	SD295	132	kg			
異形棒鋼 D10	SD295	192	kg			
鉄筋加工組立	小型構造物 布基礎	0.3	t			

建架工事	和日別內武										31
本庁舎分室			対震(躯体)さ					木造補強			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度			0. 3	t						
発生材 処分費	鉄筋スクラップ			8. 7	kg						
ワイヤーメッシュ敷込み	φ 6mm、 150 x 150			56	m²						
砂敷き	耐圧版下 t=30 人力土工			2. 3	m3						
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15			74. 8	m²						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ			74. 8	m²						
アンカーボルト	M12 L=400			16	本						
小計											
(木工事)											
つか立床組	施工手間			79. 1	m²						
鋼製束	YR- 2438同等品			68	か所						
調整束	YK-0511同等品			10	か所						
土台パッキン	t =20			13. 8	m						
防腐土台 新設	105 x 105 材工			13. 8	m						
柱新設	正角材(すぎ)4m 材工			3	本						

32

本庁舎分室		耐震(躯	体) 改修				木造補強			
名 称	摘 要			単位	単	価	金	額	備	考
柱新設	正角材(すぎ)3m 材工		6	本						
柱新設(真壁)	正角材(すぎ) 4 面無節 材工	4m	1	本						
柱頭柱脚金物	へ(10 k NF 寄せ金物 同等		54	か所						
柱頭柱脚金物	と(15kNG 寄せ金物 同等		48	か所						
筋交い新設	45 x 90ダブル(金物 BP-2版 木材別途		6	か所						
筋交い新設	45 x 90シングル (金物 BP-2同木材別途	司等品)	2	か所						
既存筋交い 金物補強	45 x 90 BP- 2同等品 材工		6	か所						
耐力壁 構造用合板張り	t=9、材工 くぎN50四週打ち@150		108	m²						
間仕切軸組	施工手間		176	m²						
小屋梁 新設	L=1, 820 木材別途		15	か所						
小屋梁 新設	L=7, 280 (継手含み) 木材別途		2	か所						
小屋束 新設	L=1, 450、700 木材別途		8	か所						
方杖 新設	L=1,820 木材別途		4	か所						
火打ち梁 新設	L=1, 420 木材別途		40	か所						
防腐防蟻処理剤 塗布	外周部軸組 GL+1000より下	部	37. 2	m²						

# 建築工事 細目別内訳

	細目別内訳										•	33
本庁舎分室			耐震(躯体)	女修				木造補強				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
小計												
(木材)												
平角材	米松 特1等 4.0×	10 5×15∼24										
(梁、桁、大引等)	71124 19 1 9 110	.0.0.10 21		3. 7								
	杉 特1等				m3							
正角材 (柱、小屋束等)	杉 村 1 寺 3. 0×10. 5×10. 5 -			0. 1								
	KD				m3							
平割材 (筋かい、 たるき、根太等)	米松 特 1 等 4. 0×4. 5×10. 5 -			0. 2								
				0. 2	m3							
平割材 (間柱等)	杉特1等											
	$3.65 \times 4.5 \times 10.5$			0. 7	m3							
小計					1110							
<b>#</b>												_
-												
												$\dashv$

34

本庁舎分室		外部改修			屋根	
名 和	旅 摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(会議室棟)						
屋根立平葺き	ガルバリウム塗装鋼板 木下地 厚さ0.4	179				
		179	m²			
屋根下葺き	アスファルトルーフィンク*940 23K	179				
		113	m²			
棟換気	カラー鉄板 t=0.4包み リッッペンッ 厚24x幅284 同等品	11. 2				
		11. 2	m			
垂木 敷込み	45 x 60	179				
		113	m²			
野地合板張り	t =12 材工	179				
		113	m²			
破風・鼻隠し 下地	21 x 250 施工手間	54. 1				
		J4. 1	m			
破風・鼻隠し	カラー鉄板0.4 糸尺250	54. 1				
		J4. 1	m			
軒とい	カラー鉄板半円形 厚さ0.4 径120	30. 9				
		00. 0	m			
竪とい	亜鉛鉄板 径75	32. 1				
		0L. 1	m			
小計						
( <del></del>						
(事務室棟)						
	18 V. S. M. V. A. Market I					
屋根横ぶき	が ルバ リウム塗装鋼板 木下地 厚さ0.4	37. 8				
D40-24:2-		01. 0	m²			
屋根下葺き	アスファルトルーフィンケ*940 23K	37. 8				
Lb 12 2-	The Males of the Males	01.0	m²			
棟換気	カラ-鉄板 t=0.4包み リッツヘ・ンツ 厚24x幅284 同等品	8. 5				
	7,7,3 = радостуб ин	0. 0	m			

建築工事 細目別内訳

本庁舎分室			外部改修				屋根			
名 称	摘	要	数 量	単位	単	価	金	額	備	考
垂木 敷込み	45 x 60			37. 8 m²				***		•
野地合板張り	t =12 材工		:	37. 8 m²						
母屋 新設	施工費			45. 5 m						
破風・鼻隠し 下地	21 x 250 施工手間			14. 7 m						
破風・鼻隠し	カラー鉄板0.4 糸尺250			14. 7 m						
小計										
(木材)										
平割材 (筋かい、 たるき、根太等)	米松 特 1 等 4. 0×4. 5×10. 5 -			1. 4 m3						
板材 (下地材等)	松 特1等 1.82×1.2×	21		0. 5 m3						
小計										
<u> </u>										

本庁舎分室		外部改修			軒天・外壁	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(会議室棟)						
窓台もり外塗り	金ごて t=20 糸尺 395					
		32	m			
小計			111			
(木造)						
天井下地	施工手間 吊木共					
		39. 7	2			
軒天	化粧スラグせっこう板 t=6		m <sup>*</sup>			
1170		39. 7				
軒先 通気金物	鋼製換気部材		m²			
T176 XEX(321)	261XJAACHPPJ	37. 4				
天井廻縁	塩化ピニル製		m			
人开起隊	塩にしてが交	67. 2				
透湿防水シート張り			m			
透極例水グで取り		171				
か場でルン・、、よ*	753W4 (2) 1 4 4 3 5 H (1) 14		m²			
窯業系サイディング	t =14 モエンW14シャトーウォール調程度	171				
	No. 10 Miles for 1		m²			
土台水切り	鋼板製通気土台	38. 7				
		30. 1	m			
窯業系サイディング 同質出隅	t =14 モエンW14シャトーウォール調程度	26				
		20	m			
外壁 既存取合い	木製 L-60 x 60	01.7				
出隅下地		21. 7	m			
	カラー鉄板包み L - 60 x 60	04.7				
出隅		21. 7	m			
シャッター額縁	木製 三方枠 30 x 170		111			
下地		8				
	1		m			

建築工事	和日別的你					31		
本庁舎分室		外部改修			軒天・外壁			
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考		
シャッター額縁	カラー鉄板包み 三方枠 30 x 170	8	m					
壁合板張り	ラワン1類 見え隠れ 厚さ9.0mm	75.						
胴縁	施工手間	171	m²					
アルミ EXP- J クリアランス50	外壁 コーナー	9.						
アルミ EXP- J クリアランス50	外壁-外壁	4.						
換気ガラリ	スクエアタイプ 400 x 600	2	台					
シーリンク。	一般部 変成シリコーン系(MS-2) 15×10	144	m					
小計								
(木材)								
板材 (下地材等)	松 特 1 等 1.82×1.2×21	0.	3 m3					
正割材 (天井野縁等)	杉 特 1 等 4.0×4.5×4.5	0.	1 m3					
小計								
計								

38

本庁舎分室		建具改修			改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(アルミニウム製建具)						
AD- 1	W=1550, H=2418					
店舗ドア	Low- E透明ガラス	1				
ランマ付両開き AD-2	3方枠共 W=1400、H=2018		台			
店舗ドア両開き	W=1400、H=2016 Low- E透明が ラス	1				
		1	台			
AD- 3	W=1340, H=2018					
店舗ドア 親子戸	D=102、化粧シート張り	1	/>			
小計			台			
144.0						
(アルミ樹脂複合)						
AW- 1	W=1690, H=820+W=1690, H=970					
引違い窓 2枚建	Low- E透明ガラス	2				
(オーダ・ー)	W 4000 W 4000		台			
AW-2 引違い窓 2枚建	W=1690、H=1370 Low- E透明が ラス	2				
万连V 芯 700年	LOW- EX2011/1 //	2	台			
AW- 3	W=640, H=1370					
たてすべり出し窓	Low- E透明ガラス	1				
AW- 4	W=640, H=1170		台			
たてすべり出し窓		1				
			台			
AW- 5	W=780, H=570					
すべり出し窓	Low- E透明ガラス	2	台			
AW- 6	W=1690, H=1370		П			
引違い窓 2枚建	Low- E透明が ラス	1				
the III carrie	U < 00		台			
窓 枠(引違い)	施工手間	12				
		12	か所			
小計			73 171			
(木製建具)	1		-			
( 个表)						

### 建築工事 細目別内訳

<b>建柴</b> 上争	細日別内訳	35									
本庁舎分室		建具改修			改修						
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考					
WD-1 両開きドア	W=1600、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD-2 片開きドア	W=700、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD-3 両開きドア	W=1600、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD- 4 親子開きドア	W=1070、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD-5 引き違いドア	W=1600、H=2000(枠別) ブラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD-6 引き違いドア	W=1600、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD-7 片引きドア	固定枠 154、W=1645 フラッシュ戸 メーカー仕様		2 台								
WD-8 折戸ドア	固定枠 154、W=930 フラッシュ戸 メーカー仕様		1 台								
WD-9 片開ドア	W=700、H=2000(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板		1 台								
WD- 10 引き違いドア	W=1790、H=1885(枠別) フラッシュ戸 メラミン化粧板+襖紙		1 台								
出入口枠 (両開き)	施工手間		6 か所								
出入口枠 (片開き)	施工手間		2 か所								
小計			//1								
(その他)											
額縁取付け	AW- 11, AW- 12 取付手間	13	35 m								

本庁舎分室		建具改修			改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
既存額縁取合シーリング	一般部 シリコーン系(SR-1) 10×10	135	m			
額縁取付け	AD- 24, AD- 25, AD- 26 取付手間	15. 9	m			
造作板材 (床板、棚板等)	杉 特 1 等	0.8	m3			
小計						
計						

本庁舎分室		内装改修					RC造改修			
名 称	摘要		量	単位	単	価	金	額	備	考
(床)	21				·					-
鋼製束	YR- 2438同等品		264	か所						
つか立床組	施工手間		246	m²						
ピニル床シート	無 地 厚さ2.0 複層ピニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -		235	m²						
床合板張り	ラワン2類 見え隠れ 厚さ9.0mm		235	m²						
床 構造用合板	t =28 材工		255	m <sup>²</sup>						
床 ポリスチレンフォーム敷込	厚さ60 3種bA		99	m²						
床点検口	600角 高気密・高断熱型 一般型貼物用 アルミ製枠		4	か所						
床好/張り 巾木立上げ	一般床外張 I 類 無ゆう 100mm角 下地砂刈別途		1. 3	m²						
小計										
(幅木・壁)										
ピニル幅木	高さ60		141	m						
壁 せっこうボード 張り(GB- R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -		369	mř						
壁紙張り手間	壁 プラスチック程度 ボード面 素地B種		341	m <sup>*</sup>						
壁紙	量産品		341	m²						

42

本庁舎分室		内装改修			RC造改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
窯業系サイディング	t =14	26. 3	mť			
窯業系サイディング 同質出隅	t =14 モエンW14シャトーウォール調程度	9. 5	m			
壁砂処塗り	金ごて内壁 厚20	1. 8	m²			
シーリンク*	一般部 変成シリコーン系(MS-2) 15×10	42. 7	m			
壁防湿気密シート		295	m²			
壁がラスウール断熱材	ケ゚ラスウ-ルフェルト 厚さ100 16kg/m3	295	mً			
間仕切軸組	施工手間	370	m <sup>*</sup>			
小計						
(天井)						
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラパーチン 突付け	235	m²			
天井 防湿気密シート		235	mً			
天井廻縁	塩化ビニル製	154	m			
天井 グラスウール断熱材	ク゚ラスウ-ルフェルト 厚さ200 16kg/m3	169	mً			
天井下地	施工手間 吊木共	235	mľ			
天井点検口	一般好了。7於製 内外枠共額縁 450角	2	か所			

### 建築工事 細目別内訳

本庁舎分室		内装改修			RC造改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
小計						
(その他)						
階段組立	周り階段 W=900	1	式			
階段 ササラ桁	タモ集成材 t=30 W300	15	. 3 m			
階段手摺	樹脂被覆手摺 φ34 受け金物共	7	. 6 m			
階段 甲板	タモ集成材 t=25 W150 材工	3	. 6 m			
階段 甲板	タモ集成材 t=25 W275 材工	3	. 3 m			
階段滑り止め	ステンレス W=35 コ゚ムタイヤ人	21	. 8 m			
小計						
(木材)						
平角材 (梁、桁、大引等)	米松 特1等 4.0×10.5×15~24	11	. 9 m3			
平割材 (間柱等)	杉 特 1 等 3.65×4.5×10.5 -	4	. 2 m3			
正割材 (天井野縁等)	杉 特 1 等 4.0×4.5×4.5	1	. 4 m3			
小計						
<del>1</del>						

44

本庁舎分室		内装改修			木造改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(床)						
ピール床シート	無 地 厚さ2.0 複層ピニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	76. 4				
+ A 1275 16		70.1	m²			
床合板張り	ラワン2類 見え隠れ 厚さ9.0mm	76. 4				
床 構造用合板	t =28 材工		m			
/ 特坦// 日似	t -20 //j	79. 1				
床	厚さ60 3種bA		m			
ポリスチレンフォーム敷込		88. 6	m			
付框	妊集成材 25x90 材工		111			
		1. 5	m			
ころばし床組	施工手間	27.5	111			
		27. 5	m²			
床合板張り	ラワン2類 見え隠れ 厚さ12.0mm	27. 5				
COLUMN A		21. 3	m²			
畳敷き	標仕C種 畳表C2 柄へり Ht 畳床PS-C20 IIS A 5901 一畳	17				
畳敷き	畳床PS-C20 JIS A 5901 一畳 施工規模30枚以下程度 標件C種 畳表C2 柄へり lit		枚			
宜籾さ	畳床PS-C20 JIS A 5901 半畳 施工規模30枚以下程度	1				
平割材(筋かい、	施工規模30枚以下程度 米松 特 1 等		枚			
たるき、根太等)	4. 0×4. 5×10. 5 -	0. 4				
小計			m3			
(幅木・壁)						
ピニル幅木	高さ60	88. 4				
		00. 4	m			
壁 せっこうボード	厚12.5 不燃 鋼製、木、ポード下地 継目処理	232				
張り(GB-R)	- THE MANAGER	202	m²			

建築工事 細目別内訳

本庁舎分室	和日別的不	内装改修			木造改修	43
名 称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁紙張り手間	壁 プラスチック程度 ボード面		中世	平 川	亚胡	畑 号
	素地B種	192	m²			
壁紙	量産品					
		192	m²			
壁合板張り	ラワン1類 見え隠れ 厚さ9.0mm	14, 5				
		14. 0	m²			
メラミン化粧板張り	t =3	2. 5				
		2. 0	m²			
壁 防湿気密シート		80. 9				
₽₩	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		m²			
壁がラスウール断熱材	グラスウ-ルフェルト 厚さ100 16kg/m3	80. 9				
小計			m²			
/1項1						
(天井)						
(501)						
天井 化粧	厚 9.5 準不燃 トラバーチン					
せっこうボード 張り(GB- D)	突付け	92. 3	m²			
天井		00.0				
防湿気密シート		92. 3	m²			
天井 グラスウール断熱材	ケ゚ラスウ-ルフェルト 厚さ200 16kg/m3	92. 3				
		92. 3	m²			
天井廻縁	塩化ピニル製	118				
		110	m			
天井下地	施工手間 吊木共	92. 3				
711 610	All 1.7m2 St. 2.7ml do to to to the finder has	<i>52.</i> 5	m²			
天井点検口	一般好了。 ア に製 内外枠共額縁 450角	2				
小計			か所			
小計						

本庁舎分室		内装改修			木造改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(その他)						
アルミ EXP- J	内装 床-床	0.0				
クリアランス50		2. 9	m			
アルミ EXP- J	内装 壁-壁					
クリアランス50		10. 6	m			
アルミ EXP- J	内装 天井- 天井		111			
クリアランス50		2. 9	m			
メラミンホ。ストフォーム	t =25 材工		111			
		2. 8	***			
見切取付け	取付手間		m			
		21. 9				
木製棚 新設	W=3500、合板棚板 2段		m			
	中柱 1本 (90x90) H=2670	3	2.000			
棚板	幅900 2階物置		か所			
100	1111311	1				
流し台	W=1. 800		台			
取外し・再取付	1, 550	1	,			
既存下駄箱	W=1925、H=1890、D=310 (1台)		か所			
取外し・再取付		2				
I Hクッキンク* ヒーター			か所			
据え置き型		1				
小計			台			
ומינ׳						
( <del>1.11</del> )						
(木材)						
7,441+4	杉 特 1 等 4.0×4.5×4.5					
正割材 (天井野縁等)	杉 特 1 等 4.0×4.5×4.5	0.3				
	Le de la Mar	0.0	m3			
造作板材 (床板、棚板等)	杉 特1等	0. 1				
( / N/100 / 101/100 / 107/1		0. 1	m3			

庁舎分室			内装改修					木造改修			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
小計											
計											
								1			

48

本庁舎分室		塗装改修			改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
(外部塗装)						
外壁 吹付塗装 コンケリート改修面	素地調整(高圧洗浄含む)	119	m <sup>*</sup>			
外壁 吹付塗装 コンケリート改修面	シーラー塗装	119	m²			
外壁 吹付塗装 コンケリート改修面	アクリルリシン吹付	119	m²			
壁吹付塗装コンケリート新設面	素地調整	18. 2	m <sup>*</sup>			
壁吹付塗装コンケリート新設面	シーラー塗装	18. 2	m²			
壁 吹付塗装コンケリート新設面	アクリルリシン吹付	18. 2	m²			
木材保護塗料	糸幅300以下	15. 9	m			
外部柱 木材保護塗料	105 x 105 L =3m	1	か所			
小計						
(内部塗装)						
EP-G塗り	矿外面 工程A種(一般) 素地別途	1.8	m²			
C L塗り (R4年仕様)	木部 工程B種 素地B種	23. 4	m²			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	188	m			
小計						

建築工事 細目別内訳

连架上事 和 本庁舎分室	/3 31 317 \$		塗装改修					改修			43
名 称	摘	要	<b>型表以</b> 修数	量	単位	単	価	金	額	備	考
計	1110	<u> </u>	20	44	十匹	+	ІІЩ	317.	TUR	VHI	-7

本庁舎分室		外構			改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
	H=1000、独立基礎共	9. 3	m			
計						

本庁舎分室		外構			東ポーチ	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
根切り	山留め付き総掘り グランドアンカ-方式バックホウ0.8m3 クラムシェル積込		4. 5 m3			
埋戻し	つぼ掘り及び布掘り パックホウ0.45m3 -		3. 2 m3			
砂利地業	切込砕石		1. 1 m3			
コンケリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 		0. 2 m3			
手間(人力)	は 10m3未満 小型構造物 シュート打設		4 m3			
花巻管内 生コンクリート	花巻 JIS A5308 呼び強度 21 S18 粗骨材25 -		4 m3			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ		13 m <sup>2</sup>			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部		14. 1 m²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復		14. 1 m²			
異形棒鋼 D13	SD295		32 kg			
異形棒鋼 D10	SD295		111 kg			
鉄筋加工組立	小型構造物 布基礎		0. 1			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度		0. 1			
発生材 処分費	鉄筋スクラップ		3. 9 kg			
計			, rg			

52

本庁舎	分室		ž	発生材処理					積込み			
名	称	摘	Ę	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
発生材	積込み	コンクリート(有筋)										
					15. 3	m3						
発生材	積込み	がれき類				1110						
					17. 2	m3						
発生材	積込み	木材				1110						
					44. 1	m3						
発生材	積込み	廃プラスチック				1113						
					3							
発生材	積込み	**-ド類				m3						
20017	,				5. 5							
発生材	積込み	ガラス・陶器くず				m3						
76.12.14	何及という	77 7 7 Ping Ed ( 9			1.8							
発生材	積込み	金属くず				m3						
九工何	何だり	亚海 ( )			10. 4							
発生材	1#\1 7.	繊維くず(畳)				m3						
<b></b> 王州	惧込み	松准~9(宜)			1							
96 H. L.L	file) t at	海人ノギ (赤屋にがれ)				m3						
発生材	頼込み	混合くず(電気ケーブル)			1							
						m3						
発生材	積込み	蛍光灯・白熱灯			1							
					1	m3						
発生材	積込み	ボード類 アスベスト含有	i建材		0. 3							
					0. 3	m3						
発生材	積込み	アスファルト類 アスベスト含有	ī建材		0.0							
					0. 3	m3						
	計											

建築工事 細目別内訳

建杂工争	和山口力リアリカ人					J
本庁舎分室		発生材処理			運搬	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金額	備考
発生材 運搬費	コンクリート(有筋)	15. 3	m3			
発生材 運搬費	がれき類	17. 2	m3			
発生材 運搬費	木材	44. 1	m3			
発生材 運搬費	廃プ。ラスチック	3				
発生材 運搬費	ポード類	5. 5	m3			
発生材 運搬費	ガラス・陶器くず	1.8	m3			
発生材 運搬費	金属くず類	10. 4	m3			
発生材 運搬費	繊維くず類(畳)	1	m3			
発生材 運搬費	混合くず(電気ケーブル)	1	m3			
発生材 運搬費	蛍光灯・白熱灯	1	m3			
発生材 運搬費	ボード類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
発生材 運搬費	アススァルト類 アスベスト含有建材	0.3	m3			
計			1113			

54

本庁舎分	全		発生材処理				処分	
名	称	摘要	数	量	単位	単 価	金 額	備考
発生材	処分費	コンクリート(有筋)		36	t			
発生材	処分費	がれき類		42. 6	t			
発生材	処分費	木材		22	t			
発生材	処分費	廃プラスチック		1. 6	t			
発生材	処分費	**		3. 8	t			
発生材		ガラス・陶器くず		1. 6	t			
発生材		金属くず類		2. 1	t			
発生材	処分費	繊維くず類		0. 5	t			
発生材		混合くず(電気ケーブル)		0. 5	t			
発生材		蛍光灯・白熱灯		33	kg			
発生材		ボード類 アスベスト含有建物		0. 3	t			
発生材		アスファルト類 アスベスト含有建	<b>!</b> 材	0. 1	t			
	計							

建築工事 細目別内訳

建柴工事 紺 本庁舎分室			発生材処理					産廃税			;
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
名 称 <b></b> 産廃税	164	<u> </u>	20		十匹		lim	317.	HPK	vrts	.,
				50. 4	t						
計					·						

本庁舎分室	·	幹線設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
硬質ピニル電線管	隠ぺい配管 36mm					
(VE)		3				
硬質ピニル電線管	隠ぺい配管 70mm		m			
(VE)	THE HELD TOMM	3				
THE SEC. Y A SEC. AND AND	CENTER OF THE PROPERTY OF THE		m			
硬質ピニル電線管 (VE)	露出配管 70mm	36				
		30	m			
合成樹脂製可とう	5 隠ぺい・埋込配管 16mm					
電線管 (PF単層)		3				
合成樹脂製可とこ	5 隠ぺい・埋込配管 28mm		m			+
電線管 (PF単層)	NEW YEAR E SOMM	2				
			m			
600V耐燃性ポリエチl ン絶縁電線(EM-IE)		6				
/ 朴巴朴水 EE 朴水 ( L.M- 1 L.)	)	0	m			
600V耐燃性ポリエチl						
ン絶縁電線(EM-IE)	)	64				
EM- CEケーフ* ル	14mm2- 2C ピット・天井		m			
SM- CE/ / //	THINKE Ze c /1 /C/1	16				
nu oni wi	11 0 00 PPD-1-(PD-0P)		m			
EM- CEケーフ゜ル	14mm2- 2C FEP内(PF·CD)	2				
		2	m			
EM- CETケーフ゛ル	22mm2 管内					
		18				
EM- CETケーフ゛ル	22mm2 ピット・天井		m			
SM CEI/ / //	Bennie C / L /C/T	12				
nu opmi wi i	00 0 000		m			
EM- CETケーフ゛ル	60mm2 管内	19				
		19	m			
EM- CETケーフ゛ル	60mm2 ピット・天井					
		12				
EM- CETケーフ゛ル	100mm2 ピット・天井		m			
ODI/ / /*	100	19				
nu opmi wi	Annual (PR AN)		m			
EM- CETケーフ゛ル	100mm2 FEP内(PF·CD)	12				
		12	m			

	争 和日別的						 		37
本庁舎分室			幹線設備						
名 称	摘	要	数	量	単位	単 価	金 額	備	考
プルボックス SS-V形 (硬質ピニル製)	500× 500× 500			3	個				_
引込開閉器盤	M- LP			1	面				
電灯動力盤	1LP- 1			1	面				
電灯盤	2L- 1			1	面				
開閉器箱 (一般形)	MCCB2P 30AF× 1個			1	個				
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	$14 \phi \times 1.5$ m			2	か所				
接地極埋設標	金属製			2	枚				
撤去				1	式	_		別紙 00-0014	
<del>11</del>									

本庁舎分室			電灯設備					電灯分岐				
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 19			9	m							
ねじなし電線管 (E)	露出配管(塗装有) 25			1	m							
硬質ピニル電線管 (VE)	露出配管 16	mm		22	m							
硬質ピニル電線管 (VE)	露出配管 221	mm		6	m							
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16	mm		37	m							
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22	mm		41	m							
1種金属線で(MM1)				1	m							
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイン	ッ <del>チ</del> ボックス		1	個							
1種金属線ぴ(MM1) 付属品	A形(25.4mm) 天井引出	179° 7° 9		1	個							
600V耐燃性ポリエチレ ン絶縁電線(EM-IE)	1. 6mm			103	m							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF				8	m							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ピット・天井			128	m							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 2C FEP内(PF・C	CD)		40	m							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 3C 管内			2	m							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF		‡		270	m							

电刈砂加工	_争 和日別ど	111/									38
本庁舎分室			電灯設備					電灯分岐			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	1.6mm- 3C FEP内(PI	F•CD)									
耐燃性ポリエチレンシー				56							
ケーブル平形 EM- EEI	r 2. 0mm- 2C ピット・天	: H:			m						
耐燃性ポリエチレンシーン	7	JT.		11							
ケーフ"ル平形 EM-EE	F			• •	m						
	2.0mm- 2C FEP内(PI	F•CD)									
耐燃性ポリエチレンシーン ケーブル平形 EM-EE	K			2	m						
	2.0mm- 3C 管内				111						
耐燃性ポリエチレンシーン	λ			6							
ケープル平形 EM-EE	F				m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシーン	2. Omm- 3C ピット・天	汗		64							
MP MATEN リュテレノソー, ケーフ・ル平形 EM- EE				04	m						
	2. Omm- 3C FEP内(PI	F•CD)			111						
耐燃性ポリエチレンシーン		•		15							
ケーブル平形 EM-EE	F	D44			m						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバ・	中四角 浅型	D44		30							
付)				30	個						
合成樹脂製	中四角 深型	D54									
アウトレットホ゛ックス(カハ゛・	_			13	tree.						
付) 金属製	25(22) 1方出				個						
亜属袋 露出丸形ボックス	23(22) 1/1Д			2							
(塗装共)				_	個						
金属製	25(22) 3方出										
露出丸形ポックス (塗装共)				3	/100						
( 堡装共) 金属製	25(22) 1個用1方出		1		個						
亜内衣 露出スイッチボックス	20(25) 1 HH/111/1 H			1							
(塗装共)					個						
樹脂製	22 1個用1方出			0							
露出スイッチボックス				3	個						
プ゚ルボックス SS-V形	200× 200× 100	)			110						
(硬質ピニル製)		=		5							
					個						
タンプ・ラスイッチ	大角形1P15A×1			0							
(金属プレート付)	-			2	個						
タンプ・ラスイッチ	大角形1P15A×2				IIH						
(金属プレート付)	-			2							
					個						

本庁舎分室			電灯設備					電灯分岐				
名 称		更	数	量	単位	単	価	金	額	備	Î	考
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	大角形1P15A×3 -			1	個							
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	大角形3W15A×1 -			4	個							
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	大角形3W15A×2 -			3	個							
タンプ・ラスイッチ (金属プ・レート付)	大角形3W15A×5 -			2	個							
消遅れスイッチ (金属プレート付)	1P15A×1, 1P-D3M×1			2	個							
コンセント (金属プ レート付)	大角形2P15A×1 -			3	個							
ブ ランクプ レート	丸形			1	個							
照明器具	図示. A			1	個							
照明器具	図示. B			1	個							
照明器具	図示. C			7	個							
照明器具	図示. D1			2	個							
照明器具	図示. D2			21	個							
照明器具	図示. D3			20	個							
照明器具	図示. E1			2	個							
照明器具	図示. E2			2	個							

本庁舎分室			電灯設備電灯分岐									
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
照明器具	図示. F			2	個							
照明器具	図示. G			5	個							
照明器具	図示. H			3	個							
照明器具	図示. I			2	個							
照明器具	図示. J			1	個							
避難口誘導灯	図示. a			6	個							
非常用照明器具	図示. b			1	個							
非常用照明器具	図示. d			1	個							
非常用照明器具	図示. e			2	個							
換気扇用スイッチ取付				14	か所							
撤去				1	式					別紙 00-0015		
計					14							

本庁舎分室		電灯設備		コンセント分岐							
名 称	摘要	数	量	単位	単 価	金	額	備	考		
硬質ピニル電線管 (VE)	露出配管 22mm		9	m							
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm		112	m							
1種金属線で(MM1)	A型(25.4mm)		1	m							
附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチボック		2	個							
付属品	A形(25.4mm) 天井引出アダプ	Э	2	個							
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM- EEF			18	m							
耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF			292	m							
耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF			118	m							
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)			39	個							
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)			11	個							
プルボックス SS-V形 (硬質ピニル製)	200× 200× 100		3	個							
コンセント (金属プ レート付)	大角形2P15A×2(接地極·接均 125V	也端子付	37	個							
コンセント (金属プ レート付)	大角形2P20A×1(接地極付) 250V		1	個							
コンセント (金属プ レート付)	大角形2P15/20A×1(接地極• 250V	接地端	2	個							
撤去			1	式				別紙 00-0016			

电风设备工事 細日別内訳											
本庁舎分室			電灯設備					コンセントケ	<b>汁岐</b>	_	
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
<del>1</del>											
										-	

本庁舎分室			動力設備				動力分岐							
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考			
電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管			6	m									
電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管			5	m									
溶融亜鉛メッキ電線管(厚鋼電線管) (ZG)	(28) 露出(塗装無			9	m									
耐燃性ポリエチレンシース ケープル平形 EM-EEF				7	m									
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2. 0mm- 3C FEP内(	PF•CD)		6	m									
EM- CEケーフ* ル	5.5mm2- 4C 管内			7	m									
EM- CEケーフ <sup>*</sup> ル	5.5mm2- 4C ピット・	天井		12	m									
EM- CEケーフ <sup>®</sup> ル	5.5mm2- 4C FEP内	(PF•CD)		3	m									
EM- CEケーフ <sup>*</sup> ル	8mm2- 4C 管内			4	m									
EM- CEケーフ <sup>*</sup> ル	8mm2- 4C ピット・	天井		8	m									
EM- CEケーフ* ル	8mm2- 4C FEP内	(PF•CD)		2	m									
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型	D44		3	個									
プルボックス SS形 防水(SUS)	200× 200× 20	00		1	個									
ンド カッターによる 配管用貫通口)	100~150mm 50mm			1	か所									
計		*												

本庁舎分室			電熱設備								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管	22mm		6	m						
面土枚状が上す。 リエチリンド/ニフ	2. Omm- 3C t° "> • }			12	m						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 FM-FFF	2. Omm- 3C FEP内(I 中四角 浅型	PF•CD)		6	m						
クラストル Lin Elit 合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型	D44		3	個						
電気暖房器	N°ネルレーター 壁掛形 250W 100V, 200V	ステンレス製 サーモ付		3	台						
撤去				1	式					別紙 00-0017	
計					1						

本庁舎分室		構内情報通信網設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	101	m			
EM- UTPケーフ* ル	CAT6 4P FEP内(PF·CD)	136				
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D44	5				
合成樹脂製 アウトレットボックス(カパー 付) 端子盤	中四角 深型 D54	5				
		2				
情報用アウトレット (金属製)	モシ゚ ュラーシ゚ ャック(RJ45) ×1	4				
ケープル成端	モジュラープラグ、モジュラージャックを含っ	ਹੈ 1				別紙 00-0018
計						

#### 電気設備工事 細目別内訳

电刈成佣工	争 和日別2		14 L L 16 - P								01
本庁舎分室			構内交換設備					1			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管	16mm		22	m						
EM- EBTケープ ル	0.4mm- 2P ピット・天井			115	m						
EM- EBTケーフ* ル	0.4mm-2P FEP内(PF·CD)			55	m						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型	D44		6	個						
電話用アウトレット (金属製)	€ジュラージャック(RJ11)	×1		2	個						
電話用アウトレット (金属製)	モジ <sup>*</sup> ュラージ <sup>*</sup> ャック(RJ11)	×2		4	個						
撤去				1	式					別紙 00-0019	
<del>2</del> 1											

本庁舎分割	<b>本庁舎分室</b>										
名	称	摘要	数	量	単位	単 価	金 額	備考			
撤去				1	式			別紙 00-0020			
計	-										

#### 電気設備工事 細目別内訳

电刈取加工	争 和日別內武		11.03.00	an HH							08
本庁舎分室	1.6		共同受信語								
名 称		更	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm			13	m						
1種金属線ぴ(MM1)	A型(25.4mm)			2	m						
1種金属線ぴ(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチホ	^ <b>"</b> / <b>"</b> / <b>"</b>		1	個						
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF				2	m						
EM同軸ケーフ・ル	EM-S-5C-FB ピット・天井			48	m						
EM同軸ケーフ・ル	EM-S-5C-FB FEP内(PF•C			13	m						
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー 付)	中四角 浅型 D4			4	個						
アンテナ	UHF-20EL 1段目(》	l用)		1	組						
アンテナマスト	屋根馬(汎用) U用 2. 0m	-		1	基						
機器収容箱	TV-T(露出形) 2(400×40	0×120)		1	個						
増幅器	汎用品 屋 内 - UHF 35d	В		1	個						
分配器	一般 屋内 SH-D	4		1	個						
直列エット (金属プレート)	1端子 中間			1	個						
直列エット (金属プレート)	1端子 端末			3	個						
防雨入線加*-				1	個						

本庁舎分室	本庁舎分室 テレビ共同受信設備										
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
取外し・再取付										別紙 00-0021	
				1	式						
撤去					1(					別紙 00-0022	
				1	_12						
計					式						
н											

#### 電気設備工事 細目別内訳

	争 和日別的										/ 1
本庁舎分室			火災報知設備								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 ]	6mm		11	m						
EM- HPケープ ル	1.2 mm- 2C ピット・天井			20	m						
EM- HPケーフ* ル	1.2 mm- 2C FEP内(PF•CD)			11	m						
合成樹脂製 スイッチボックス(カバー付 )				3	個						
非常警報複合装置	埋込			3	個						
撤去				1	式					別紙 00-0023	
<u> </u>											

本庁舎分室		空気調和設備					機器設備			
名 称	摘要	数	量	単位	単	価	金額	備	考	
パッケージエアコン (寒冷地仕様) AC-1	暖房能力11.2kW・冷房能力10.0kW 壁掛型(同時パン)・ワイヤート リモコン・ト・レンア ップ メカ・防雪屋根・平置架台他		2	台						
マ/F17コン(室外機) (寒冷地仕様) ACP-1	暖房能力18.0kW・冷房能力16.0kW 防雪屋根・平置架台・固定プロッケ*2・室 外機転倒防止・分岐管他		1	台						
マ/ アコン(室内機) (寒冷地仕様) ACP-1-1	暖房能力6.3kW・冷房能力5.6kW 壁掛型・ドレンアップメカ・ワイヤードリモコン他		3	台						
ルームエアコン ACR-4 取外し・再取付	壁掛型・暖房5.0kW・冷房4.0kW 配管新設・架台再使用		1	台						
ルームエアコン ACR-5 取外し・再取付	壁掛型・暖房5.0kW・冷房4.0kW 配管新設・架台再使用		1	台						
FF式石油暖房機 FF-4 取外し・再取付	暖房出力7.41kW 給排気筒・オイルコック再使用		2	台						
ポ/ゖーパ- OS-2 取外し・再取付	灯油用·最大揚程8m		1	台						
オイルタンク TO-1 取外し・再取付	200型		1	基						
計										

本庁舎分室		空気調和設備			配管設備	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	19.05外径(3/4B) が 7管 厚20mm以上	10	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修 冷媒用	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	23	m			
断熱材被覆銅管 改修	12.7 外径( 1/2B) が 7管 厚20mm以上	19	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径(3/8B) ガス管 厚20mm以上	19	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	9.52外径( 3/8B) 液管 厚10mm以上	33	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管 改修	6.35外径( 1/4B) 液管 厚10mm以上	38	m			
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	屋外架空・暗渠 25A	18	m			
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	屋内一般 20A	36	m			
油·被覆銅管	1/4( 8) 9. 52mm	25	m			
小計						
保温化粧ケース (樹脂製)	140 × 80	36	m			
ドル用逆止弁	20A25A兼用型	6	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0024
機械ハツリ		1	式			別紙 00-0025
<del>] </del>			1/			

本庁舎分室		換気設備		機器設備						
名 称	摘要	数	量	単位	単 価	金 額	備考			
天井換気扇 FE- 1	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダ クト φ 100・風量強120m3/h・24H60m3/h・SU S製深型フート・天吊金具・スイッチ	J	1	台						
天井換気扇 FE- 2	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダクト φ100・風量強130m3/h・24H40m3/h・Sl S製深型フード・天吊金具・スイッチ	J	1	台						
天井換気扇 FE-3	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強300m3/h・24H60m3/h・SU S製深型フード・天吊金具・スイッチ	J	1	台						
天井換気扇 FE-4	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダクト φ150・風量強350m3/h・24H100m3/h・S US製深型フード・天吊金具・スイッチ	3	1	台						
天井換気扇 FE-5	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダクト φ 150・風量強460m3/h・24H50m3/h・S US製深型フード・天吊金具・スイッチ		1	台						
天井換気扇 FE-6	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダ クト φ 150・風量強485m3/h・24H160m3/h・S US製深型フード・天吊金具・スイッチ	3	1	台						
天井換気扇 FE-7	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダクト φ150・風量330m3/h・SUS製深型フード・ 天吊金具・スイッチ		2	台						
天井換気扇 FE-8	低騒音形・高密閉風圧式シャッター・ダウト φ150・風量340m3/h・SUS製深型フード・ 天吊金具・スイッチ		2	台						
天井換気扇 FE-9	低騒音形・風圧式シャッター・ダウト φ 200・ 風量強600m3/h・弱400m3/h・SUS製深型フード・天吊金具・スイッチ		1	台						
パイプ用ファン FE- 10	角形格子グリル・電気式シャッター・ダクトφ1 00・風量50m3/h・SUS製深型フード・スイッラ	f	1	台						
パイプ用ファン FE-11	角形格子グリル・電気式シャッター・ダクトφ1 50・風量80m3/h・SUS製深型フード・スイッラ		2	台						
有圧換気扇 FE- 12	排気専用・羽根径25cm・風量800m3/h・ SUS製電動シャッター付ウェザーカバー・取付枠 ・バックガード・スイッチ		1	台						
自然給気エット OA- 1	ダウトφ100・角形・壁据付・シャッター開口 面積調節・ロック機構・風圧シャッター・外気 清浄フィルター・SUS製深型フート		2	組						
自然給気エニット 0A-2	ダウトφ150・角形・壁据付・シャッター開口 面積調節・風圧シャッター・外気清浄フィルター・SUS製深型フート		4	組						
給排気ゲリル OA-3	ダ かトφ 200・丸形・天井据付・風量調節 ・SUS製深型フード	Ī	1	組						

		換気設備	備							
摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
	摘	摘要	摘要数	摘要数量	摘要数量单位	換気設備	換気設備	接续設備	換気設備	換效設備

本庁舎分室		換気設備			ダクト設備	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 200mm	5	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 150mm	17	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート無 100mm	6				
小計			m			
保温工事		1	4-			別紙 00-0026
機械ハツリ		1	式式			別紙 00-0027
計			I			

本庁舎分室		衛生器具設備				
名 称	摘要	数	単位	単 価	金 額	備考
腰掛式便器	TOTO: CS232BM SH232BA TCF6623 LIXIL: BC-Z30H DT-Z350HN CW-KB3 NKF-3WU2	1	2 組			
床置小便器	TOTO: UFH507CR TG600PL LIXIL: U-321RM UF-3JHT		1 組			
コーナー手洗キャヒ* ネット コーナーミラーキャヒ* ネット	TOTO: 該当品無 LIXIL: YL-D201CCHE TSF-621		2 組			
手洗キャビネット	TOTO: ULRB3LTBNNNNNNN LI XI L: L- D203SCHE		1 組			
化粧鏡	TOTO: YM4560A LI XI L: KF- 4560		1 枚			
ミト"ルキャヒ"ネット	TOTO: UGLD05 LI XI L: TSF- 107		2 組			
タオルリンク。	TOTO: YT405 LI XI L: FKF- AD70C		3 個			
<b>≅</b>  -						

本庁舎分室		給水設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
水道用ポリエチレン管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 25A	4	m			
水道用ポリエチレン管 改修	軟質管・金属製継手接合 地中配管 20A	4	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PD) 改修	ねじ接合 地中配管 20A	10	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP-PD)改修	ねじ接合 屋内一般 20A	4	m			
給水・ポリ粉体 ライニング鋼管 (SGP- PD) 改修	ねじ接合 屋内一般 15A	6	m			
小計						
水抜栓	一般形 20A 1.0m	3	個			
遠隔開閉器具	1F用(15~25mm)	3	組			
吸気弁付継手	LKSTL型 φ 13	5	個			
吸気弁付止水栓	アンケ ル型 φ 13	1	個			
吸気弁	20A	1	個			
保温工事		1	式			別紙 00-0028
土工事		1	式			別紙 00-0029
計						

本庁舎分室		排水設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VU) 改修	地中配管 100A	1	6 m			
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	地中配管 75A		5 m			
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP) 改修	屋内一般 50A		8 m			
排水・硬質ポリ 塩化ピニル管 (VP)改修	地中配管 40A	,	7 m			
小計						
プ゚ラスチック桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩ピふた付 501~800		1 組			
プ。ラスチック桝	桝径150φ 最大排水管径100φ UTK、UT 塩ピふた付 501~800	:	3 組			
プ。ラスチック桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ピふた付 501~800	:	2 組			
プ。ラスチック桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90L、45L 塩υ* ふた付 801~1200		1 組			
角桝	300□・グレーチング 下部砕石0. 1m3		1 組			
土工事			1 式			別紙 00-0030
<u> </u>						

本庁舎分室		給湯設備					
名 称	摘要	数	量	単位	単 価	金 額	備考
	TOTO: REKB12A1SW35D TH651 RHE140* 3 LIXIL:		1	台			
Ħ							

本庁舎分室			撤去工事								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
機器類撤去										別紙 00-0031	
				1	4-						
記管・ダクト類撤去					式					別紙 00-0032	
				1						33.12	
上工事					式					別紙 00-0033	
L-1-P				1						万小队 00-0033	
					式						
計											

本庁舎分	室			直接仮設					解体用			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
外部足場					1						別紙 00-0001	
					1	定						
枠組本足	場	建枠 600×1700	布枠500×1枚			- `						
(手すり先	记行方式)	掛払い手間 12m未満			140	m²						
枠組本足:	場	建枠 600×1700	布枠500×1枚			111						
(手すり先	记行方式)	基本料 修理費含	ל		140	2						
枠組本足	捏	12m未満 建枠 600×1700	布枠500×1枚			m²						
(手すり先	·/// 记行方式)	供用1日賃料 修理	費含む		1							
		12m未満				式						
安全手す (手すり先		枠組本足場用 掛払い手間			37. 6							
		-				m						
安全手す	りったまり	枠組本足場用 基本料 修理費含む	ra .		37. 6							
(子9 ソカ	L11/J1V)	至平村 修柱貝百·	2		31.0	m						
安全手す		枠組本足場用	Table A. N.									
(手すり先	记行方式)	供用1日賃料 修理	質含む		1	式						
計	+					1(						
災害防止											別紙 00-0002	
炎舌防止					1						万寸和式 00-0002	
						式						
災害防止 (ネット状塗		防炎1類 30日			140							
止養生シ					140	m²						
言	†											

本庁舎分室	77.747.67.744	直接仮設解体用											
名 称	摘	要	数数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
内部足場	捐制	安	釵	里	平1世	平	1Щ	並	积	別紙 00-0003	与		
P T T P A C - M				1						万寸和人 00-0003			
					式								
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場	3		104									
	階高4.0m以下	転用数 1		104	m²								
安全ネット張り	防炎ポリエステル	TA/113X 1			- 111								
(水平張り)	掛払い手間			125	2								
安全ネット張り	防炎ポリエステル				m²								
(水平張り)	基本料 修理費含む	?		125									
				120	m²								
安全ネット張り	防炎ポリエステル	# 4.											
(水平張り)	供用1日賃料 修理資	買合む		1	式								
計					1								
仮設材運搬										別紙 00-0004			
				1	式								
仮設材運搬	建枠幅600				1								
(枠組本足場)				140									
(手すり先行方式) 仮設材運搬	枠組本足場用(手す	り生存士士			m²								
(安全ですり)	件租平足場用(于9	9元11万式)		37. 6									
,					m								
仮設材運搬				1.40									
(シート・ネット類)				140	m²								
仮設材運搬	平家建				111								
(内部仕上足場				104	2								
脚立足場) 計					m²								
ПΙ													

本庁舎分室			直接仮設					耐震補強	・改修		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金		備	考
養生				1						別紙 00-0005	
				1	式						
養生(外壁改修)				070							
				379	m²						
養生(外壁改修)					111						
				200	m²						
養生(内部改修)	個別改修				111						
				393	m²						
計					m						
整理清掃後片付	.+									別紙 00-0006	
定任何市场/门门	0			1						万寸和人 00-0000	
##rm'##4366     /					式						
整理清掃後片付(外壁改修)	7			379							
				0.0	m						
整理清掃後片付(外壁改修)	(t)			200							
				200	m²						
整理清掃後片付	け個別改修			393							
(内部改修)				393	m²						
計											
			1								

本庁舎分室		直接仮設			耐震補強・改修	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
外部足場						別紙 00-0007
		1	式			
枠組本足場	建枠 900×1700 布枠500+240		11			
(手すり先行方式)	掛払い手間	486				
枠組本足場	12m未満	_	m²			_
	基本料 修理費含む	486				
	12m未満		m²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む	1				
(子99元11万式)	12m未満	1	式			
枠組本足場	建枠 600×1700 布枠500×1枚					
(手すり先行方式)	掛払い手間 12m未満	137	2			
枠組本足場	建枠 600×1700		m²			
(手すり先行方式)	基本料 修理費含む	137				
14 AD 14 D 18	12m未満		m			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用1日賃料 修理費含む	1				
,	12m未満	1	式			
安全手すり	枠組本足場用	117				
(手すり先行方式)	掛払い手間	117	m			
安全手すり	枠組本足場用		111			
(手すり先行方式)	基本料 修理費含む	117				
安全手すり	-  枠組本足場用		m			
(手すり先行方式)	供用1日賃料 修理費含む	1				
3.1	-		式			
計						
			-			

本庁舎分室			直接仮設					耐震補強・ご	女修		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
内部足場										別紙 00-0008	
				1	式						
内部仕上足場	基本料 修理費含む				I						
	脚立足場			345							
内部仕上足場	階高4.0m以下 基本料 修理費含む	転用数 1			m						
内部江上足場	基本科 修理員 3 0 脚立足場			345							
内部階段仕上足場	階高4.0m以下	転用数 2		010	m²						
内部階段仕上足場	掛払い手間										
				5	m						
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む				111						
				5							
+1-2000 CO. / L.	供用1日賃料 修理費	<b>△</b> +•			m²			_			
内部陷较任工足场	供用1口貝科 修理員	30		1							
				1	式						
Ħ											
災害防止										別紙 00-0009	
火口防止				1						7月45 00-0003	
					式						
災害防止 (シート・ネット類)	ネット状 養生シート張(防疹 掛払い手間	炎1類)		623							
(ソート・イット矢貝)	141477、十间			023	m²						
災害防止(ネット状塗	防炎1類										
装飛散防止養生シ				1	_12						
ート. 日額損料) 計					눛						
н											
					<del>                                     </del>			+			

本庁舎分室		直接仮設 耐震補強・改修								
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考				
仮設材運搬		1				別紙 00-0010				
/r=30.4-1×cr4én.	74-th=000(+t-t-)		式							
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式	建枠幅900(二枚布) 	486	m							
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式	建枠幅600	137	m							
(安全ですり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	117								
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		5	m m²							
位上足場) 仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	345	m²							
仮設材運搬 (シート・ネット類)		623	m²							
Ti-										

本庁舎分	室			とりこわし・扌	散去				木造撤去			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
木製棚撤去	去	集積共									別紙 00-0011	
					1	式						
休憩室棟	倉庫	W=3500、合板棚板				1						
		中柱1本 90x90 H=	2670		3	か所						
事務室棟	廊下	W=2800, H=1800	3段			73.151						
* ***		中柱1本 90x90 H	I=1800		1							
事務室棟	物黑	W=2800, H=1800				か所						
争彻至怀	170回	棚板 3段			1							
-t-warda lak	47-00					か所						
事務室棟	物置	W=1170、H=1800 棚板 3段			2							
					2	か所						
事務室棟	書庫	W=2600, H=1780										
		棚板 4段			1	か所						
事務室棟	書庫	W=2120, H=1780				73 771						
		棚板 4段			1	か所						
i	ŀ					73.151						
						+						
				1								

本庁舎分割	室			耐震(躯体)改修			RC造補強				
名	称	摘	要	数量	単位	単 価	金	額	備考		
鉄骨本体				1	式				別紙 00-0012		
ケミカルフ	アンカー	D 22		176	か所						
ケミカルアンカー弓	張試験	試験費 D22 12か所		1	式						
ケミカルアンカー弓	張試験	報告書作成		1	式						
小。一又下無山	又縮モルタル	W400		44	m						
柱背面 無収縮モル	外充填	W300		85. 6	m						
鋼材費				1	式				別紙 00-0012/00-001		
副資材費				25, 024	kg						
ボルト類				1	式				別紙 00-0012/00-002		
工場加工資	費			25, 024	kg						
錆止め塗装	麦費	JIS K-5674(工場 1 回塗		25, 024	kg						
JISブレー	·Z			1	式				別紙 00-0012/00-003		
運搬費				27, 221	kg						
場内 小運				27, 221	kg						
現場工事質	費			27, 221	kg						

本庁舎分室		耐震(躯体)改修			RC造補強	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
鉄骨本体						別紙 00-0012
		1	式			
社内検査費		0				
		27, 221	kg			
施工図・現寸図	費		1.5			
		27, 221	kg			
大引き受け	SS400		Kg			
P L - 6		120				
大引き受け	D- LOCK		kg			
中ボルト M 1 2		30				
スクラップ控除			kg			
ハノノノノ江州		1, 306				
第三者超音波	AOOL基準 2ロット		kg			
第二百起百仮 検査費用	(検査対象総箇所数 448か所)	40				
	()		か所			Filling on annual on and
仮設工事		1				別紙 00-0012/00-004
		1	式			
現場調査 及び 実測費		1				
		1	式			
計						

本庁舎分室		耐震(躯体)改修			RC造補強				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考			
鋼材費		1	式			別紙 00-0012/00-001			
H- 300x300x10x15	SS400	10, 694	kg						
H- 300x150x6. 5x9	SS400	652	kg						
H- 294x200x8x12	SS400	4, 350	kg						
H- 200x200x8x12	SS400	2, 873	kg						
H- 194x150x6x9	SS400	1, 431	kg						
H- 100x100x6x8	SS400	233	kg						
C- 100x50x20x3. 2	SSC400	309	kg						
FB- 9x25	SN490B	265	kg						
PL- 25	SN490C	383	kg						
PL- 22	SN490C	433	kg						
PL- 19	SN490C	335	kg						
PL- 16	SN490C	212	kg						
PL- 12	SS400	800	kg						
PL-9	SS400	2, 838	kg						

本庁舎分室		耐震(躯体)改修			RC造補強	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
鋼材費						別紙 00-0012/00-001
		1	式			
PL- 6	SS400		1(			
		467	kg			
計			Kg			
ボルト類						別紙 00-0012/00-002
41/1/ I. 岩		1				// ነታያለ ነው- ሀሀ ነ ሬ/ ነው- ሀሀ ሬ
72.1 11.1	070 100 III 10 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17		式			
アンカーボルト M20	SNR400 腰折れ 定着板付	28				
			kg			
HTB M22	S 1 0 T	591				
		331	kg			
HTB M20	S 1 0 T	655				
		600	kg			
HTB M16	S 1 0 T	450	- 0			
		150	kg			
計			.,,			
JISブレース						別紙 00-0012/00-003
		1	-42			
JISプレース M30			式			
3.37 7 /1 111 0 0		385				
JIS7° V-X M20			kg			
JIS/V: A IVIZU		388				
=1			kg			
計						

本庁舎分室		耐震(躯体)改修				RC造補強	
名 称	摘要	数量	単位	単	価	金 額	
仮設工事							別紙 00-0012/00-004
		1	式				
カニクレーン	使用期間10日		1				
		1	/-				
カニクレーン			台				
搬入・引取り費		2					
高所作業車			回				
向別作耒里		2					
		_	台				
高所作業車 運搬費		2					
		2	回				
計							
梁連結							別紙 00-0013
<b>术</b>		1					77-74-GO - GO 13
Not L. L. abb			式				Filled 00 0010 (00 001
鋼材費		1					別紙 00-0013/00-001
		1	式				
副資材費		1, 017					
		1, 017	kg				
ボルト類費							別紙 00-0013/00-002
		1	式				
工場加工費	梁連結		工				
		1, 017					
錆止め塗装費	JIS K-5674(工場 1 回塗)		kg				
野山の主衣貝	J15 K-3014 (工物1 四至)	1, 017					
771 I 1 - db	371 V+ 44	***	kg				
現場工事費	梁連結	1, 077					
		1,077	kg				
計							
	1	1	1			1	

本庁舎分	潌			耐震(躯体)引	女修				RC造補強				
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備考		
鋼材費					1						別紙 00-0013/00-001		
					1	式							
FB- 9x25		SN490B											
					46	kg							
PL- 16		SS400				Ng.							
					468	,							
PL- 12		SS400				kg							
					404								
PL- 9		SS400				kg							
r L- 9		33400			149								
	31					kg							
i	計												
ボルト類	費										別紙 00-0013/00-002		
					1	式							
НТВ	M 2 0	S 1 0 T				1							
					60	l. o							
	計					kg							

#### 電気設備工事 別紙明細

	.事 別紙明細									95
本庁舎分室			幹線設備							
名 称	摘	要	数	量	単位	単 価	金	額	備	考
撤去				1					別紙 00-0014	
					式					
電灯盤A 撤去	再使用しない			1						
				1	面					
電灯盤B 撤去	再使用しない			1						
					面					
電灯盤C 撤去	再使用しない			1						
					面					
電灯盤D 撤去	再使用しない			1						
					面					
開閉器箱 撤去	MCCB2P 30AF× 1個 再使用しない			1						
					個					
開閉器箱 撤去	ELCB3P 100AF× 1個 再使用しない			1						
	H(Z/110/8V			1	個					
計										

本庁舎分室	f	電灯設備			電灯分岐	
名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
撤去						別紙 00-0015
		1	式			
タンプ ラスイッチ	大角形1P15A×1		14			
撤去	再使用しない	7	個			
タンプ・ラスイッチ	大角形1P15A×2		714			
撤去	再使用しない	10	個			
タンプ・ラスイッチ	大角形1P15A×3					
撤去	再使用しない	2	個			
タンプ ラスイッチ	大角形1P15A×1, 3W15A×1		Iltil			
撤去	再使用しない	1				
タンプ ラスイッチ	大角形3W15A×1		個			
撤去	再使用しない	3				
1			個			
タンブ ラスイッチ 撤去	大角形1P15A×2,1PL15A×1 再使用しない	1				
		1	個			
コンセント	大角形2P15A×1	_				
撤去	再使用しない	5	個			
蛍光灯器具	露出形 FL 20W ×1					
撤去	再使用しない	13	個			
蛍光灯器具	露出形 FL 40W ×1		Iltil			
撤去	再使用しない	7				
蛍光灯器具	露出形 FHF 32W ×2		個			
撤去	再使用しない	4				
WALESTIN D	## (LIP P) (O)		個			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 40W ×2 再使用しない	19				
		13	個			
蛍光灯器具 脚土	露出形 FL 30W ×1					
撤去	再使用しない	5	個			
Hf コンハ゜クト	露出形 FHT 13W ×1 再使用しない					
蛍光灯器具 撤去		1	個			
瓶玄 蛍光灯器具	つり下げ形 FHF 32W ×2		119			
撤去	再使用しない	1				
			個			

本庁舎分室	_争 別拟明和	電灯設備					電灯分岐			91
名 称	摘要	数	量	単位	単(	西	金	額	備	考
撤去	到刷 安	奴人	里	中世	平 1	μц	ZIZ	枳	別紙 00-0015	5
JHX Z			1						))·]/  L 00-0015	
				式						
蛍光灯器具 撤去	つり下げ形 FL 40W ×2 再使用しない		22							
1似云	再使用しない		33	個						
白熱灯器具 撤去	シーリングライト 再使用しない			Ilia						
撤去			6							
±1.				個						
計										

本庁舎分室			電灯	丁設備		コンセント分岐						
名	称	摘要		数	量	単位	単	価	金	額	備	考
撤去					1	式					別紙 00-0016	
コンセント 撤去		大角形2P15A×1 再使用しない			2	個						
コンセント撤去		大角形2P15A×2 再使用しない			30	個						
コンセント撤去		大角形2P15A×2(接地端子付) 再使用しない			1	個						
コンセント撤去		大角形2P15/20A×1(接地極・抗 再利用しない	妾地端		2	個						
計												

本庁舎分室		電熱設備					
名 称	摘	数	量	単位	単 価	金 額	備考
撤去			1	式			別紙 00-0017
電気暖房器 撤去	輻射式 天吊形 ステン 400W 100V, 200V - 再使用しない 一般型 両切 22A	ルス製	5	台			
サーモスタット 再使用しない	一般型 両切 22A 再使用しない		5	個			
計				Beel			

本庁舎分室		構内情報通信網設備				
名 科	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
ケープル成端	モジュラープラグ、モジュラージャックを含む	1	式			別紙 00-0018
モシ゛ュラーブ゜ラク゛		5	個			
モシ゛ュラーシ゛ャック		10	個			
成端作業		12	か所			
計			//			

本庁舎分室	_争		構内交換設備								10
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
撤去				1	式	·				別紙 00-0019	
フラッシュプレート 撤去	角型 ハトメ 再使用しない			8	個						
計					Bed						

本庁舎分室		拡声設備				
名 乖	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備考
撤去		1				別紙 00-0020
		1	式			
スピーカ 撤去	壁掛型 再使用しない	_				
		5	個			
アッテネータ 撤去	再使用しない		IJei			
撤去		5	個			
計			lid			
		l .		l.	l .	1

本庁舎分室	本庁舎分室 テレビ共同受信設備												
名 称	摘要	数	量	単位	単 価	金 額	備考						
取外し・再取付			1	式			別紙 00-0021						
コンセント 取外し・再取付	大角形2P15A×2 -		1	個									
<b>≅ </b> -													
撤去			1	式			別紙 00-0022						
アンデナ 撤去	VHF-12EL 1段目 再利用しない		1	組									
アンテナ 撤去	UHF-20EL 2段目 再利用しない		1	組									
アンテナマスト 撤去	壁面取付形(汎用) 2.0m 再利用しない		1	基									
増幅器 撤去	汎用品 屋 外 再利用しない		1	個									
分配器 撤去	一般 屋外 4分配器 再利用しない	}	1	個									
テレビ端子 撤去	再利用しない		13	個									
計													

本庁舎分	分室			火災報知設備								
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
撤去											別紙 00-0023	
					1	式						
スポット形	感知器	差動式 2種 露出 再利用しない				1						
撤去		再利用しない			9	個						
	計					7101						

本庁舎分室	_争 別紙明細		空気調和設備					第72年3月7年			10:
	144				200.00	***		配管設備	-for		
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
保温工事										別紙 00-0024	
				1	式						
排水管 保温	標仕保温材				17						
19F7N 🗀 1/N IIII	天井内、パイプシャフト内 ア	ルミカ゜ラスクロス		5							
	25A 標仕保温材			-	m						
排水管 保温	標仕保温材										
	天井内, パイプシャフト内 ア゚ 20A	ルミカ゛ラスクロス		16. 5							
計	ZUA				m						
п											
機械ハツリ										別紙 00-0025	
が交が及びグ				1						7小瓜 00-0023	
				1	式						
機械はつり(ダイヤ・	モ 300mm程度 75mm										
ント・カッターによる				4	, ~						
配管用貫通口) 計					か所						
ΠĪ											
								1			
								1			
								1			

本庁舎分	室		1	奥気設備					ダクト設備			
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
保温工事	F				1						別紙 00-0026	
					1	式						
スハ゜イラルタ゛	外保温	グラスウール 屋内隠へ										
(32K)		アルミカ゛ラスクロス 保温厚25	200mm		1. 9	m						
スハ゜イラルタ゛	か保温	グラスウール 屋内隠ヘ	ぺい, ダクトシャフト内			111						
(32K)		アルミカ* ラスクロス 保温厚25 ケ* ラスウール 屋内露出	150mm		9. 9	m						
スハ゜イラルタ゛ (32K)	か保温	グラスウール 屋内露出 カラー亜鉛鉄板	년 150mm		1. 4							
		保温厚50			1. 4	m						
スハ゜イラルタ゛	か保温	グラスウール 屋内隠^ アルミガラスクロス	ペい, ダクトシャフト内 100mm		2. 4							
(32K)		保温厚25	TOOMIN		۷. 4	m						
Ī	計											
機械ハツリ											別紙 00-0027	
					1	式						
機械はつ	) り(ダイヤモ	300mm程度 200mm				工						
ント゛カッター(					6	2.00						
配管用質手はつり	(週口) (	コンクリートフ゛ロック 300mm 科	記度 0.1m <sup>2</sup>			か所						
(ダクト貫)			0. 1111		3							
	H					か所						
	11											
		Ē.							1		L.	

本庁舎分室		給水設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
保温工事						別紙 00-0028
		1	式			
給水管 保温	標仕保温材		1-(			
	天井内, パイプシャフト内 アルミガラスクロス 20A	4. 3				
給水管 保温	標仕保温材		m			
	屋内露出 合成樹脂製カパー1	5. 5				
計	15A		m			
HI.						
土工事		1				別紙 00-0029
		1	式			
根切り(機械)	ハ ックホウ O. 13m3	4.1				
	排出がス対策型 油圧式ケローラ型	4. 1	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし		1110			
		1. 3	m3			
山砂			1110			
		1. 3	2			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3		m3			
	排出がス対策型 油圧式クローラ型	2. 8				
計			m3			
н,						

本庁舎分室		排水設備				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
土工事						別紙 00-0030
		1	式			
根切り(機械)	ハ"ックホウ O. 13m3		1(			
,,	排出ガス対策型 油圧式クローラ型	4. 9				
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし		m3			
是以尤工工是生	八万幅的級なりし	1. 7				
			m3			
山砂		1. 7				
		1. /	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3	2.2				
	排出がス対策型油圧式クローラ型	3. 3	m3			
計			1110			
		<del></del>				

本庁舎分室		指	去工事						
名 称	摘	要	数	量	単位	単 価	金額	備	考
機器類撤去								別紙 00-0031	
				1	式				
煙空式石油暖房機	暖房出力16.3kW•煙突‡	:			工				
F- 1	- жуурцуу 10: 0кш /± усу	`		1					
無が十二十四三十十	暖房出力11.0kW•煙突却	-			台				
屋矢八口佃废房傚 F-2	废房田刀11. UKW• 煙矢៛	5		1					
				-	台				
FF式石油暖房機 FF-1	暖房出力5.0kW•給排気	<b></b>							
PP- 1				1	台				
FF式石油暖房機	暖房出力15.9kW•給排気	筒共							
FF- 2				1	/>				
FF式石油暖房機	暖房出力6.28kW•給排気	· 管土			台				
FF- 3	1987) EDIKII 1913/ X	CIPIZ		1					
d tubbus	마찬[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[[	io oru			台				
ルームエアコン ACR- 1	壁掛型・暖房7.1kW・冷房	₹6. 3KW		2					
				L	台				
ルームエアコン	壁掛型・暖房4.8kW・冷房	₹2. 8kW							
ACR- 2				1	台				
ルームエアコン	壁掛型・暖房3.2kW・冷房	32. 8kW							
ACR- 3				1					
冷媒回収•破壊費	R32: 2. 84kg				台				
170米四亿 收收員	R- 22: 0. 58kg			1					
2 210 - 8	R410A· 0 98kg				式				
オイルサーパー OS- 1	灯油用·最大揚程8m			2					
				L	台				
オイルタンク	250型•防油堤共								
T0- 2				1	基				
オイルタンク	490型·表示板3枚共				坐				
T0-3				1	++				
オイルタンク	小型•65L				基				
TO- 4	1. ± .00F			1					
10 b=	771/700 1 18 1 * 17				基				
換気扇 FE- 1	羽根20cm・ウェザ -カバ -共			4					
FE- 1				4	台				

本庁舎分室 撤去工事											
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考					
機器類撤去		_				別紙 00-0031					
		1	式								
換気扇	羽根20cm										
FE- 2		2	台								
天井換気扇	ダ ケト φ 100										
FE- 3		1	台								
天井換気扇	二部屋換気用・ダクトφ100		Ш								
FE- 4	副吸込が训共	1	台								
天井換気扇	ø°										
FE- 5		1	台								
換気扇	羽根25cm•ウェザーカバー共										
FE- 6		2	/5								
換気扇	循環空調形		台								
FE- 7		1	/5								
大便器撤去	タンク式 再使用しない		台								
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1	411								
和風便器撤去	タンク式 再使用しない		組								
	100000	5	Arr								
小便器撤去	洗浄弁式壁掛小便器		組								
7 (200)002	再使用しない	3	6.00								
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器		組								
7 (200)62	再使用しない	4									
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない		組								
1) Charlin IIIV 2	7-12-191 (1/12-191 11/X/11 0/8V	6									
鏡撤去	再使用しない		組								
20元14八二	TIK/11 0/4 V	3									
単水栓類	φ 13		枚								
一一八八王大只	Ψ10	8									
カ゚ス湯沸器	壁掛型・5号		個								
ル AGG(明 名5 WHG	至用王 3万	2									
			台								

本庁舎分室			撤去工事										
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
幾器類撤去										別紙 00-0031			
				1	式								
末上掃除口	COA100				1(								
				2									
末上掃除口	C0A50				個								
水工加州山	CONSO			1									
1,++-+Λ	104 > / 1 OH				個								
<b>火抜栓</b>	13A×1.0H			2									
					個								
通気金物	50A			3									
				3	個								
1ンクリート桝	300□×0. 44H												
				2	組								
<b>処理槽</b>	1200×300×0.5H				州口								
				1	40								
計					組								
н													

本庁舎分室		撤	去工事								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
配管・ダクト類撤去										別紙 00-0032	
				1	式						
油配管	被覆銅管φ8				工						
	IX IX FIT II T			37. 2							
油配管	SGP15A 屋内				m						
油配官	SGPTOA 座内			17. 5							
				11.0	m						
カ゚ス配管	SGP15A 屋内			21. 9							
				21. 9	m						
給水配管	PB15A 屋内				111						
				13							
給水配管	VP25 地中				m						
M177 H16 H1	1120 22 1			25. 6							
ΔΛ [.π'-)Λήν	TIDOO III-I-				m						
給水配管	VP20 地中			12. 6							
				12. 0	m						
給水配管	VP13 地中										
				8. 1	m						
冷媒配管	φ 9. 52				111						
				33. 5							
冷媒配管	φ 6. 35				m						
THANKELE	ψ 0. 33			33. 5							
III. I. See been to					m						
排水, 通気配管	VP50 屋内			19. 2							
				15. 2	m						
排水配管	W100 地中										
				18. 2	m						
塩ピタ゚クト	VP100				m						
				9. 2							
フパスラルダクト(作圧	150mm 再使用しない				m						
高圧1、2ダクト)	150㎜ 骨灰用しない			0.8							
高圧1、25° 5ト) 撤去					m						
計											

本庁舎分室		撤去工事				
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
土工事						別紙 00-0033
		1	式			
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型					
	排出がス対策型 油圧式クローラ型	18.	2			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3		m3			
	機 械 パックホウ 0.13m3 排出カ゚ス対策型 油圧式クローラ型	18.	2 m3			
計						

名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
仮囲い	シート張り H=2.0m 6ヶ月	77. 8	m			
仮門	‡ャスターケ*ート W6. 0×H1. 8m 6ヶ月	1	か所			
iii.			7771			

# 令和 7 年度

本庁舎分室耐震改修工事

# 施工条件明示(特記仕様書) 当初設計

財務部契約管財課

別紙	特記仕様書(カ	施工条件明示)			
明示 項目	明 示 事 項	適用の 有 無	内容		
適用範囲	<ul><li>本特記仕様書は、</li><li>本庁舎分室耐震改修工事</li><li>本特記仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</li><li>・様書にに記載のない事項については、発注者の指示に</li></ul>		(以下「本工事」という 築工事標準仕様書(以下「標準仕様書」と		
	1 工期	有			
	うち余裕期間   15 日間   ※工:	期の始期 事開始日 か休工日 7日 4日 6日 な)による	間 間 (木日日数 「能日数等	ベエ日、連休等)を含	
	2 概成工期 (概成工期とは、標準仕様書に定めるものをいう。)	無		1138813888118888118881188811888118881188811888118	
	3 債務負担工事	無	本工事は、年債務で	·ある。	
	4 「余裕期間の設定」の有無	有			
・ 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行 期間を設定した工事である。					
	・ 本工事の余裕期間及び実工期の始期日(工事開始日)	は以下の	とおりとする。		
工	余裕期間:契約書に定める工期の開始日から		15 日間		
程	工事開始日:契約書に定める工期の始期日から		15+1 日目		

工程関係

- ・ 余裕期間内は、現場代理人及び主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行う ことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責に より行うものとする。
- ・ 工事実績情報サービス(コリンズ)は、実工期にて登録するものとし、工事開始日(変更後の工事開始日含む。)後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録申請するものとする。
- ・ 工事請負契約書別記第3条の規定に基づく工程表には、余裕期間も含めた全体工期を記載するものとする。
- ・ 工事請負契約書別記第4条の規定に基づく契約保証の期間は、全体工期を満たすものとし、契約締結の日から全体工期の終期日までを対象とするものとする。
- ・ 工事請負契約書別記第10条の規定に基づく、現場代理人及び主任技術者等の通知については、工事開始日までに通知するものとする。
- ・ 工事請負契約書別記第16条第2項の規定に基づく、工事用地の管理は、工事開始日の前日までは、発注者の責任において行うものとし、受注者に資材の搬入や仮設物の設置等を行わせてはならないものとする。
- ・ 工事開始日の前日までの期間に施工体制及び建設資材の確保が図られる場合等は、受発注者協議により、工事開始日を変更することができるものとする。
- 詳細については、以下のホームページを参考とすること。

 $\underline{\text{https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1010910.html}}$ 

《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>技術関連等>【建築工事関係】「余裕期間」の 設定について》

#### 5 週休2日工事の対象

有

- ・ 本工事は、岩手県県土整備部週休2日工事実施要領に定める 「週休2日工事(発注者指定型)」である。
- ・ 実施にあたっては、「岩手県県土整備部週休2日工事実施要領」に基づき行うこと。
- ・ 週休2日に取り組んだ受注者については、県のホームページ等で公表する。
- ・ 詳細については、以下のホームページ「岩手県県土整備部週休2日工事実施要領」を参照すること。

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1020285/1020291.html

《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設業の働き方改革>建設工事>いわてのi-Construction(アイ・コンストラクション)>工事における担い手確保対策(週休2日工事ほか)

- 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

		14 12 12 13 14		11 /4 4 /
明示 項目		明 示 事 項	適用の 有 無	内 容
	6	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合は、影響を受ける部分及び内容並びに他の工事の内容及び開始又は完了の時期	無	
	7	は、制限される施工内容、施工時期、施工時間及び施工方法	無	
	8	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合は、制約を受ける内容及びその協議内容並びに 成立見込み時期	無	
	9	関係機関、自治体、施設管理者等との協議の結果、特 定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合 は、影響を受ける部分及び内容	無	
工程関係	10	調査を必要とする場合は、その項目及び調査期間。又は、地下埋設物等の移設が予定されている場合は、その移設期間	無	
	11	工事一時中止の措置	有	
係	•	工事請負契約書別記第20条に基づき、工事を一時中』 事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」中の「工 詳細については、以下のホームページを参考とすること https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_tk4_000041.html 《国土交通省トップページ〉政策・仕事〉官庁営繕〉「営繕」	事一時中	
	12	た工期の延長変更について	有	では、アロスキールサイベロギンは、ノチが、キョス・ロス・マースの
	•	受任有は、工事請負契約書別記第21余に基づさ、工事延長変更を請求することができる。	発仕時(	こ際して見込む作業不能日数と著しく乖離した場合は、工期の
	•			箇所の最寄りの観測地点の暑さ指数(WBGT)を確認のうえ、 3GT)が31℃以上の時間帯をいう。)を踏まえて工期延長日数を
	•	上記により難い場合は、監督職員と協議のうえ決定する	ものとす	<b>ప</b> .
	13	その他		
	1	下請契約対象の限定 社会保険等に未加入である建設業許可業者を下請負/	<b>有</b> 人(二次)	以下の下請負人を含む。)とすることを原則として禁止する。
		正当な理由なく社会保険等未加入建設業者を下請負力 ① 工事成績評定の減点 ② 受注者への指名停止措置 詳細は以下のホームページによる。		

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/tetsuzuki/1010858.html

《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設業法の諸手続き(許可、経審等)>【お知らせ】県営建設工事における社会保 険等未加入対策の取組強化について》

#### 2 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書 有

・ 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書は、以下のホームページ「(農林水産部・県土整備部所管)岩手県営建 設工事請負契約書附属条件の一部改正について」により、様式をダウンロードし、必要事項の入力を行うものとする。

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1010908.html

《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>技術関連等>(農林水産部・県土整備部所 管)岩手県営建設工事請負契約書附属条件の一部改正について》

- 県外業者との下請契約締結報告書及び建設資材調書の提出は、紙又は電子データを監督職員に提出するものとする。
- 電子データを作製することが困難な場合は、電子データの提出は必要ないものとする。ただし、その場合は事前に監督職員の 承諾を得ること。

策 関 係

#### 3 新技術等の活用の推進について

無

- ・ 施工に先立ち、本工事内容について十分把握の上、設計図書で指定された工法及び技術を除き、新技術情報提供システム (NETIS)や岩手県新技術等活用促進事業等を利用して、新技術等の活用を積極的に推進するものとし、活用する新技術等がある場合は監督職員に報告するものとする。
- ・ 新技術等の活用により、設計図書の記載事項の変更が必要となる場合は、監督職員と協議するものとする。
- 新技術等の活用にあたり、監督職員から施工実態調査の実施を指示された場合は、これを行うものとする。 なお、調査結果については、工事名・受注者名を公表する場合がある。
- 岩手県新技術等活用促進事業の詳細については、以下のホームページ「岩手県新技術等活用促進事業」を参考とすること。

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/shingijutsu/1010856.html

- 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>新技術・経営革新>新技術等活用促進事業》
- 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

別紙	特記仕様書(施工条件明示)					
明示 項目	明示事項	適用の 有 無	内 容			
	4 再生資源利用認定製品	無				
	<ul> <li>以下の資材を利用する場合は、再生資源利用認定製品を利用するよう努めるものとする。</li> <li>詳細については、以下のホームページ「岩手県再生資源利用認定製品」を参考とすること。         https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/kankyou/seisaku/nintei/index.html         《岩手県トップページ&gt;くらし・環境&gt;環境&gt;環境政策&gt;岩手県再生資源利用認定製品》</li> </ul>					
	資材名	規 格	備考			
	5 設計変更について  ・ 設計変更については、工事請負契約書別記 ろであるが、その具体的な考え方や手続きにて 計変更ガイドライン(案)」によることとする。					

- 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild\_tk4\_000041.html

《国土交通省トップページ〉政策・仕事〉官庁営繕〉「営繕工事請負契約における設計変更ガイドライン(案)」について》

法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければなら 有 ない。

建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事

本工事は、受注者が希望するCCUSを活用した工事(以下「CCUS活用工事」という。)の対象である。

- 詳細については、以下のホームページ「岩手県県土整備部建設キャリアアップシステム活用工事実施要領(以下「要領」とい う。)」を参照すること。
- 県土整備部が発注する工事において、適用の有無が「無」の場合でも、CCUS活用工事の実施を希望する場合は、要領第4第 3項に基づく協議により、CCUS活用工事を実施できる場合があること。
- 適用が「有」の場合は、モデル工事の実施の有無に関わらず、要領第8によりアンケートを提出する必要があること(要領第4第 3項の協議によりモデル工事を実施した場合も含む。)。
- $\bullet \ \underline{\text{https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/1058795.html} \\$ 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設業の働き方改革>建設工事>建設キャリアアップシステム活用工事》

8 総合評価落札方式競争入札において建設キャリアアッ 無 プシステムの活用を提案する場合の取扱い

- 本工事が総合評価落札方式競争入札による発注で、受注者が技術提案評価項目Aで「当該工事における建設キャリアアップ システムの活用」を「活用する」として申請し評価点を得ている場合、受注者は「総合評価落札方式技術評価基準 別紙1(評価 基準及び配点(A)(以下「評価基準別紙1)」に定める内容を実施すること。
- やむを得ない理由として発注者が認めた場合を除き、履行が確認されなかった場合は工事成績評定における技術提案履行確 認を「不履行」として扱う。
- 詳細については、以下のホームページに掲載する「評価基準別紙1」の「6留意事項〔建設キャリアアップシステムの取組〕を参照 すること。
- https://www.pref.iwate.jp/kensei/nyuusatsu/kouji/1010493/kiteishu/1-2-03700.html 《岩手県トップページ〉 県政情報 > 入札・コンペ・公募情報 > 県営建設工事入札 > 県営建設工事入札各種資料 > 県営建設工 事入札契約規程集 > 1-2-03700 総合評価落札方式競争入札技術評価基準》

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

- 本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(以下「加速化対策」という。)に関する工事である。
- 対象が「有」の場合は、工事中の標示施設について以下のホームページを参考に「加速化対策」である旨を明示すること。
- https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017255/1061453.html 《岩手県トップページ> 県土づくり > 建設業 > 建設技術関連 > 設計・積算・入札 > 技術関連等 > 国土強靱化5か年加速化対 策工事における標示施設の設置》

10 現場環境改善(快適トイレの設置の試行)

- 受注者は、現場に快適トイレを設置することを原則とする。
- ・快適トイレの標準仕様及び積算方法は、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/1020273/1020277/index.html

《トップページ〉県土づくり〉建設業〉建設業の働き方改革〉建設工事〉快適トイレの導入》

快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項は対象外とする。

策 閗 係

	11 営繕工事の建設現場における遠隔臨場に関する試行 対象工事	有	
	遠隔臨場試行対象工事(受注者希望型) ・ 本工事は、遠隔臨場(ウェアラブルカメラ等による映像と 象工事である。	音声の刃	ス方向通信を使用して、監督職員の立会い等を実施)の試行対
	<ul> <li>詳細については、以下のホームページ「営繕工事の建 <u>https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu</u> 《岩手県トップページ&gt;県土づくり&gt;建設業&gt;建設業の便</li> </ul>	/1020273	. , = =, =, =, =, =
検	1 監督職員の立会のうえ施工すべき工種がある場合は、 その工種及び立会時期	有	適宜(施工計画書により協議すること)
查関	2 検査員の中間技術検査を受ける工種がある場合は、その工種及び工事段階	無	
係	3 検査員の指定部分検査を受ける工種がある場合は、その工種及び工事段階	有	適宜(施工計画書により協議すること)
用地関	1 施工のための仮用地等として施工者に、県有地等を使用させる場合は、その場所、範囲、時期、期間、仕様条件、復旧方法等	無	
係	<b>2</b> その他		

- 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

明示 項目					内	容
	1	工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止)のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合は、その内容	無			
公害関係	2	工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、 地下水の枯渇等が予測される場合、又は、電波障害等 に起因する事業損失が懸念される場合は、事前・事後等 調査の区分とその調査時期、未然に防止するために必 要な調査方法、範囲等	無			
	3	- その他	DANASONDANIS	ACCIONAL AURILLA MARCANAL COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COLORADA COL	เมนาเหมายเหมายเกมายเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายากเกมายาก	ишиналаналинилиний жина ишилгалалалинилинилиний жиний жи
	1	交通安全施設等を指定する場合は、その内容、期間	無			
安~	2	鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工 事において施工方法、作業時間等に制限がある場合 は、その内容	無			
全対策	3	落石、雪崩、土砂崩落等に対する防護施設が必要な 場合は、その内容	無	(cando sono cono mano estado a cando con con con con con con con con con co	игловопиянтивиглингоглогоглоговоговогового	ливован поветского учение до поветского объедительного общений в поветского общений в поветского общений в пове
関係	4	交通誘導員の配置を指定する場合は、配置場所、配 置者数、編成等	無			
N.	5	有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として、換気設備等が 必要な場合は、その内容	無			
	6	その他				
	1	一般道路を搬入、搬出路として使用する場合	—			
工事用		<ol> <li>工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間 帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯 等</li> </ol>	無			
道路	(	2) 搬入、搬出路の使用中及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容	無			
関係	2	仮道路を設置する場合は、その仕様と設置期間及び 工事終了後の処置	無			
	3	その他				
<i>I</i> ⊢:	1	仮土留、仮橋、足場等の仮設を他の工事に引渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、引渡期間、条件等	無			
仮設関	2	仮設の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合は、その構造、工法及びその施工範囲	有	仮設計画図参	照	
係	3	仮設の設計条件を指定する場合は、その内容	無			
	4	その他		***************************************		
	1	土砂の搬入元(工事を除く)	無			
	-	ストックヤード等からの土砂の搬入の有無 搬入元及び搬入量は以下のとおり。	I	l		
		箇所名 地先名	搬入	、量(地山)	備考	
				m3		
				m3		
		具体的な箇所は別添「位置図」のとおり				1

受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

建設発生土の搬入予定工事の有無

本工事では、以下の工事からの建設発生土の搬入を予定する。

詳細については、監督職員の指示を受けること。

搬入元工事名		搬入予	定期間		搬入量 (盛土換算数量)	備考
	令和	年	月	から	m3	
	令和	年	月		mo	
	令和	年	月	から	m3	
	令和	年	月		III3	

• 受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

3 建設発生土の搬出先(工事を除く)

無

ストックヤード等への建設発生土の搬出の有無

搬出先及び搬出量は以下のとおり。

箇所名	地先名	搬出量(地山)	備考
		m3	
		m3	

■ 具体的な箇所は別添「位置図」のとおり

受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。

4 建設発生土の搬出予定工事

無

建設発生土の搬出予定工事の有無

本工事では、以下の工事へ建設発生土の搬出を予定する。

詳細については、監督職員の指示を受けること。

搬出先工事名		搬出予	定期間		搬出量(盛土換算数量)	備考
	令和	年	月	から	m3	
	令和	年	月		III3	
	令和	年	月	から	m3	
	令和	年	月		III3	

- 受注者は、資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務に留意すること。
- 5 資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務
  - 本工事に土砂の搬入又は本工事から建設発生土を搬出する場合、下記に記す資源有効利用促進法に基づく元請業者の義務 に留意すること。
  - 受領書の交付

受注者は、土砂を再生資源利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。

再生資源利用計画を作成する上での確認事項等

受注者は、再生資源利用促進計画の作成に当たり、発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等の手続状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。

また、確認結果は、再生資源利用促進計画に添付するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。

• 発生土の運搬を行う者に対する通知

受注者は、建設現場等から土砂搬出を他の者に委託しようとするときは、再生資源利用促進計画に記載した事項(搬出先の名称及び所在地、搬出量)と上記確認結果を、委託した搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。

• 発生土の搬出先に対する受領書の交付請求等

発注者は、発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載された事項が再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督職員から請求があった場合は、受領書の写しを提出しなければならない。

建設副産物関係

	•	指定廃棄物の処理 工事の施工により	型の有無  発生する指定廃棄物は、	以下の	場所に搬	入する。		
		廃棄物名	受入施設名		受入場		備考	
								]
								_
								]
ı	7	7 A lib						
ı		その他 再生資源化施設及	でで建設廃棄物受入施設に	こついてに	は、積算	上の条件明元	示であり、 処理 h	施設を指定するものではな
		V,						
			:記施設とは異なる施設で :や数量の変更等、受注者					
	1		る占用物件の有無及び占用		てのるい	てない事項に		//限りではない。
		で工事支障物が存在 者、位置、移設時期、	でである。 では、までである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	管理	無			
工事				<b>佐</b> 1 一				***************************************
支障	2	地上、地下等の占月施工する場合は、その	目物件に係る工事期間と重ね D工事内容、期間等	復して	無			
物					7111			
件 等	3	その他						
	1	排水の工法 排水力	D理の方法及び排水の放流	生空む				
HE	'	指定する場合は、その	の工法、処理の方法、放流分		無			
排水		される排水量、水質基	を年及い放流資用 なが必要な場合は、その内容	明明 六				***************************************
関係	2	小台· 流入的 上	スか必安は場合は、その内名	3、期间	無			
	3	その他						

- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

そ

0

他

明示 項目	明 示 事 項	適用の 有 無	内 容
薬液注	1 薬液注入を行う場合は、設計条件、工法区分、材料種類、範囲、削孔数量、削孔延長及び注入量、注入圧等	無	
八人関	2 周辺環境に与える影響の調査が必要な場合は、その 内容	無	
係	3 その他		
	1 工事現場発生品がある場合は、その品名、数量、現場 内での再使用の有無、引き渡し場所等	無	
	2 支給材料及び貸与品がある場合は、その品名、数量、 品質、規格又は性能、引渡場所、引渡期間等	無	
	3 関係機関・自治体等との近接協議に係る条件及びそ の内容等	無	
	4 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工 条件	無	
	5 工事用水及び工事用電力等を指定する場合は、その 内容	無	
	6 新技術・新工法・特許工法を指定する場合は、その内容	無	
	7 部分使用を行う必要がある場合は、その箇所及び使用 時期	無	
	8 「現場代理人の兼務の適用」の有無	有	

- 本工事は、現場代理人の兼務に関する取扱い(令和3年3月8日付け出総第341号。以下「兼務に関する取扱い」という。)に基づき、2件の工事で現場代理人を兼務できる対象であり、工事請負契約書別記第10条第3項に基づき現場代理人について工事現場における常駐を要しないものとする。
- 詳細については、以下のホームページ「現場代理人の兼務に関する取扱い」を参照すること。

https://www.pref.iwate.ip/kensei/nvuusatsu/kouii/1010493/kiteishu/3-2-01400.html 《岩手県トップページ>県政情報>入札・コンペ・公募情報>県営建設工事入札>県営建設工事入札各種資料>県営建設工事入札契約規程集>3-2-01400 現場代理人の兼務に関する取扱い》

# 9 「主任技術者及び監理技術者の兼務の適用」の有無 有

- ・ 本工事は、県営建設工事における技術者等の兼務について(令和7年1月21日付け出総第205号)に基づき、2件の工事で主 任技術者及び監理技術者を兼務できる対象である。
- 詳細については、以下のホームページ「主任技術者及び監理技術者の兼務に関する取扱い」を参照すること。

https://www.pref.iwate.jp/kensei/nyuusatsu/kouji/1010493/kiteishu/3-2-01300.html 《岩手県トップページ>県政情報>入札・コンペ・公募情報>県営建設工事入札>県営建設工事入札各種資料>県営建設工事入札契約規程集>3-2-01300 主任技術者及び監理技術者の兼務に関する取扱い》

・なお、主任技術者については、建設業法第26条第3項及び建設業法施行令第27条第1項に定める請負代金の額に満たない工事においては専任を要しないことから、本項目の対象の有無にかかわらず複数の工事を管理することができる。

#### 10 「工事請負契約締結後における単価適用年月変更」の 有無

- 本工事は、「工事請負契約締結後における単価適用年月変更」対象工事である。
- 本工事は、特定の資材の価格や労務が短期間に高騰し、積算時点で設定している設計単価と工事請負契約締結時点での資材価格に差が生じている可能性があることから、当初契約締結後に単価適用年月を変更し、設計単価を変更することが可能な対象工事である。
- 対象となる単価は、資材単価、労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。
- 受注者は、単価適用年月の変更を請求する場合は、当初契約締結日から14日以内に別紙様式により発注者に請求するものとする。
- ・ 受注者から単価適用年月の変更の請求があった場合は、発注者は、基準日時点で設計単価を所管する建設技術振興課が通知(設定)している最新の積算単価表の設計単価に変更するものとする。
- 設計単価の変更に伴う契約変更(第1回)は、原則として単価適用年月の変更のみとし、契約数量、契約図面及び仕様書等は変更しないものとする。
- 単価適用年月の変更を請求した場合においても、岩手県営建設工事請負契約書別記第25条第1項から第4項(いわゆる「全体スライド」)、第5項(いわゆる「単品スライド」)、第6項(いわいる「インフレスライド」)の規定に基づく請負代金額の変更及び「遠隔地からの資材調達に要する輸送費についての運用」と併用できるものとする。
- ・ 適用除外工事は以下のとおり。
  - ① 請求日時点で出来高が発生している工事。
  - ② その他発注者が適用除外と認めた工事。
- ・ 詳細については、「工事請負契約締結後における単価適用年月変更の運用基準(建築・電気設備・機械設備)」のとおりであり、以下のホームページを参考とすること。
- https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010941.html
   《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>東日本大震災特例等>【建築工事関係・拡大運用】工事請負契約締結後における単価適用年月変更について》
- 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

別紙 特記仕様書(施工条件明示) No. 6 明示 適用の 明示事項 内 容 項目 有 無 11 「労働者確保に要する共通費の実績変更」の有無 無 本工事は、「労働者確保に要する共通費の実績変更」対象工事である。 不足する労働者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、受注者が負担する「共通仮設費(積上式)のうち仮 設建物費(宿舎等)」、「共通仮設費(積上式)のうち労働者に係る送迎費」及び「現場管理費(率式)のうち労務管理費」の以下に 示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、契約締結後に受注者の支出実績を踏まえて契約変更することができるも のとする。 1 共通仮設費(積上式):労働者送迎費、仮設建物費(宿泊費、借上費) 現場管理費(率 式): 労務管理費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事・通勤等に要する費用) 受注者は、労働者確保に要する共通費の実績変更(以下「共通費の実績変更」という。)を請求する意思がある場合は、発注者 に対し実績変更対象費(見込額)の提出を求めるものとする。 受注者は、「共通費の実績変更」を請求する場合は、実績報告書(様式1)及び実績変更対象費に実際支払った全ての証明書 類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書などをいう。)を監督職員に提出し、「共通費の実績変 更」の内容について協議するものとする。 なお、実績報告書及び証明書類の提出期限等については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。 受注者の責めによる工事工程の遅れ等、受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、「共通費の実績変更」の 対象としない。 発注者は、「共通費の実績変更」をする場合は、実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用 について、下記に示す方法により積算変更時の設計額を算出するものとする。 共通仮設費(積上式):積算基準により算出した共通仮設費に加算 現場管理費(率 式):「実績変更対象費に実際支払った額のうち、証明書類において確認された費用から積算基準によ り算出した現場管理費に含まれる実績変更対象費(率分)を差し引いた費用」を積算基準により算出した現場管理費に加 笡 ・受注者は、工事請負契約書別記第21条に基づき、工事発注時に際して見込む作業不能日数と著しく乖離した場合は、工期の 延長変更を請求することができる。 そ 受注者は、「共通費の実績変更」に係る契約変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。 ・上記により難い場合は、監督職員と協議のうえ決定するものとする。  $\mathcal{O}$ 他  $\underline{\text{https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010943.html}}$ 《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>東日本大震災特例等>(建築関係)労働者確 保に要する共通費の実績変更の運用基準の改定について》 12 「遠隔地からの資材調達に要する輸送費」の有無 無 本工事は、東日本大震災津波等に伴う復旧・復興工事が本格化するなか、特定の資材の供給不足が生じる恐れがあり、受注 者が不足する資材を遠隔地から調達せざるを得ないことが想定されるため、それに要する輸送費を契約変更で計上できるものと する。 対象となる資材は、生コンクリート、石材とする。 輸送費の算出は、工事場所から資材製造地区境までの距離に応じた輸送費を契約変更で計上する。 輸送した資材は、資材製造地区の設計単価による契約変更とする。 輸送費を契約変更で計上するには、受注者は発注者に事前に必要事項を通知して了解を得ることとし、了解を得た場合に限 り、実績に応じて輸送費を請求できるものとする。 輸送費に係る契約変更を請求した場合においても、岩手県営建設工事請負契約書別記第25条第1項から第4項(いわゆる「全

- 体スライド」)、第5項(いわゆる「単品スライド」)、第6項(いわゆる「インフレスライド」)の規定に基づく請負代金額の変更及び「工 事請負契約締結後における単価適用年月変更の運用」と併用できるものとする。
- 適用除外工事は以下のとおり。
  - (1) 受注者が、輸送費を請求する意志を、事前に書面により発注者に通知していない工事。
  - その他発注者が適用除外と認めた工事。
- 詳細については、「遠隔地からの資材調達に要する輸送費についての運用基準」のとおりであり、以下のホームページを参考と すること。

https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kensetsu/nyuusatsu/sekkei/1017258/1010942.html

《岩手県トップページ>県土づくり>建設業>建設技術関連>設計・積算・入札>東日本大震災特例等>(建築関係)遠隔地か らの資材調達に要する輸送費について》

その他

- 1. 他の特記仕様書と重複している事項については、本施工条件明示によること。
- 2. 図面等に内容を明示する場合には、内容欄にその旨を明記すること。

# 本庁舎分室耐震補強工事

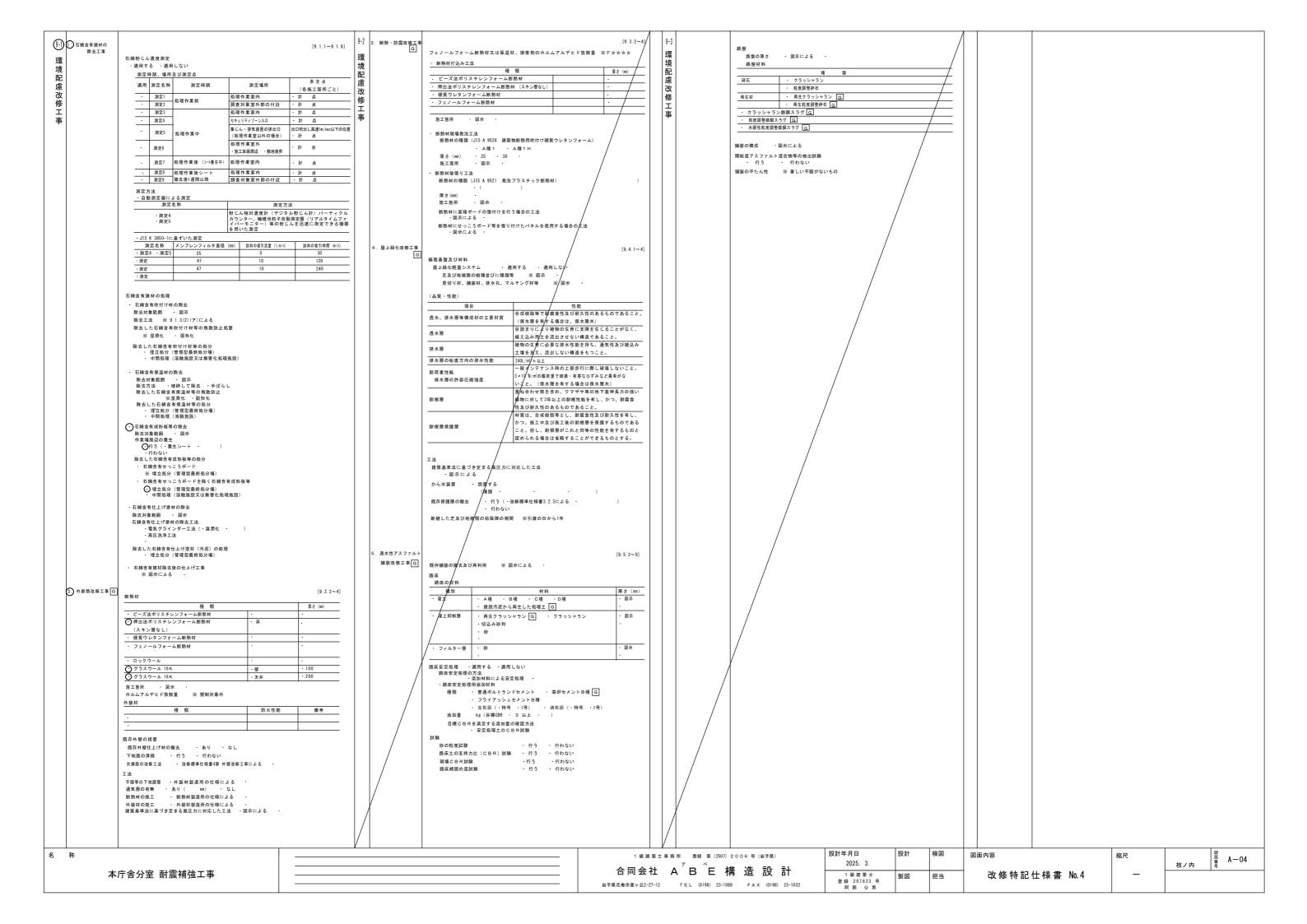
# 合同会社 ABE構造設計

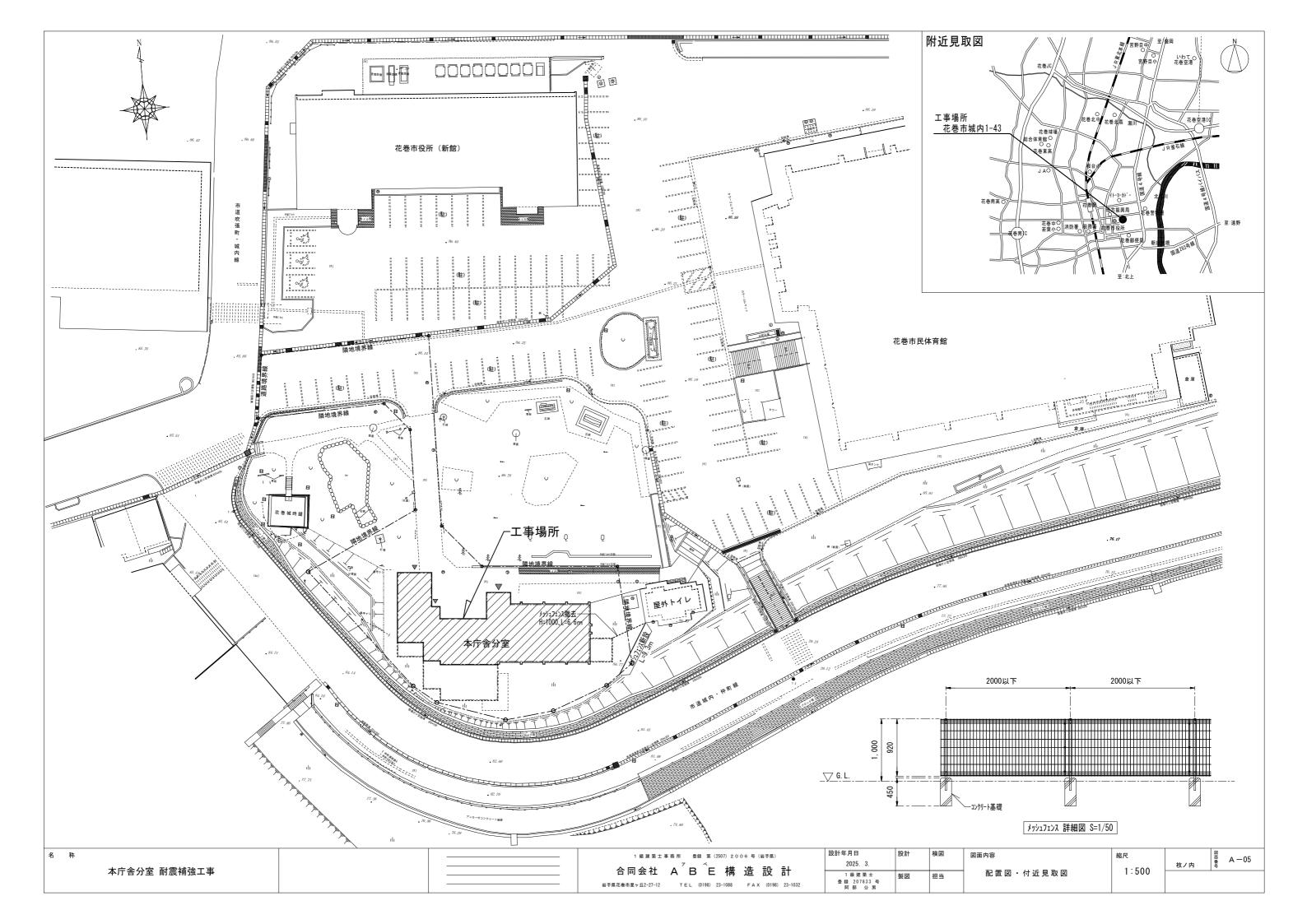
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
A - 01	改修 特記仕様書 No. 1		A - 48	事務室棟 既存撤去 展開図−3	1 : 60	E - 01	電気設備工事 特記仕様書	
A - 02	改修 特記仕様書 No. 2		A - 49	トイレ 既存撤去 平面詳細図・展開図	1 : 60	E - 02	改修 分電盤結線図	
A - 03	改修 特記仕様書 No. 3		A - 50	事務室棟 既存 建具表−1	1 : 50	E - 03	改修 幹線·動力設備 1階平面図	1 : 100
A - 04	改修 特記仕様書 No. 4		A - 51	事務室棟 既存 建具表-2	1 : 50	E - 04	改修 幹線·動力設備 2階平面図	1:100
A - 05	配置図・付近見取図	1 : 500	A - 52	休憩室棟 既存撤去 平面図	1:100,1:10	E - 05	改修 照明器具参考姿図	
A - 06	会議室棟 既存・改修 仕上表		A - 53	休憩室棟 既存 矩計図	1 : 50	E - 06	改修 電灯分岐 1 階平面図	1 : 100
A - 07	事務室棟 既存・改修 仕上表		A - 54	休憩室棟 既存撤去 基礎・床伏図	1:100,1:20	E - 07	改修 電灯分岐 2階平面図	1 : 100
A - 08	休憩室棟 既存・改修 仕上表		A - 55	休憩室棟 既存撤去 天井・小屋伏図	1:100	E - 08	改修 コンセント分岐・電熱設備 1階平面図	1 : 100
A - 09	改修 建物面積求積図・求積表	1:300	A - 56	休憩室棟 既存撤去 展開図-1	1 : 60	E - 09	改修 コンセント分岐 2階平面図	1 : 100
A - 10	既存撤去 1 階平面図	1:100	A - 57	休憩室棟 既存撤去 展開図-2	1 : 60	E - 10	改修 構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信	1 : 100
A - 11	既存撤去 2 階平面図	1:100	A - 58	休憩室棟 既存 建具表-1	1 : 50	- 44	火災報知設備 1階平面図	1 100
A - 12	既存撤去 屋根伏図	1:100	A - 59	休憩室棟 既存 建具表-2	1 : 50	E - 11	改修 構内情報通信網・構内交換・テレビ共同受信 火災報知設備 2階平面図	1:100
A - 13	既存撤去 立面図	1 : 200	A - 60	事務室棟 改修 平面詳細図	1 : 50	E - 12	既存 電灯分岐 1 階平面図	1 : 100
A - 14	改修 1 階平面図	1:100	A - 61	休憩室棟 改修 平面詳細図	1 : 50	E - 13	既存 電灯分岐 2階平面図	1 : 100
A — 15	改修 2階平面図	1:100	A - 62	事務室棟・休憩室棟 改修 矩計図−1	1 : 50	E - 14	既存 幹線・コンセント分岐・電熱設備 1階平面図	1 : 100
A — 16	改修 屋根伏図	1:100	A - 63	事務室棟 改修 矩計図-2	1 : 50	E - 15	既存 コンセント分岐 2階平面図	1 : 100
A - 17	改修 立面図	1 : 200	A - 64	事務室棟・休憩室棟 改修 天井伏図	1 : 100	E - 16	既存 構内交換・拡声・テレビ共同受信・火災報知設備 1階平面図	1 : 100
A — 18	会議室棟 既存撤去 1階平面図	1:100	A - 65	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図−1	1 : 60	E - 17	既存 構内交換・拡声・テレビ共同受信・火災報知設備 2階平面図	1 : 100
A — 19	会議室棟 既存撤去 2階平面図	1:100	A - 66	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図−2	1 : 60			
A - 20	会議室棟 既存 矩計図	1:60, 1:20	A - 67	事務室棟・休憩室棟 改修 展開図−3	1 : 60			
A - 21	会議室棟 既存撤去 床伏図	1:100,1:20	A - 68	休憩室棟 改修 展開図-4	1 : 60	M - 01	機械設備工事 特記仕様書	
A — 22	会議室棟 既存撤去 天井伏図	1:100	A - 69	休憩室棟 改修 展開図-5	1 : 60	M - 02	改修 空気調和設備 機器表	
A - 23	会議室棟 既存撤去 展開図-1	1 : 60	A - 70	事務室棟・休憩室棟 新設 建具表−1	1 : 50	M - 03	改修 空気調和設備 1階平面図	1 : 100
A - 24	会議室棟 既存撤去 展開図-2	1:60	A - 71	休憩室棟 新設·改修 建具表-2	1 : 50	M — 04	改修 空気調和設備 2階平面図	1 : 100
A — 25	会議室棟 既存撤去 展開図-3	1 : 60	s - 01	構造設計標準仕様書		M - 05	改修 換気設備 機器表	
A - 26	会議室棟 既存撤去 展開図−4	1 : 60	s - 02	鉄筋コンクリート造標準配筋図(1)		M - 06	改修 換気設備 1階平面図	1 : 100
A - 27	会議室棟 既存撤去 展開図-5	1 : 60	s - 03	鉄筋コンクリート造標準配筋図 (2)		M - 07	改修 換気設備 2階平面図	1 : 100
A - 28	会議室棟 既存撤去 雑詳細図	1:60	S - 04	鉄骨構造標準図(1)		M - 08	改修 衛生設備 機器表	
A - 29	会議室棟 既存 建具表−1	1 : 50	S - 05	鉄骨構造標準図(2)		M - 09	改修 衛生設備 1階平面図	1 : 100
A - 30	会議室棟 既存 建具表-2	1 : 50	S - 06	R C 造補強 基礎伏図・1 階床伏図	1 : 100	M - 10	改修 衛生設備 2階平面図	1 : 100
A - 31	会議室棟 改修 1階平面詳細図	1 : 50	S - 07	RC造補強 2階・R階 床伏図	1 : 100	M - 11	改修 衛生設備 トイレ平面図	1 : 50
A - 32	会議室棟 改修 2階平面詳細図	1 : 50	S - 08	RC造補強 軸組図(1)	1 : 100	M - 12	既存撤去 機械設備 機器表	
A - 33	会議室棟 改修 断面詳細図	1 : 50	s - 09	RC造補強 軸組図 (2)	1 : 100	M - 13	既存撤去 機械設備 1階平面図	1 : 100
A - 34	会議室棟 改修 断面展開図-1	1 : 50	s - 10	RC造補強 鉄骨詳細図	1 : 30	M - 14	既存撤去 機械設備 2 階平面図	1:100
A - 35	会議室棟 改修 断面展開図-2	1 : 50	S - 11	RC造補強 ジョイントリスト・東側ポーチ詳細図	1 : 30	M — 15	既存撤去 機械設備 便所平面図	1 : 50
A - 36	会議室棟 改修 断面展開図 - 3	1 : 50	s - 12	RC造補強 あと施エアンカー仕様書				
A - 37	会議室棟 改修 断面展開図-4	1 : 50	S - 13	木質工事特記仕様書		K - 01	解体用 外部足場計画図	1:150
A - 38	会議室棟 改修 断面展開図-5	1 : 50	s - 14	木造軸組接合部標準図(1)		K - 02	解体用 1階內部足場	1:100
A - 39	会議室棟 改修 風除室詳細図	1:50, 1:20	S - 15	木造軸組接合部標準図(2)		K - 03	改修用 外部足場計画図	1:150
A - 40	会議室棟 改修 天井伏図・改修 窓まわり詳細図	1:100,1:20	S - 16	木造軸組接合部標準図(3)		K - 04	改修用 1 階内部足場	1:100
A - 41	会議室棟 新設·改修 建具表	1:50	S - 17	木造軸組接合部標準図(4)		K - 05	改修用 2階内部足場	1:100
A - 42	事務室棟 既存撤去 平面図	1:100,1:10	S - 18	木造補強 基礎伏図	1:100	K - 06	仮設計画 配置図	1:300
A - 43	事務室棟 既存 矩計図	1 : 50	S - 19	木造補強 耐力壁・柱頭柱脚金物 平面図	1:100			
A - 44	事務室棟 既存撤去 基礎・床伏図	1:100	S - 20	木造補強 軸組図(1)	1:100			
A - 45	事務室棟 既存撤去 天井・小屋伏図	1:100	S - 21	木造補強 軸組図(2)	1:100			
A - 46	事務室棟 既存撤去 展開図 -1	1:60	S - 22	木造補強 各階床伏図	1:100,1:20			
A - 47	事務室棟 既存撤去 展開図−2	1 : 60	S - 23	木造補強 小屋伏図・垂木伏図	1:100,1:60			

工事名 オ	下	(-2) ⑦ 施工条件	施工順序に制約がある場合 [1.3.5]	П	Τ		(5. 外壁用塗膜	[4.1.5] [4.7.2~6]
I. 工 事 概 要	"八百万至则及而及工于"以此正体自	(1-2)	加工 順序に制刻かのも場合 ○ R C 造の小屋裏 棒銅・2 階床梁は、鉄骨補強の工程に合わせて搬去とする その他の能工条件 [1.3.5]			タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない	防水材によるi	
1. 工事場所 有	·巻市城内 1-43 (用途地域:第二種住居地域、防火地域:準防火地域)	-	・ エ事車両駐車場、資機材置場について		الا	・セメントモルタルによるタイル張り		外壁用塗膜防水材 [表 4.7.1]
	.561 m²		<ul><li>□ 隣接する空き地を使用可</li><li>[1.3.5]</li></ul>	71	•	タイル張りの工法 外装タイル		仕上げの形状 エ 法 模様材の種類 仕上塗料の種類 <sup>砂壁状、じゅらく状壮上</sup> 施工箇所
	文修工事 会議室棟)鉄筋コンクリート造 2階建て 床面積 276.23 ㎡	般 ⑧ 建築材料等	(a)原則として、全ての材料について監督員の承諾を受ける。	睫		・密着張り ・改良圧着張り ユニットタイル		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	事務室棟) 木造 平屋建て 床面積 135.80㎡ (減築後 74.51㎡)		(b) 環境への配慮 [1.4.1]			・マスク張り ・モザイクタイル張り		凸部処理 - (n 式 m 件 )
	休憩室棟) 木造 2階建て 床面積 137.37㎡ (減築後 127.95㎡)	共 9 特別な材料の	   改修標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する [1.4.2]	改	.	・ 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類		・ゆず肌状 ・ローラー ・さざ波状
	RC造 鉄骨補強工事	工法	工法とする。			打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系		
	木造 耐震壁增設工事	通 10. 石綿含有建材の 調 査	事前調査 [1.5.1] ※ 石綿含有建材の事前調査	修	;	伸縮調整目地その他の目地 ※変性シリコーン系		仕上塗料の耐候性 - JISA 6906 耐候性 1 種相当品 - 下地挙動緩衝材 - 適用する (種類: ) - 適用しない
<del>-                                   </del>	・木造 一部とりこわし工事	重	工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き		D 44 74 74 74	l .	(5) ① 改修工法	
I. 改修工事仕様		7	付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲(・・図示 )	=	· 目地改修工法	- 目地ひび割れ部改修工法	Zab C	建具の種類 かぶせエ法 撤去工法 適用箇所
1. 共通 仕様 図面、特記仕様書	及び現場説明事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共	項	貸与資料 ( )			・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示	Œ	・アルミニウム製建具 ・ ・ 建具表による
建築改修工事標準	仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「改修標仕」という。)による。		- 分析による石綿含有建材の調査 分析対象	事	-	神権調金日地の位置及び引点 一箇小		・樹脂製建具 - ・ 建具表による
	に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕 ) (令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		<ul><li>・タイルの形状、 寸法等</li></ul>	タイルの種類 [4.4.5]	具	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 建具表による
2. 特 記 仕 様			トレモライト			旅 エ 形状 再生材 吸水率に よる区分 うわぐすり 役 物 色 耐凍 計画		- 銅製建具 内部 - 建具表による
(2)特記仕様は、	号に〇印の付いたものを適用する。 ●印の付いたものを適用する。		<u>分析方法</u> 定性分析 定量分析			対法   料の適   I I I I I I I I I I I I I I I I I I	ah-	・銅製軽量建具 ・ 建具表による
	ない場合は、※印の付いたものを適用する。 の付いた場合は、共に適用する。		材料名 (JIS A 1481-1又はJIS A 1481-2) (JIS A 1481-3又はJIS A 1481-4)   歯所数 ( ) ・歯所数 ( )			(三) / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	•	・ステンレス製建具 ・ ・ 建具表による
(3)特記仕様書 ()内表	こ記載の [ ]内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ₹番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。		・箇所数 ( ) ・箇所数 ( )					・木製雑具 - ・建具表による
(4) G 印は、「	国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」に基づく「環境物品等の調達の推進 :方針(令和4年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。		- 歯所数 ( ) ・箇所数 ( ) ・箇所数 ( ) ・ サンブル数 1 箇所あたり 3 サンブル 採取箇所 ・ 図示				修	新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示
	/ ガミ(ヤ和4年2万 附職 次定/」に定のも刊即の基準を例にす物面を示す。 -	① 施工図及び	施工図及び施工計画書の提出について [1.2.3]					新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示
章項目	特 記 事 項	施工計画書	(a) 施工図及び施工計画書は、各工種において作成し提出する。				2、防火戸	[5.1.4] ・指定する 適用箇所(・建具表による ・ )
①適用基準	図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による ②建築物解体工事共通仕様書(平成31年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部	·	(b) 施工図の記載内容及び記載水準は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築・設備 工事施工図の描き方(平成元年)」に準ずるものとする。			標準的な曲がりの役物は一体成型とする	<b>-</b>	・指定しない
$  \Theta  $	U 本来切所评上学穴題は体質(学成31年版/ 国上X週省天足官房官厅宮籍部		エ争能工図の指さガ(千成元年)」に至するものとする。 (C) 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作者の権利は、当該建物における使用			試験張り ・行う ・行わない 見本焼き ・行う ・行わない		自動閉鎖機構方式 ・ヒューズ装置達動 ・熱感知器連動 ・煙感知器連動 ・5 [5.1.5]
各	本設計図書における「標準詳細図」他は、次の基準を指す。		に限り発注者に委譲するものとする。		// // *******	25 - 10 A 11 45 46 6,	3、見本の製作事	建具見本の製作 ・行う(建具符号: )
章	建築工事標準詳細図(令和4年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課	(2) 完成時提出原業	(d) 提出部数は、監督員の指示による。 工事完成時の提出図書 [1.9.1][表1.9.1]		(4、仕上塗材仕上げ 外壁等の改修)	[4.5.2] [表 4.5.1]		・行わない 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
2 工事実績情報の 登録	<ul><li>適用する</li><li>[1.1.4]</li></ul>		※標準仕様書1.9.2及び1.9.3による。 ・		⊙所要量の確認	工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書4.5.3及び表4.5.1による		- 納まり等が分かる程度のもの
(工事カルテ)			完成図の提出 ( 1 ) 部 [1.9.2]   提出仕様(◯紙ベース ◯電子データ ・ )		・ 既存塗膜等の除去			特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号: ) ・行わない
通 ③ 発生材の処理等	引波しを要するもの [1.3.1: ※ なし	2]	保全に関する資料の提出 (1) 部 [1.9.3] 提出仕様 (○紙ベース ○電子データ ・ )		M. # 全 膜 寺 の 除 去 下 地 処 理 . 下 地 調 整	既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.5.4]	4、防犯建物部	[5.1.7]
事	※ なし - あり (種類: 処理方法: )		完成写真			工 法 処 理 範 囲 下地面の補修		・適用する 適用箇所(・建具表による ) ・適用しない
頂		(1) an ar	撮影箇所及び提出サイズ、仕様 ※監督員の指示による ・ ************************************			・サンダー工法 ・図示 ※既存仕上面全体 ②ひび割れ部改修工法	(5). アルミニウ	<b>ム製</b> [5.2.2∼5] [表5.2.1∼2]
	特別管理産業廃棄物 ※ なし	(3) 設備工事との 取合い	施工範囲 ・ 図示した貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強			○ 高圧水洗工法     ・図示     ※既存仕上面全体	建具	** 性能等級 (表5.2.1) 外部に面するアルミニウム製建具
	· あり (		・ 図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地材の補強			- 塗膜はく離剤工法 ・図示 ※既存仕上面全体 ・欠損部改修工法		・A種(建具符号:・建具表による・・ )
	※ 上記以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図る		<ul><li>駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ</li><li>自動閉鎖装置取付けの箇所の切り込み及び補強</li></ul>			・ 水 洗 い 工 法 ・ 図 示 ※サンダー工法、高圧水洗工法 金銀はく離剤工法の処理範囲		- B種 (建具符号:・建具表による・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	ものとし、処理方法等は監督員と協議する。		- その他指示するところ			以外の既存仕上面全体		防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級(・ ) (建具符号:・建具表による ・ )
	現場において再利用を図るもの (		施工図   設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。		○下地調整材	※改修標準仕様書4.5.4の下地調整材 ポリマーセメントモルタル [4.5.4]		断熱ドアセット・断熱サッシG 断熱性の等級(・ )
	※ 現場における分別一保存材は、分別する。	(A) ++ - + + + + + + + + + + + + + + + + +			○性上塗材、仕上	新規仕上塗材の種類、仕上げの形状、工法 (表4.5.1) [4.1.5][4.2.4][4.5.2]		(建具符号:・建具表による・・)
	○ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場(中間処理施設経由を	(15) 施工調査	施工数量調査 [1.6.2] 調査範囲 <b>○</b> 図示			種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状及び工法		枠の見込み寸法 ・建具表による
	含む)に搬入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので		調査方法 ② 図示			・ 殊けけ仕上塗材 ・ 外装薄塗材 Si ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状(・吹付け		表面処理 (表5.2.2) 外部に面する建具 ・BB-1種 ・BB-2種
4 施工管理技術者	適正に処理すること。	,	既存部分の破壊を行った場合の補修方法 [1.6.3]			・可とう形外装 ・ローラー塗り)		被腹等の種類 ※改修標準仕様書表5.2.2による 着色 ・標準色 ( ) ・特注色 ( )
	※ 施工管理技術者は、工事に相応した能力を有するものとし、資格等の能力を証明す	·	② 図示 調査報告書の提出部数 ・2部 ・			薄塗材Si ・ さざ波状 ・外装薄塗材E ・ ・ 平たん状		有也 様子也 ) 特法也 ) 屋内の建具 BC−1種 BC−2種
	る資料を提出する。			1		- 列装簿室材を ・ 平たん状 ・ 凹凸状(・吹付け		被膜等の種類 ※改修標準仕様書表5.2.2による
(5) 電気保安	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	O 22 43 5 4 32 ~	[2.4.1]			薄塗材Ε		着色 標準色 ( ) 特注色 ( )
技術者	[1.3.3]	2 ① 監督員事務所	<ul><li>・ 設ける</li></ul>			・ 防水形外装 (・吹付け・こて塗り) 薄塗材E		結露水の処理方法 図示 水きり板、ぜん板 図示
		仮	(規模及び仕上げの程度並びに設置する備品の種類・数量等は現場説明書による) ○ 設けない			砂壁状じゅらく 外装薄塗材 S ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		網戸等
⑥ 技 能 ±	[1.6.2	設 工事用水	構内既存の施設			・京壁状じゅらく		種類 材種 線径 網目
	適用工事種別 職 種 技能検定の作業の種別 仮設工事 と び ②とび作業	設	・利用できる ( ・ 有償 ・ 無償 ) <b>⊙</b> 利用できない			吸放湿性 ・適用する ・適用しない		
		→ ③ 工事用電力	構内既存の施設 ・利用できる( ・ 有信 ・ 無信) ○ 利用できない					- ガラス繊維入り合成樹脂製
	型枠施工	.   _	・利用できる( ・有價 ・無價) <b>①</b> 利用できない ・防音パネル [2.1.3]			- 厚付け仕上塗材 - 外装厚塗材 C - 吹放し - 凸部処理 - 平たん状 - 凹凸状		・ ステンレス (SUS316) 製
	サイン	- 4.騒音・粉じん 事 等の対策	・防音ハイル [2.1.3]			・外装厚塗材 Si ひき起し かき落し		- 防鳥網 ステンレス (SUS304) 線材 1.5m 網目寸法 15mm
	コンクリートブロック ブロック建築 ・コンクリートブロック工事作業	.   ^  _	防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ※図示 由 報足場 〇段音する (※細立 足場叛集 - ) [2.2.1][表2.2.1]	,		・ 外装厚塗材 E ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 適用する ・ 適用しない	6、樹脂製建	具 [5.3.2~5]
	ALCパネル、押出成形 エーエルシーパネル セメント板工事 施工 ・エーエルシーパネル工事作業	⑤ 足 場 等	門面とも、設置しない	'		吸放湿性 ・適用する	O C TAX DIN SPECIAL S	性能等級 (表 5. 3. 1 ~ 表 5. 3. 2)
	・アスファルト防水工事作業		外部足場 〇股置する (〇 枠組足場 単管足場 ) ・設置しない			適用しない		外部に面する建具 A種(建具符号: 建具表による )
	・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業		防護シートによる養生 ①行う (・工事に必要な範囲・) 材料、撤去材等の運搬方法			・複層仕上塗材 複層塗材 C E ・ ゆず肌状・凸部処理		- B種(建具符号: - 建具表による ) - C種(建具符号: - 建具表による )
	・合成ゴム系シート防水工事作業		村			可とう系複層塗 . 凹凸状 材 C E		防音ドアセット・防音サッシ 遮音性の等級 (・ T - 1 ・ T - 2)
	防水工事 防水施工 ・塩化ビニル系シート防水工事作業	.	D種:利用可能な階段 ( )			・複層塗材Si ・ 耐候性 ※耐候形3種		(建具符号:・ 建具表による・ )
	・セメント系防水工事作業 ・セメント系防水工事作業	-	・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置			・ 複層塗材 E 上塗材		断熱ドアセット・断熱サッシ G 適用する 断熱性の等級 (・ H - 4 ・ H - 5 ・ H - 6 ・ )
	・改質アスファルトシートトーチエ法防水工事作業		方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。			・複層塗材RE - 溶媒 ※水系 ・溶剤系		(建具符号: 建具表による ) 日射熱取得性の等級
	・FRP防水工事作業         石 工 事         石材施工         ・石張り作業	6. 既存部分の	養生の方法等 [2.3.1]			・防水形複層塗材CE・樹脂・アクリル系		枠の見込み寸法 建具表による
	タイル工事 タイル張り ⊙タイル張り作業	養生	<ul> <li>既存部分 養生の方法(※ ビニルシート、合板 ・ )</li> </ul>			・防水形複層塗材E - 外観 ※つやあり		表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※ 図示
	木 工 事 建築大工 ①大工工事作業	.	<ul><li>既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (・ ビニルシート等 ・ )</li></ul>			・ 防水形複層塗材RE ・ ・ メタリック		ガラス ※ 複層ガラス・
	歴根・とい工事 建築板金 ②内外装板金作業 スレート施工 ・スレート工事作業	·	保管場所 ( 図示 ) 備品、机、ロッカー等の移動 ( 図示 )			· 防水形複層塗材RS ·	7、銅製建具	性能等級 [5.4.2~4] [表5.4.2]
	金属工事 内装仕上げ施工 ・銅製下地工事作業		既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与え た場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。			・可とう形改修用 ・可とう形改修 ・ 平たん状 ・ さざ波状		簡易気密型ドアセット(表 5.4.1) 適用する (建具符号: 建具表による )
	左官工事   左 官   ②左官作業   サッシ施工   ・ビル用サッシ施工作業	.	に場合は、文法者の責任において送やかに移復寺の地直を行う。 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 図示 [2.3.2]			サンプル以降が <u>塗料と</u> ゆず肌状		・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 (表5.2.1)
	建具工事 ガラス施工 ・ガラス工事作業		仮設間仕切りの種別と材質等 [表2.3.1]	.		・ 可とう形改修 ・		S-4 (22具符号:・22具表による ) S-5 (22具符号:・22具表による )
	自動ドア施工 ・自動ドア施工作業		種別 下地 仕上材(厚さ mm) 塗装 充填	-		溶媒 ※水系 ・溶剤系		・S-6 (建具符号:・建具表による ・ )
	カーテンウォールエ事 カーテンウォール施工 ②金属製カーテンウォールエ事作業 塗装工事 塗装 ②建築塗装作業	·	・ A種     ・ 木     ・ せっこうボード (9.5mm)     ・ 無し グラスウール 厚さ mm       ・ B種     ※ 軽量鉄骨     ・ 合板 (9mm)     ・ 片面	·		- 弱溶剤系 樹脂 - アクリル系		防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号: 建具表による )
	○プラスチック系床仕上げ工事作業		※ C種 単管 防炎シート					断熱ドアセット、断熱サッシ G 断熱性の等級 (・ )
	内装仕上げ施工 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業	.	仮設間仕切に設ける仮設扉の材質等	-		・つやなし ・メタリック		(建具符号:・建具表による・・) 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級( )
	表 装 ②壁装作業		※ 木製 ※合板張り程度 ・無し	1		連物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆		(建具符号:・建具表による・・)
	排水工事 配 管 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	.	· 片面	.		雄物内部に使用する坐料のホルムアルアとト放改重 ※ト☆☆☆ 外装厚塗材 Cにおける上塗材がセメントスタッコ以外の場合		点検口等のくつずりの材料 ・銅板 ・ステンレス鋼板 鋼板
	・溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・溶融ペイントマシンマーカー工事作業					(・ 外装厚塗材Si、外装厚塗材Eにおける上塗材の適用 ・適用する ・適用しない		材料 めっき付着量 厚さ
	植栽工事 造 園 ・造園工事作業				・マスチック塗材 塗り	種別 - A種 - B種 [4.1.5][4.6.1][表4.6.1]		- JIS G 3302
						<u> </u>		
名 称			1 級3	建築士事	務所 登録 第 (2507)	2006号(岩手県) 設計年月日 設計 検図 2025. 3.	図面内容	縮尺 図面 A-01
-				社	A B E	# 浩 鸮 計	과 14 44	記仕様書 No.1 -   枚/內   <sup>ig · · · · ·</sup>
	7/1 日 / 1 年					登録 207833 号	以修村	마 내 ᆥ 音 NV. I
	I I		有丁木12名中生7年2		(0.00) 20'100	16 FAX (0196) 23-1032 阿部公男		

5-2 8. 銅製軽量建具建	性能等級 [5.5.2~4] (1.5.5.2~4) (1	・・ ピソノコンヤ 村 耐風圧	[5.13.2~4] : 開閉方式 収納形式 ガイドレール の材質 の材質	6 ① 改修範囲	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示	<b>(</b> -)	・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材       施工箇所 (mn) (表面の品質 (無面の品質 (mn) (表面の化粧加工)	
具	・適用しない 防音ドアセット、防音サッシ	I	0 ※ パランス式 ・スタンダード影 ※溶融亜鉛 がっき銅板 ・ カー・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	表 2. 既存床の撤去、	※ 望面より両側 600m 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井の散去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示 ビニル床シート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) [6.2.2]	内 装 改 修	***	
改	耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 (・ ) (建具符号:・建具表による・ ) 側板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ピニル被電鋼板 カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 改		タイプ ※図示 [3.7.2] [5.14.2~4] [図5.14.1] 『・厚さ等は図示 (建具表) による	*************************************	・ 下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 - 間性切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6.3.2]	事	- CLT (直交集成板)(G) - CLT (直交集成板)(G) - 施工箇所 品 名 強度等級 種別 接着性能 樹種名 寸法 (同間)	
修 9. ステンレス 製建具		・型板ガラス ※品種、厚さ ・網入板ガラス及び線入板ガラ 品種、厚さ及び網又は線の ・合わせガラス 品種	ラス	事争本材	※ 改修標準性模書4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚 25mm を超える場合の構造 ※図示) 材料のホルムアルデヒド放散量 ※ F ☆☆☆☆ ・ホルムアルデヒド放散量表示がない場合は改修標準性様書6.5.2(1)(ウ)		- 図示 - 図示	
事	簡易気密型ドアセット 適用する (建具符号:・建具表による ) 面用しない	※建具表(	による ・	(5) 製 材 G	(b) による 間伐材等の適用 ・適用する 「製材の日本農林規格」による製材 [6.5.2] 〇下地用製材	8 下地用合板等	下地用合板等	
	防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級 (・ ) (建具符号:・建具表による・ ) 断熱ドアセット、断熱サッシ ⑤ 断熱性の等級 (・ ) (健具符号:・建具表による・ ) 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級 (・ )	材料板ガラスによる種類 Oフロートガラス O型板ガラス	種類		施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 備考 関柱、筋交い、梁 ・図示 ※2歳 ※A種 ・適用する ・ 適用しない ・図示 ・ の種 ・ 適用しない		床下地 ※5.5 ② 9.0 ※1類 ・2類 射薬樹 ※C-D以上 ・適用 しない	
1 0 . 木製建具	(建具符号:・建具表による ) ステンレス鋼板 ※SUS 304 ・SUS 430JIL ・SUS 443 JI 表面仕上げ ※ HL仕上げ ・銀面仕上げ 曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	- 熟練吸収板ガラス 品 種 - 熟練吸収フロート板ガラス - 熟練吸収網入磨き板ガラス	- ·-   · · · · · · · · · · · · · · · · ·		②途作用製材         管板         含水率         保存処理         備考           見え掛り面         ・図示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		○構造用合板 G     様面の 原さ (mm) の適用する (30 上 1 kg 等級 以上 1 kg 等級 (1 kg ) (2 kg ) (	
	建具材の含水車 ※A種 ・B種 フラッシュ戸、戸ぶすまの材料のホルムアルデヒド放散量 ・ 5 本 3 本 ☆ ・ 改修標準任権書5.7.2 (2.) (イ) (a) ②による ミディアムデンシティファイバーボード (MD/F) の表裏面 表裏面の状態による区分 (・DV ・D0 / ・DC)	品種     断熱性       ・断熱複層ガラス     ・T1       ・日射熱道へい     ・T1	種類及び厚さの組合せ、権勝ガラスの厚さは建具末による <u>BOB分</u> 日財取得性・遅へい性による区分 乾燥気体の種類		見え掛り面以外 ・図示 ※小筋以上 ※A種 ・適用する ・適用しない		壁下地     ・2級 ・1級     ・適用する ・1級     ・適用する ・適用しない     ・適用する ・適用しない     ・適用しない     ・適用する。	
	接着剤による区分 (・U ・M ・P) / 曲げ強さによる区分 (・30 ・25 ・15/) 難燃性による区分 (・難燃 2 ・難燃 3) かまち戸の樹種 ・かまち材 ( ) ・ 鏡板 ( ) ) ふすま 種別 ・ I型 ・ I型	- 熱線反射板ガラス 品種 日射	す遊へい性 耐久性による区分 色 調・・1種 A種 ・ブルー		施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理 備考 - 大製枠、窓額線 ・ 選示 ・ A種 - 8種 ・ 週間する ・ ※10%以下 ・ 週間しない ・ 週間 ・ 3組まする ・ ・ ※11等 ・ A種 - 8種 ・ 週間しない ・ 週間しない ・ 週間しない ・ 週間しない ・ 週間しない ・ 週間しない		施工箇所 品名 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 - 1類 - 適用する ( ) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
1. WEMA"	上張り(押入等の裏紙以外)	反射 被膜面 内面 映像調整 行う			- 「製材の日本農林規格」以外の製材		接着の程度 常温湿現状態となる場所での使用 ※特類  - 天然木化粧合板 [G]  施工箇所 厚さ (nm) 化粧板に使用する単板の模種名 接着の程度 防虫処理 1類 適用する	
1 1. 建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材料等 (5.8.2~4) ※ 改修様仕 表5.5.1及び表5.8.2による 提り玉、レバーハンドル、押城頭、クレセント等の取付け位置・建具表による マスターキーの製作 ・ 業作する ・製作しない	- 倍強度がラス 材料板ガラスによる種類 - フロート倍強度ガラス - 熱線吸収倍強度ガラス - ガラス留め材及び溝の大きさ	厚さ(mm) 色 調	⑥ 遊作用業成材 G	(※A種・B種)・適用しない ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		- 2類 ( )	
12.自動ドア 開閉装置	- (既存のマスターキーに合わせる 鍵箱 ・有り ・無   [5.9.2~3]   自動ドア 開閉装御の性能 防錆 引戸用検出装置 凍糖防止	アルミニウム製 - シーリ - ガスケー - ガスケー - ガレイン - 建築用ガ - 増脂製 - 建築用ガ	ット ※建具製造所の仕様による ジングチャンネル形 バスケット ※建具製造所の仕様による		②造作用集成材         方法 (mm)         見付け材面の 品質           階段         夕モ         ・図示         ※1等・2等		施工箇所 品名 厚さ(mm) 接着の 程度 単版の 単版の 会種名 (地館加工の方法 防虫処理 ・ 1 類 ・ オーバーレイ ・ 適用する ・ ブリント ・ 逆装 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
		鋼製及び ・ シーリ	※ 20 元 3 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5 元 5		- 図示 ※1等 ・2等 - 化粧ばり造作用集成材 - 化粧はり造作用集成材 - 化粧沸板の 見け材面図 見付け材面の		<td color="1" color<="" rowspan="2" th=""></td>	
	・図示 ・タッチスイッチ (光線式) ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便房の開閉スイッチ・大型(開・閉)押しボタンスイッチ	表面 坪571法 厚さ (mm) 2 (mm) - 105×125 - 80 - 160×160 - 95 - 125 - 200×200 - 95 - 125 - 220×200 - 95 - 125 - 220×200 - 95	· 15~25 内側 · 図示 · 有り		「本土」   「		- 横造用パネル (12.2.1) 施工箇所 品 名 厚さ (mm)	
13. 自閉式上吊り 引戸装置 14. 重量シャッター	シャ/ッターの性類	長方杉     -250×125     -80       -320×150     -95       壁用金属枠及び補強材     -設(	- ・ ・ ※6以下 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		- 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法 (mm) 見付け材面の 含水率 ・図示 ※155以下		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) pa ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) pa ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・防煙シャッター ・防煙シャッター ・防煙がマッター ・防煙がマッター ・防煙がマッター ・ かき型(多数は、手動併用)・手動式	カ骨 材質 ※ステンレス 綱 寸法 ※径5.5mm 形状 ※はしご形状腹 化粧目地モルタルの色 (	(SUS304) ・ 筋及び単筋 ・		・図示 ※15%以下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		施工箇所 厚さ 表裏面の状態 曲げ強さ 接着剤 健燃性 による区分 による区分 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	安全装置 (急降下制御装置又は急降下停止装置) の設置個所 急降下制御装置又は急降下停止装置 ※ 建具表による・ 牌客部処址装面の設置個所 ※ 建具表による・ 危害防止機構の設置個所 ※ 建具表による・ 屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構	寸法 形状 ・ 形状 ・ シーリング材の種類 工法 建築基準法に基づき定まる風に	・図示・ 図示・ ) )		施工箇所 模種 寸法 (mm) 厚さ(mm) の 見付け材 含水率 (mm) アさ (mm) アンドル (mm) (mm) (mm) アンドル (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (mm) (mm	9.接着剂 (0) 防腐、防蟻処理	[6.5.3~4] 接着剤 (未れんが用接着剤を含む) のホルムアルデヒド放散量 ※ F ☆☆☆☆ [6.5.5] ・薬剤の接着剤への混入による防腐・防螺処理 適用部位: ( )	
	スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	・図示による 目地部の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕 フィルム 種類	接による ・図示記号 その絵の性影楽	7. 造作用単板 積層材 [G]	さ材: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		・業剤の加圧注入による防腐・防蟻処理       適用部材     保存処理性能区分       ・K2 ・K3 ・K4       ・K2 ・K3 ・K4	
15. 軽査シャッター	・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板)		内貼リ用 外貼リ用 その他の性能等 ・S C -1 ・S C -2 ・L E -G I -1 ・G I -2		**   *   *   *   *   *   *   *   *		②薬剤の塗布による防腐・防螺処理   適用部材	
	・ JIS 6 3322(塗装溶離55%74ミニウムー亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 (※ A290 ・ ) スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 陳 害 物 感 知 装置 を設けた 電動シャッター ※ 図示	- 層間変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム - ガラス賞通防止フィルム 品質 JIS A 5759による	• G D -1		・		・薬剤の接着剤への混んによる防腐・防蟻処理 適用部位:( ) ・含板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位:( ) ・防虫処理の適用 適用部位:( ) 保存処理の性能区分( )	
名称			1 級地 合同会社		# 2025. 3. ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	図面内容	縮尺 図 図 A — 02 書号 A — 02	
2	本庁舎分室 耐震補強工事 ————————————————————————————————————			71 A D E 7 27-12 TEL (0198) 23-10	866.707823 早   表因   担当	改修特記	!仕様書 No. 2 — — — — — — — — — — — — — — — — — —	

	野線等の種類 屋外 ・ 19型 ※ 25型	6-4 15. 合成樹脂塗床	種類 [6.10.2~3]	(6-5)	樹種名( )	① # #	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
	・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法	内	種 別 エ 法 仕上げの種類 施工箇所	内	- 天然木化粧合板 G 接着の程度 (* 1類 * 2類) 厚さ (mm) ( )	   塗	※ 規制対象外
	・図示による 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・ 図示	装 改	- 厚膜型塗床材 (弾性ウレタン樹脂系塗床材) ・ 労害性上 ・ 防滞性上 ・ つや消し仕上	装     改	・ 防金掲載 特殊加工の方法 (・ オーバーレイ ・ ブリント ・ 塗装)	装	防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所 )
	周辺部の暗がらの間隔 図示 野縁の間隔 図示	悠 修 T	・厚膜型塗床材 ・薄膜流し展べ工法 ・平滑仕上	修	表面性能()タイプ	改 下地調整・素地ごしらえ	[7.2.1~7][ 塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
	既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施エアンカーの引張試験 ・ 行う ・ 行わない	事	・樹脂モルタル工法	事	「	工    事	※ 塗替え面積の ( %) 〇 図示 下地調整
	- F1 ポルトの間隔が900mm を超える場合 - 補強方法 ※ 図示		・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂塗床材) ※平滑仕上		・防虫処理           ・メラミン樹脂化粧板         JIS K 6903 による 厚さ (※ 1.2 ・・・)		下地面の種類 漆粋えの下地調整 新規塗装の楽地ごしらえ ひ
	・天井のふところが1.5m以上3.0mの場合 補強方法 ※ 改修標準仕様書6.6.4(8)(ア)(イ)による				・ボリエステル樹脂化粧板 ・ミディアムデンシティファイバーボード G 3 · 7 · 9 · 12 ·		市 本部 不透明塗料塗り ※RB種・ ※A種
	・ 天井のふところが3.0mを超える場合 補強方法 ※ 図示				- 単板張リパーティクルボード G - 未研磨板 - 研磨板 - 10 ・12 ・15 ・18 ・		透明塗料塗り ※ B種 ※ C種 (DPの場合※B種)
	・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※ 図示	16. フローリング張り	* 全味材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.11.2~6]		- 化粧パーティクルボード G 単版オーバーレイ・ ブラスチックオーバーレイ・ 塗装 10 (難態) 12 (難態)		亜鉛めっき銅面 ※RB種・・B種・A種 亜鉛めっき銅面(銅製建具) ※RB種・・B種
	補強方法 ※ 図示 ・開口部の補強		単層プローサング [G]		<ul> <li>ハードボード (素地) G</li> <li>無研磨板 (・スタンダード ・ テンパード)</li> <li>研磨板 (・スタンダード ・ テンパード)</li> </ul>		- Tung ( )
	・補強野縁及び、野縁受の追加による。野縁受のはね出しは150mm以下となるように つりボルトの増つりを行う。 ・図示による		種類 工法 樹種 厚さ(m) 幅及び長さ (m)   ・フローリング ・打雷め工法 ※ なら   15   標準性権書 表6.11.1による		・ ハードボード (化粧) G     ・ 内装用 ・ 外装用       ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7		コンクリート面(DP以外)、 ※ PR類・ ※R類 ・ △ 類
軽量鉄骨壁下地	・ 図がによる [6.7.3][表6.7.1] スタッド、ランナーの種類		ボード 1 等 (根太張り)・ ・ 釘留め工法 ※ なら ・12以上 標準仕様書 表6.11.3による		・ インシュレーションボード G A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上 ・ ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18		A L C バネル面     ・行:       押出成形セメント板面     ・R B種     ※B種
	※ 改修標準性検書6.7.3によるスタッド高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※ 図示による		(直張り) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		材料のホルムアルデヒド放散量		- R C 使 · 行
ビニル床シート	t'=ル床シート G [6.8.2~3]				・ 改修工事標準仕様書 6 . 1 3 . 2 (b) (c) (d) による		サっこうボード面 繰日加押工法 ※ A 種
:´=ル床タイル ゴム床タイル	種類の記号 色 柄 厚さ(mi) 特殊機能 施工箇所 備 考		・ フローリング ・ 接着工法 ※ なら 15 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		接着剤のホルムアルデヒド放散量		************************************
	・マーフ ル柄 ・ 耐動荷重性				※ 「★★★★ 通用する (・シーリング材 ジョイントコンパウンド)		
	- 柄物   - 防滑性   - 耐薬品性   - 耐薬品性				- 適用しない 合板類の張付け - B種 - A種	③ 鯖止め塗料塗り	錆止め塗料塗りの種別
	目地処理する場合の工法 ※ 熱溶接工法 ・		複合フローリング G		せっこうボードの目地工法・ 継目処理工法		塗装面     塗料種別     工程       鉄網面     SOP     塗替え     ※A種     ※C種
l t	ビニル床タイル G [6.8.2]		種類 工法 樹種 種別 幅及び長さ (mm)		<ul><li>・ 突付け工法</li><li>・ 目透し工法</li></ul>		新規見え掛り ※A種 ※A種 新規見え隠れ ※A種 ※B種
-	種類の記号 色 柄 寸法 (mm) 特殊機能 厚さ (mm) 備 考 - 300 × 300 · 帯電防止 ※ 2.0		天然木化粧複合     釘留め工法       フローリング     (根太張り)       - 日種     日本仕様書表6.11.2による       - 日曜       - 日曜	(19). 壁紙張り	ホルムアルデヒド放散量 ※ F ☆☆☆ [6.14.2~3] 壁紙の種類		DP
	- TT · 柄物 · 450 × 450 · 防滑性 · 2.5		- C種 - 打留め工法 ※ なら - A種 標準仕様書 表6.11.4による		施工箇所 <u>紙 振穂 5524-77 無機質 その他</u> 防火種別 備考(参考品番) 図示 ・・・ ② ・・ ※ 不燃 ・ 準不燃		下地調整配種 及以配種 ※ E 種 ※ A 種
	- FT - 500×500 3.0		(直張り) - B種		· · · ※ 不燃 · 準不燃		新規見之掛り ※1回目 C種 ※ A 種
	·FOB		※なら A種 標準仕様書 表6.11.6による		·   ·   ·   *   * 不燃 · 準不燃   モルタル・プラスター面の下地調整 ※ B種		新成児人隠れ ※2.5回日 D 程 EP-G 塗替え ※B種・A種 ※ C 種
-	・視覚障害者用床タイルの種類・形状 (種類: 形状: )		· 按有上法 - B種 - C種		コンクリート・A L C 面の下地調整 ※ B種 せっこうボード面の下地調整 ※ B種		新規見え掛り ※B種 - A種 ※ A 種 新規見え隠れ ※B種 - A種 ※ B 種
	ビニル幅木 材質 ・軟質 ・硬質 高さ (mn) ※ 60 ・70 ・100		フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆	20. モルタル塗り	材料 ・現場調合材料 (セメントは改修共通仕様書6.15.3による) - 既調合材料 (		亜鉛めっき銅面 SOP
	厚さ (m) ※ 1.5以上 ・ ゴム床タイル [6.8.2]		接着工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート・		既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※ 図示 ・ )		新規鋼製建具等 ※A種 ·B種 ※A種
	色柄 ( ) 厚さ(mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0		現場塗装仕上 - 行う (施工箇所 ) ※ ウレタン根脂ワニス塗り		・設けない 床目地 ・設ける (工法:※押し目地 ) ・設けない		DP ※日本 次の種 改修標準( 新規見え掛り ※日種 表7.4.6に 新規見え隠れ ※日種
	寸法 (mm) ( ) 特殊機能 [6.8.2]		<ul><li>オイルステインの上、ワックス塗り</li><li>生地のままワックス塗り</li></ul>		壁モルタル塗りの厚さが25mmを超える場合の下地処理 ・ (		EP-G 塗替丸 ※C種 ※C種
1	特殊機能 帯電防止 - 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上~ 3.2 未満 又は体積電気接抗値 (JIS A 1454) 1x10 ~1x10 Ω程度		・ 行わない 間伐材等の適用・適用する		- 防水剤の品質・性能 項目 品質・性能		新規見え掛り ※C種 ※ B種 新規銅製建具等 ※C種 ※ A種
-	下地がセメント系、木質系以外の場合の接着剤の種別 [表6.8.1、表6.8.2] ※床材製作所の仕様による	①7. 畳敷き	[6.12.2] 種別 · A種 · B種 <b>⊙</b> C種		防水剤の種別 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 混合割合 セメント重量の5%以下		
1	※休付表作所の仕様による ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ [6.8.2]		・D種 (豊康:・KT-I ・KT-II ・KT-II ・KT-K ・KT-N)		- 混合前告 (凝結) (凝結) 接続時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内		
ーペット敷き G	・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1~2]		・衝撃緩和型量 畳表 (JIS A 5902) ・ C1 ・ C2 畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極		凝糖及び安定性 (安定性) 収縮性 影張性のひび割れ及びそりについて観察する。	4 塗装	[7.5.2
'	パイル形状 織り方 色柄等 帯電性 偏考(参考品番)		★表表の登録はボルムアルアとト、アセトアルアとト級の人ナレンを発散しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。		曲げ及び圧縮強度比 70%以上		塗装の種類   塗装面   塗 替え   新
	- カットバイル - ウィルトン ※ 無地 - 適用する - ルーブバイル - ギブルフェース - 祈物 - 適用しない (様年品)	(18). せっこうボードその他	[6.13.2~3] 種類 厚さ (mn)、規格等		吸水比         95%以下           透水比         80%以下		②合成樹脂調合ペイント     木部屋外     ※ B種・ ※ A種       塗り(SOP)     ※ B種・ ※ B種・ ※ B種・
	・カット、ループ供用 アキスミンスター (標準能)	ボード及び合板張り	種類     厚さ (mn)、規略等       ・ 硬質木毛セメント板 G     ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	②). タイル張り	(6.16.2~4]   仲縮調整目地の位置		鉄銅面   ※ B種   ※ BE
	無地の織じゅうたんの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種		<ul><li>・中質木毛セメント板 G ・15 ・20 ・25 ・</li></ul>		床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと 図示 ) 床タイル以外 ( 図示 )		亜鉛めっき銅面(銅製建具以外) ※ B種 ・ ※ B種
	下敷き材 ※ 反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ 8mm 接合方法 ※ヒートボンド工法 ・		・普通木毛セメント板     G     ・15 ・20 ・25 ・       ・硬質木片セメント板     G     ・12 ・15 ・18 ・21		伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による ・セメントモルタルによるタイル張り		- クリヤラッカー塗り (CL) ** B種 ・ A種 ** B種 ・ Pを ** A種 ** B種 ・ Pを **
	· タフテッドカーペット [6.9.2~3]		・普通木片セメント板     G     ・30		タイルの形状、寸法等   形状   再生材 吸水率に   うわ   役物   色   耐凍		・耐候性塗料塗り 鉄鋼面 上塗り等級 ( )級 改修機性表7.8.1による 改修機士表7.8.1による 改修権士
	パイル形状     パイル長さ (mn)     工法     帯電性     備考(参考品番)       ・カットパイル     ※ 5~7     ※ 全面接着工法     適用する		タイプ2 (無石綿) ・6 ・8 ・けい酸カルシウム板 G		終末		(DP) コンクリート面及び押出成形をが入り板面 - A - 1種 - A - 1 表 - 1 & -
	・ ルーブパイル ※ 4~6 ・ グリッパー工法 (性能:※人体耐電圧 ・		- フラットタイプ (・9 (不燃) ・ 12(不燃) ・ )		M   M   M   M   M   M   M   M   M   M		- C - I種 · C - I ・ C - I種 · C - I ・ C - I種 · C - I ※ B種 · ※ B種 ・ ※ B種 · ※ A種
	カット、ループ供用 適用しない		- ロックウール化粧吸音板 (・9 (小葱)・12(小葱)・) - 凹凸タイプ (・12 (不葱)・ 15(不葱)・)				イント塗り 屋内の鉄銅面 ※ B種 ・ ※ A 種
	下敷き材(グリッパー工法の場合)		・ロックウール吸音ボード1号     ・25       ・グラスウール吸音ボード32K     ・25 (ガラスクロス包) ・		標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り 行う 行わない		(EP-G) 屋内の亜鉛めっき銅面 ※ A種・ ※ A種
	※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm		○ せっこうボード     ○ 12.5 (不燃)		<b>見本検き</b> ・ 行う ・ 行わない 既調合モルタル ・ 適用する (品質等: )		・含成樹脂エマルションペイント塗り(EP)     ※ B種     A種       ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)     ※ B種     A種
	・タイルカーペット     [6.9.2~3]       パイル形状     種 別     施工箇所     寸法 (mm)     裁罪さ (m)     債 考		- 不燃積層せっこうボード 9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用)		コンクリート素地面の処理 ・MCR工法 ・目荒し工法		・オイルステイン塗り(OS)       塗料(・油性・水性)
	※ ループパイル     ※ 第一種     ※ 500 x 500     ※ 6.5       ・ 第二種     ・ 第二種		・ 化粧有 (トラパーチン模様)       ・ シージングせっこうボード     12.5 (・不燃 ・準不燃 )		壁タイルの種類・大きさに応じた工法 内装タイル(小口平、二丁掛、100角) ・密着張り		②木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・A種 ※B種
	- カットパイル - 第一種 来 500 x 500 ※ 6.5 。 - 第二種		・		- 改良任著張り - ユニットタイル(内装タイル以外) - マスク張り - モザイクタイル張り		つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G コンクリート面、モルタル面、プラス せっこうボード、その他のボード面) の塗替えの場合のしみ止め
	- カット、ループ併用 - 第二種 - ※ 500 × 500 ※ 6.5		・せっこうラスボード 9.5		・接着剤によるタイル張り タイルの形状、寸法等		※改修標準仕様書7.9.2 (2) により、工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
	タイルカーペットの敷き方		12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 機様 (・柾目 ・板目)専用下地材有り		形状 再生材 吸水率に うわ 役物 色 耐凍 害性 の適用 I III 施 施 看 有 無 標 特 持 有 無 標 等 支 有 無		合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) の塗替えの場合のしみ止め ※ 改修標準仕様書 7.9.2 (2) による
	平場 ※ 市松敷き 模様流し 階段部分 ※ 模様流し 市松敷き		○ 化粧せっこうボード     9.5 (準不整)		(m)		- 高日射反射塗料塗り G
	見切り、押え金物 材質( ) 種類( )		(トラパーチン機様) 表面の材種				下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
	形状等 ※図示 ·		生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・ )				
	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆ [6.9.2]				標準的な曲がりの役物は一体成形とする 試験張り 行う 行わない		准料涂料 JISK 5675 屋根用高日射 2 種 2 種 塗料製
			(		見本焼き ・ 行う ・ 行わない 内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外		及射華塗料 2 種 2 級 仕様に
			接着の程度 (・1類 ・2類 )	22. セルフレベリング村 塗り	性類 ・セつこう糸 ・セメント糸	i	
			- 防虫処理		品質 ※改修標準仕様書表6.17.2による 塗厚 (mm)		
		1	1 級規		)) 2 0 0 6 号 (岩手県) 設計年月日 設計 検図 2025. 3.	図面内容	縮尺 図画 A
				社 A B E	構造設計 2025. 3.	1	枚ノ内   萼 ・・





1	会議	カ は	١	ы	<del>立</del> 7	4	L	=
(	完 讓	空伸	)	<i>ሃ</i> ኑ	光	11	г	<del>7</del> 5

<b>†</b> ⊓ / <b>+</b>	既存仕上	改 修 後 仕 上	
屋     根     [風除       外壁(柱・梁)     (既存 [風除       ず     (既存       軒     天     井     (既存       軒     天     井     (既存       「東ト	成 存 任 上	新 設 · 改 修 内 容	認定番号等
E #1	(撤去) 瓦葺き、アスファルトルーフィング下葺き(アスペスト含有みなし建材) (既存利用) 木製垂木+野地板 下地	(新設) ガルバリウム鋼板 t=0.4 立平葺き、アスファルトルーフィング940下葺き、棟換気 (ガルバリウム鋼板加工包み)	
<b>注</b> 仅	[風除室] 陸屋根 シート防水 [東トイレ](撤去)カラー鉄板 瓦棒葺き、アスファルトルーフィンヴ下葺き	垂木 45×60@455+野地合板 t =12下地	
ᆔᇠ(ᆉᆞ까)	(既存利用)コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ	【塗装改修】	
外壁(柱・栄)	[風除室] コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ	既存塗装面:高圧洗浄・素地調整の上、アクリルリシン吹付	
	[東トイレ] (撤去) 木造, ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ	新設 RC壁・窓まわりモルタル補修部分:素地調整の上、アクリルリシン吹付	
外 壁	(既存利用) 石積み (凝灰岩 野蒜石)		
# <b>#</b>	(既存利用)コンクリート打ち放し 吹付塗装仕上げ		
軒 大 升	[東トイレ] (撤去) 防火ライト t=6 (アスベスト含有 みなし建材)		
雨  樋	(撤去) 軒樋 カラ-鉄板 (半円形) φ100, タテ樋 カラ-鉄板 (丸) φ75	(新設) 軒樋 カラ-鉄板 (半円形) t=0.4 φ120, タテ樋 カラ-鉄板 (丸) t=0.4 φ75	
7.4 🖽	(既存利用)アルミサッシ:引き違い段窓(一部 アルミパネル撤去)	(新設)アルミドア:見込 70、SAT、YKK AP(7TD 同等品)、ペアカ゚ラス(Low-E)	
建具	[東トイレ](撤去)アルミサッシ	既存アルミサッシ パネル撤去部分 ガラス新設 (図示)	
その他			

### (会議室棟)内部仕上表(各室共通:撤去・改修範囲は図示)

\	1		スペールム	改修   配囲は凶ホ)						
部屋名	E	ŧ	巾木		. 壁		天 井	│ - 天井高	周り縁	備考
HP /± 13	下 地	仕 上	" "	下 地	仕 上	下 地	仕 上	八开间	701 7 ms	<u>Ст.</u> ни
既 1 風除室 存 階 [FL-200]	(一部撤去) 土間コンクリート t =120	(一部撤去) 磁器質タイル張り		(既存利用) RC壁	(既存利用) 上部:吹付塗装仕上げ 下部:磁器質タイル張り	(既存利用) RCスラブ	(既存利用) 吹付塗装仕上げ	3, 145		
仕   階段下物置   上   [FL-250]		(撤去) コンクリート金ゴテ押え t =120			(撤去) モルタル塗 t=20		(撤去) ベニヤ t=5	2, 820	(撤去) 木製 25x60	
玄 関 [FL-200]	(撤去) 土間コンクリート t =120	(撤去) 磁器質タイル張り	(撤去) 木製 25x150	【外部側】 (撤去) モルタル塗 t=20	【外部側】 (撤去)上部 モルタル塗下地の上、塗装 (撤去)下部 合板張りt=5+塗装	(撤去) 木製野縁 36×36@455	(撤去) 石膏ボード t=9mm +塗装	3, 245	(撤去) 木製 25x60	
廊 下事務室	(撤去) 根太組+床板 t=12	(撤去) ビニル床シート		【間仕切り壁】 (撤去) 間柱 45x105@455	【間仕切り壁】 (撤去) 合板張りt=5+塗装 【共通】 (撤去) 壁見切り:木製 25x40、25x70			3, 150 3, 020	(撤去) 木製 25x60	
東トイレ (男女共通)	(撤去) 根太組+床板 t=12	(撤去) ビニル床シート	(撤去) 木製 25x90	柱 105角、間柱 45x105@455	合板 t=5 +塗装	(撤去) 木製野縁 36×36@455	(撤去) フレキシプルボード t=6mm +塗装 (アスペスト含有建材)	2, 310 2, 400 2, 470	(撤去) 木製 25x60	
2 ホール 階 中会議室 会議室	(撤去) 木床梁・根太組 +床板 t=12	(撤去) ビニル床シート	(撤去) 木製 25x150	【外部側】 (撤去) モルタル塗 t=20 【間仕切り壁】 (撤去) 間柱 45x105@455	【外部側】 (撤去)上部 もりり塗下地の上、塗装 (撤去)下部 合板張りt=5+塗装 【間仕切り壁】 (撤去)合板張りt=5+塗装 【共通】 (撤去)壁見切り:木製 25x40、25x70	(撤去) 木製野縁 36×36@455	(撤去) 石膏ボード t=9mm +塗装	3, 020	(撤去) 木製 25x60	
改 1 風除室 修 階 [FL-200]	(一部新設) 土間コンクリート t =120	(一部新設) 磁器質タイル張り t=10 外装床 100角	(一部新設) 磁器質タイル 立上げ		(新設) 窯業系サイデ (シク・t=14mm (モエンW14シャトーウォール調程度)		(既存利用) 吹付塗装仕上げ	3, 145		(新設) 階段 段鼻:/ンスリップ SUS W=35 コ゚ムタイヤ入り
後 廊 下 仕 階段下物置 上 事務室	(新設) 土間コンクリートの上、鋼製東 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペニヤ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 木製間柱:30x105@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm 継目処理 +ビニルクロス貼り	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボードt=9.5mm (ジプトーン) 張り	2, 800	(新設) 塩ビ製	
2 ホール 強 会議室	(新設) 木床組 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンベニヤ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 木製間柱:30x105@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm 継目処理 +ピニルクロス貼り	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボードt=9.5mm (ジプトーン) 張り	2, 700	(新設) 塩ビ製	
階段	(新設) 構造用合板 t=28加工	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ササラ桁 好集成材 CL	(新設) 木製間柱:30x105@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm 継目処理 +ビ-ルクロス貼り	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ポードt=9.5mm (ジプトーン) 張り	2, 700	(新設) 塩ビ製	(新設) 階段 段鼻:/ンスリップ SUS W=35 コ゚ムタイヤ入り 腰壁 甲板:タモ集成材 t=25 CL
共					I	■	 ント塗り			1
通						装 OS : オイルステイン塗				
事						<ul><li>略 C L : クリヤラッカー塗</li><li>号 W P : 木材保護塗料塗り</li></ul>				
垻						万   W P : 个 M 休 護 塗 科 塗 り				

名 称	 1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺		® A−06
本庁舎分室 耐震補強工事	合同会社 A <sup>7</sup> B <sup>°</sup> E 構 造 設 計	2025. 3.	製図	担当	会議室棟	_	枚ノ内	号
	 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	登録 207833 号 阿			│ 既仔・改修 仕上表			

1	事 楘 安 楎	١	ы	立17	4	-	耒
(	事 珍 幺 栂	)	ላ ኑ	台	11	г	ᅏ

部 位	既存仕上	改修後仕上	
部 14	既存任上	新設	認定番号等
屋 根	(既存利用) カラー鉄板 横葺き、 アスファルトルーフィング下葺き、 木製垂木+野地板 下地	(新設) ガルバリウム鋼板 t=0.4 横葺き、アスファルトルーフィング940下葺き、棟換気 (ガルバリウム鋼板加工包み)	
庄 似		垂木 45×60@455+野地合板 t=12下地	
外 壁	(撤去) ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ	(新設)窯業系サイディング張り t=14 (モエンฟ14シャトーウォール調程度)、同質出隅	
71 室		構造用合板 t=9下地、タイベックシート張りの上 通気胴縁 18×45@455	
		土台水切り:カラーアルミ製通気工法用水切り	
軒天井	(撤去) 防火ライト(一部 防火有孔板) t=6 (アスベスト含有 みなし建材) +塗装	(新設)化粧スラグせっこう板 t =6mm (塗装品)、軒天通気金物	
軒 大 廾	(撤去) ラスモルタル下地 吹付塗装仕上げ		
	(撤去) アルミサッシ	(新設)住宅用断熱 アルミ樹脂複合サッシ(YKK AP∶エピソードⅡNEO同等品)、ペアガラス(Low-E)	
建具		アルミドア:見込 70、SAT (YKK AP:7TD 同等品)、ペアガラス(Low-E)	
		開口部廻りは全て変性シリコーン処理とする	
テラス屋根	(撤去) 塩ビ製 波板, 木製垂木 45x75@455		
ノク度仮	(撤去) 柱:鋼管 φ48.6x2.5 , 軒梁:角型鋼管 120x75x2.3		
その他			

## (事務室棟)内 部 仕 上 表 (各室共通:撤去・改修範囲は図示)

			Б	<u> </u>			壁		天 井			
	剖	序屋 名			巾木	- u	仕 上	T 1th		天井高	周り縁	備考
既存	1 階	廊下	下 地 (撤去) 根太組+合板 (既存利用) 踏込: 土間コンクリート	仕 上 (撤去) ビニル床シート t=2 (既存利用) 踏込: テラッ゙ー仕上	(撤去) 木製 25x150	下 地 (一部撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	位 上 (既存利用) 上部: プラスター塗 +塗装 下部: 合板 +塗装 壁見切り: 木製 H-40	下地 (撤去) 木製野縁	仕 上 (撤去) 石膏ボード t=9mm+塗装	3, 020	(撤去) 木製 25x60	(撤去) 木製棚 W=2,800 D=760 H=1,800
上		事 務 室 (食品衛生協会) [FL+110]	(撤去) 根太組+合板	(撤去) 踏込み:ビニル床シート フローリング t=12mm	(撤去) 木製 25x150	(一部撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) プラスター塗 十塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ポート゚ t=9mm+塗装	3, 150	(撤去) 木製 25x60	
		事務室 (防犯協会) (調理師会)	(撤去) 根太組+合板	(撤去) ビニル床シート t=2	(撤去) 木製 25x150	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) プラスター塗 +塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ポ-ト゚ t=9mm+塗装	3, 020 2, 500	(撤去) 木製 25x60	
		物  置	(既存利用) 根太組+合板	(撤去) ビニル床シート t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) プラスター塗 +塗装	(撤去) 木製野縁	(撤去) 石膏ポート゚ t=9mm+塗装	2, 500	(撤去) 木製 25x60	(撤去) 木製棚
		書庫	(既存利用) 根太組+合板	(撤去) ビニル床シート t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 化粧石膏ボード t=9mm	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	(撤去) 塩ビ	(撤去) 木製棚
		湯 沸 室	(既存利用) 根太組+合板	(撤去) ビニル床シート t=2	(撤去) 木製 15x90	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm+t゚ニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	(撤去) 塩ビ	(撤去) 流し台 W=1200 (シンク裏 防滴材: アスペスト含有建材)
		男女W C [FL-200]	(既存利用) 土間コンクリート+モルタル t=25	(既存利用) 磁器質タイル張り t =5	(撤去)	(撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 上部:石膏ボードt=12.5mm+塗装 下部:磁器質タイル張り	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 700	(撤去) 塩ビ	
改修後	1 階	廊下	(新設) 防湿コンクリートの上、鋼製束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペ・ニャ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	3,000	(新設) 塩ビ	
上		会議室	(新設) 防湿コンクリートの上、鋼製東 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペ・ニャ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ポード(ジプトーン) t=9.5mm	3,000	(新設) 塩ビ	
		女子トイレ	(新設) 土間コンクリートの上、調整東 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペ・ニャ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	(新設) 塩ビ	(新設) 棚手すり付紙巻器、コーナー手洗キャビ・ネット 化粧鏡付、タオルリンケ 扉付ミト・ルキャビ・ネット(360x150x600)
	!	男子トイレ(小)	(新設) 土間コンクリートの上、調整束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラフンペ・ニヤ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボ-ドt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	(新設) 塩ビ	(新設) ライニング天板:メラミンポストフォーム t=25 狭小手洗いキャビネット、化粧鏡、タオルリング
4-								30 00D A-B-141R-EEDA 0 ( -	1 200 11			
井   通								<u> </u>				
事								略 CL : クリヤラッカー塗り				
項								号 WP : 木材保護塗料塗り				

名 称	+广本八章 科泰林光工市		設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内図面番号	図 画 番号 A — 07
本庁舎分室 耐震補強工事		合同会社 A´B E 構 造 設 計	1 級建築士 登録 207833 号	製図	担当	事務室棟 既友,改修、仕上表	_		
		岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	豆辣 20/033 写			│			

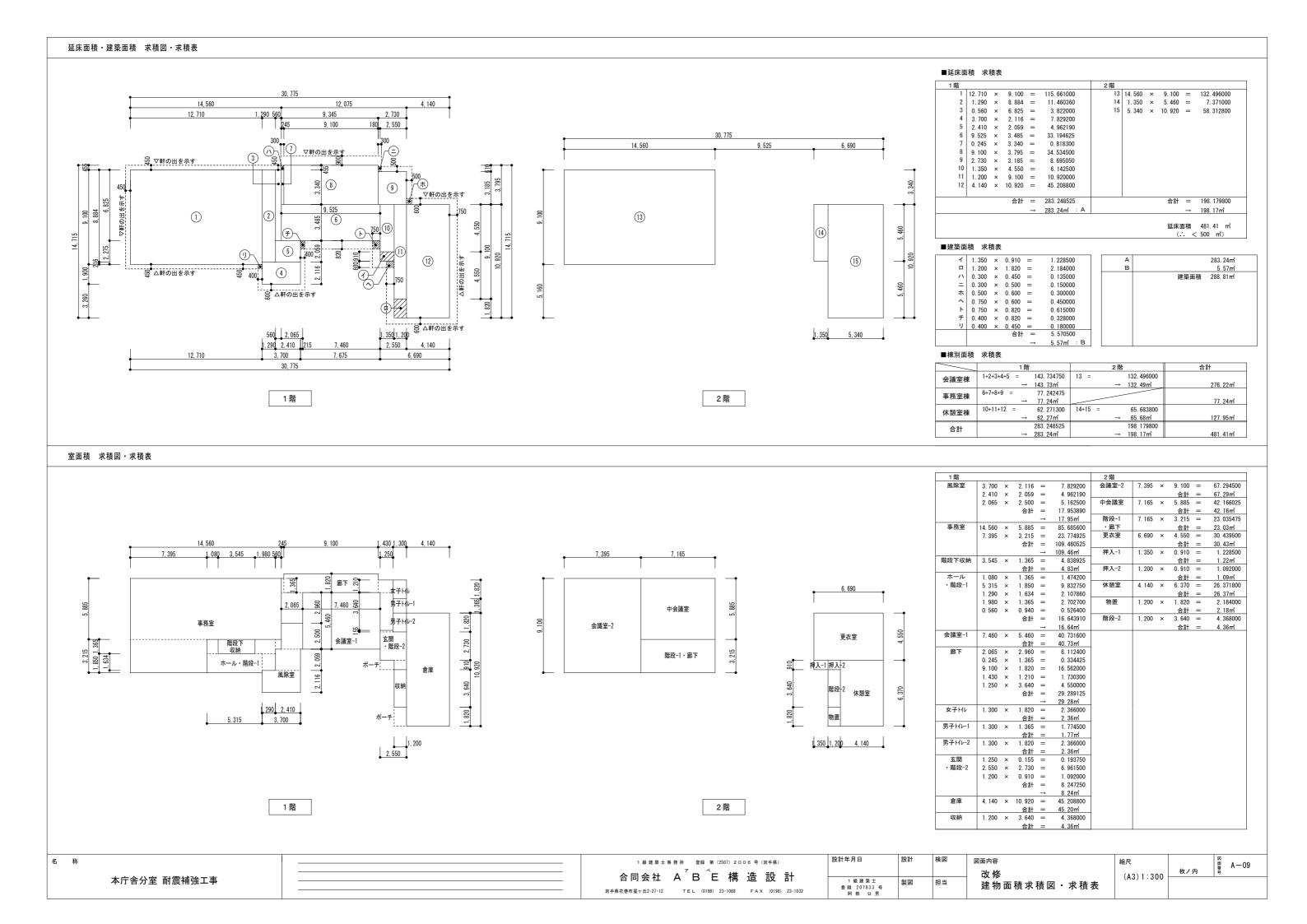
(	休憩室棟	)	外	部	仕	上	表

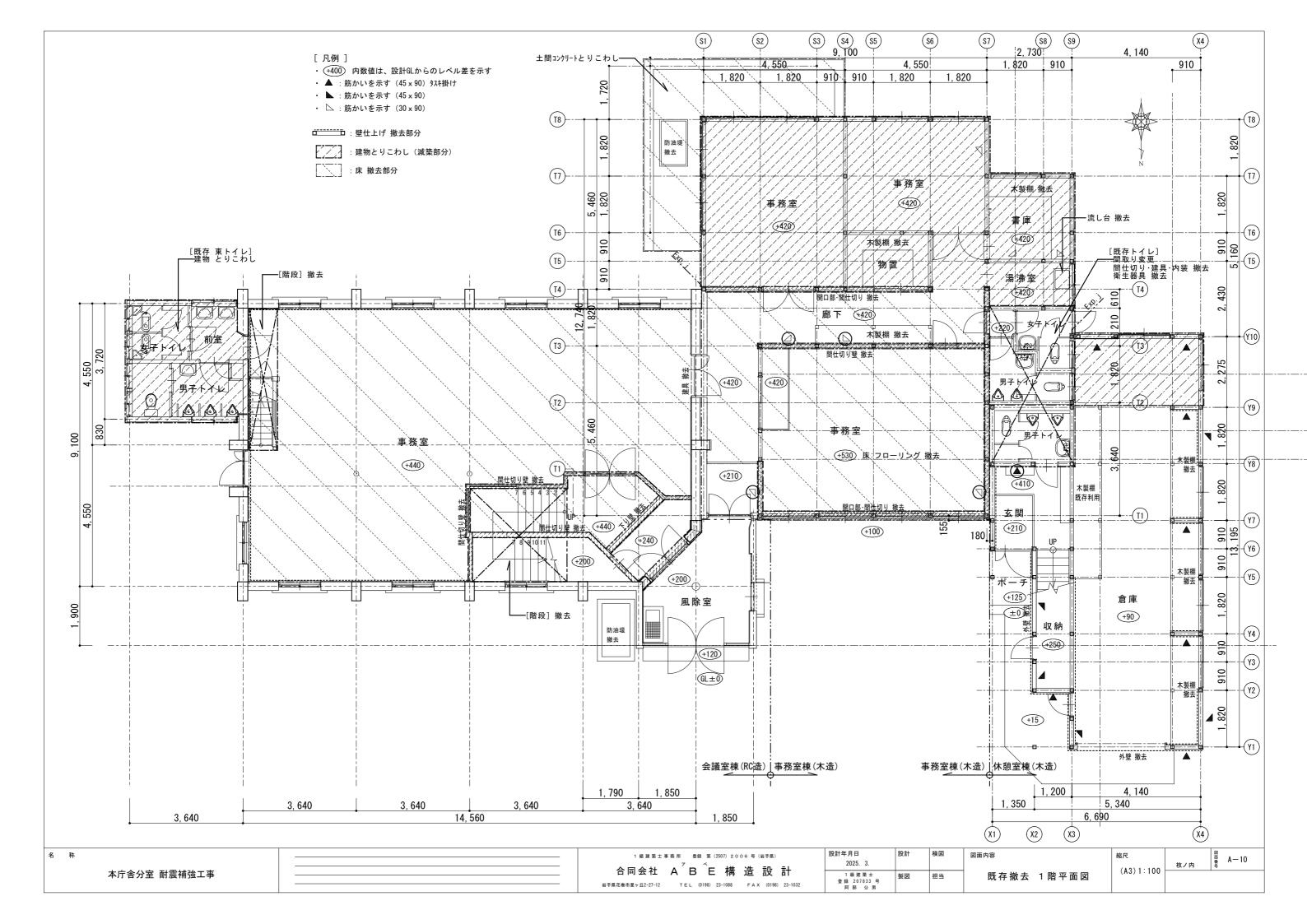
部 位	ят ± Д L	改 修 後 仕 上					
部 14	既存仕上	新設	認定番号等				
屋根	(既存利用) カラ-鉄板 横葺き、アスファルトルーフィング下葺き、垂木 45×90@455+野地合板 t =12下地						
外 壁	(撤去) 金属サイディング よろい張り, 防水シート下地【図示】	(新設) 窯業系サイディング張り t=14 (無塗装板)の上、アクリルリシン吹付【図示】 構造用合板 t=9下地【図示】、タイベックシート張りの上 通気胴縁 18×45@455 土台水切り:カラーアルミ製通気工法用水切り					
軒 天 井	(撤去) 防火ライト(一部 防火有孔板) t=6 (アスペスト含有 みなし建材) +塗装【図示】	(新設) 化粧スラグせっこう板 t=6mm (塗装品)、軒天通気金物					
建具	(撤去) アルミサッシ 見込 60mm 【図示】 (既存利用) 軽量スチールシャッター	(新設) 住宅用断熱 アルミ樹脂複合サッシ (YKK AP: エピソート゚ II NEO同等品)、ペアカ゚ラス(Low-E) 【図示】 開口部廻りは全て変性シリコーン処理とする (改修) 軽量スチールシャッター: 沓摺レール新設、手掛け(樹脂)新設					
その他							

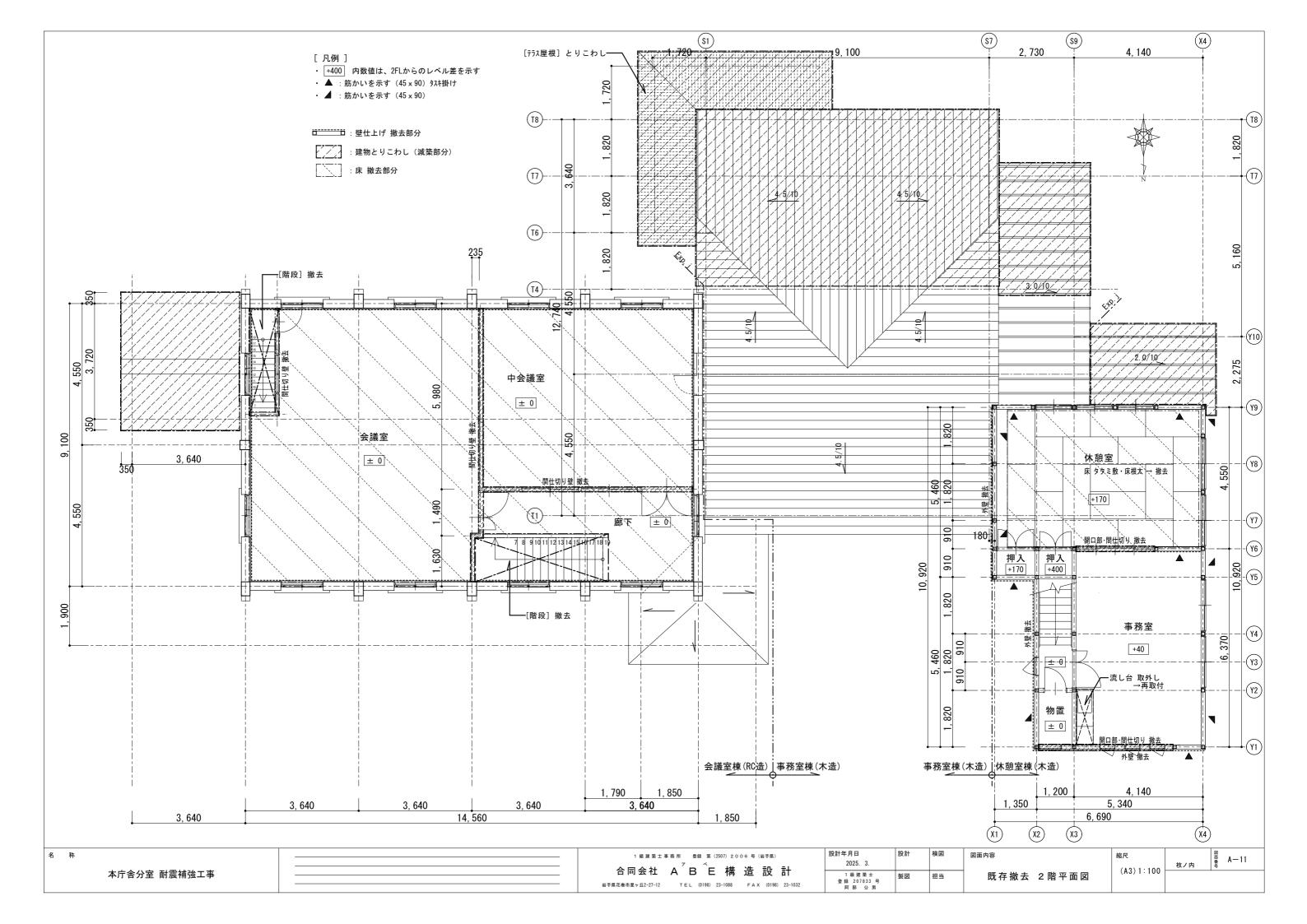
#### (休憩室棟)内部仕上表 (各室共通:撤去・改修範囲は図示)

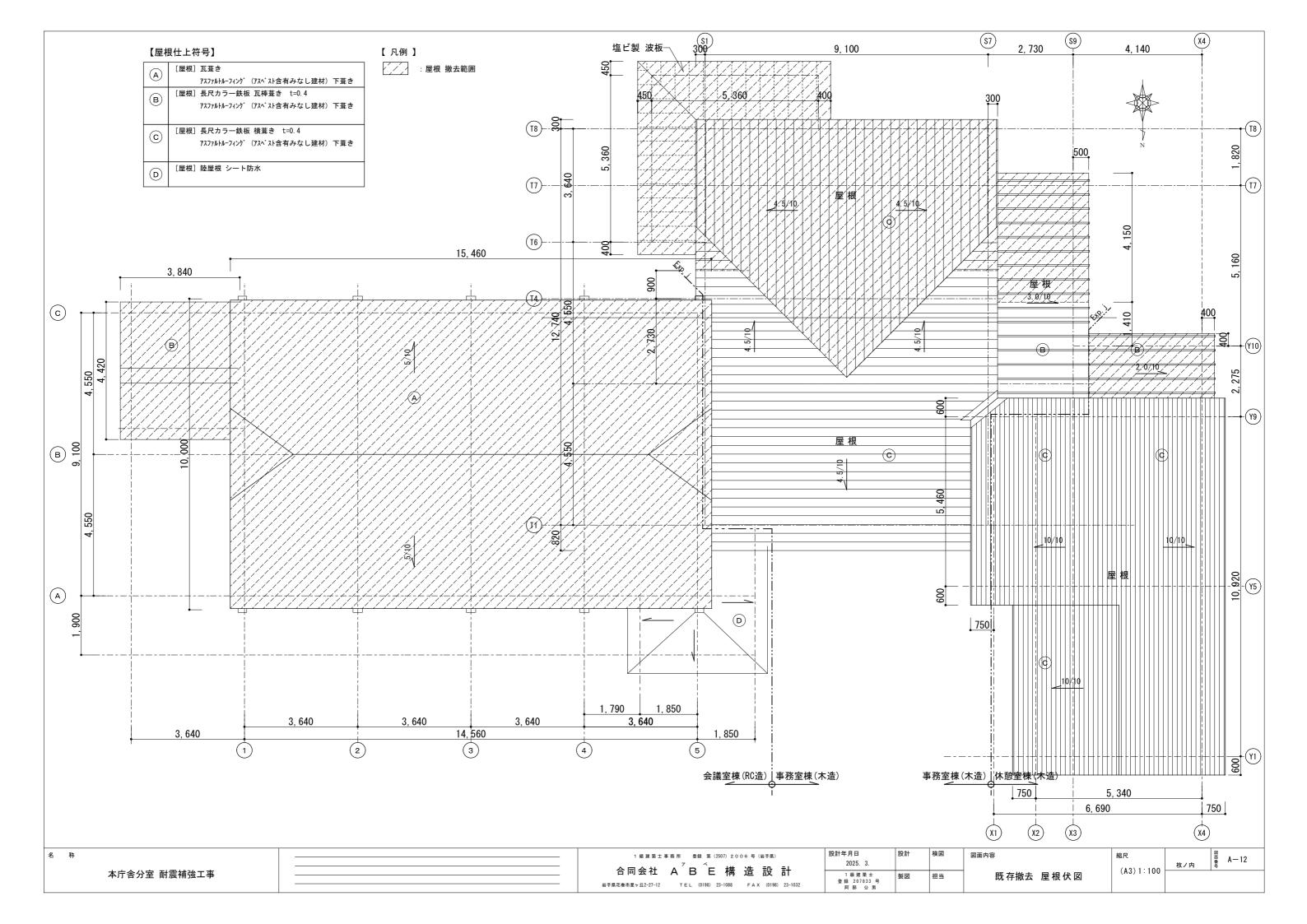
$\rightarrow$	<b>小忠王休</b>	II		三六世・服ム	以修 軋囲は凶ホ/					Т	
	部 屋 名		<b>末</b> ├───//	巾木	<b>—</b> 14.	壁 (1) (1)	- D.	天 井 () 1	天井高	周り縁	備考
	I	下 地	仕 上		下地	仕上	下 地	仕 上			
既 1 字 階 .	倉 庫	(既存利用) 土間コンクリート			(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 合板 素地	2階根太 現わし				(撤去) 木製棚 D=910(2段)、中柱 100×100 H=2670
	階段下収納	(既存利用) 土間コンクリート			(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455		階段 現わし				
	玄	(撤去) 根太組+合板 t =12	(撤去) クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x90	(撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm+t゚ニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	塩ビ	(撤去) 付框、雨具掛けフック受材 (取り外し、再取り付け) 下足入 W=1925·H=1890·D=310(1台), W=975·H=1800·D=310(1台)
	男子トイレ	(撤去) 根太組+合板 t =12	(撤去) クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x90	(撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm+t*ニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	塩ビ	
2 階	休 憩 室 [FL+40]	(既存利用) 根太組 50x105@300 +合板 t =12	クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x40	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm+t゚ニルクロス	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 450	塩ビ	(撤去) 流し台 W=1800
PH	更 衣 室 [FL+160]	(既存利用) 根太組 50x105@455 +合板 t =12	(撤去) 畳敷き	(撤去) 畳寄せ 20×120	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	石膏ボード t=12.5mm+和風クロス 真壁造り,壁見切り	木製野縁	目透し天井板 杉柾	2, 500	木製(2段) 35x60 25x40	
	押入	(既存利用) 根太組 50x105@455 十合板 t =12			(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	石膏ボード t=12.5mm 素地	木製野縁	化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm		塩ビ	
	物置	(既存利用) 根太組 50x105@300 十合板 t =12	クッションフロア t=2	(撤去) 木製 15x40	(既存利用) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(撤去) 石膏ボード t=12.5mm 素地	(撤去) 木製野縁	(撤去) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm		塩ビ	(撤去) 木製棚 D=910(1段)
	階段		(既存利用) 木製階段 段板 t =35	(既存利用) ササラ桁	(撤去) 間仕切り壁:間柱 30x105@455	(既存利用) 石膏ボード t=12.5mm+t゚ニルクロス	木製野縁	化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm		塩ビ	
1 階	倉 庫		(新設) 土間コンクリート 金ゴテ押え			(新設) 構造用合板 t-9mm 素地					(新設) 木製棚 D=910(2段)、中柱 100×100 H=2670
l PE	階段下収納										
	玄関	(新設) 土間コンクリートの上、調整束 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペニヤ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	塩ビ	(新設) 付框 25×90、雨具掛けフック受材 20×55 SOP (取り外し、再取り付け) 下足入 W=1925·H=1890·D=310(1台), W=975·H=1800·D=310(1
	男子トイレ	(新設) 土間コンクリートの上、調整東 大引き 90x90 構造用合板 t=28 ラワンペニヤ t=9	(新設) ビニル床シート t=2mm	(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 5 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 160	塩ビ	(新設) 棚手すり付紙巻器、コーナー手洗キャビ・ネット 化粧鏡付、タオルリング 扉付ミドルキャビネット(360x150x600)
2 階	休憩室			(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 石膏ボードt=12.5mm+ビニルクロス仕上	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm	2, 450	塩ビ	(取り外し、再取り付け) 流し台 L=1800 (新設) 据え置き型 IHクッキングヒーター
r#	更衣室	(新設) 根太 45x90@455 構造用合板 t=12	(新設) 畳敷き	(新設) 畳寄せ 20×120		(新設) 石膏ボード t=12.5mm+t <sup>*</sup> ニルクロス 真壁造り, 壁見切り	木製野縁	目透し天井板 杉柾	2, 500	木製(2段) 35x60 25x40	
	押入										
	物置			(新設) ソフト巾木 H=60	(新設) 間仕切り壁:間柱30x105x@455 (ジョイント部 45x105)	(新設) 5 石膏ボード t=12.5mm 素地	(新設) 木製野縁 36×36@455	(新設) 化粧石膏ボード(ジプトーン) t=9.5mm		塩ビ	(新設) 木製棚 D=910(1段)
	階段										
					I	I	塗     SOP: 合成樹脂調合ペ 装       装     OS: オイルステイン:       略     CL: クリヤラッカー:       号     WP: 木材保護塗料塗	<u>塗り</u> 塗り		1	

名 称	 1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容	縮尺	枚ノ内	図 番 A-08
本庁舎分室 耐震補強工事	合同会社 A´B E 構 造 設 計 ####################################		製図	担当	- 休憩室棟 既存・改修 仕上表	_	127 13	7

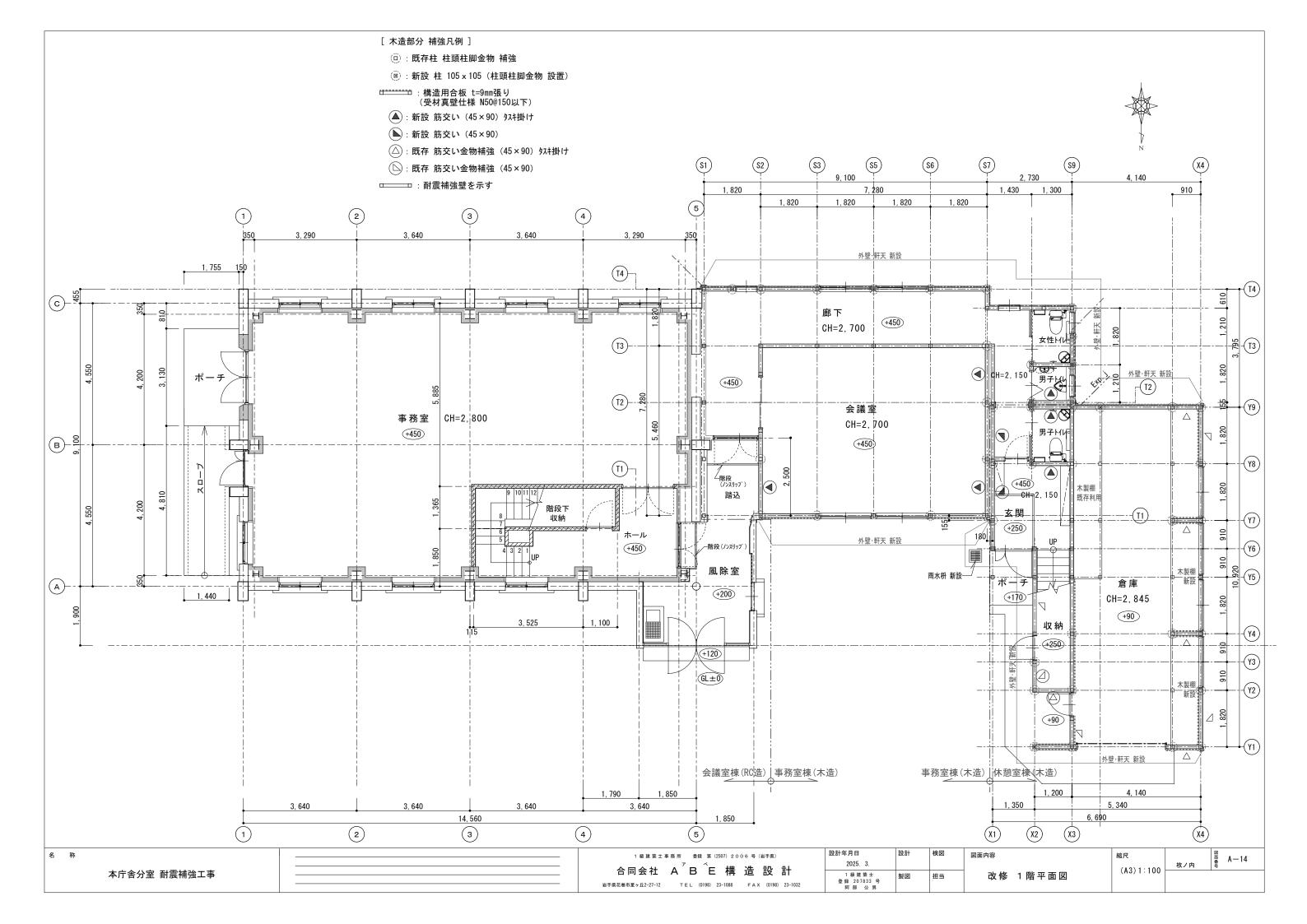


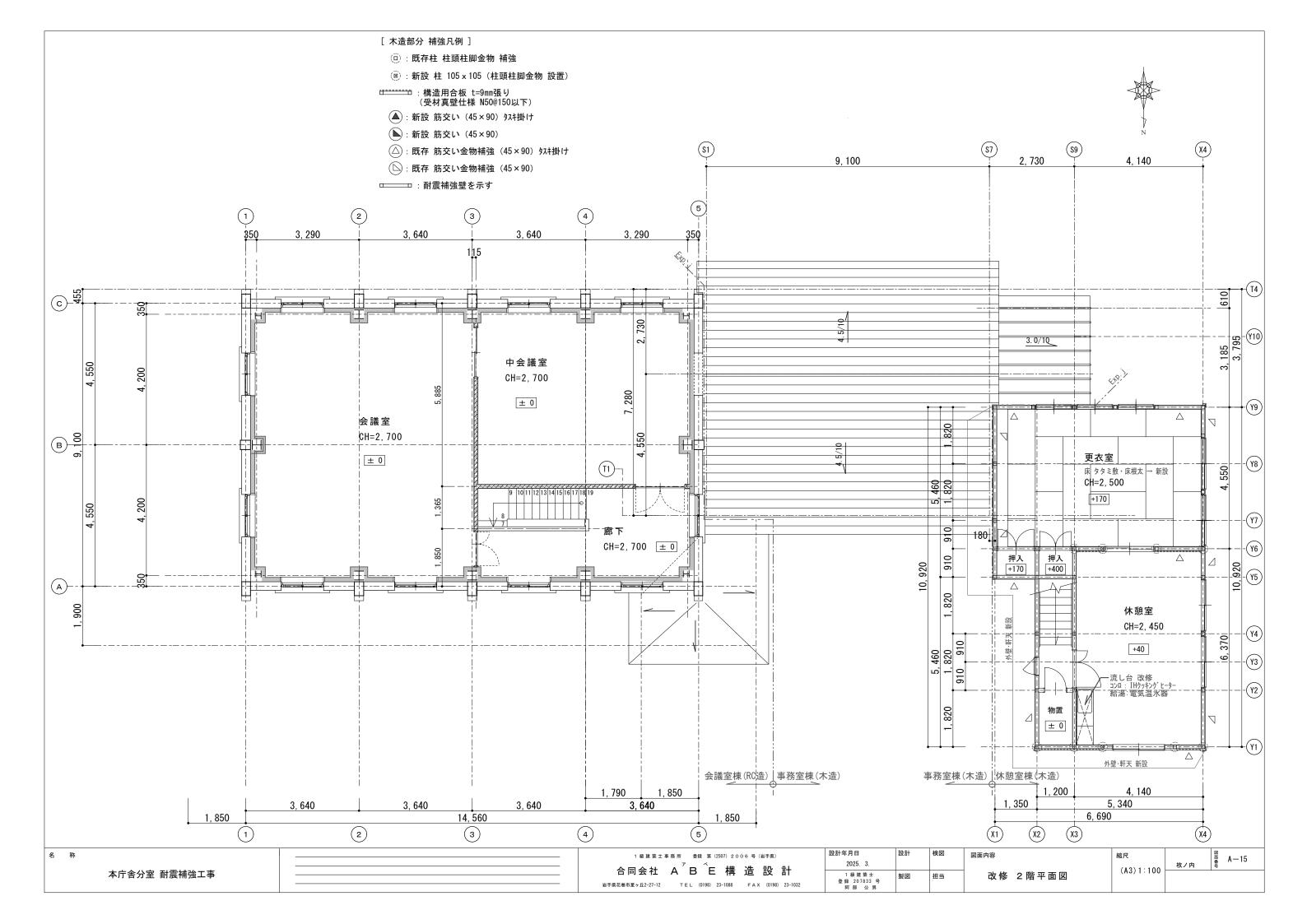


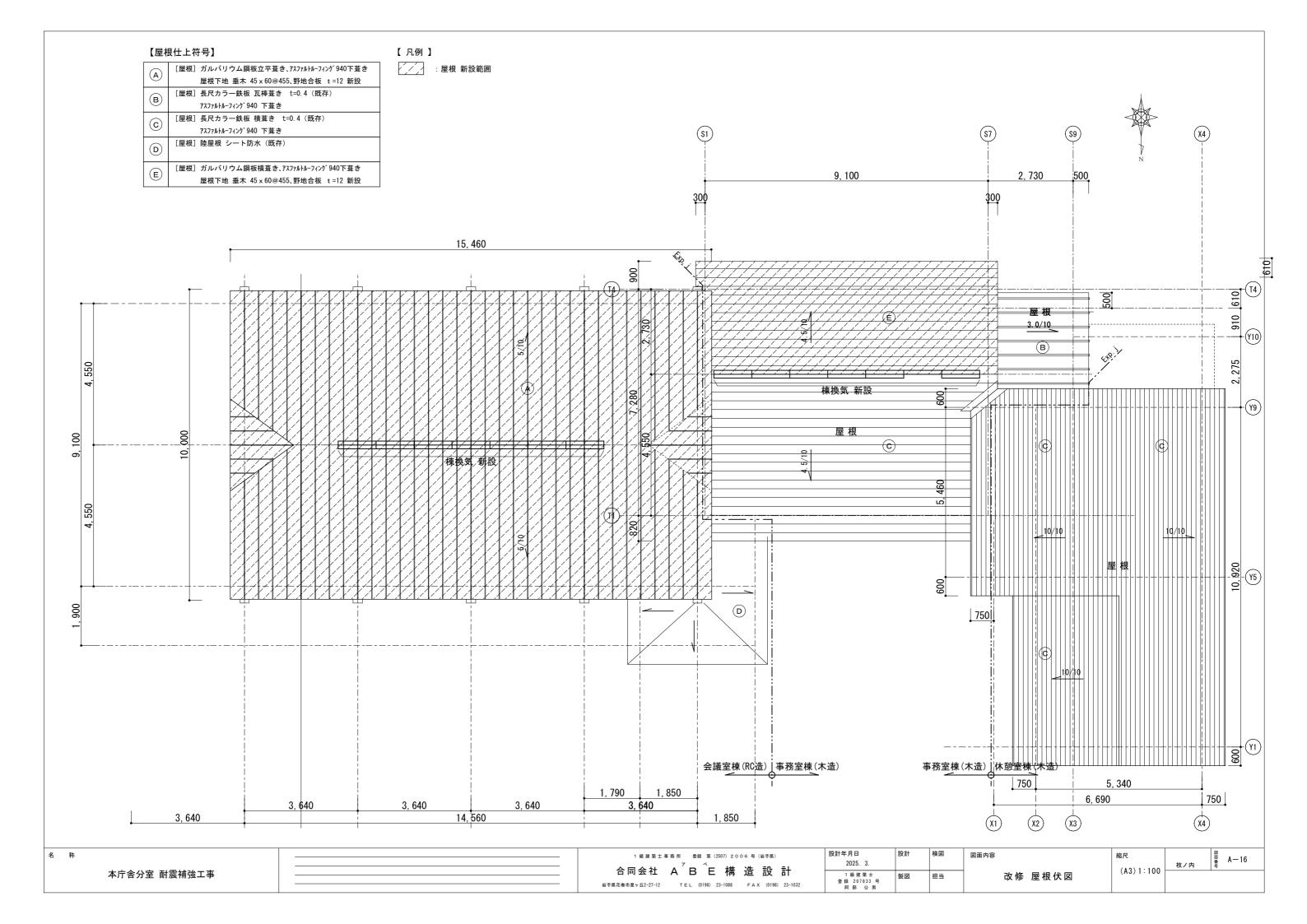


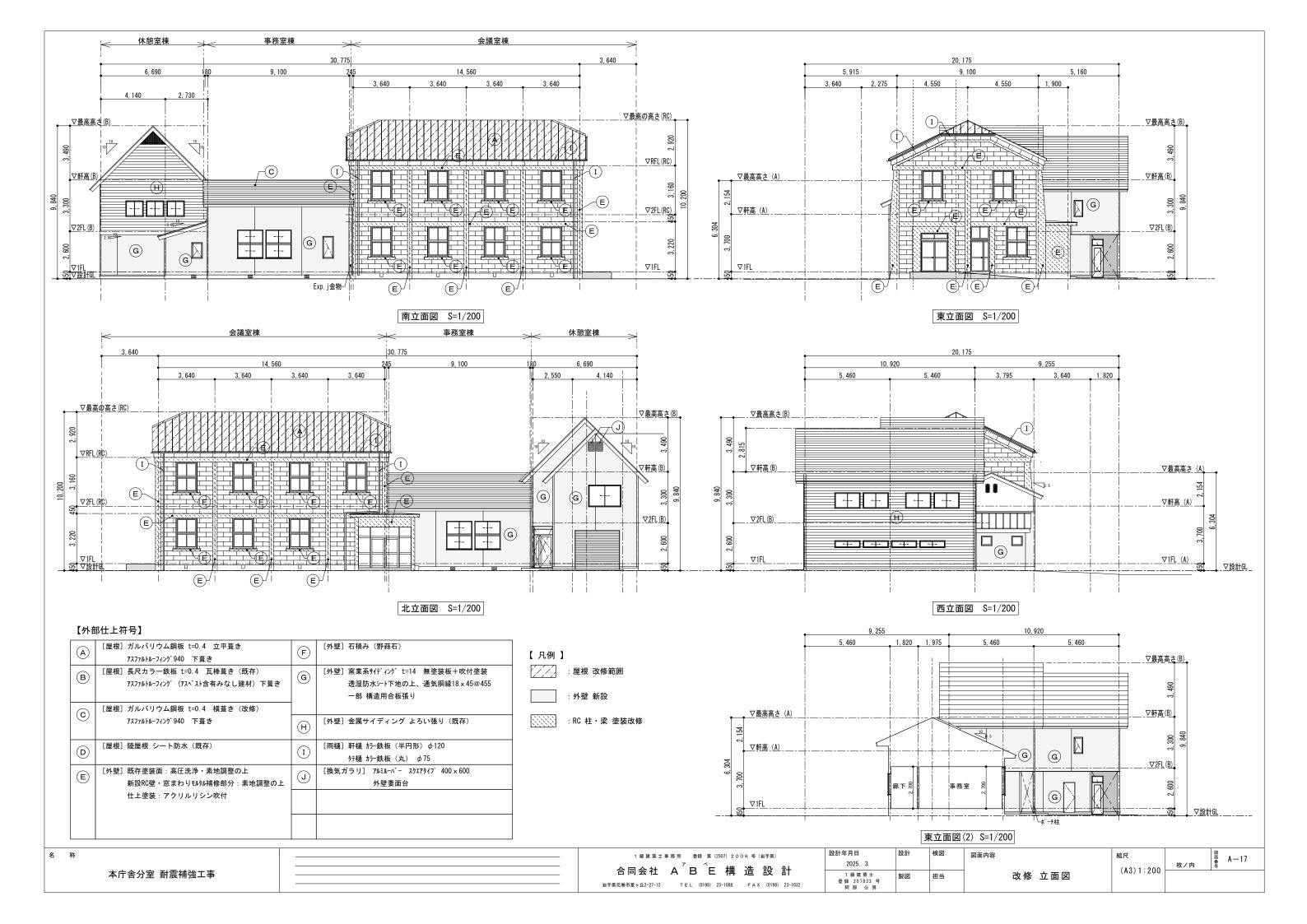


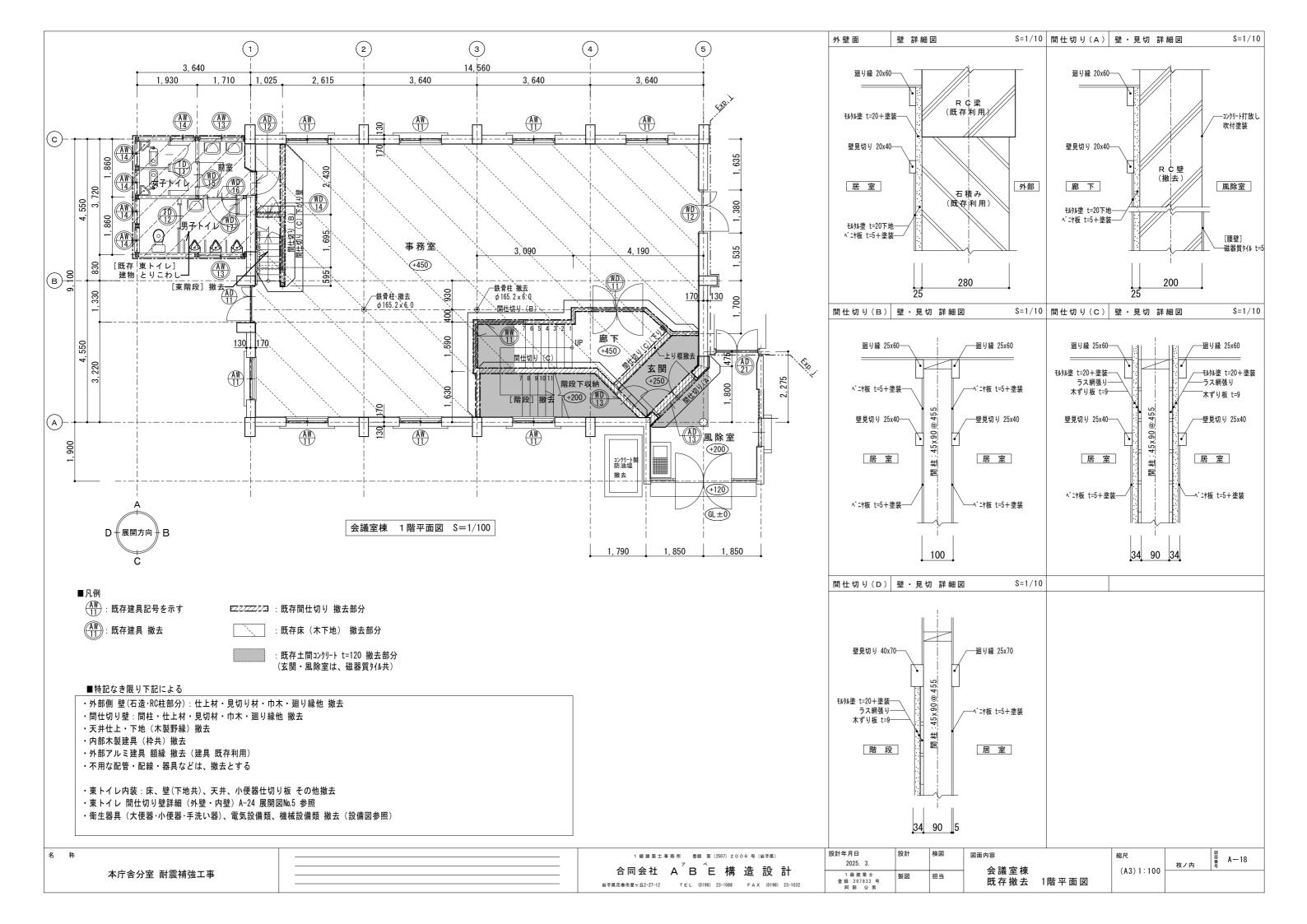


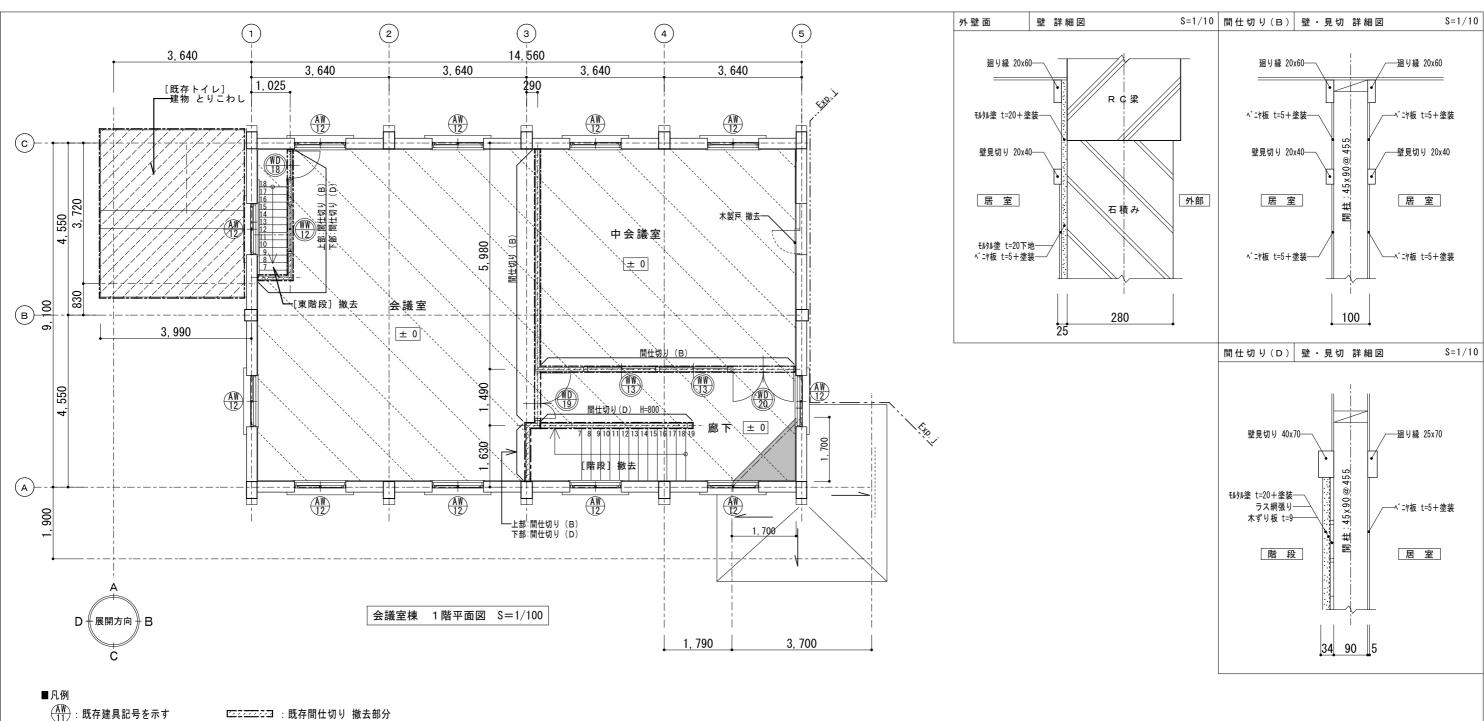












(AW): 既存建具 撤去

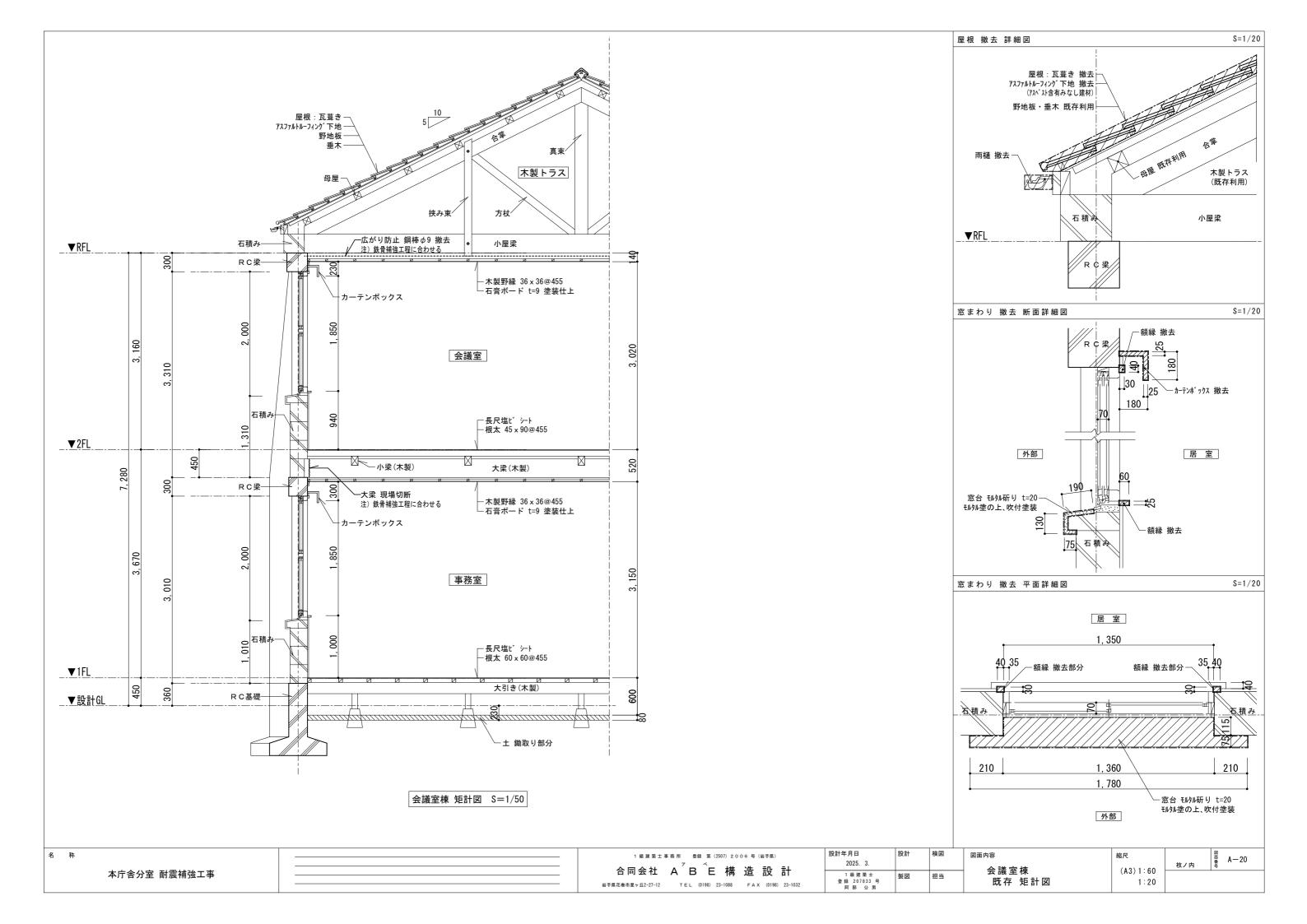
: 既存床(木下地) 撤去部分

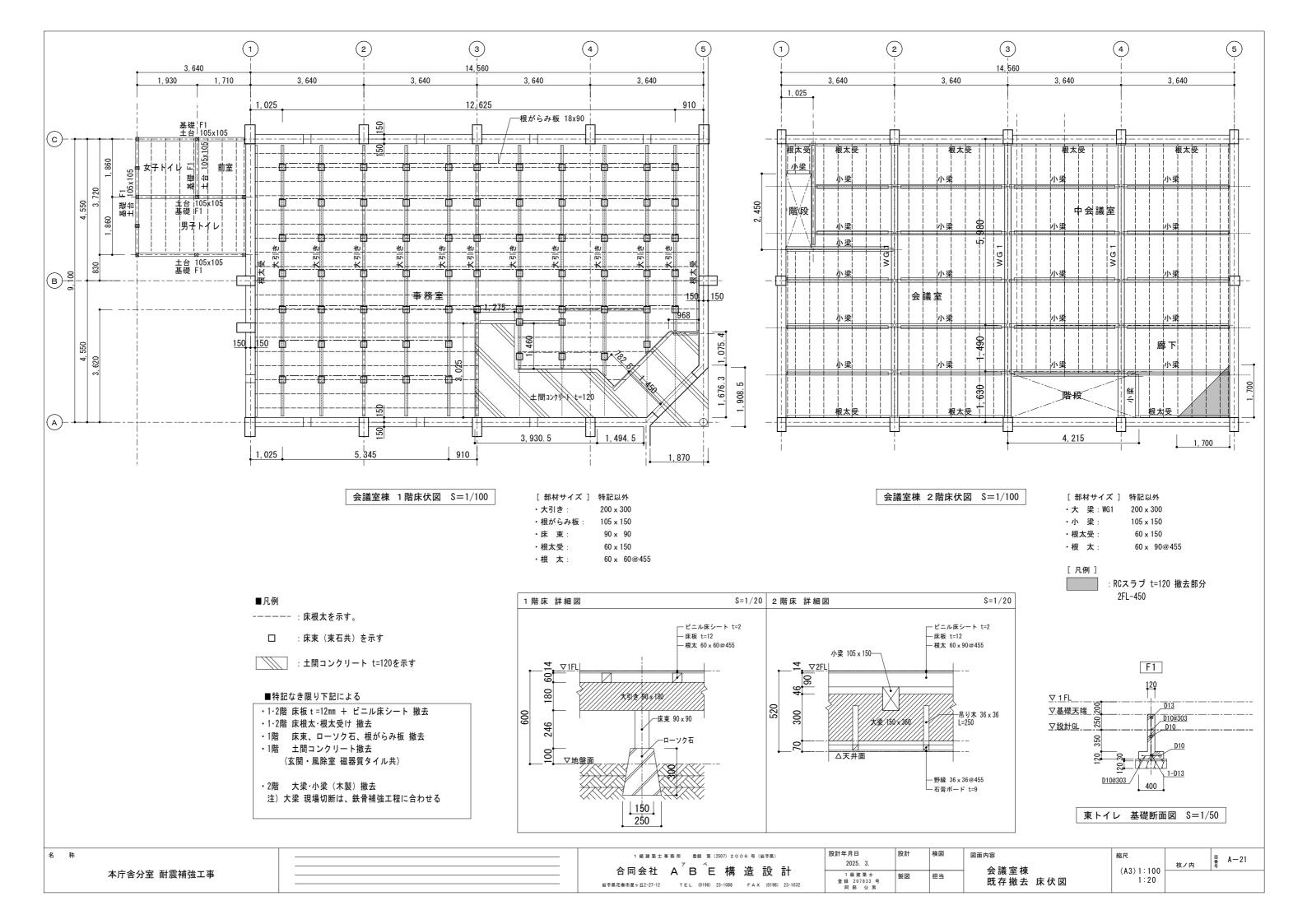
: RCスラブ t=120 撤去部分

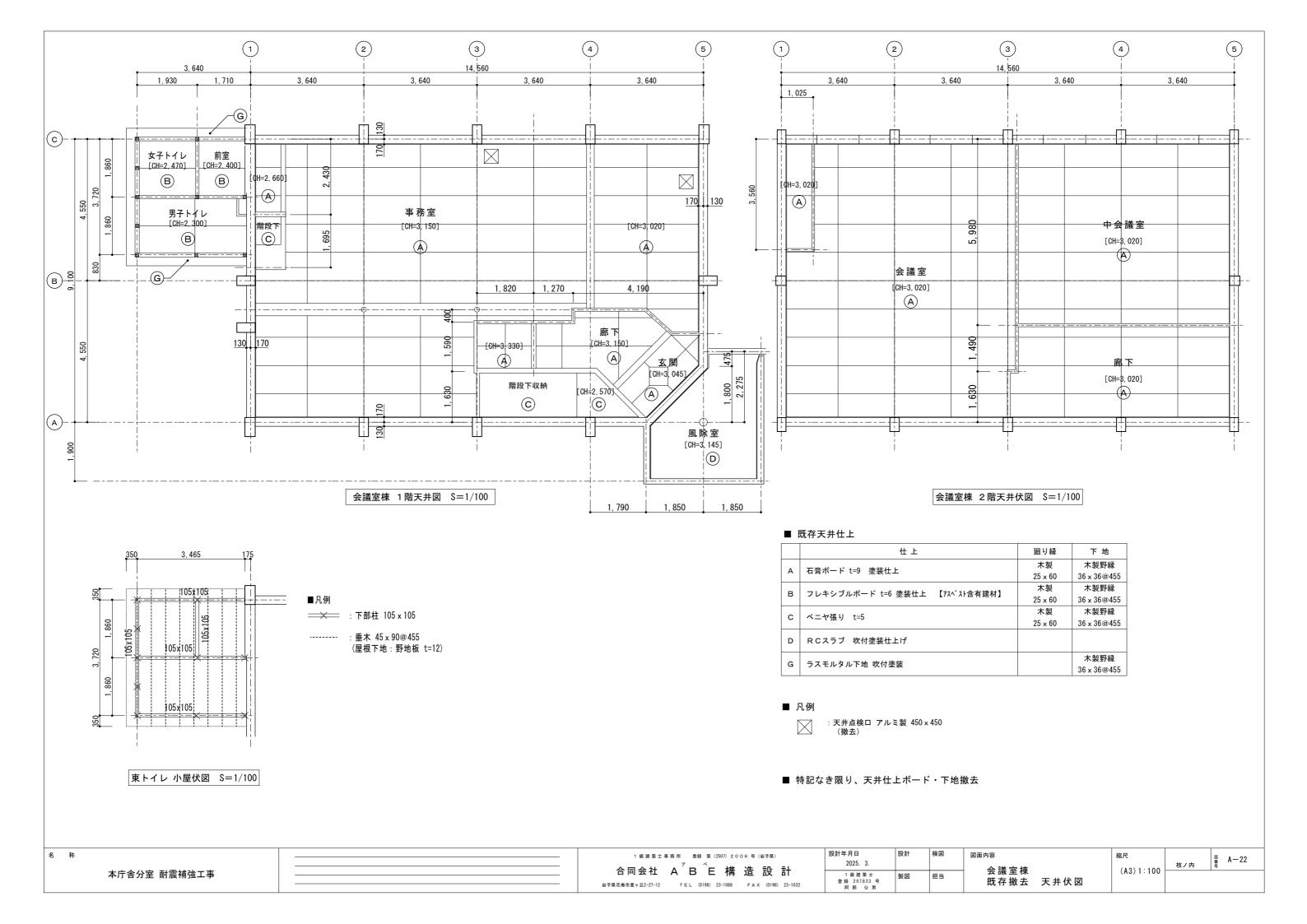
#### ■特記なき限り下記による

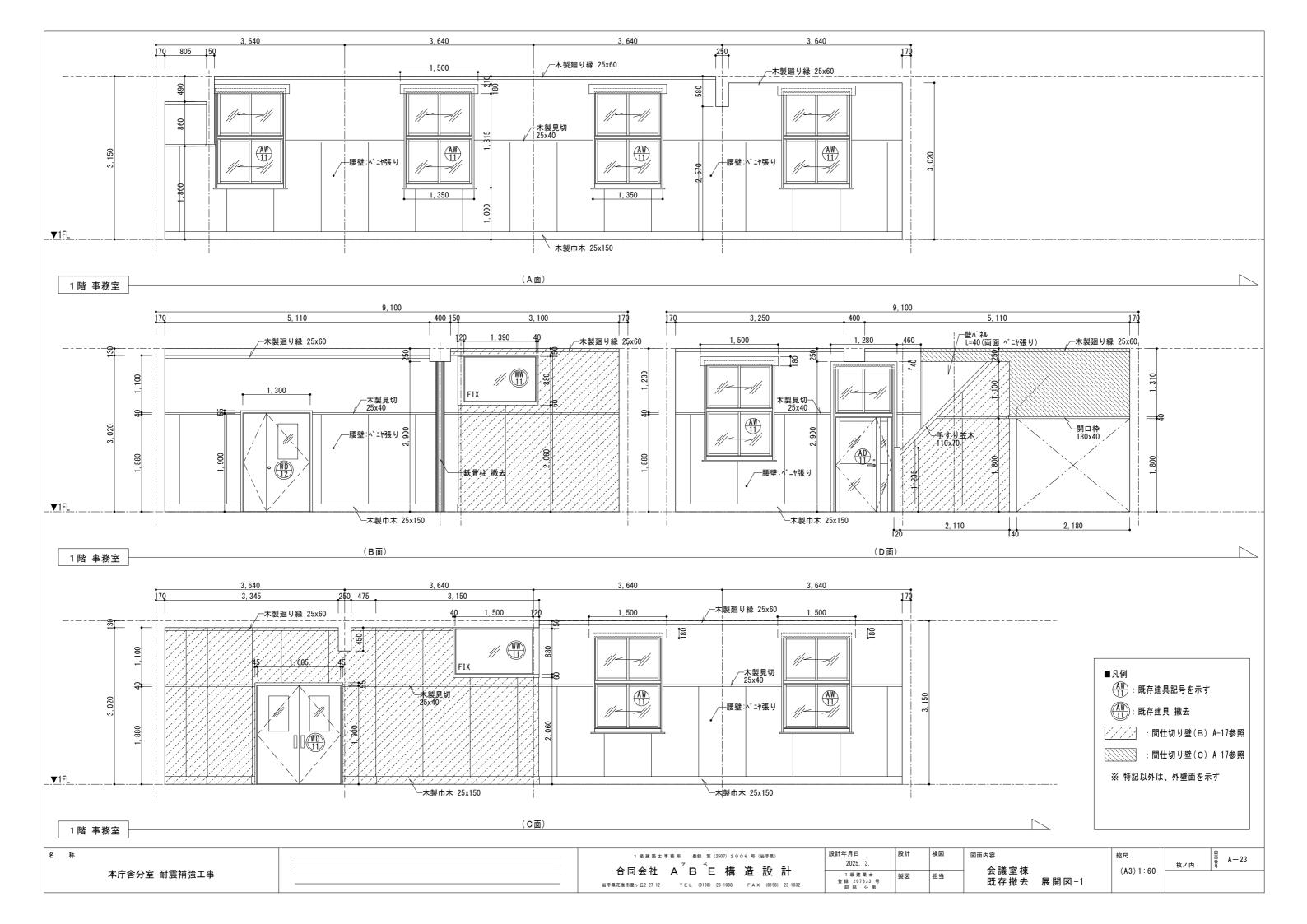
- ・外部側 壁(石造・RC柱部分): 仕上材・見切り材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・間仕切り壁:間柱・仕上材・見切材・巾木・廻り縁他 撤去
- ・天井仕上・下地(木製野縁)撤去
- · 内部木製建具(枠共) 撤去
- ・外部アルミ建具 額縁 撤去 (建具 既存利用)
- ・不用な配管・配線・器具などは、撤去とする

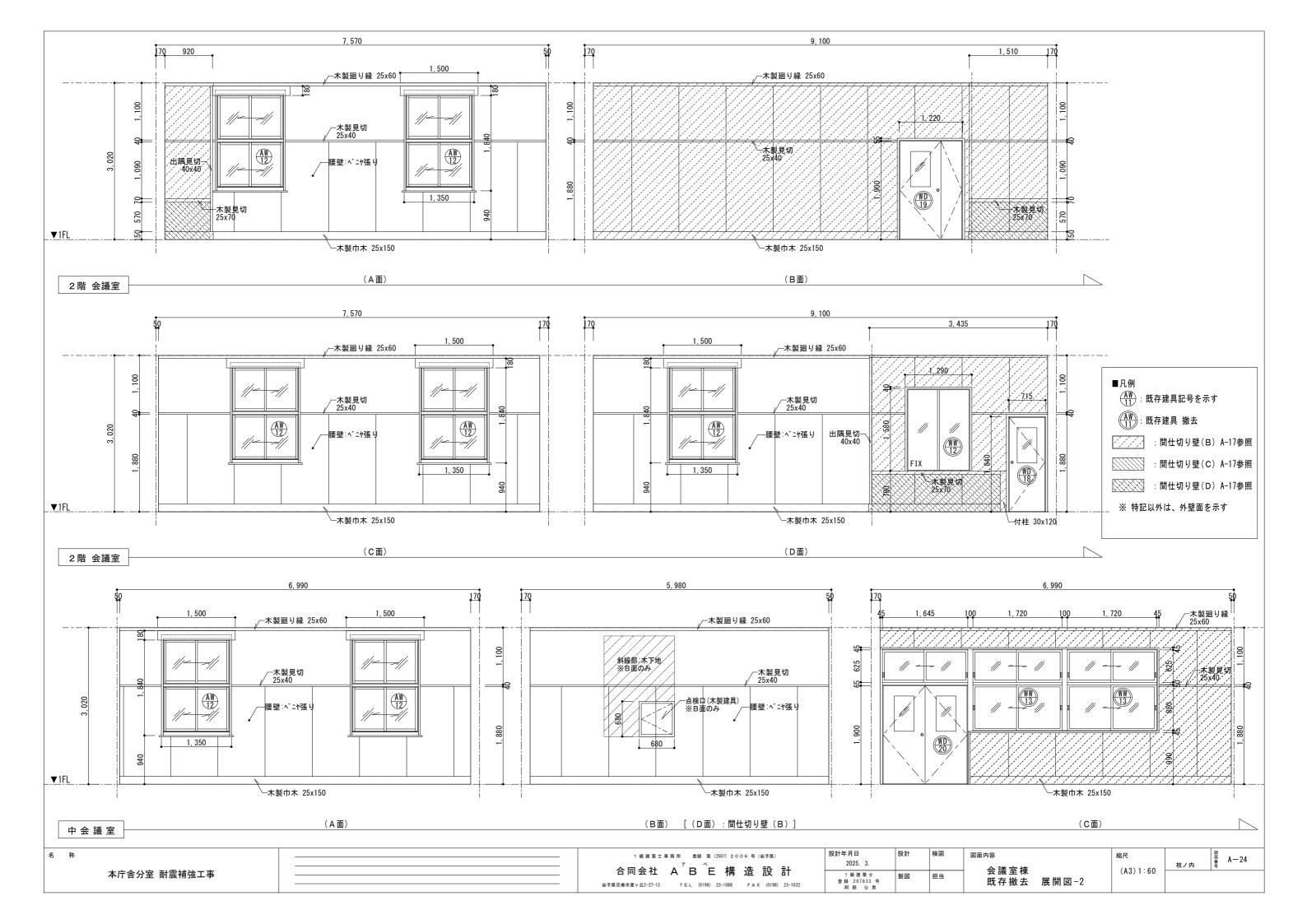
名 称	1 級建築士事務所 登録 第(2507) 2006 号(岩手県)	設計年月日 2025. 3.	設計	検図	図面内容	縮尺	図面 A-19   枚ノ内 号
本庁舎分室 耐震補強工事	 合同会社 A´B E 構 造 設 計	1 級建築士登録 207833 号	製図	担当	─ 会議室棟 既存撤去 2階平面図	(A3) 1:100	N. 1.7
	岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	回部公男			□ 既仔撤去 2陌平岨凶		

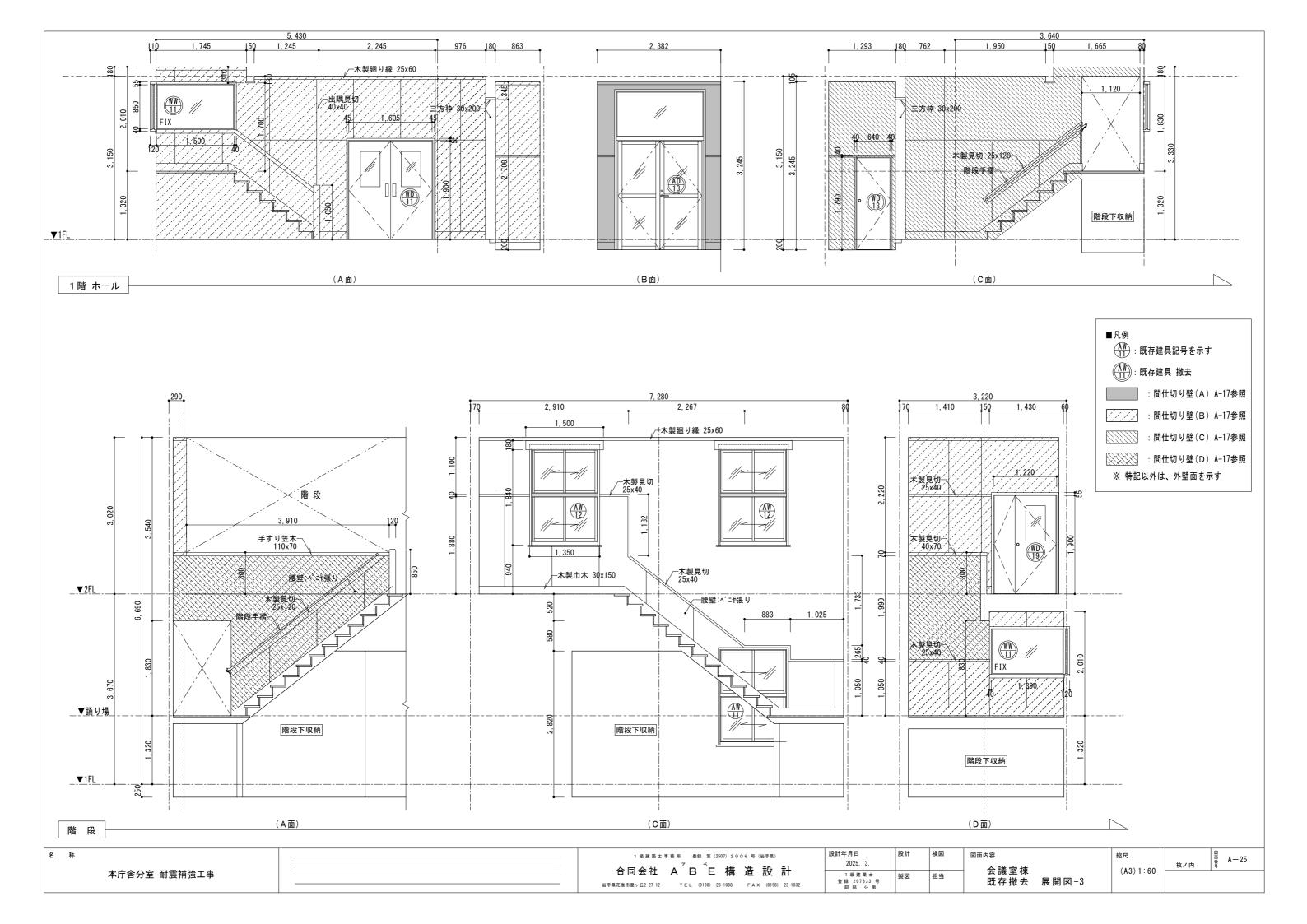


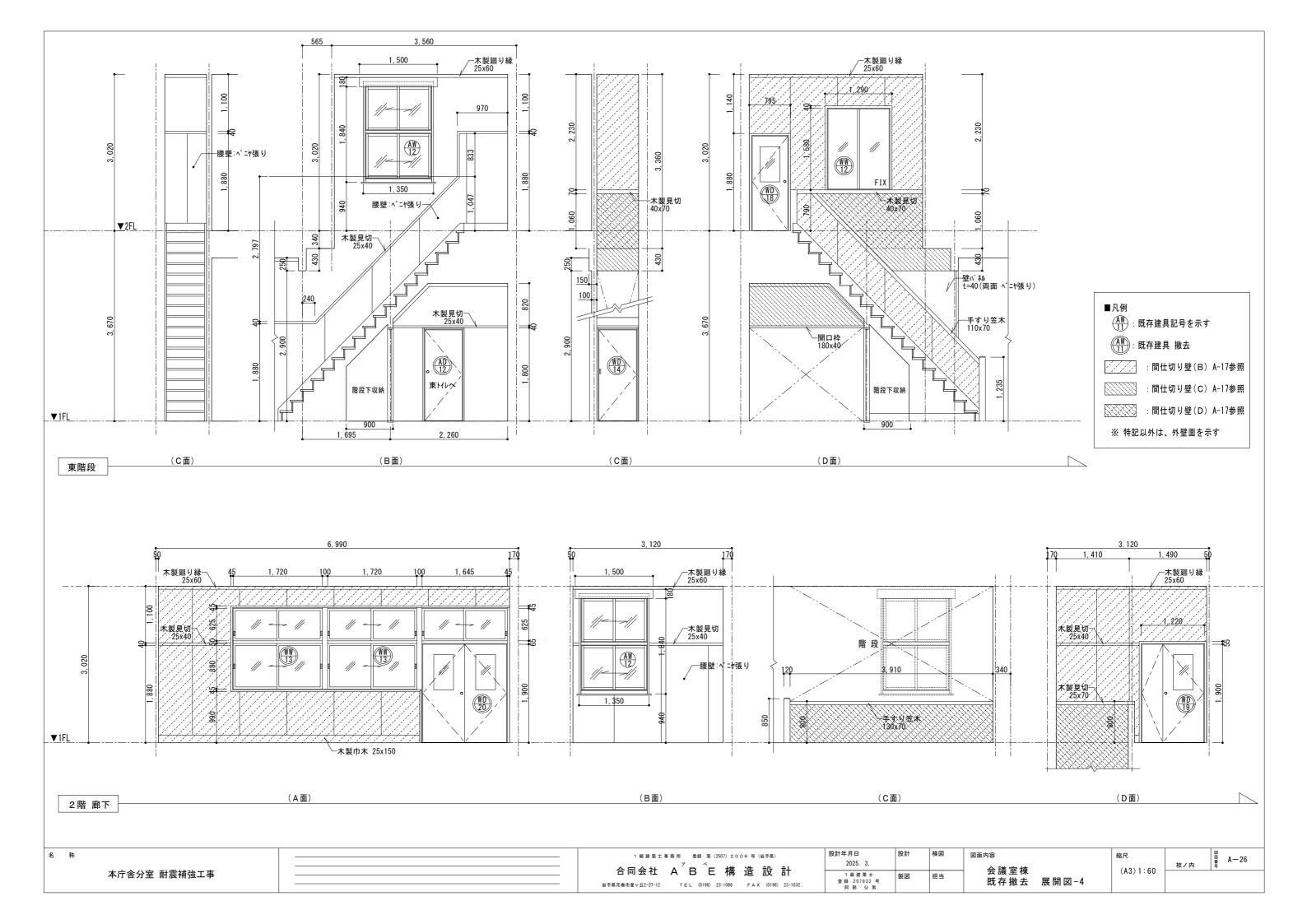


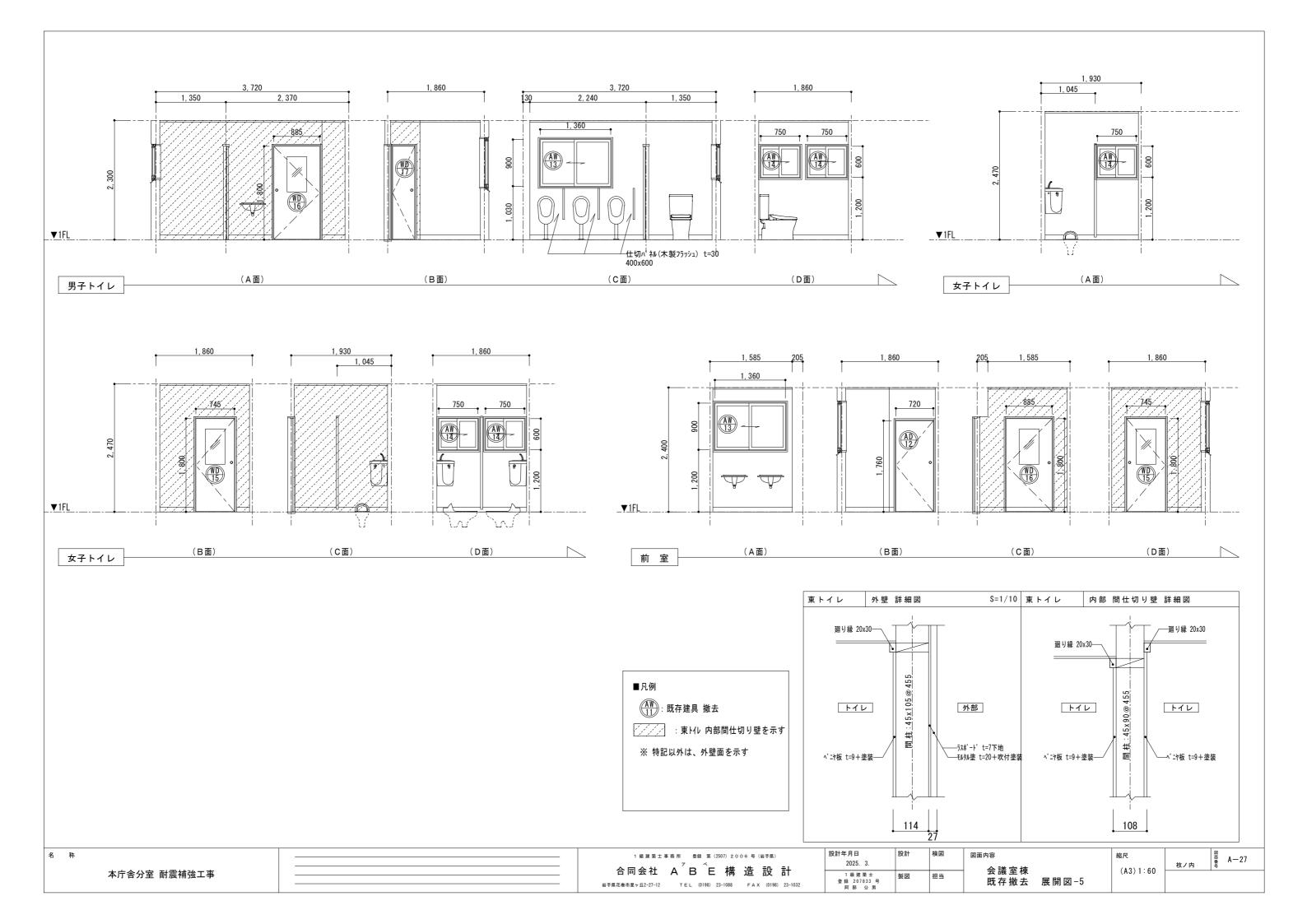


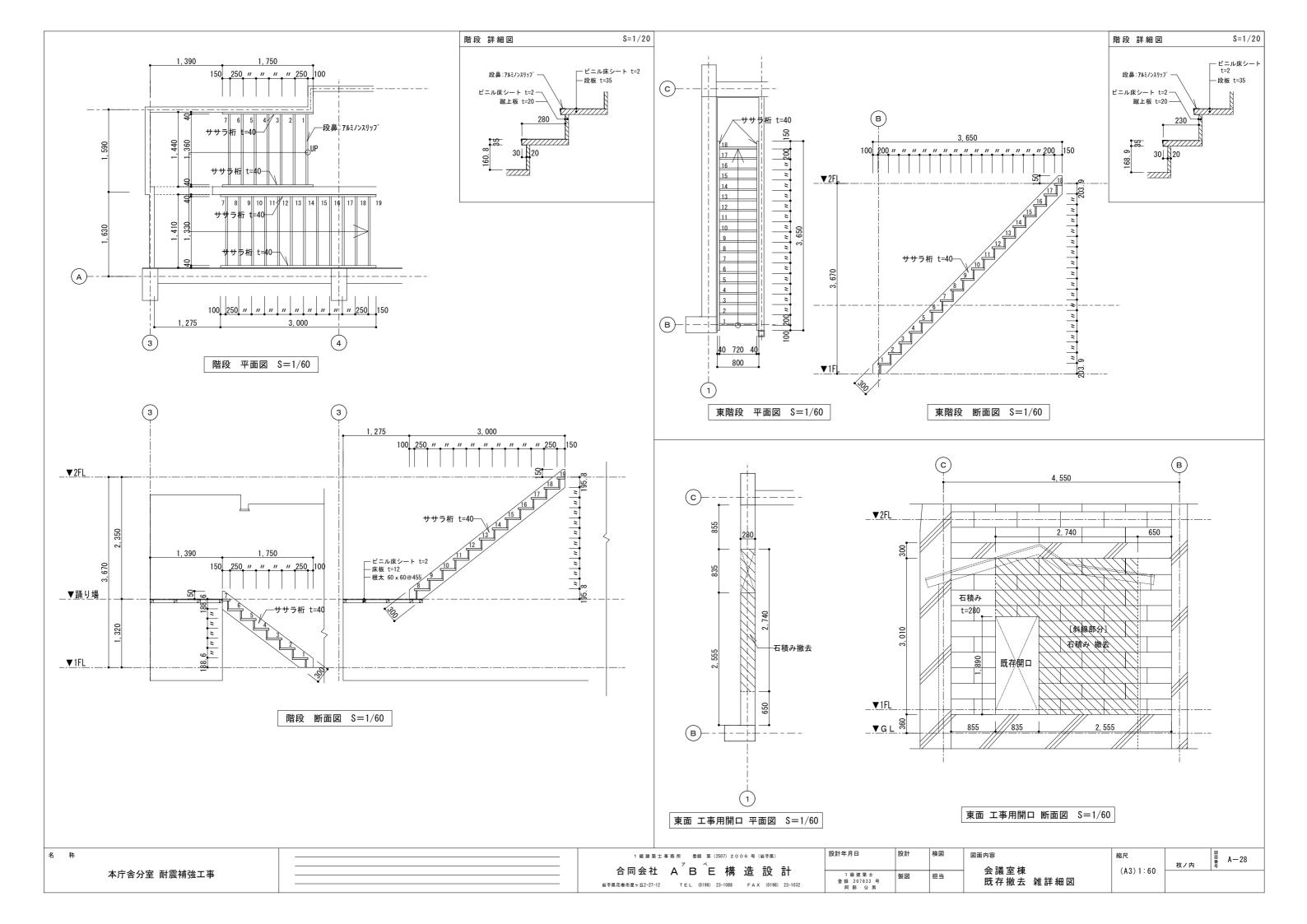


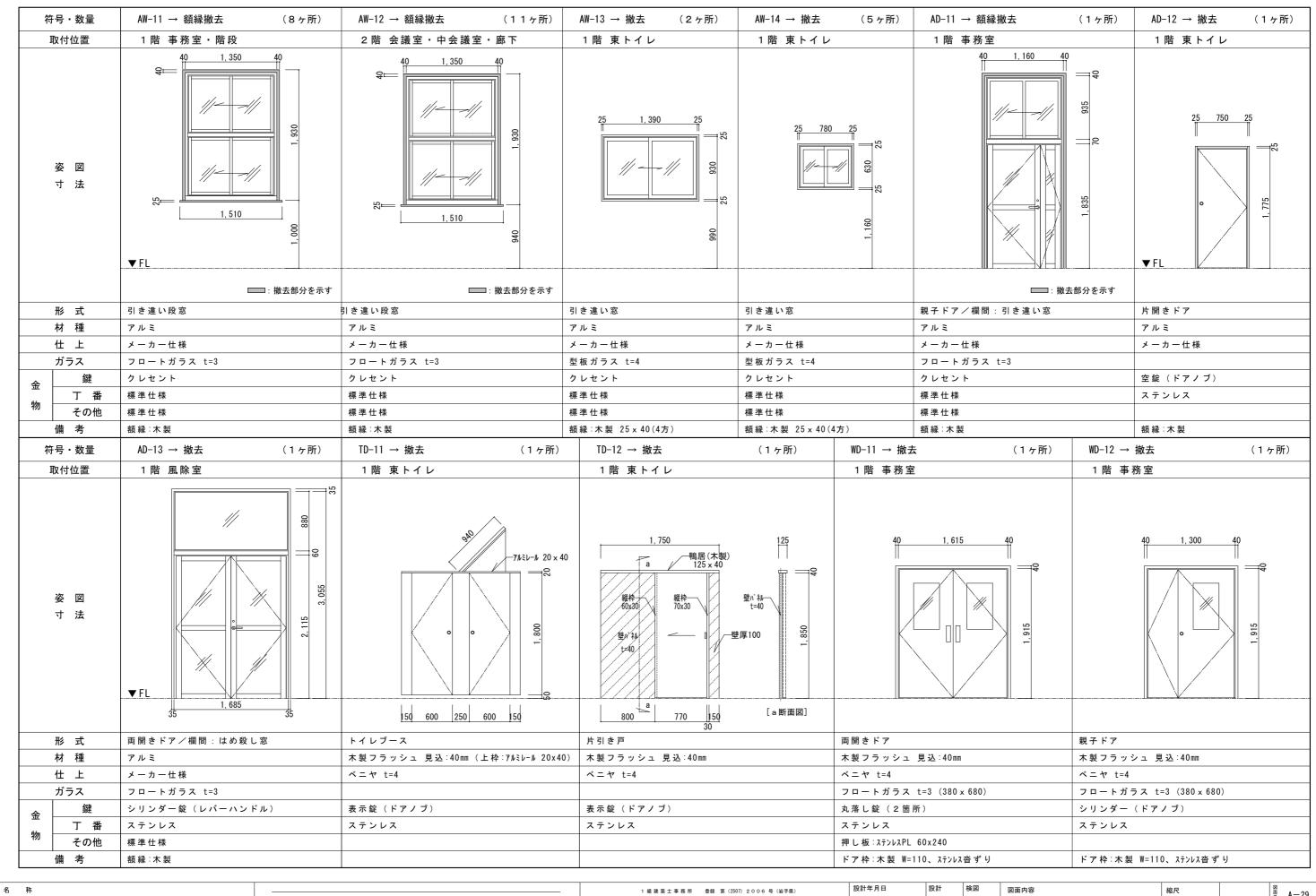










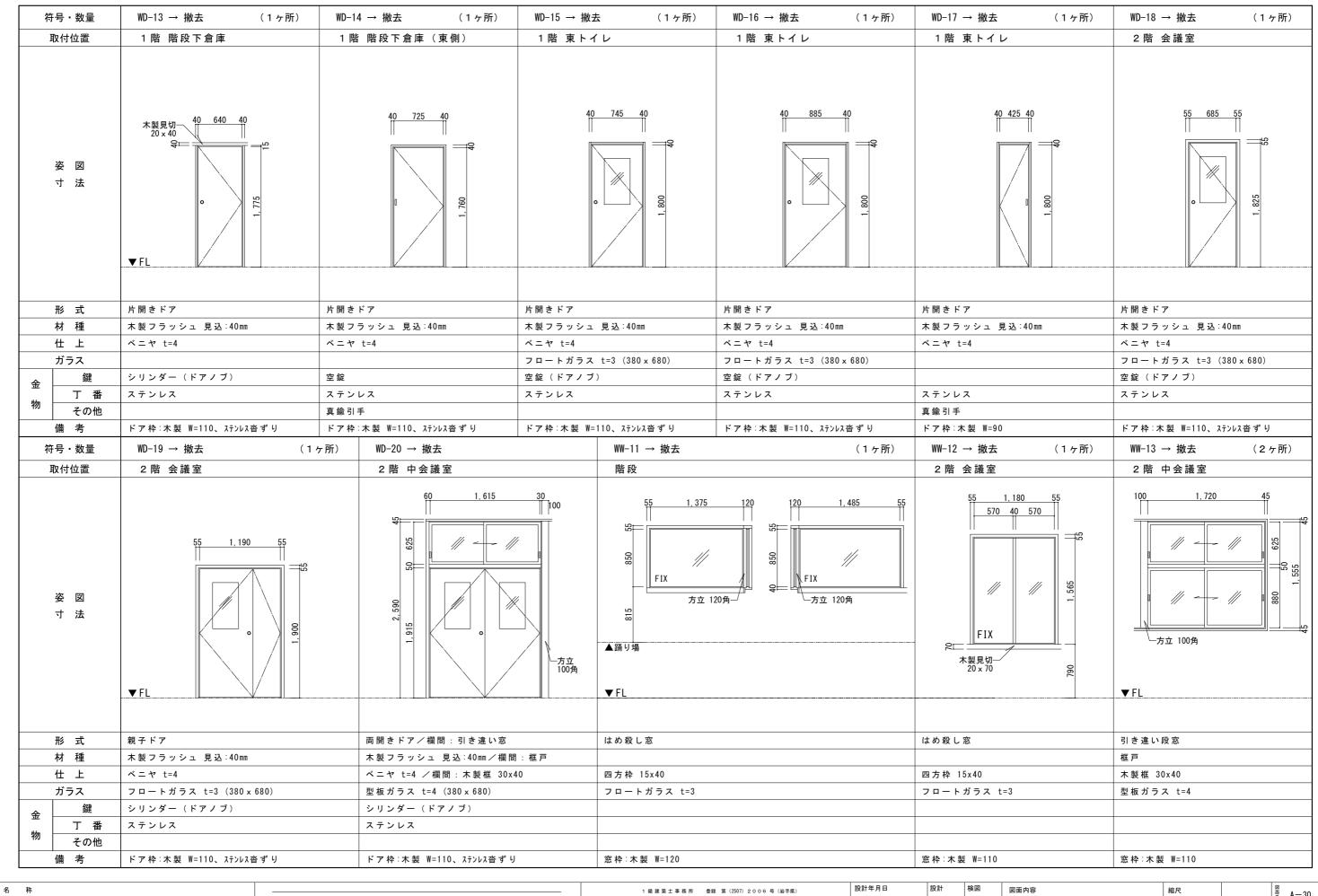


本庁舎分室 耐震補強工事

- 1 敬建聚士事務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県) - 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

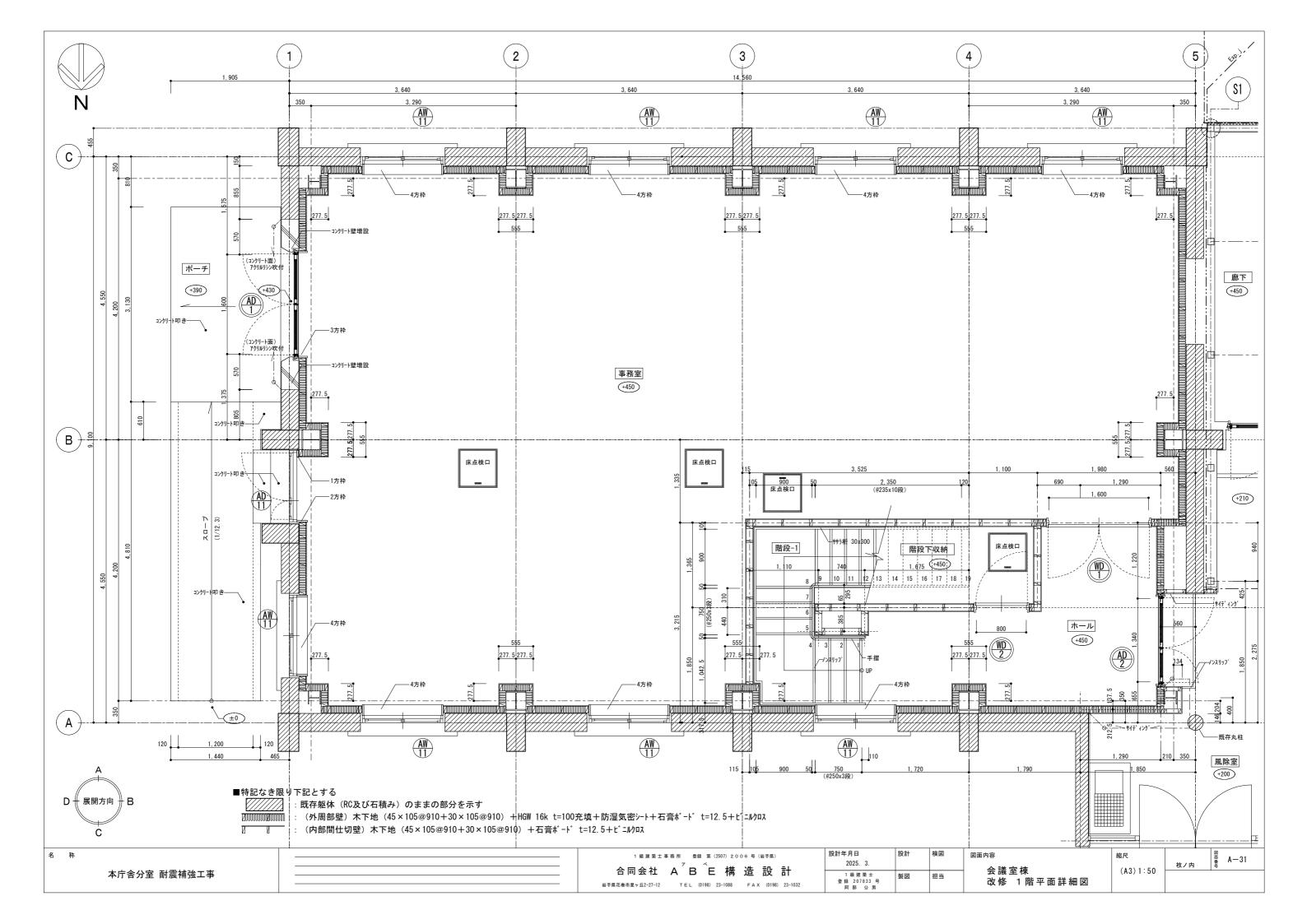
会議室棟 既存 建具表−1

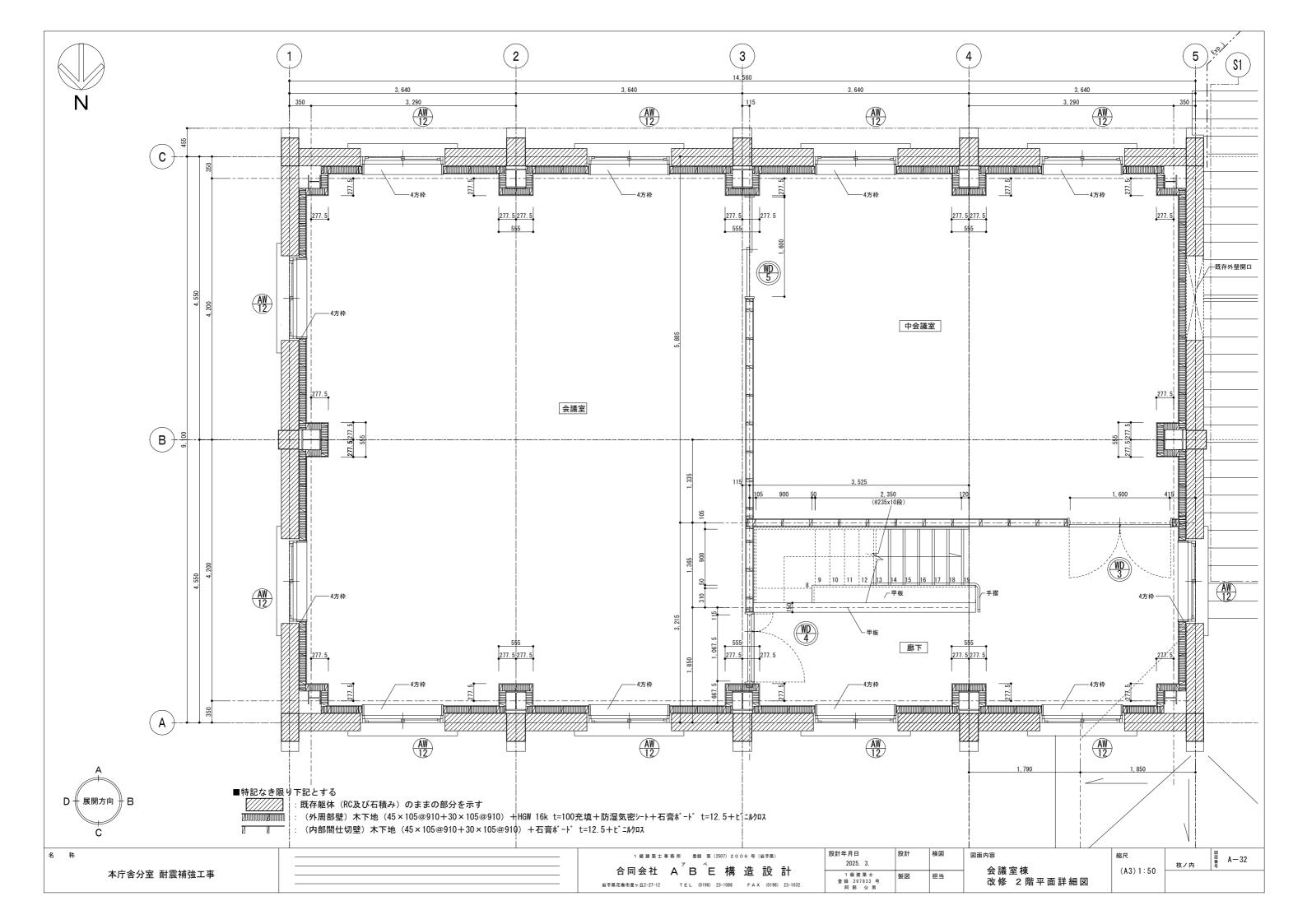
縮尺 枚ノ内 図画書 A-29

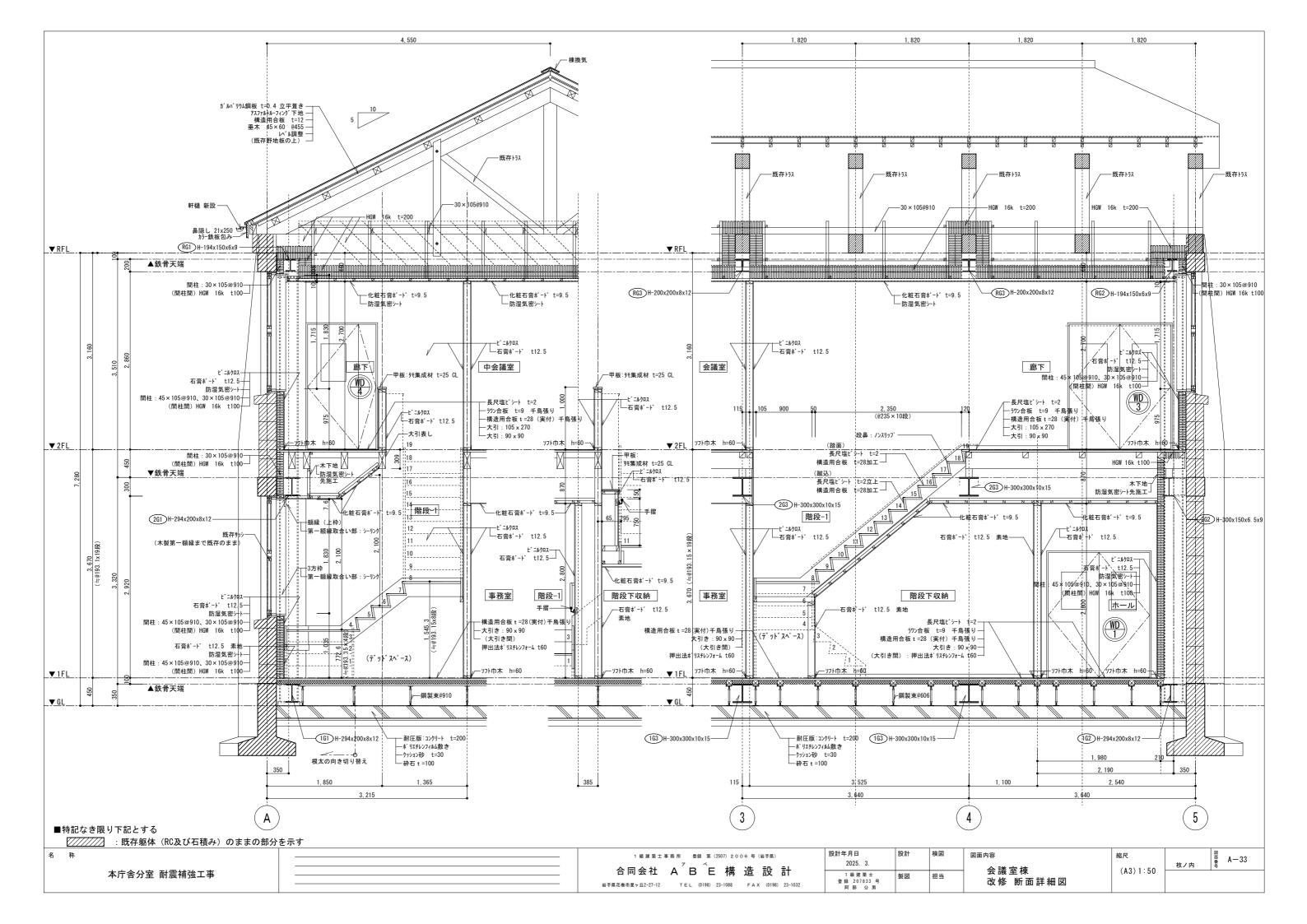


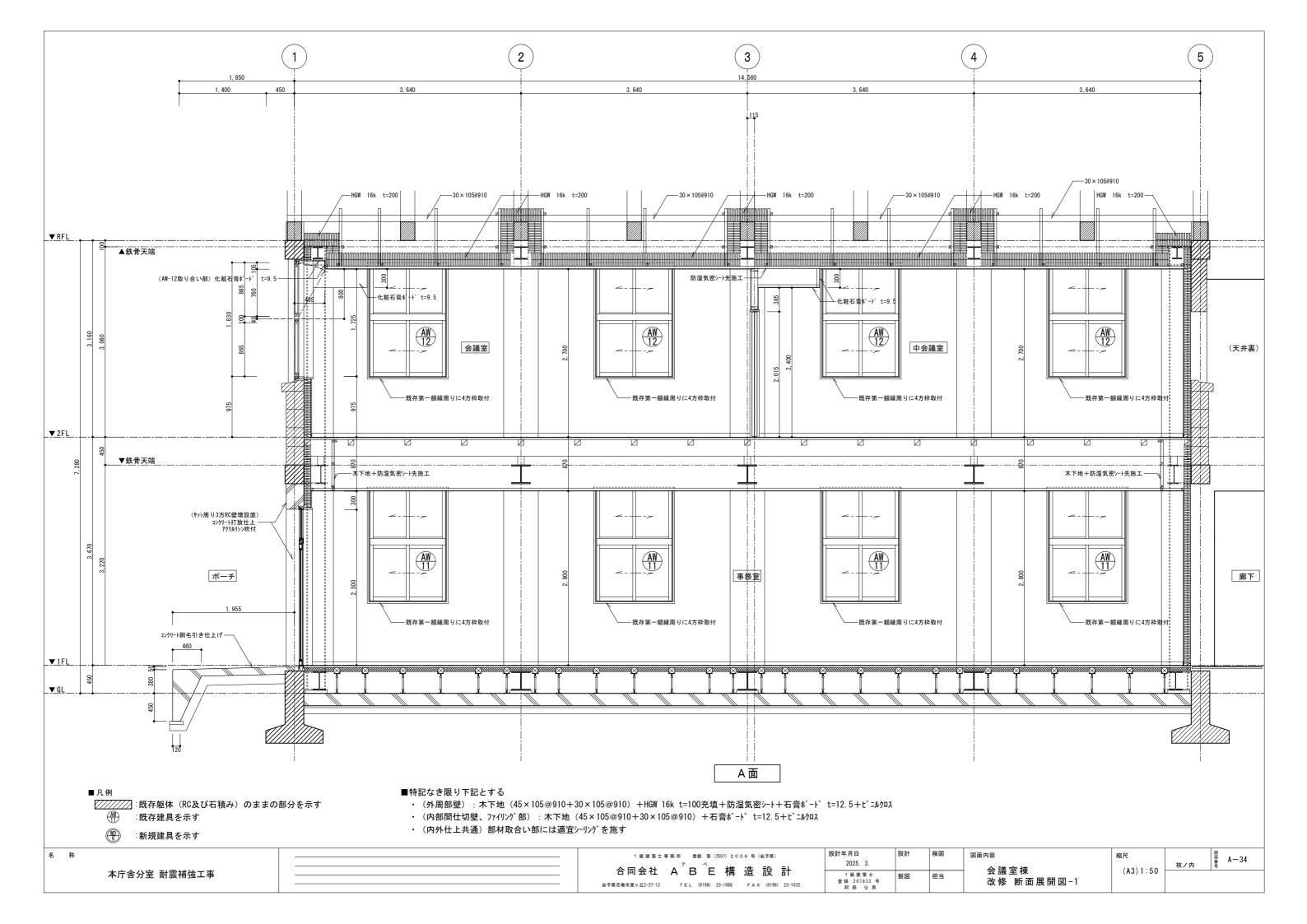
 名 称
 1 版 建 集 ± 車 展 所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩 手 県)
 図面内容
 縮尺

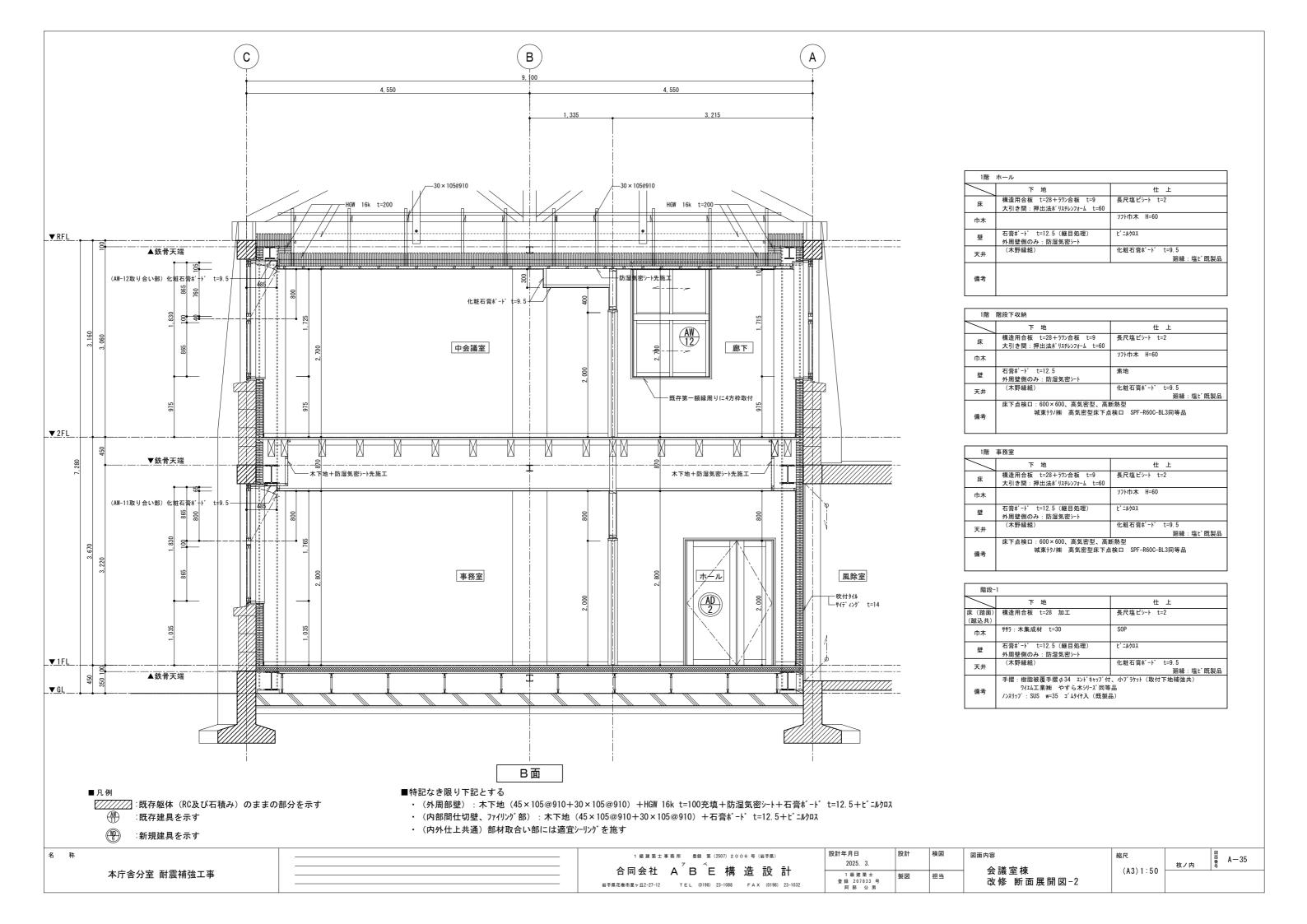
 本庁舎分室 耐震補強工事
 一
 合同会社 A B E 構 造 設 計
 製図 担当
 機尺 (A3) 1:50

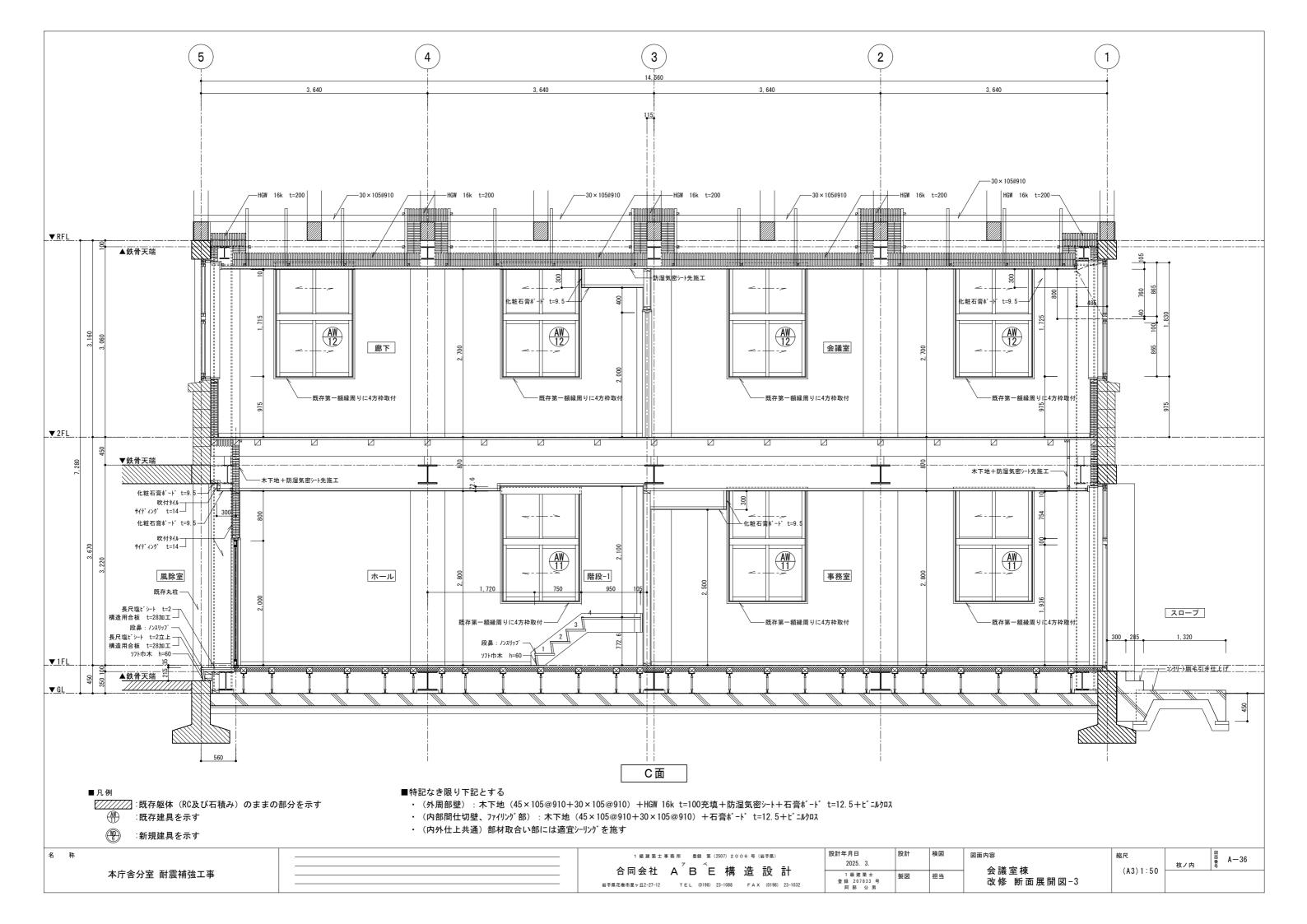


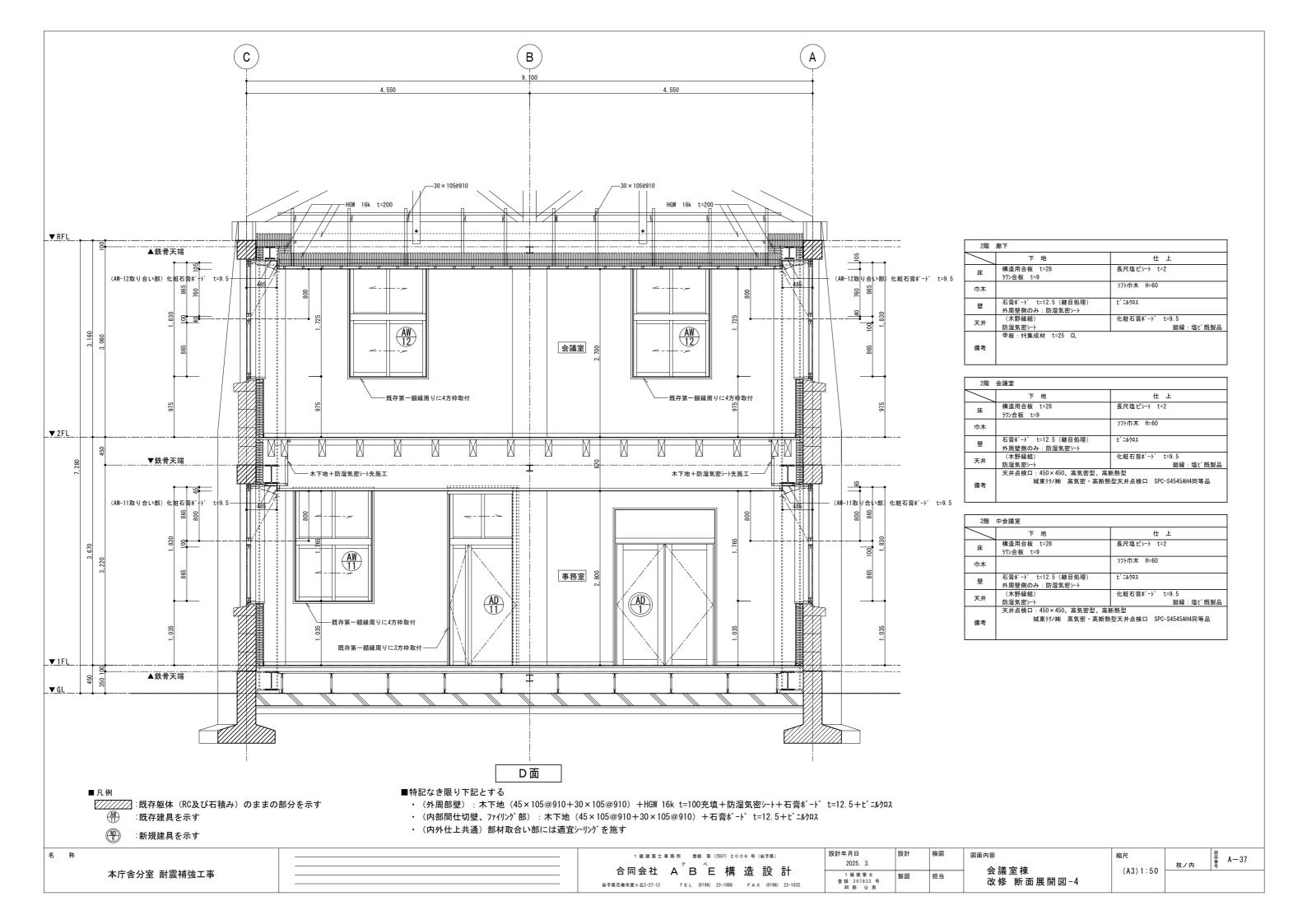


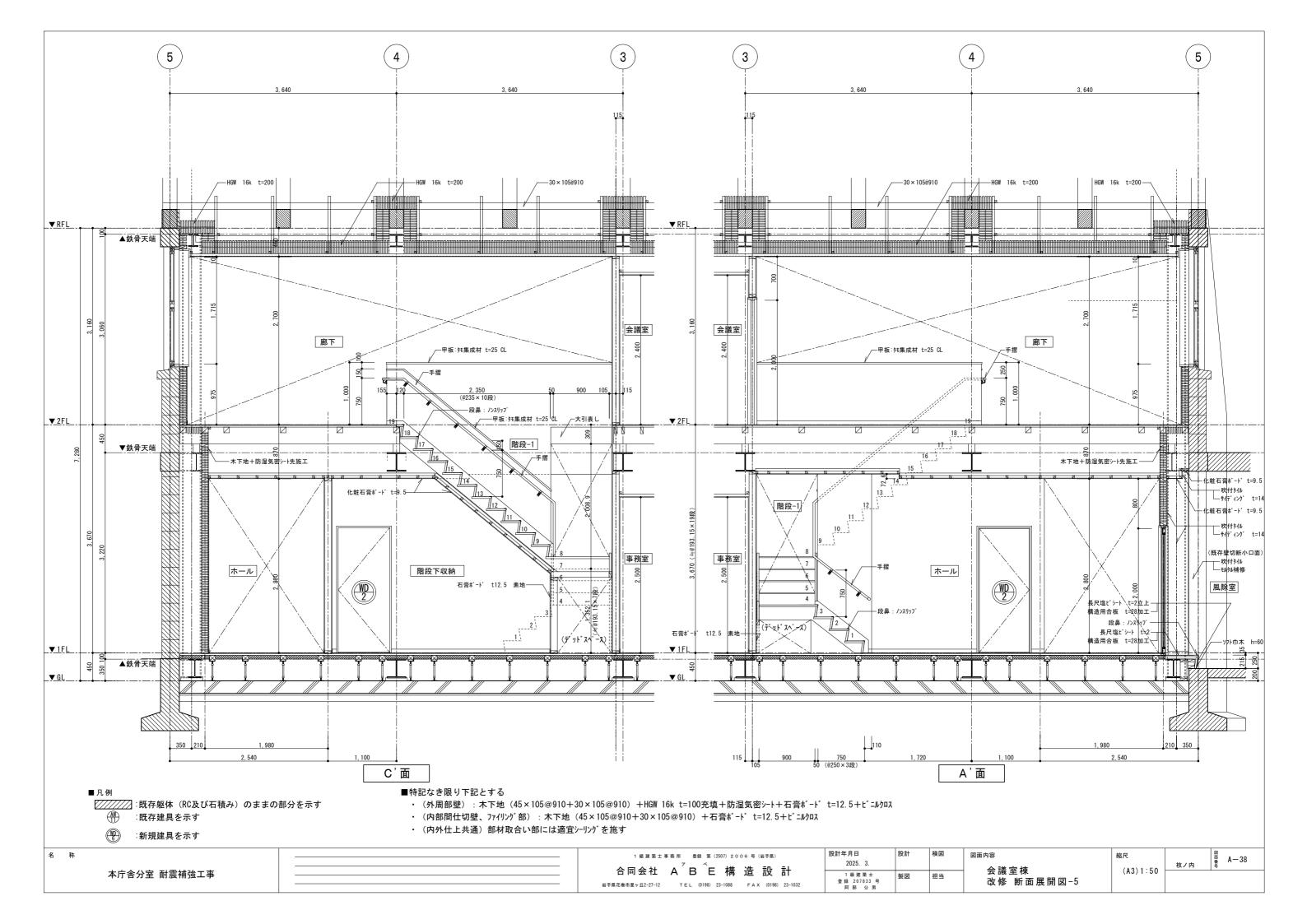


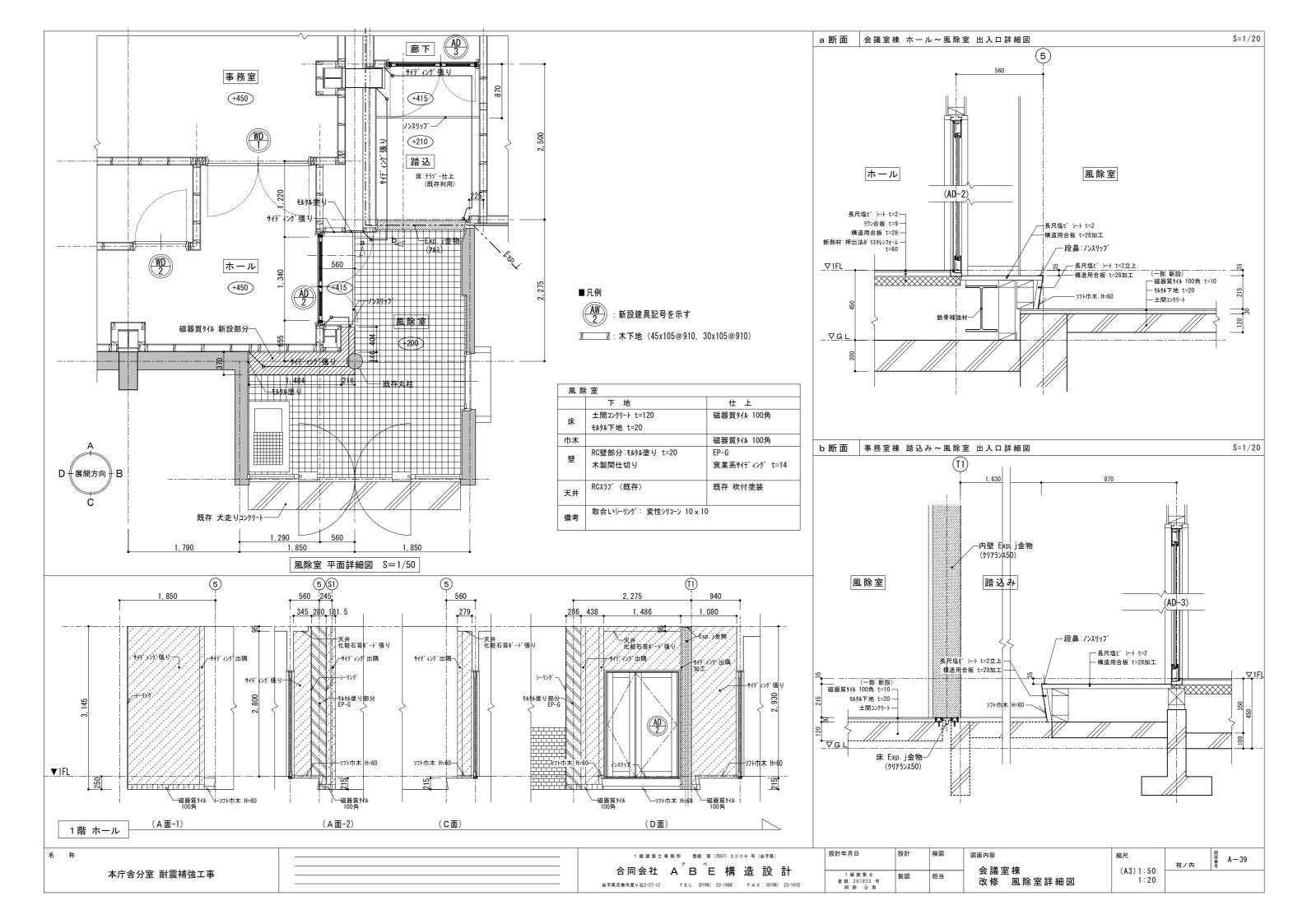


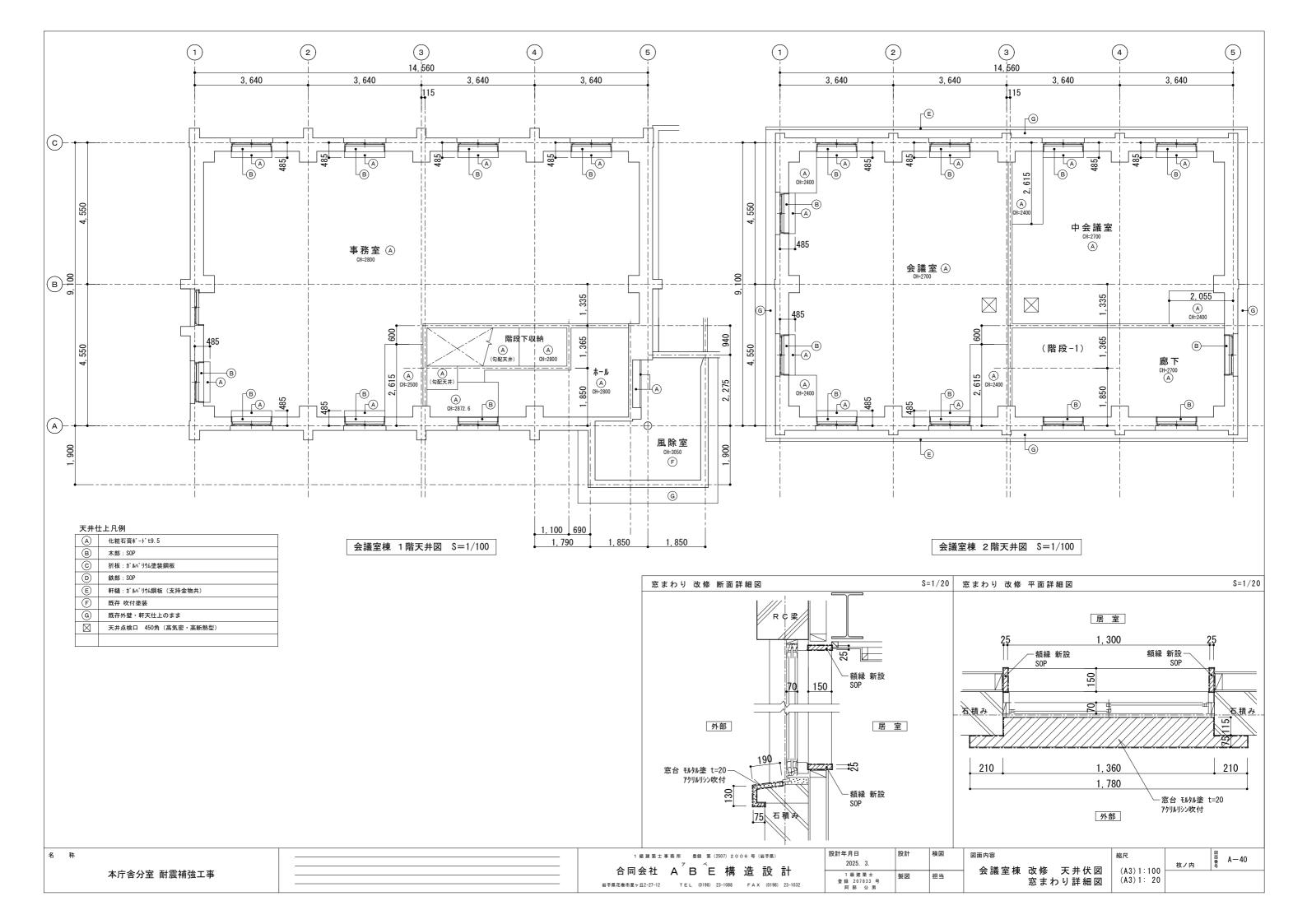


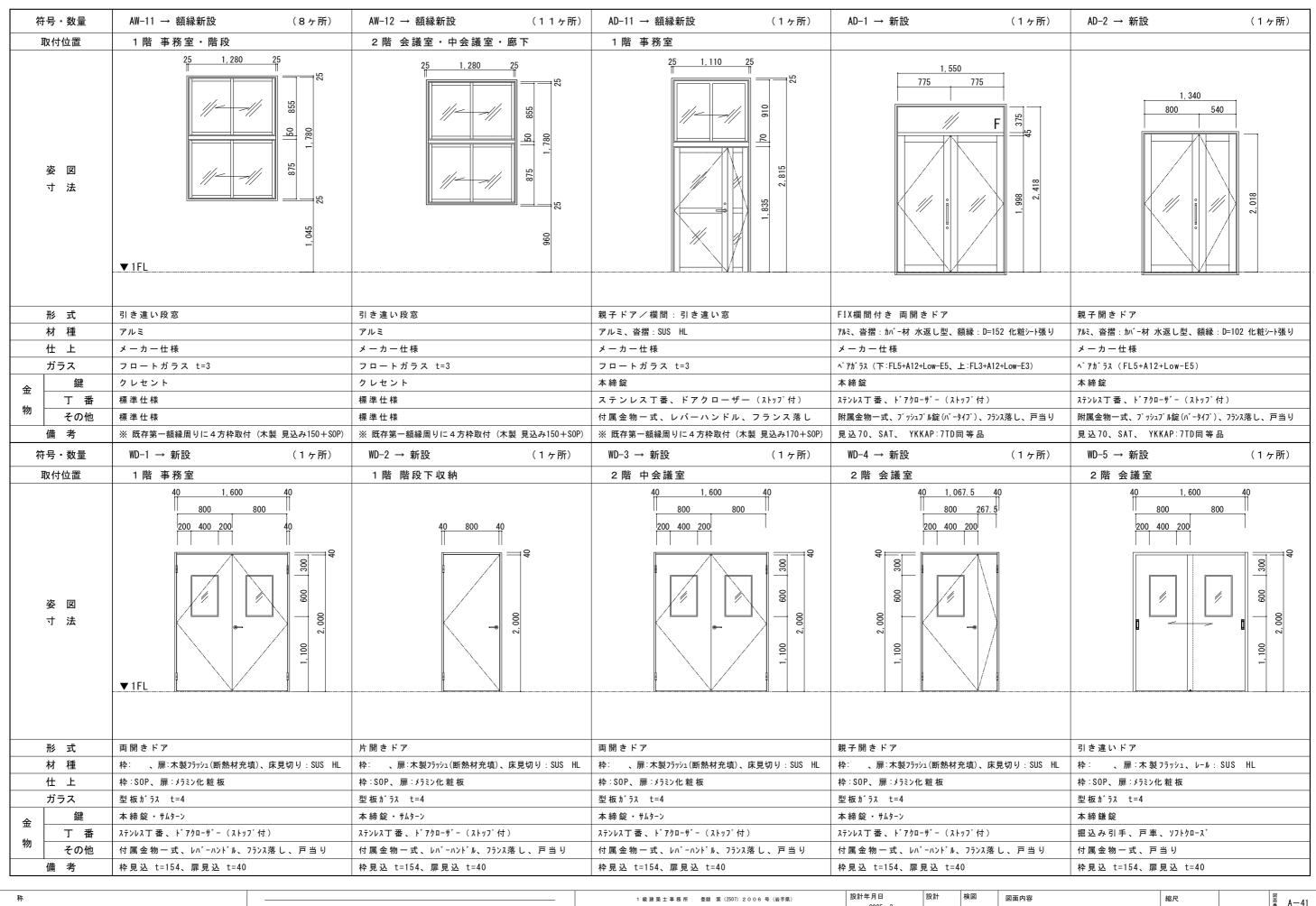








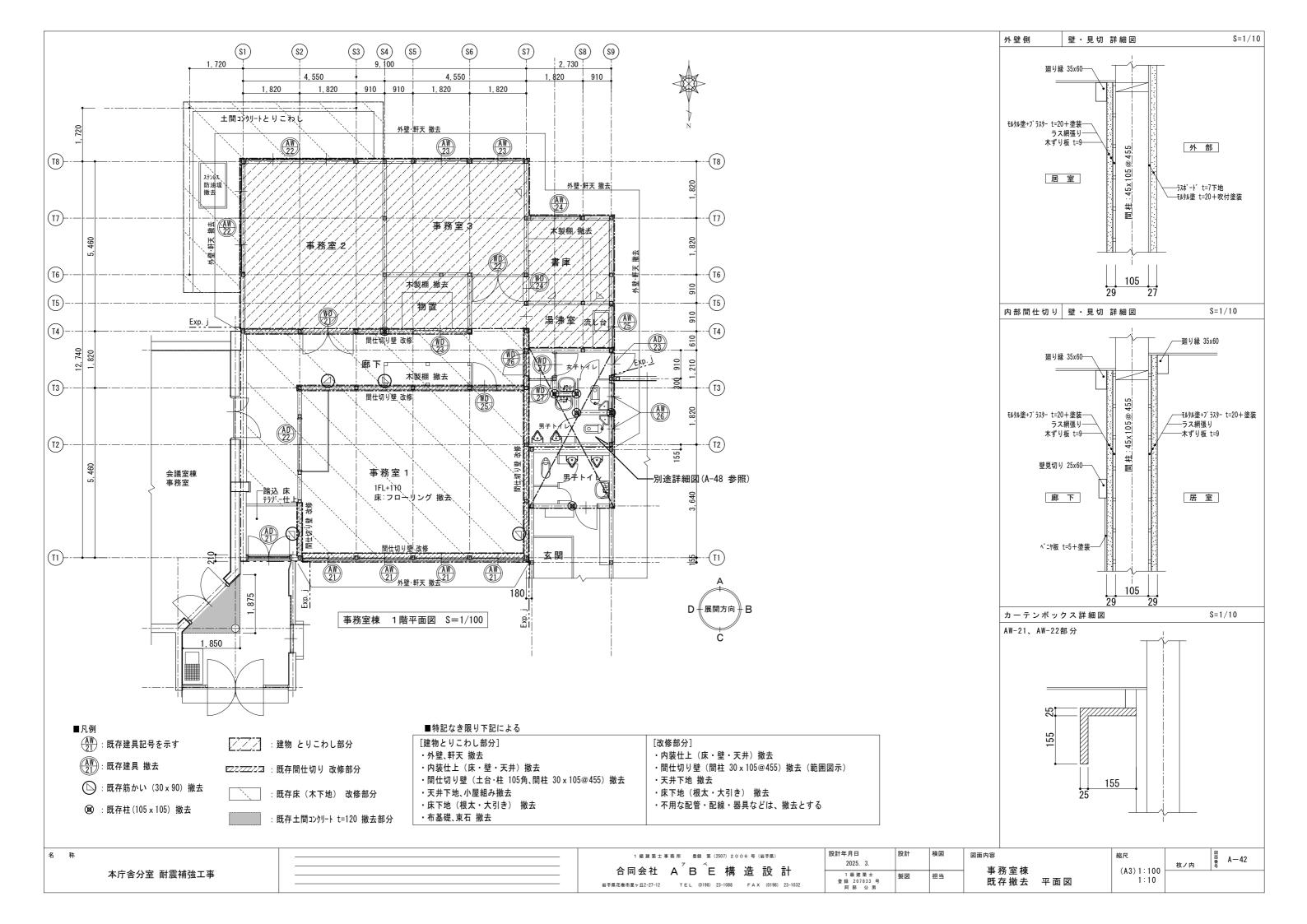


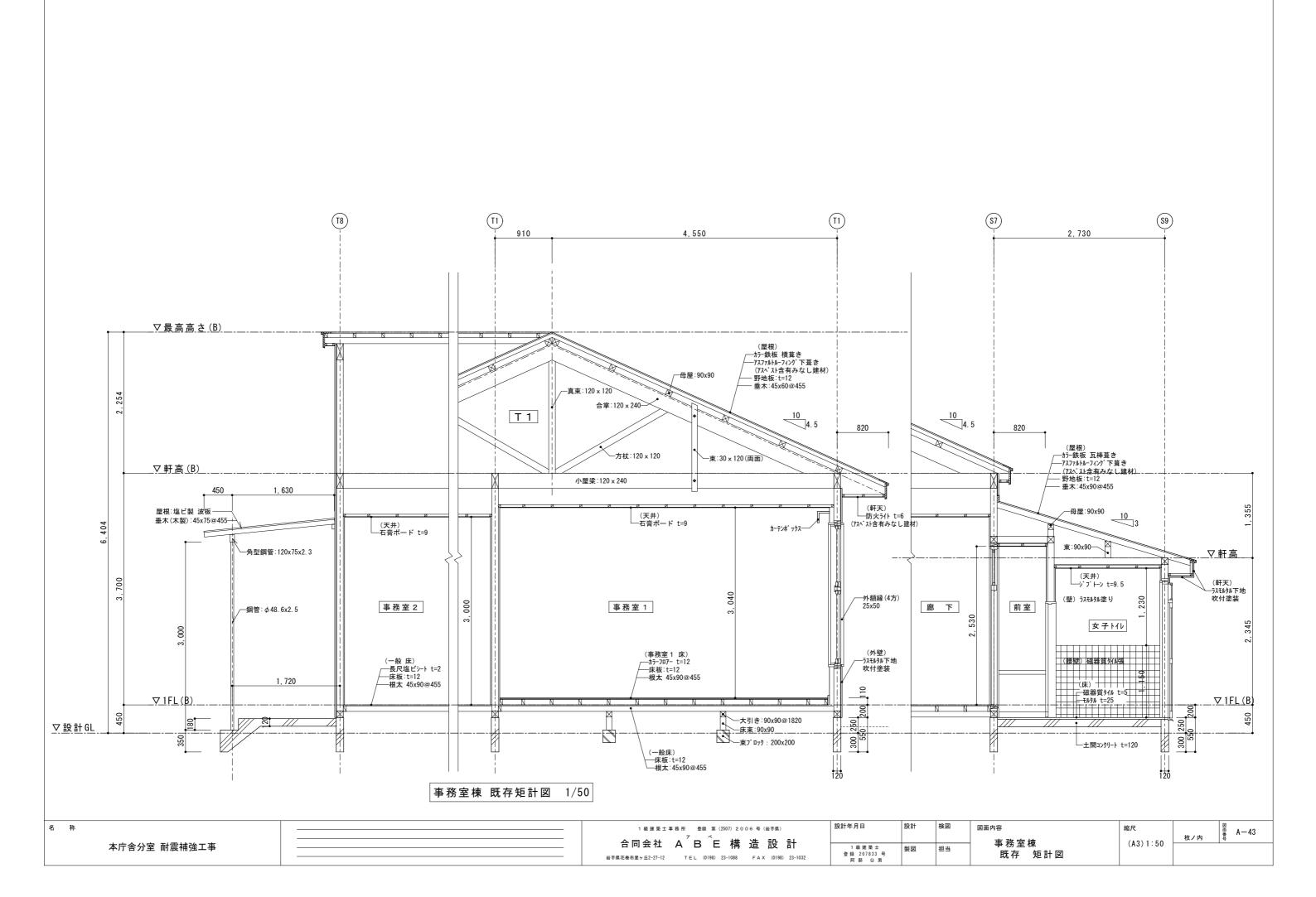


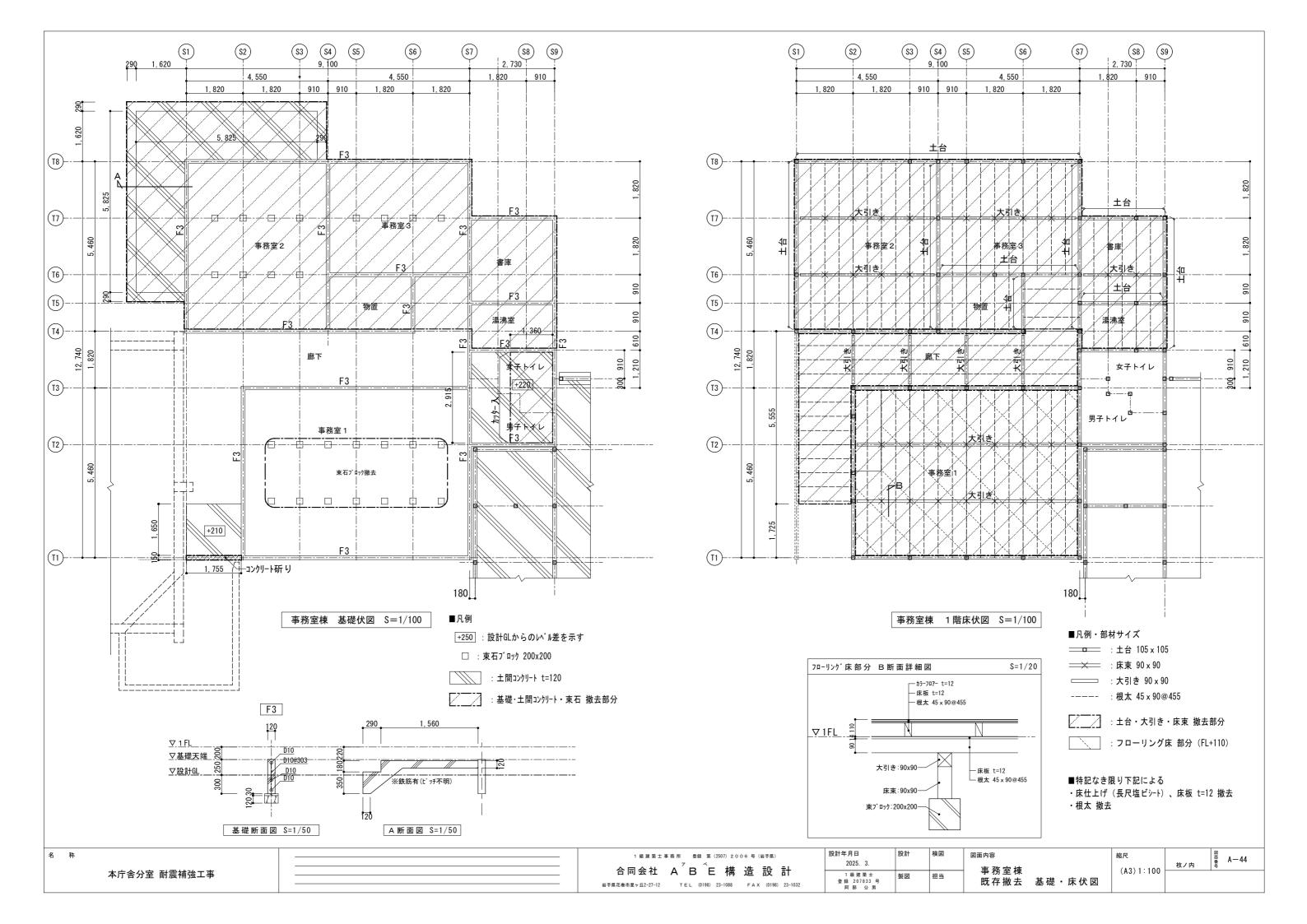
 名 称
 本庁舎分室 耐震補強工事
 1 級建築土車務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)
 設計 検図
 図面内容
 編尺

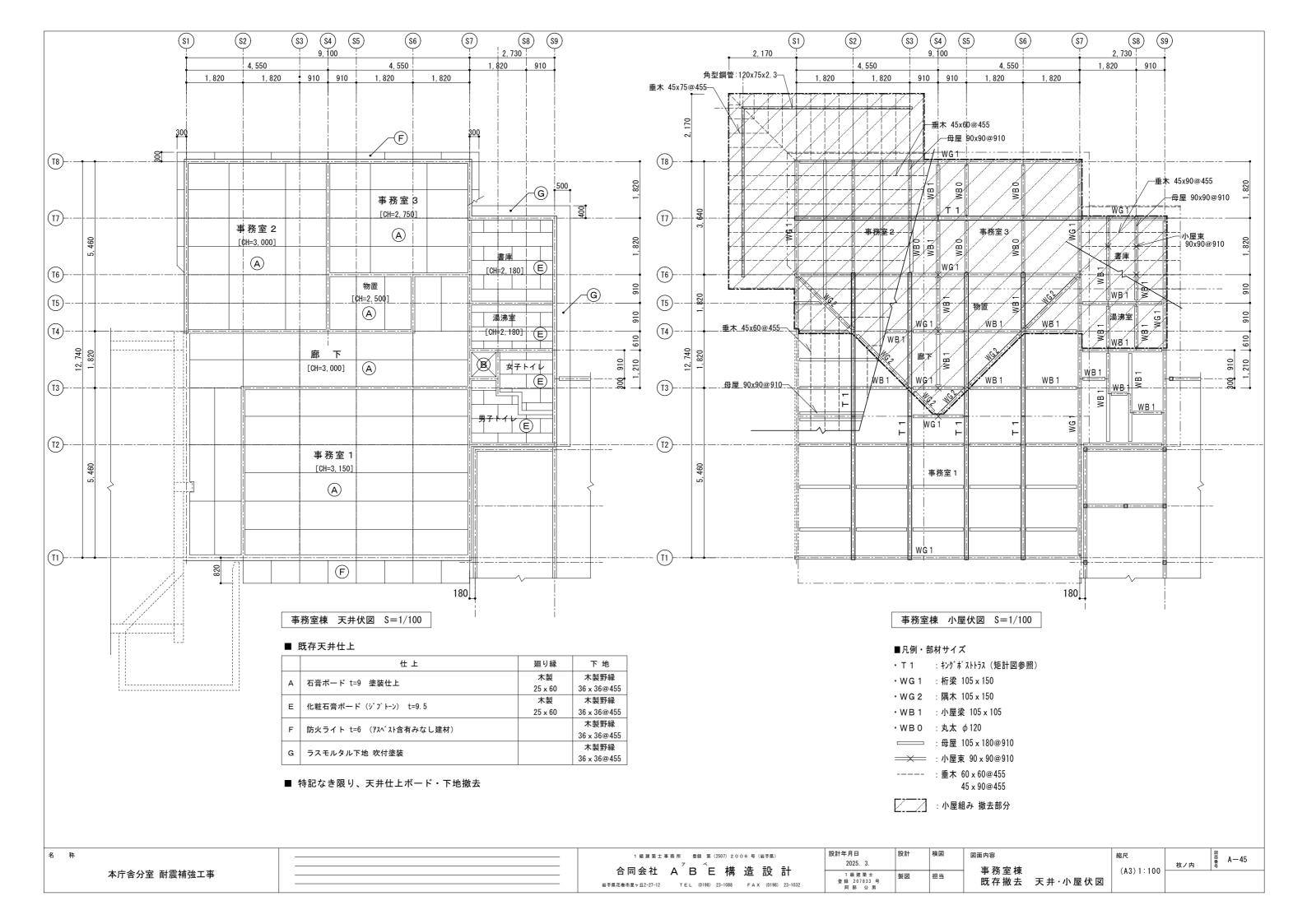
 本庁舎分室 耐震補強工事
 合同会社 A B E 構 造 設 計
 1 級建築土車務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)
 会議室棟
 会議室棟

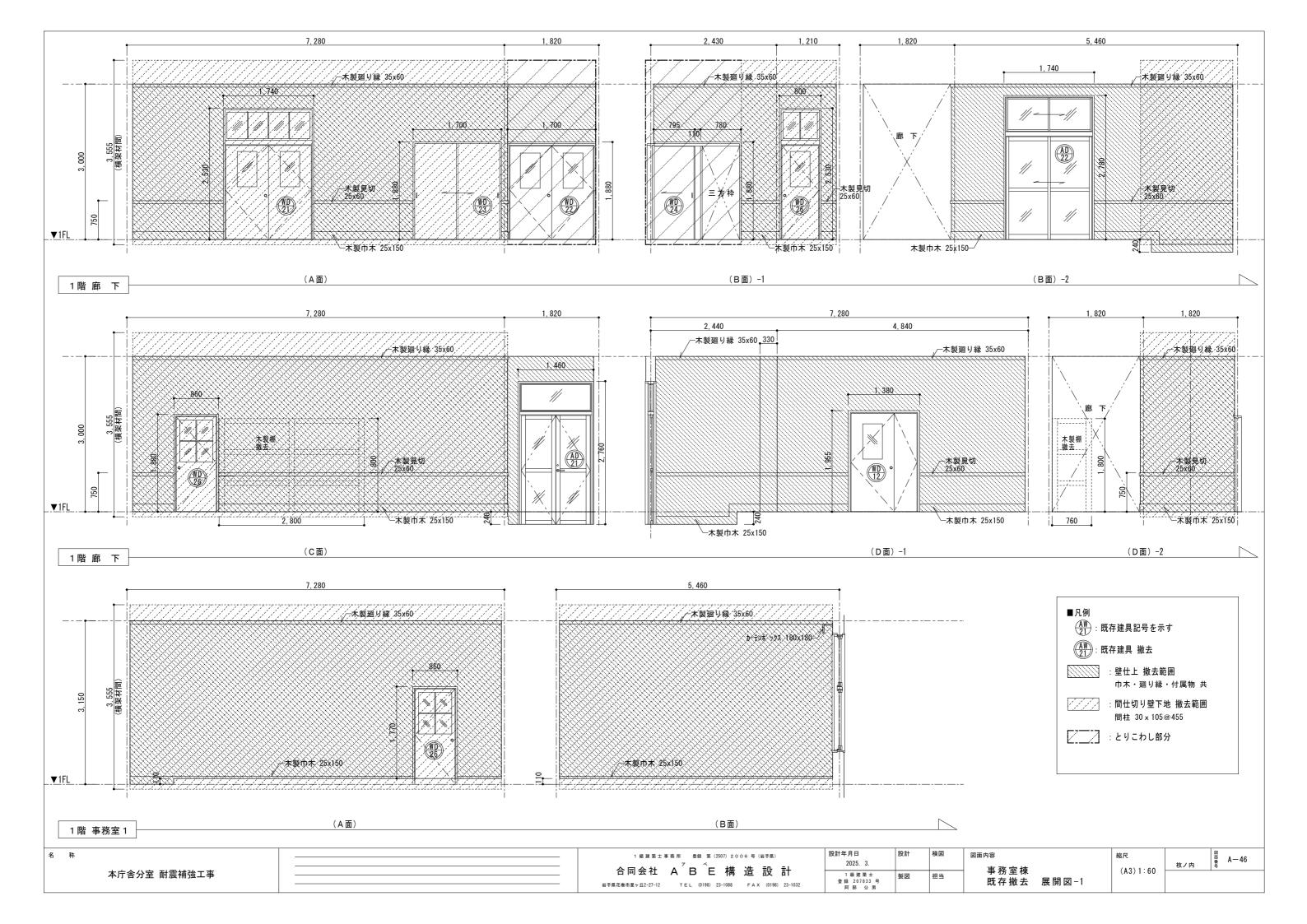
 新設・改修 建具表

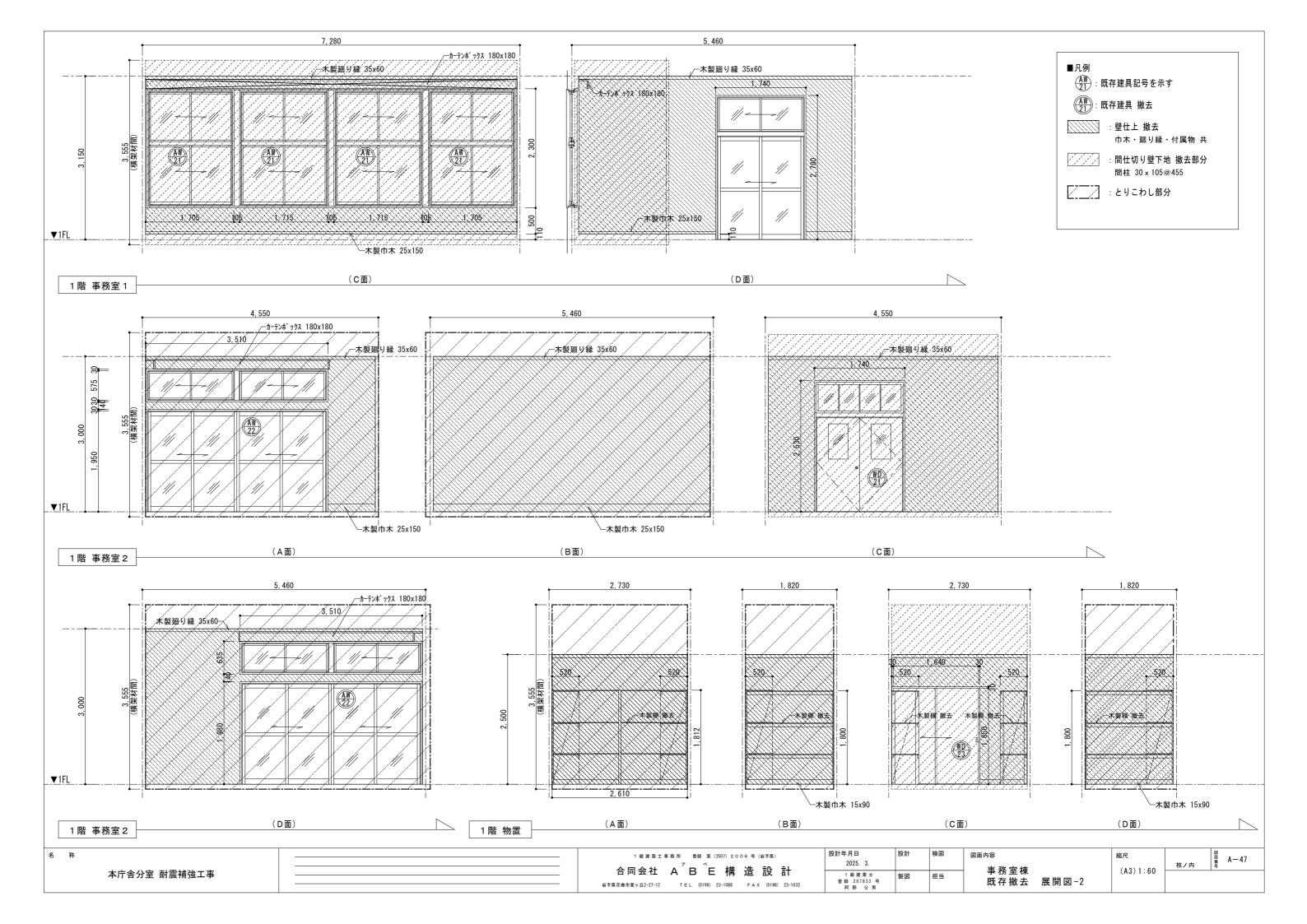


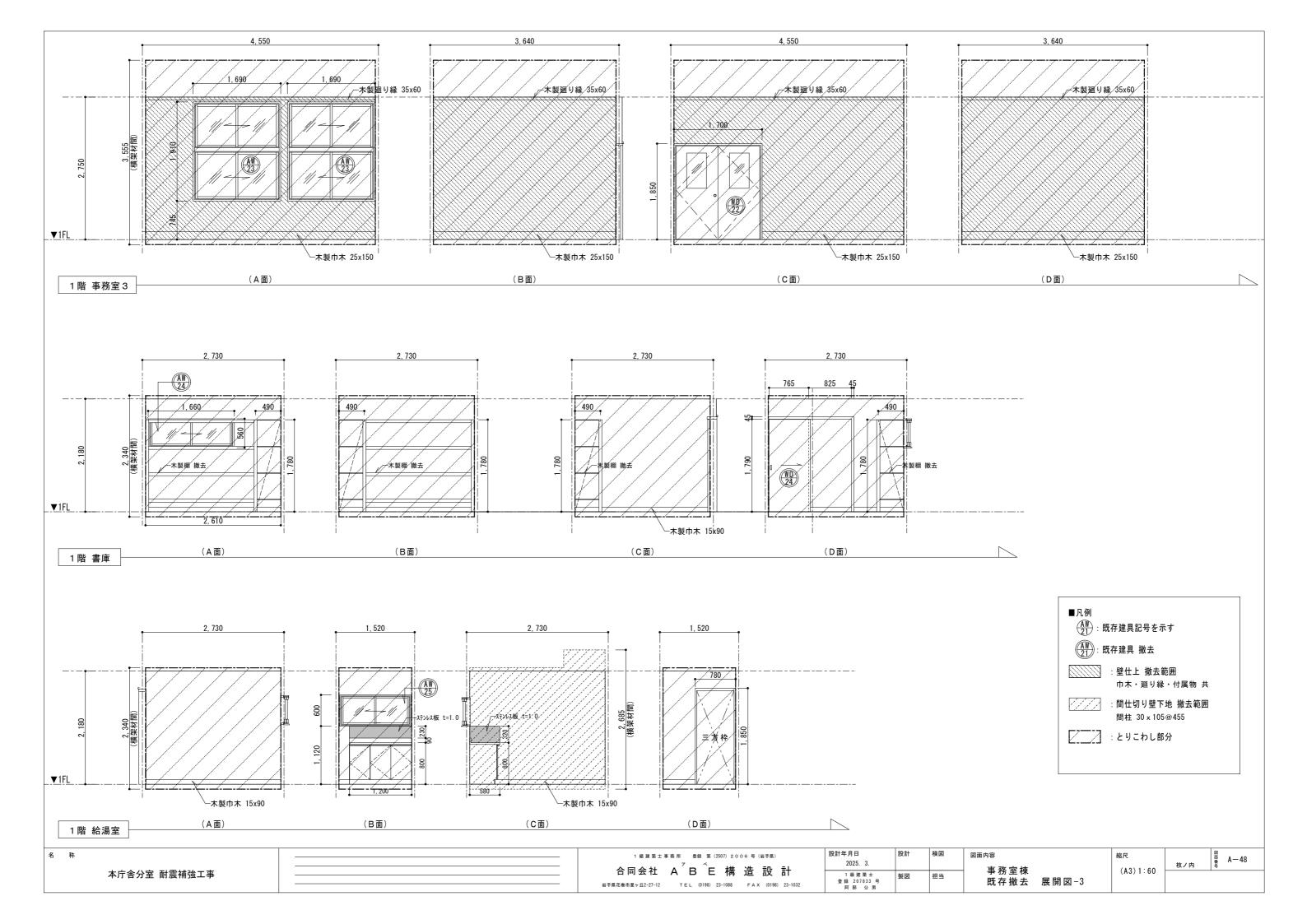


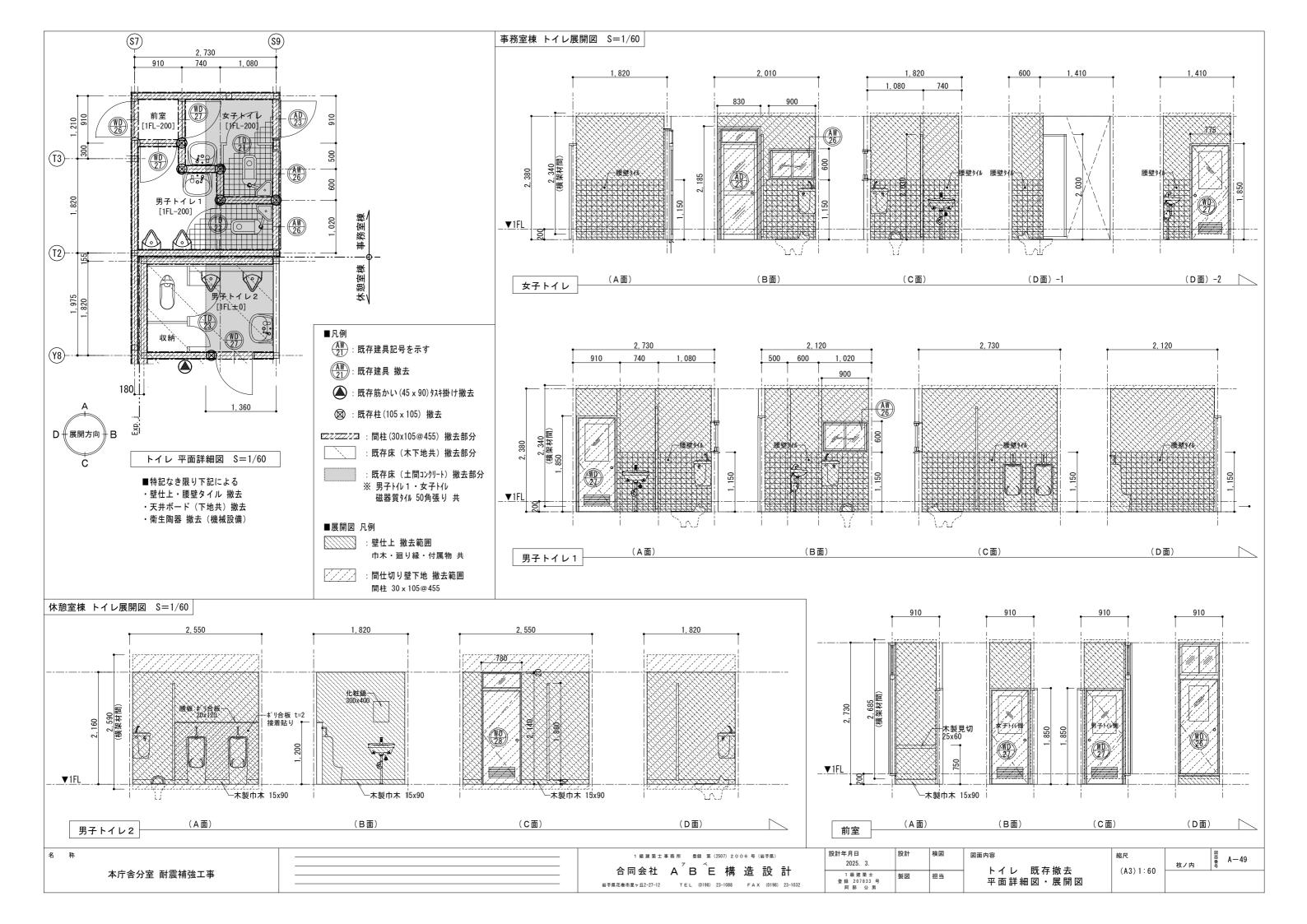


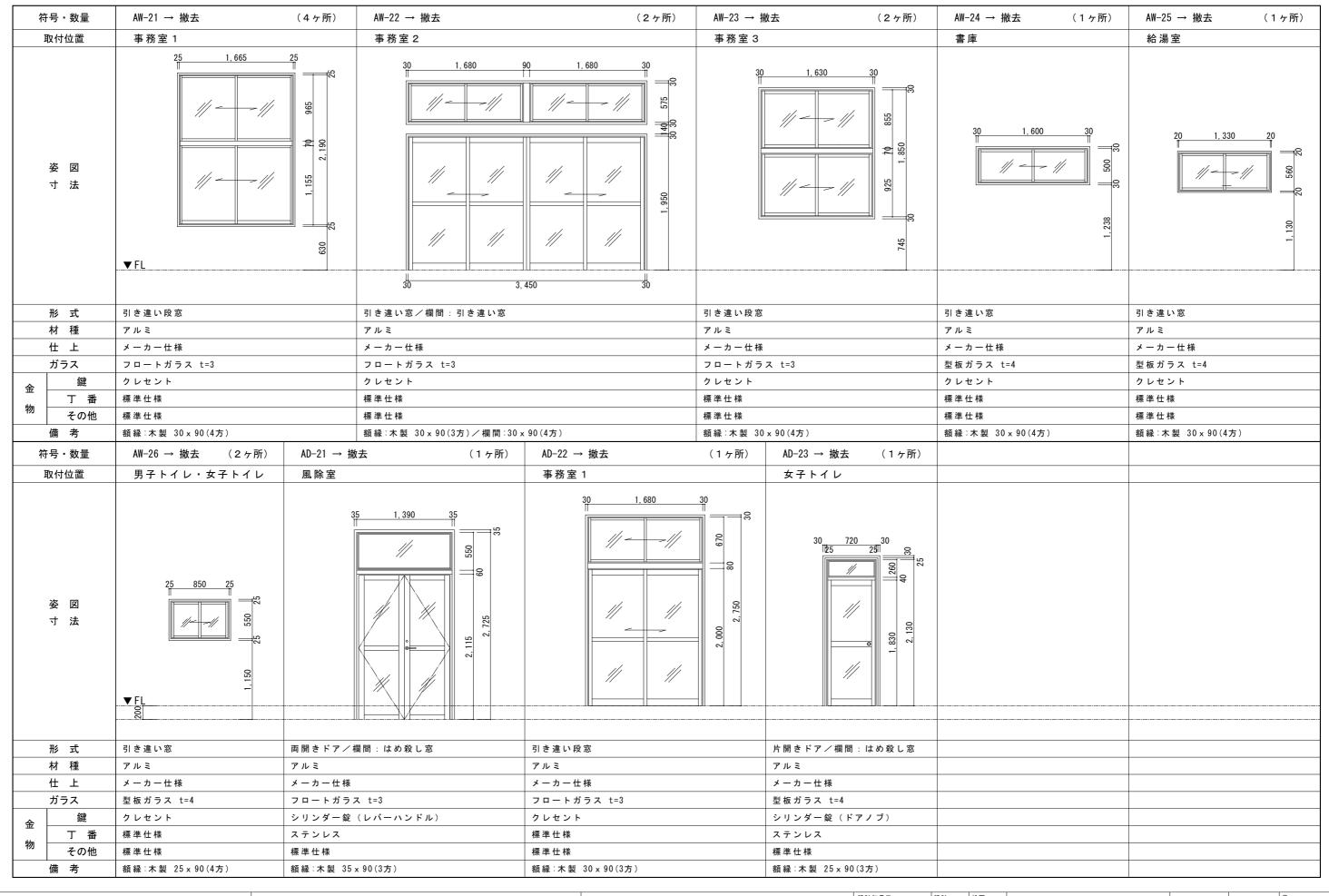








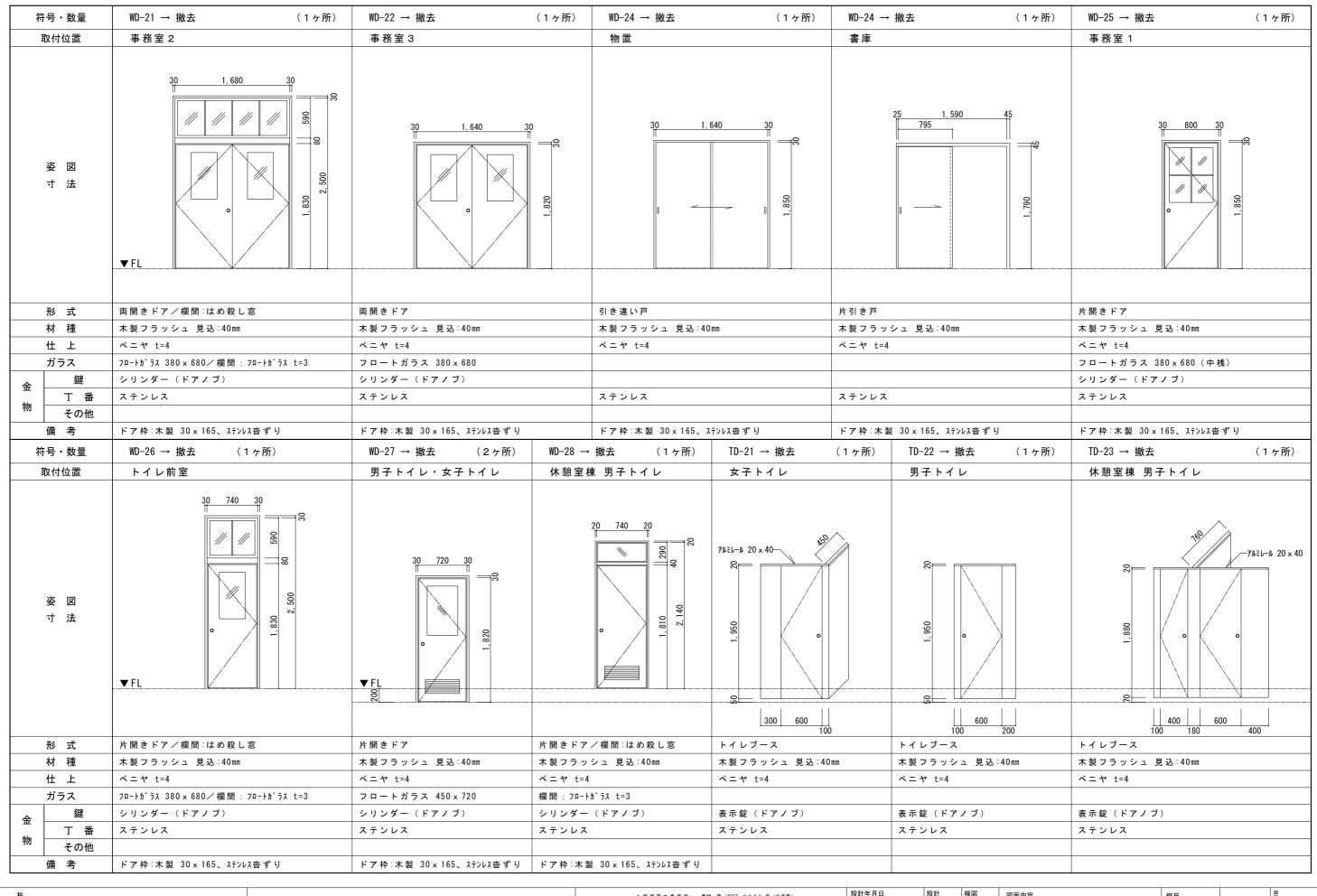


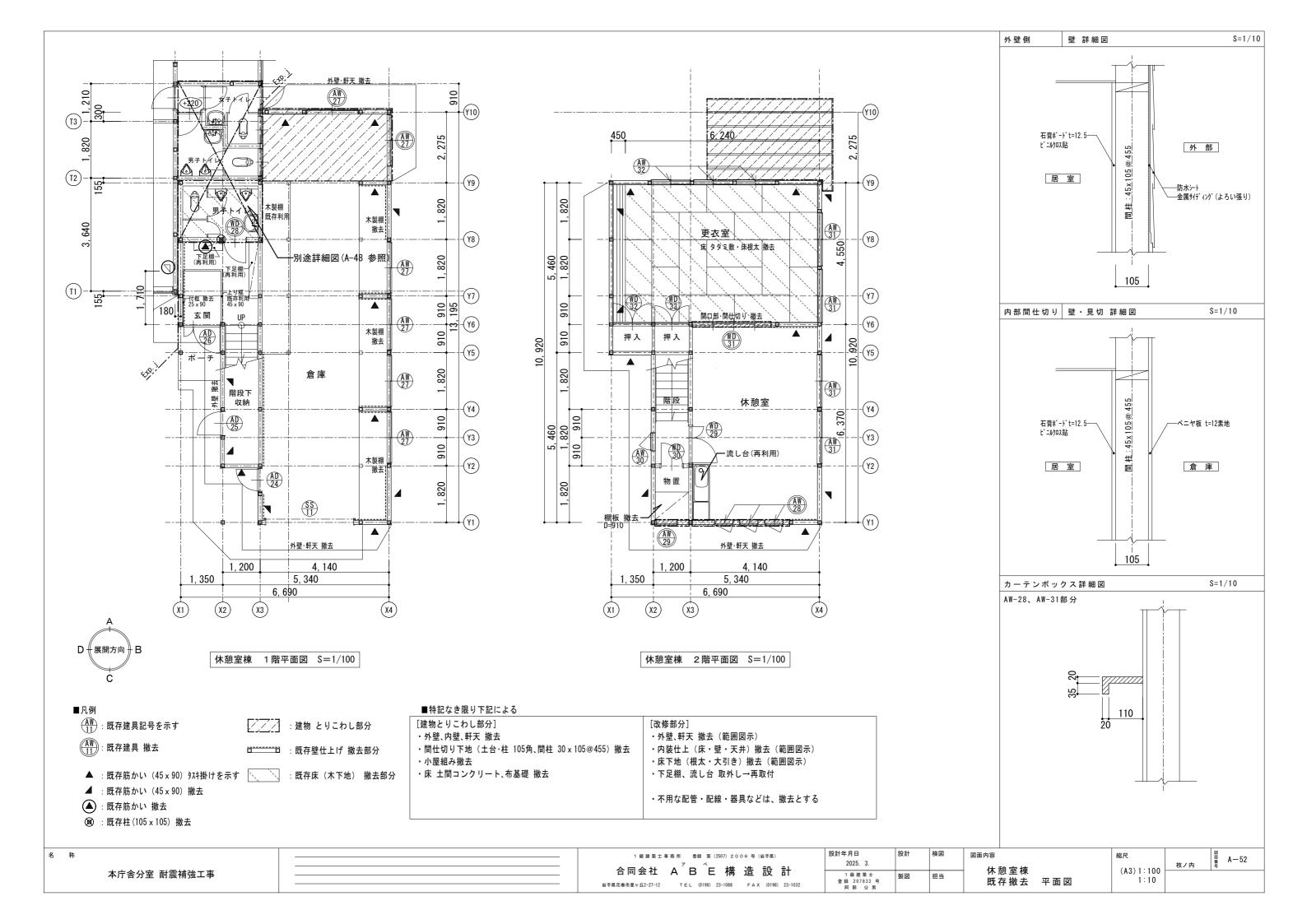


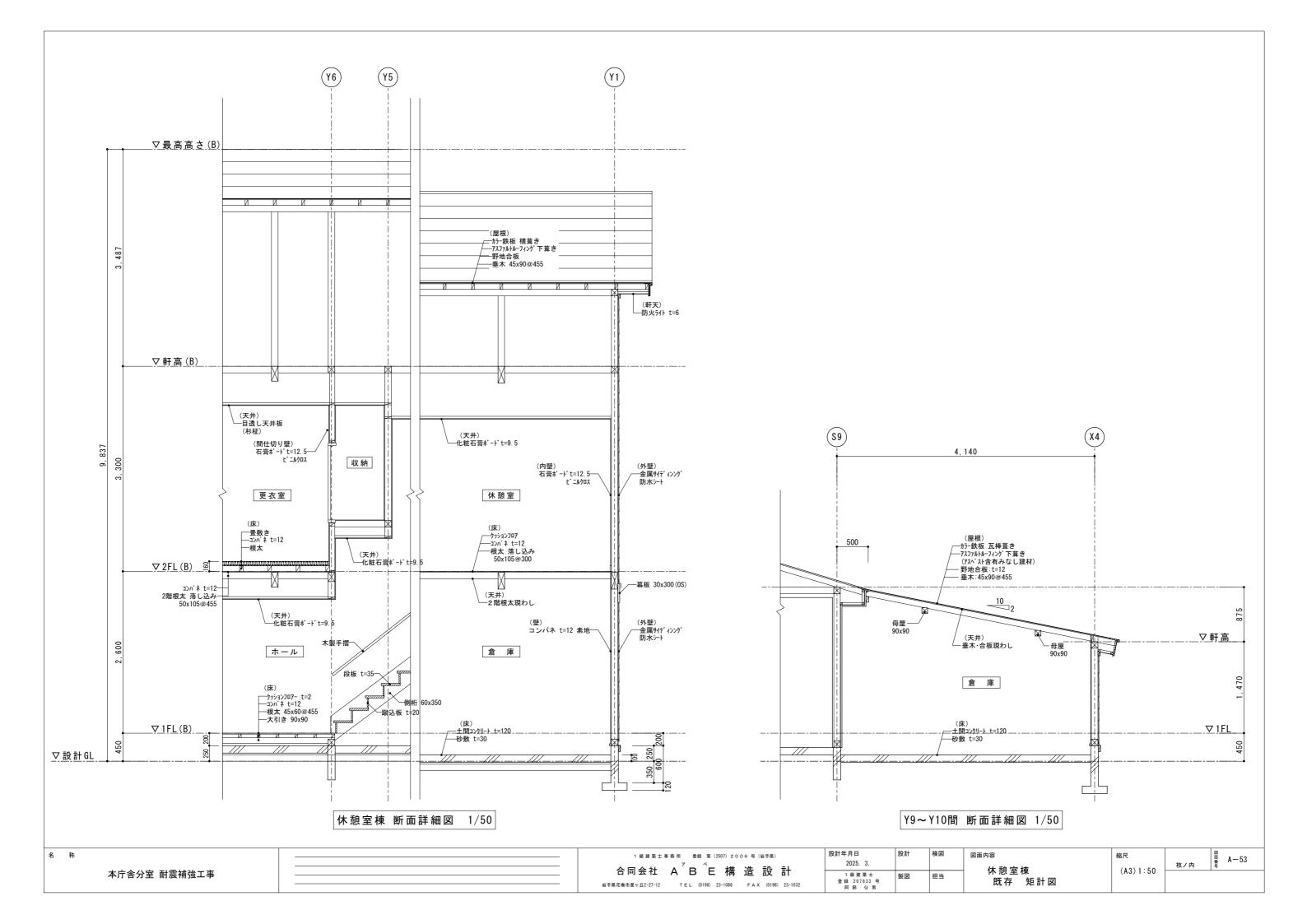
 名 称
 本庁舎分室 耐震補強工事
 上
 1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 20 0 6 号 (岩手県)
 設計 特図
 図面内容
 縮尺

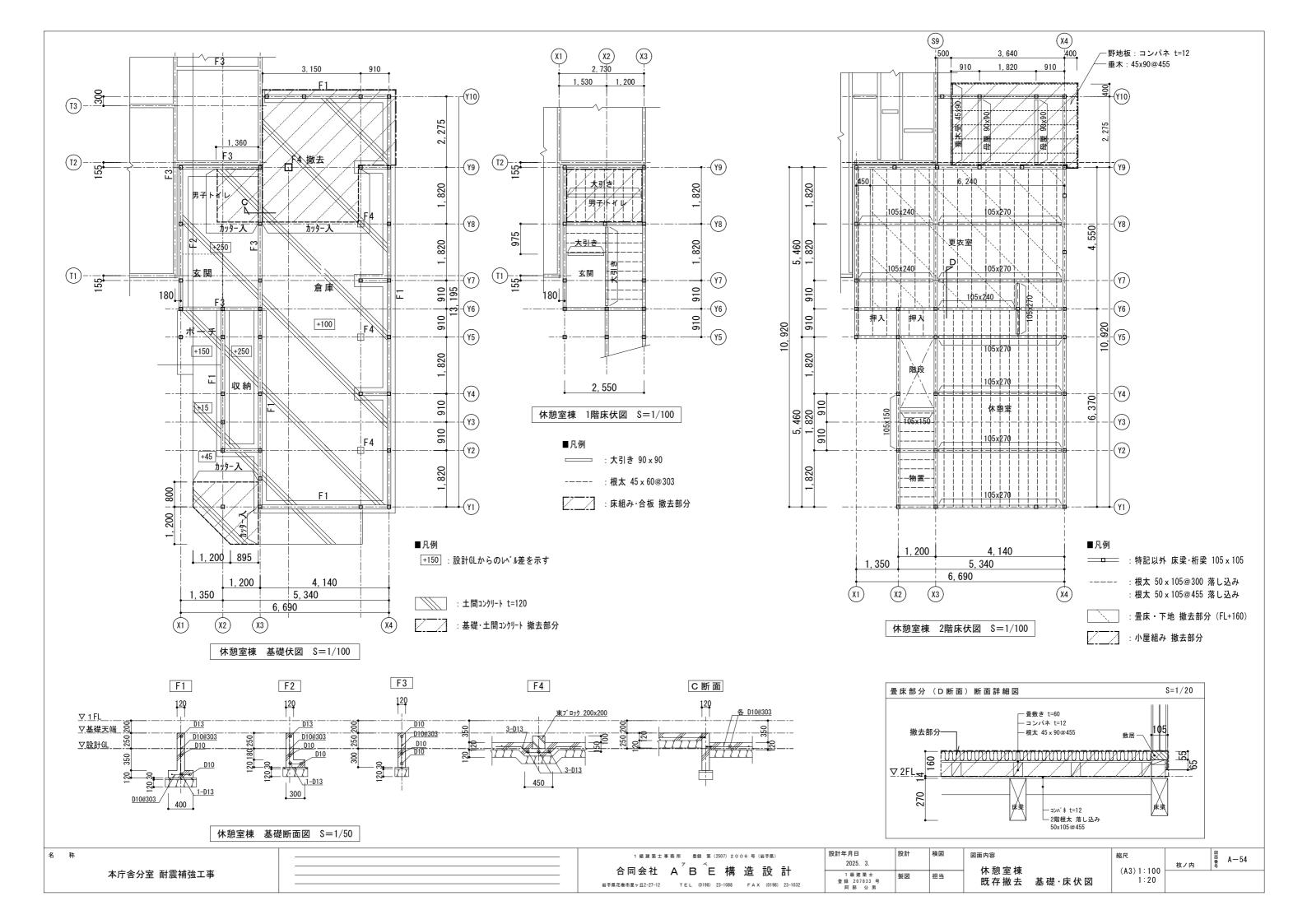
 本庁舎分室 耐震補強工事
 本庁舎分室 耐震補強工事
 合同会社 A B E 構 造 設 計
 製図 担当
 事務室棟
 (A3) 1:50

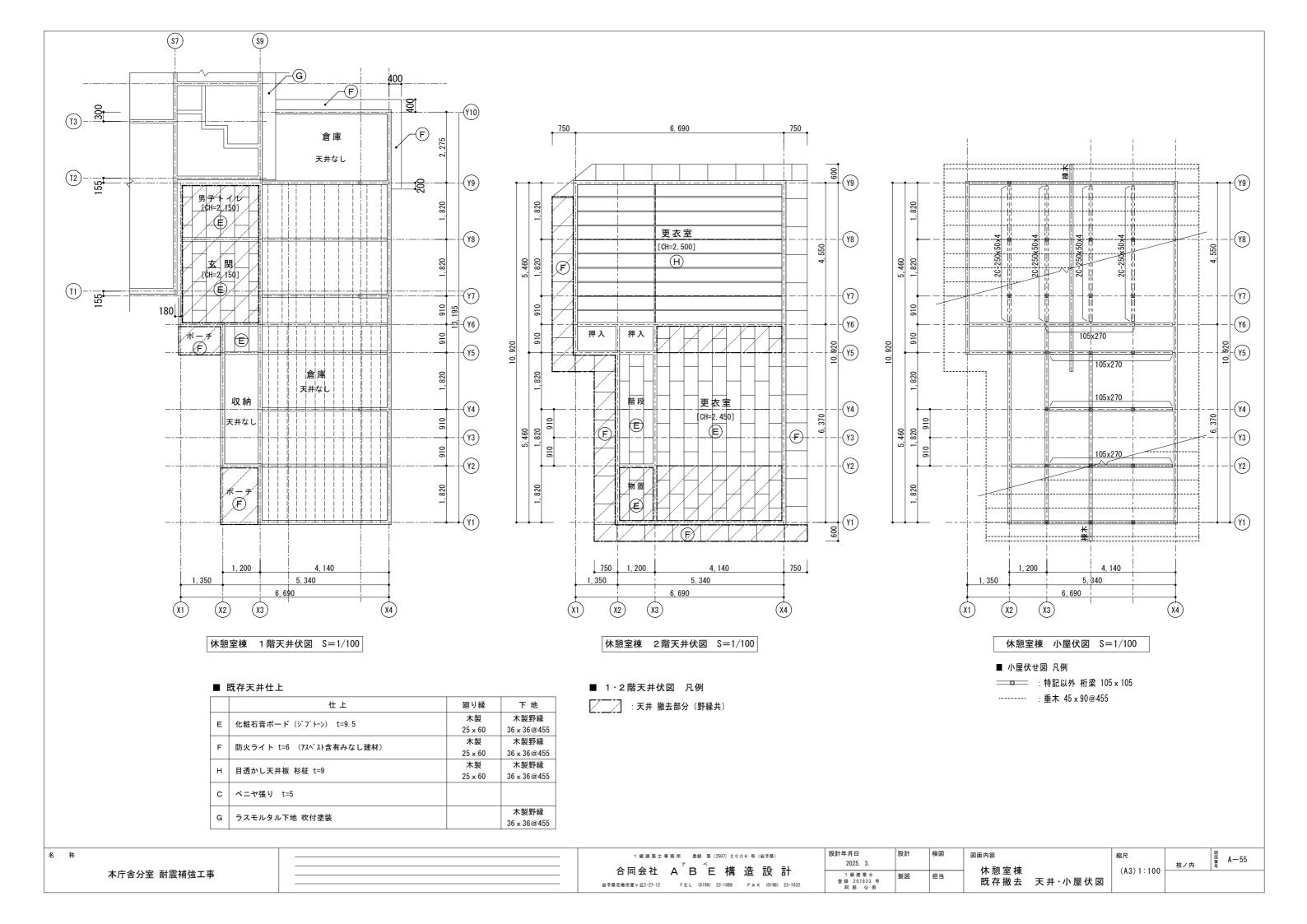
### (A3) 1:50

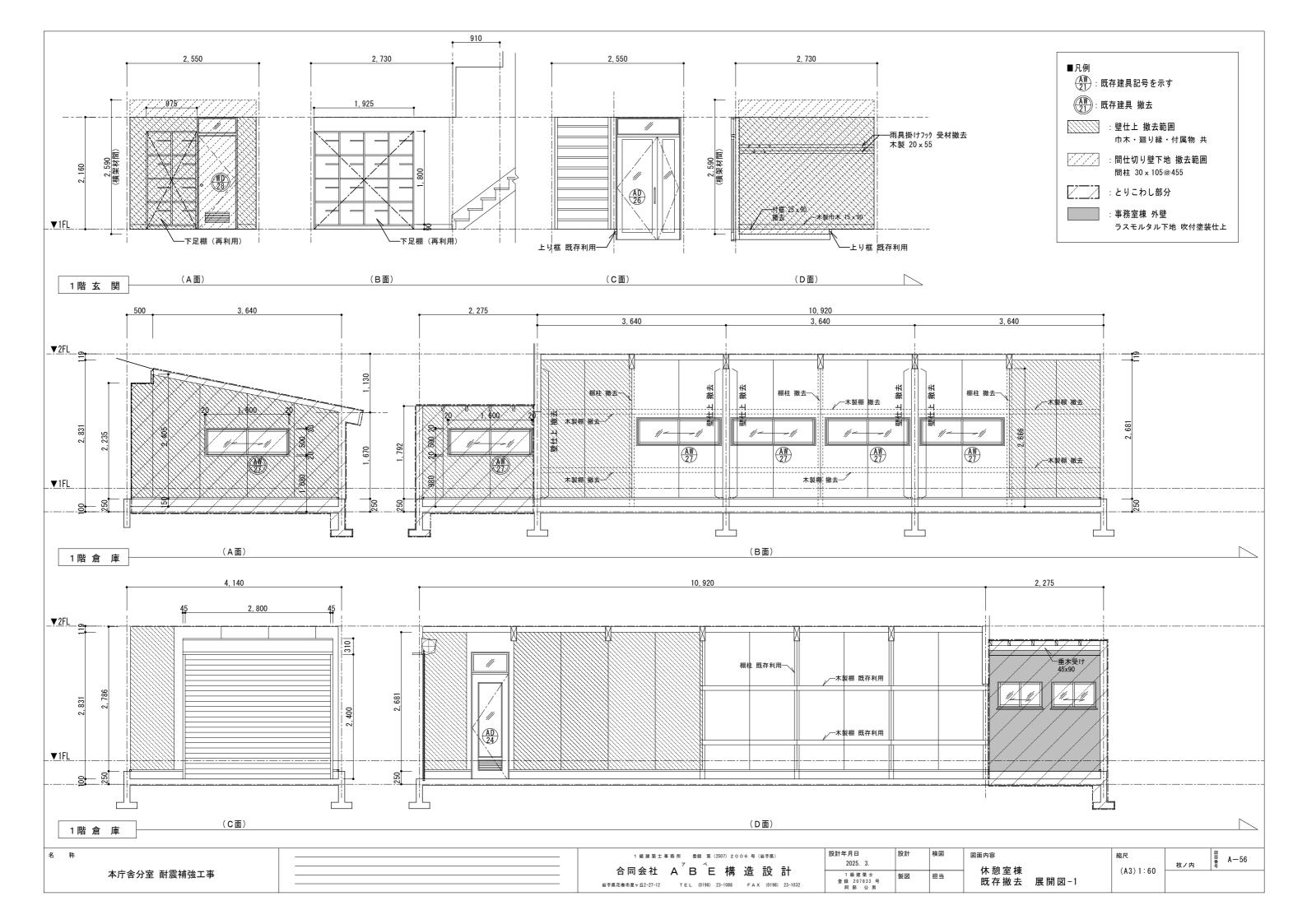


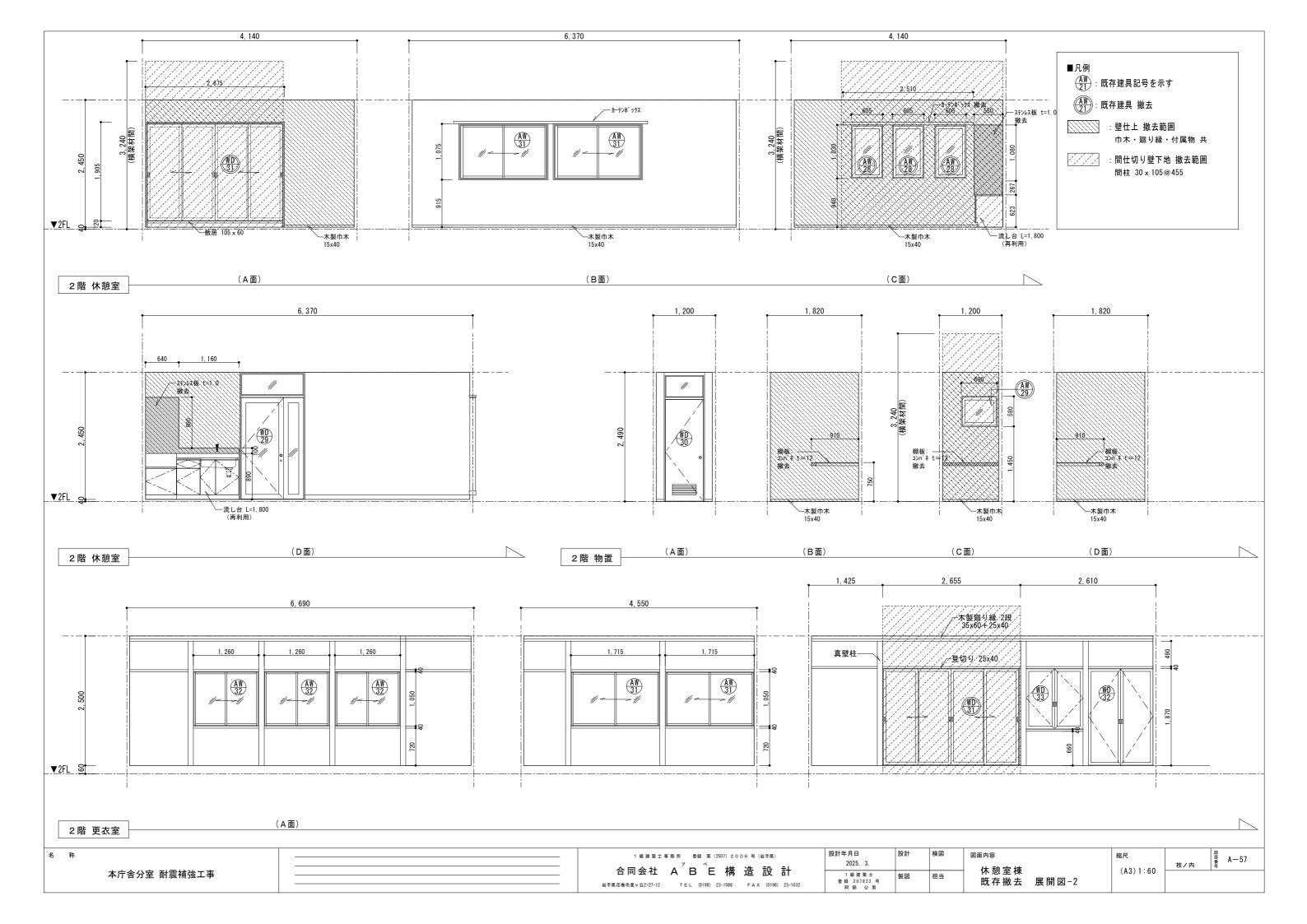


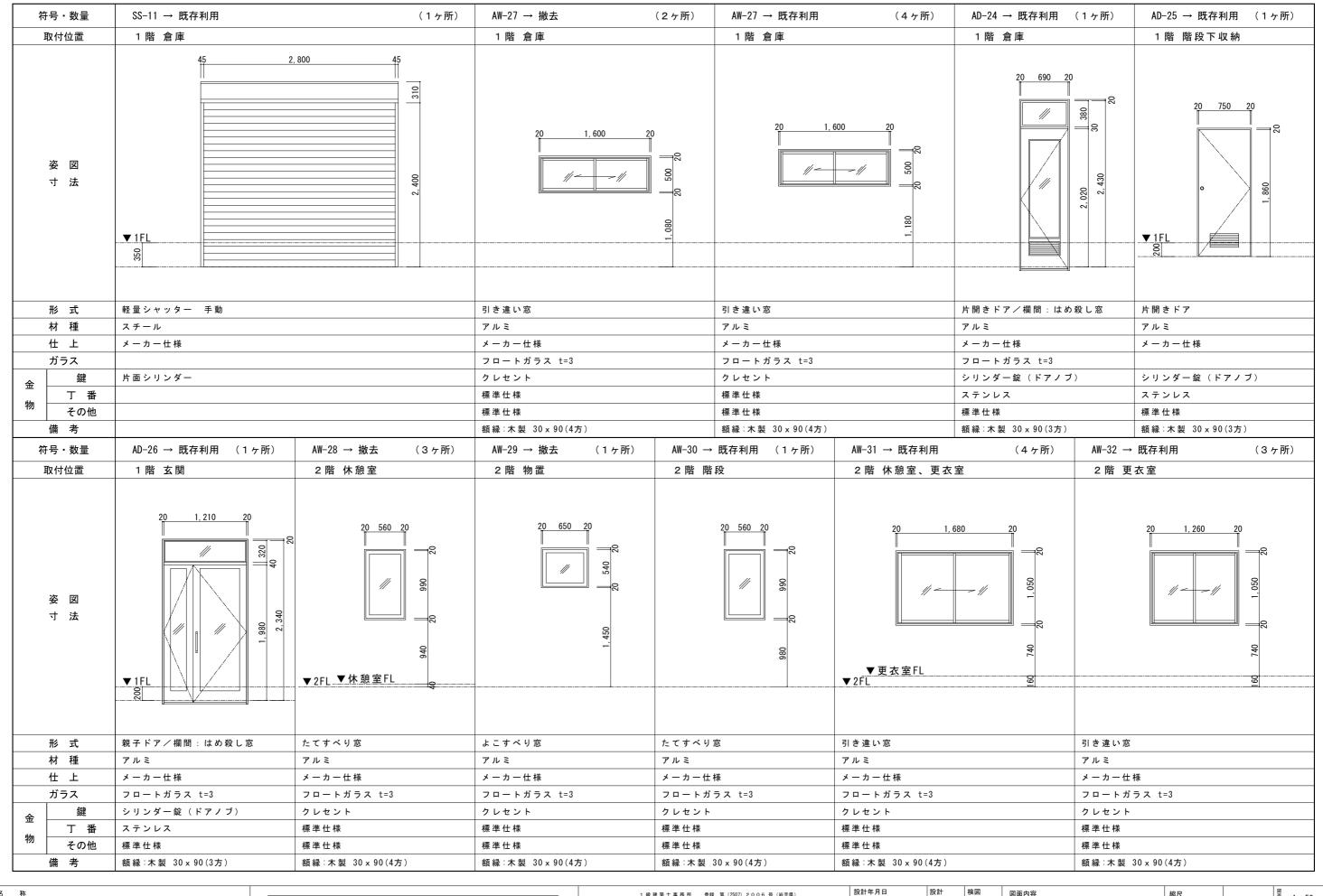




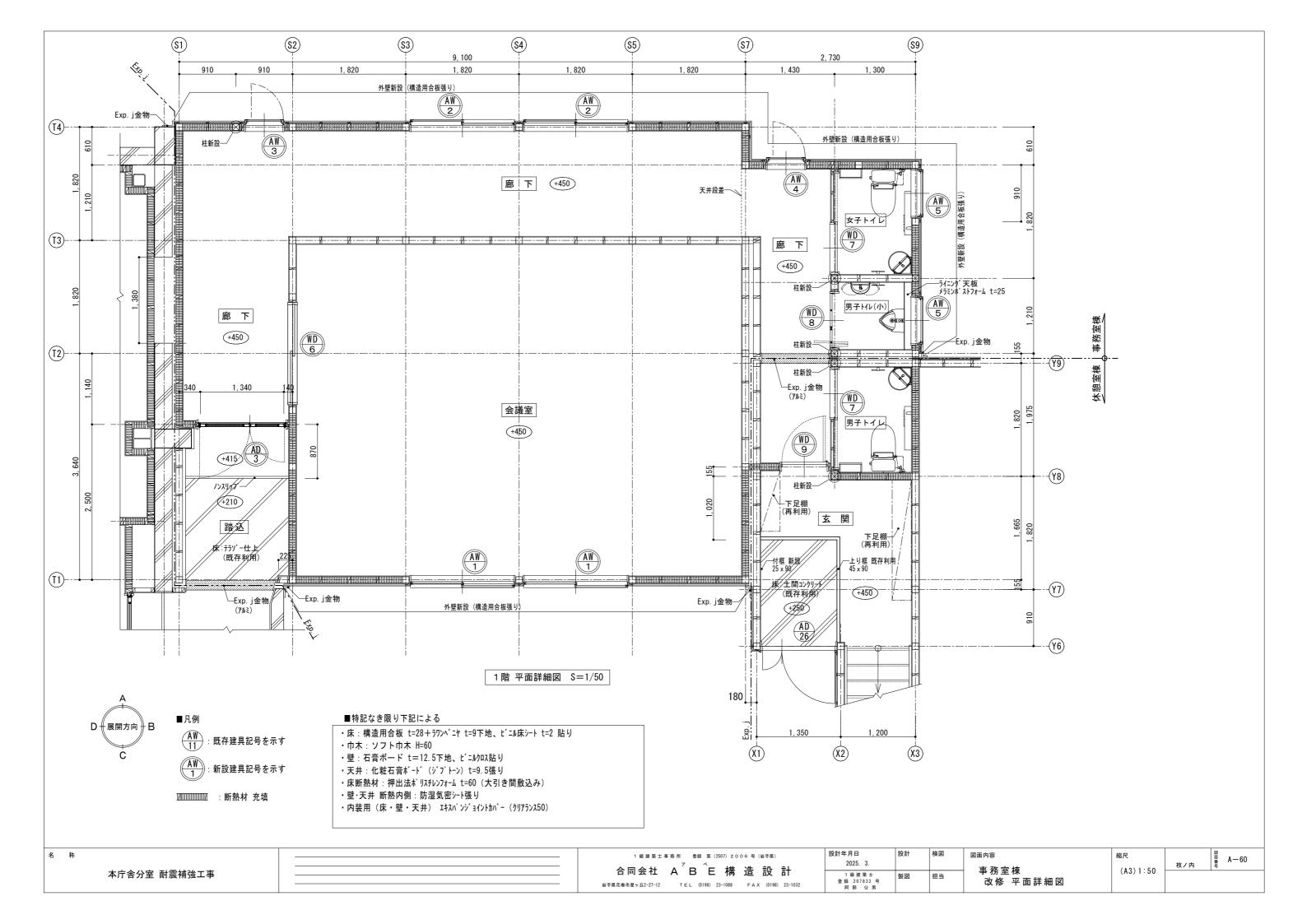


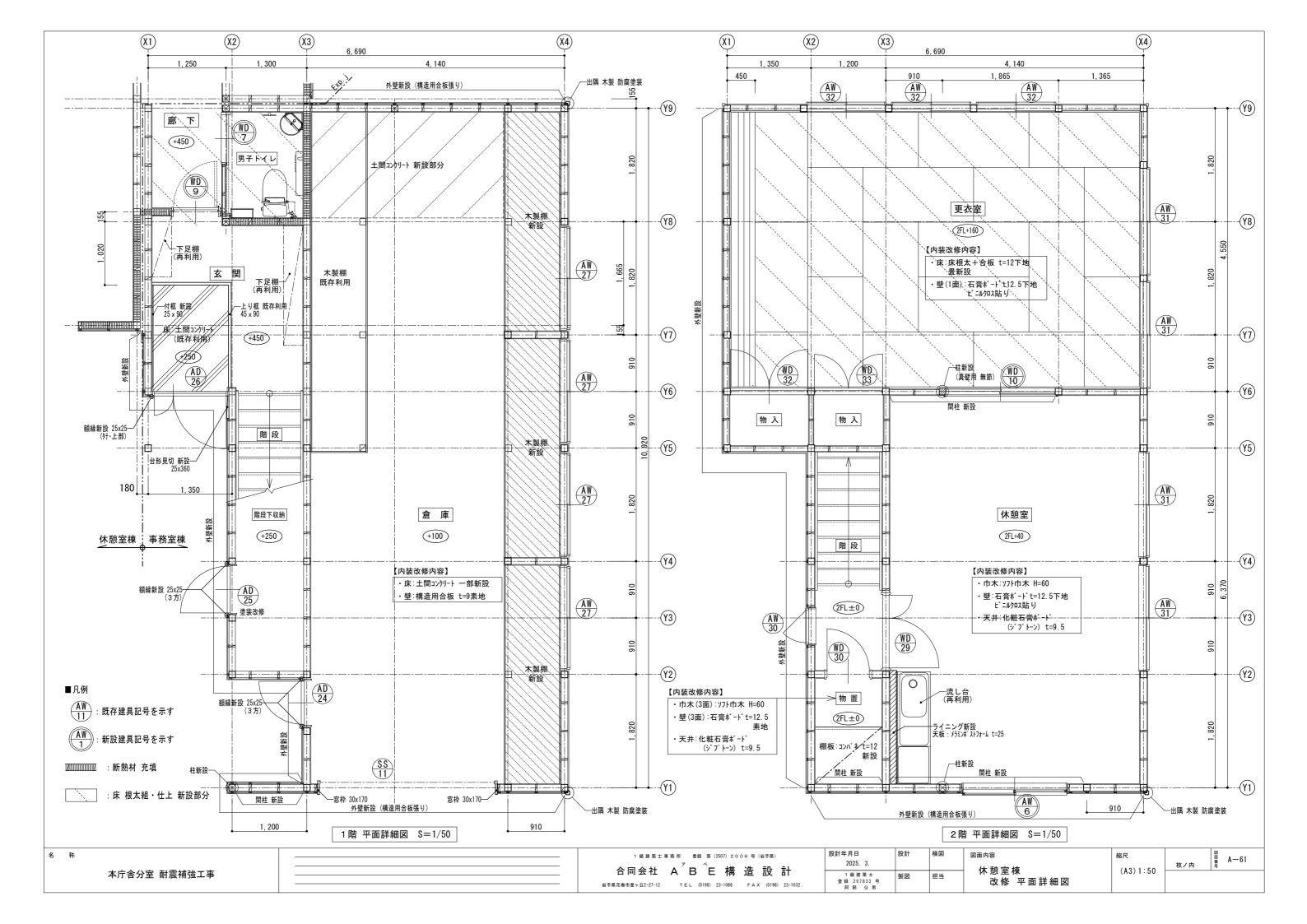


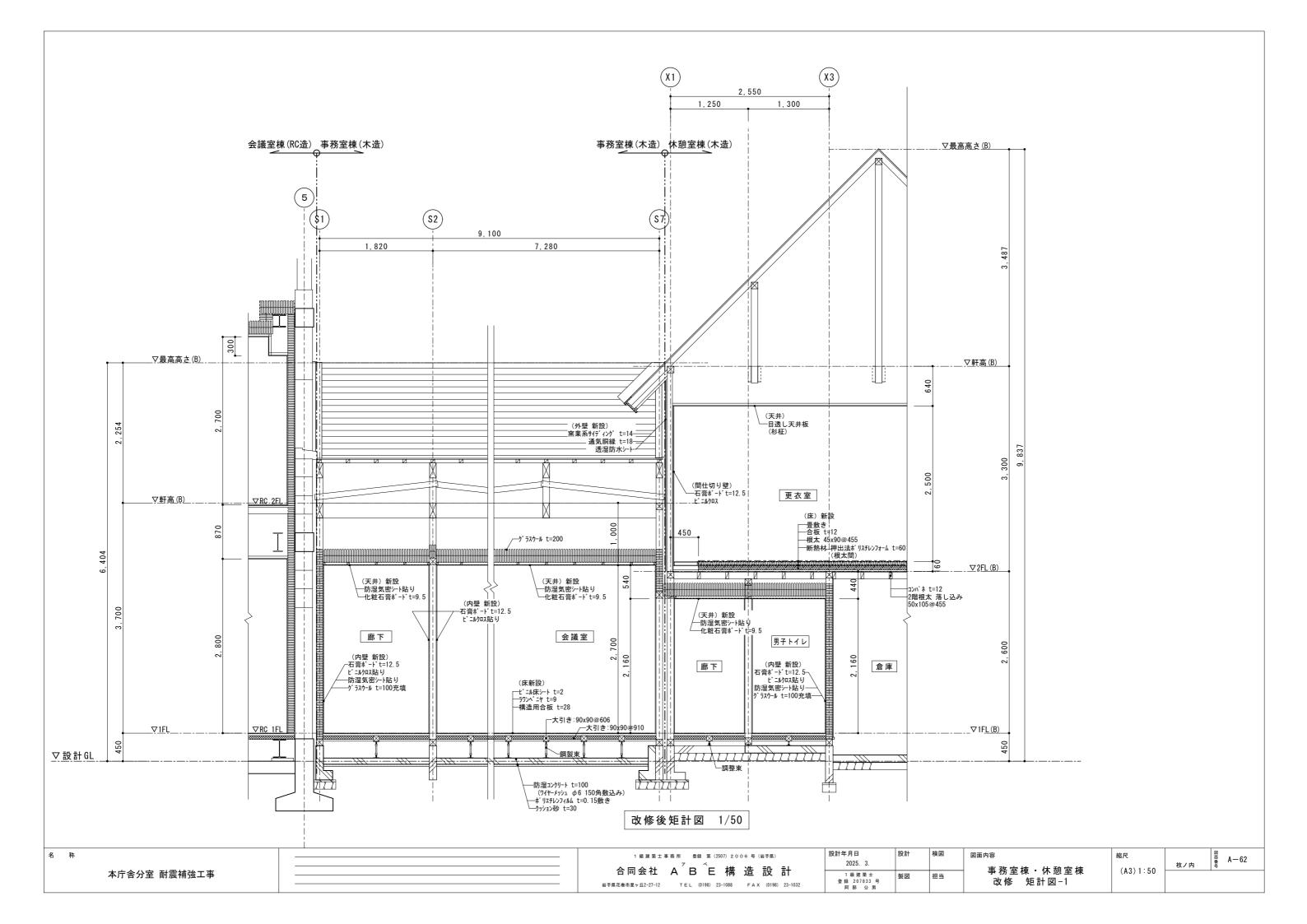


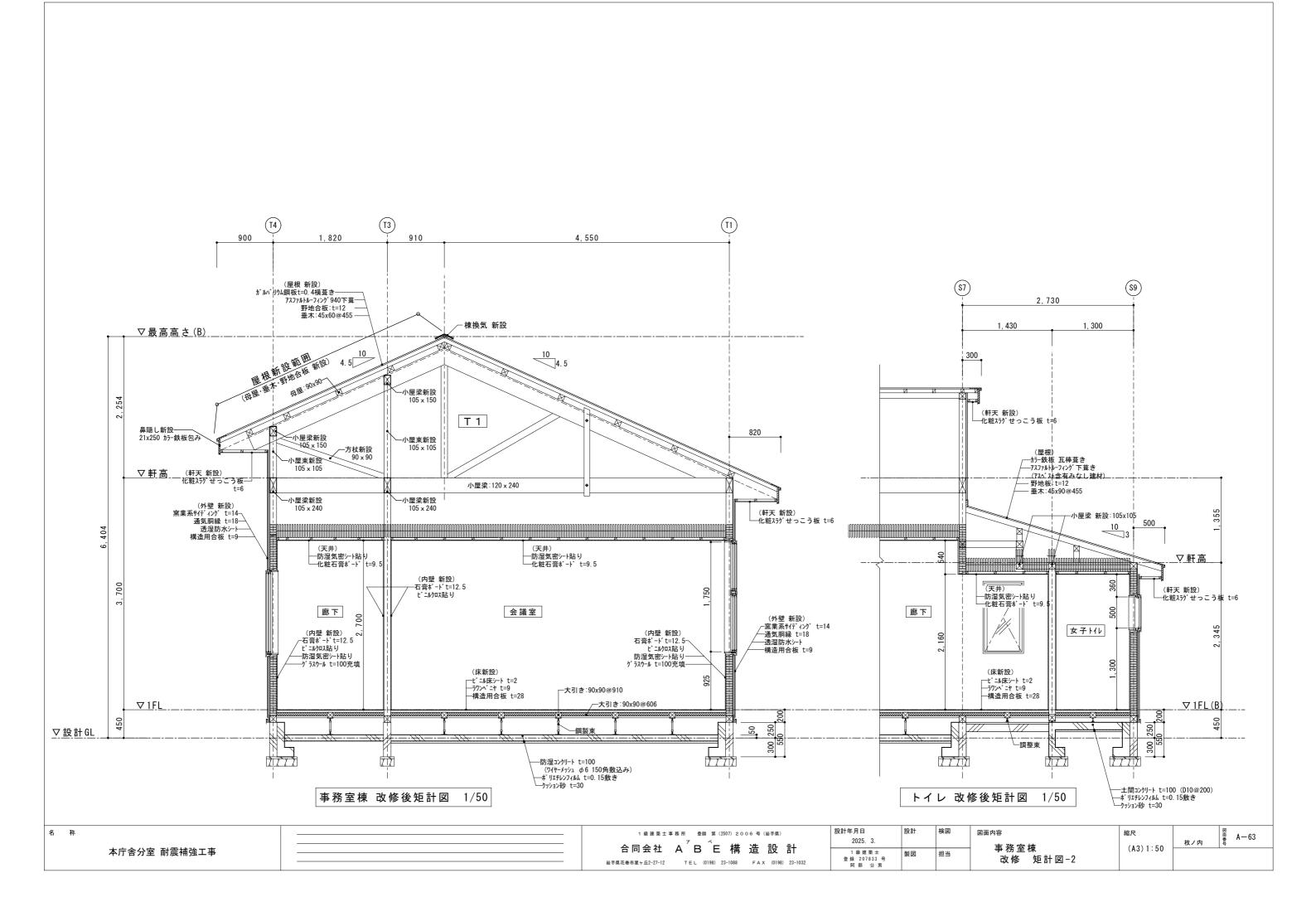


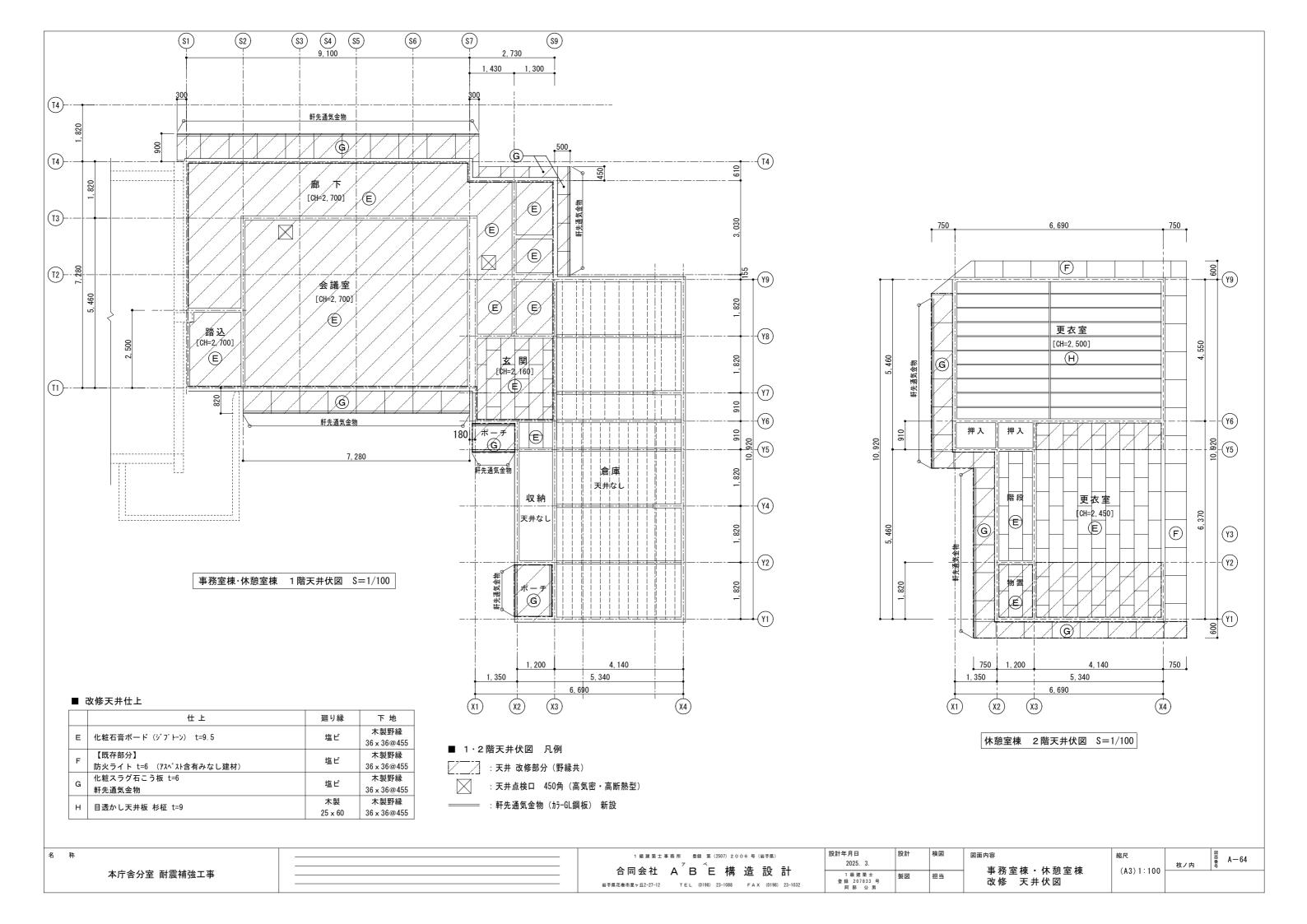
符	号・数量	WD-29 → 既存利用	(1ヶ所) WD-30 → 既存利用 (1ヶ所)	WD-31 → 撤去 (1ヶ所)	WD-32 → 既存利用 (1ヶ所)	WD-33 → 既存利用 (1ヶ所
取	<b>文付位置</b>	2階 休憩室	2階物置	2階 休憩室	2階 更衣室	2階 更衣室
姿 図 法 		20 1,200 20	2,430 40 20 20 20 2,430 40 380 40 2,430	20 2,605 15 20 02 15 15 00 02 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	1, 245	1,095
		親子ドア/欄間:はめ殺し窓	片開きドア/欄間:はめ殺し窓	4枚引き戸	両開き戸	両開き戸
材 種		木製框戸 見込:40mm	木製フラッシュ 見込:40mm	木製フラッシュ 見込:40mm	木製フラッシュ 見込:40mm	木製フラッシュ 見込:40mm
仕 上				(休憩室側) 化粧ペニヤ、(更衣室側) 襖紙	襖 紙	襖 紙
ガラス		型板ガラス t=4/欄間:フロートガラス t=3	欄 間 : フロートガラス t=3			
, [	鍵	シリンダー	空錠			
金	丁 番	ステンレス				
ן ע	その他	ドアノブ	ドアノブ	引手	引手	引手
		ドア枠:木製 30×165	ドア枠:木製 30×165	三方枠:木製 30×165、敷居:130×90	枠:木製 30×165	枠:木製 30×165

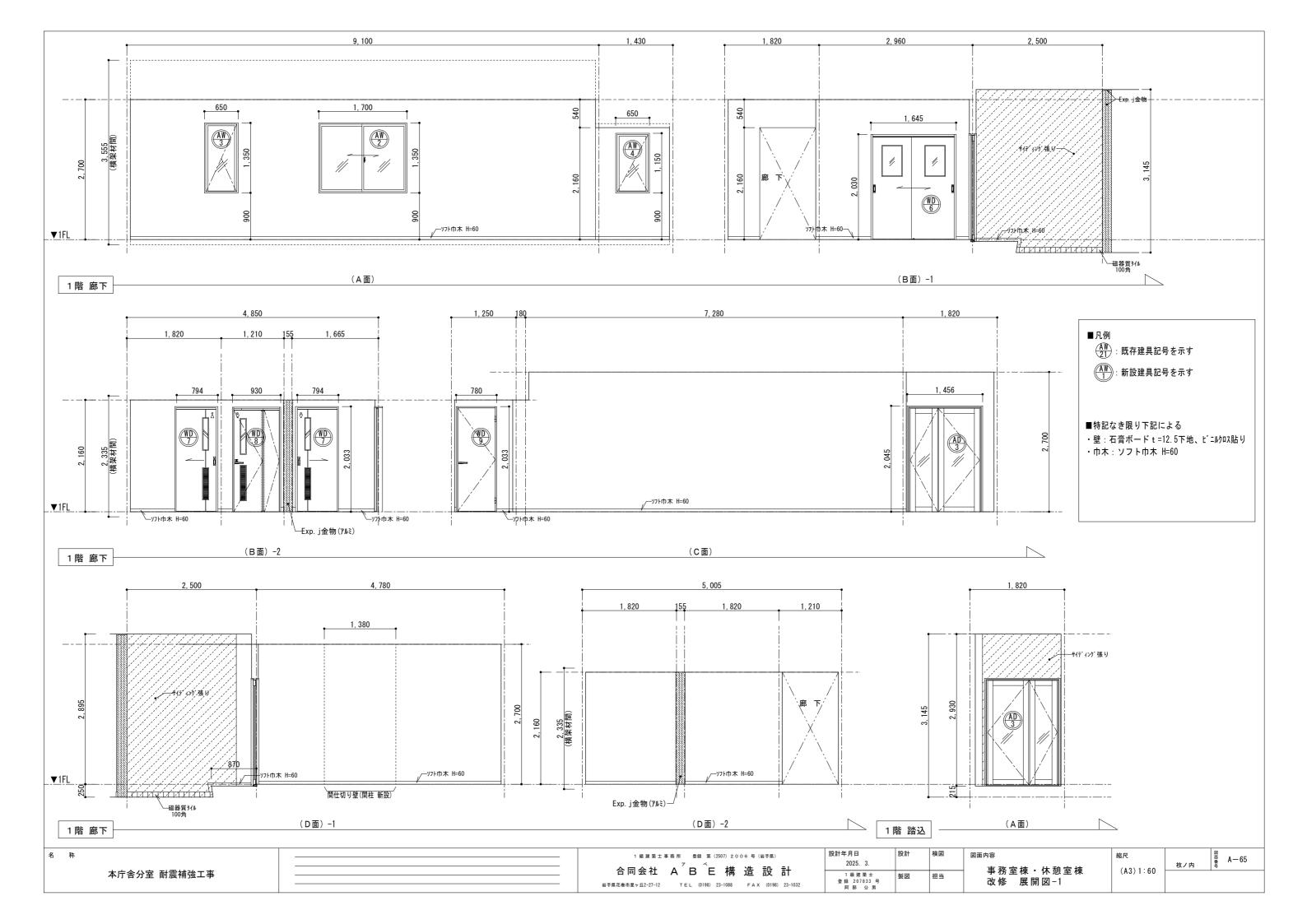


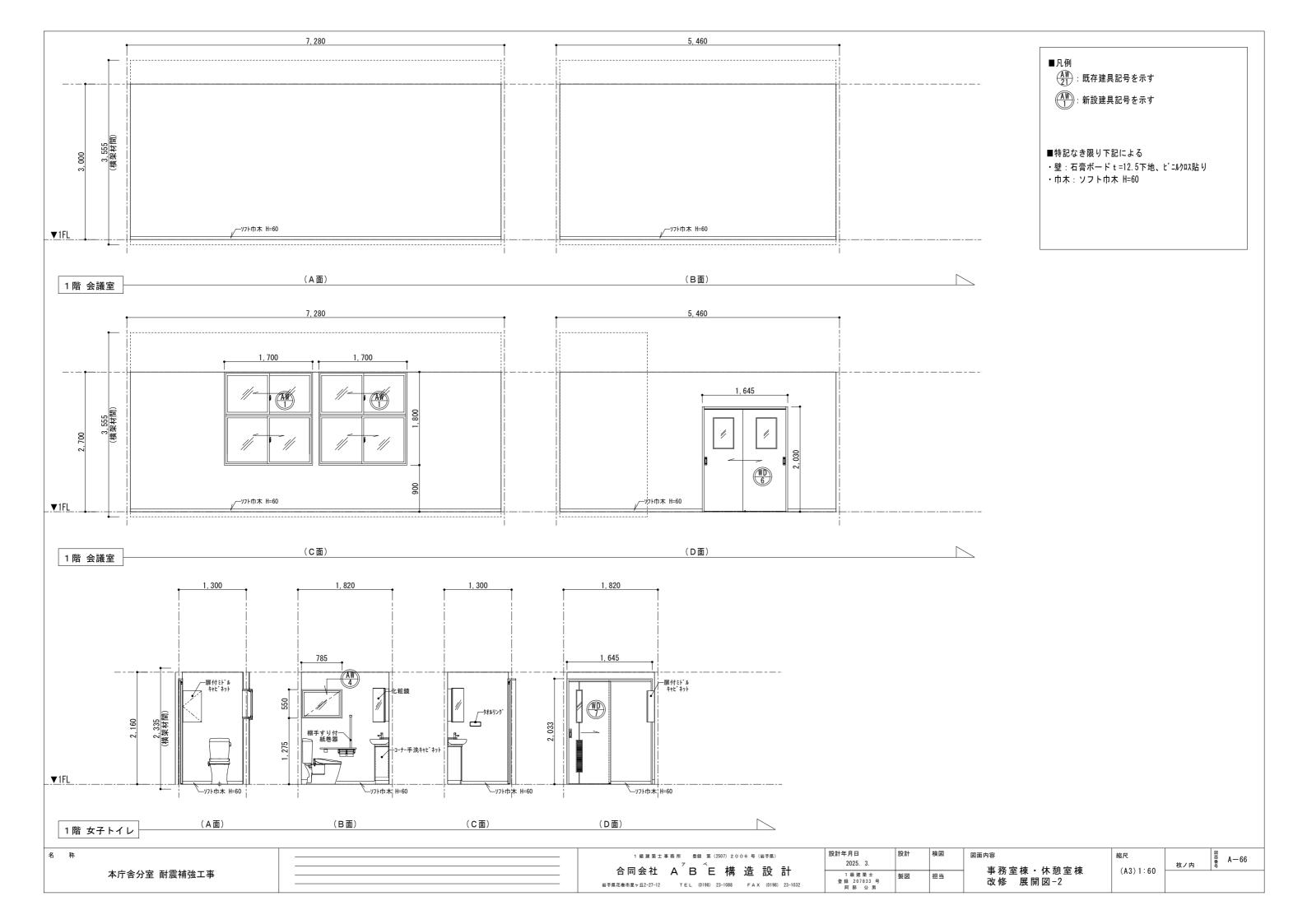


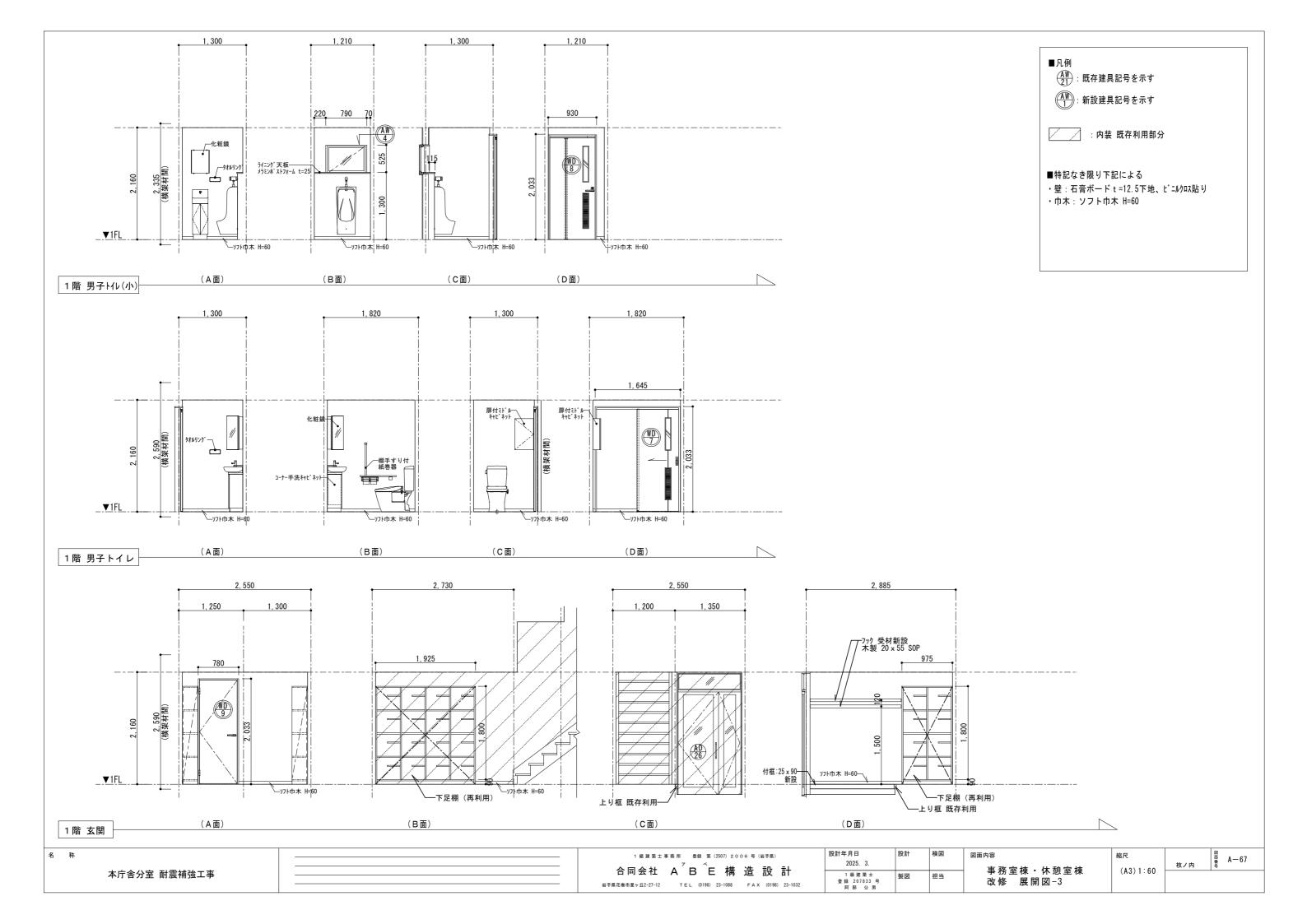


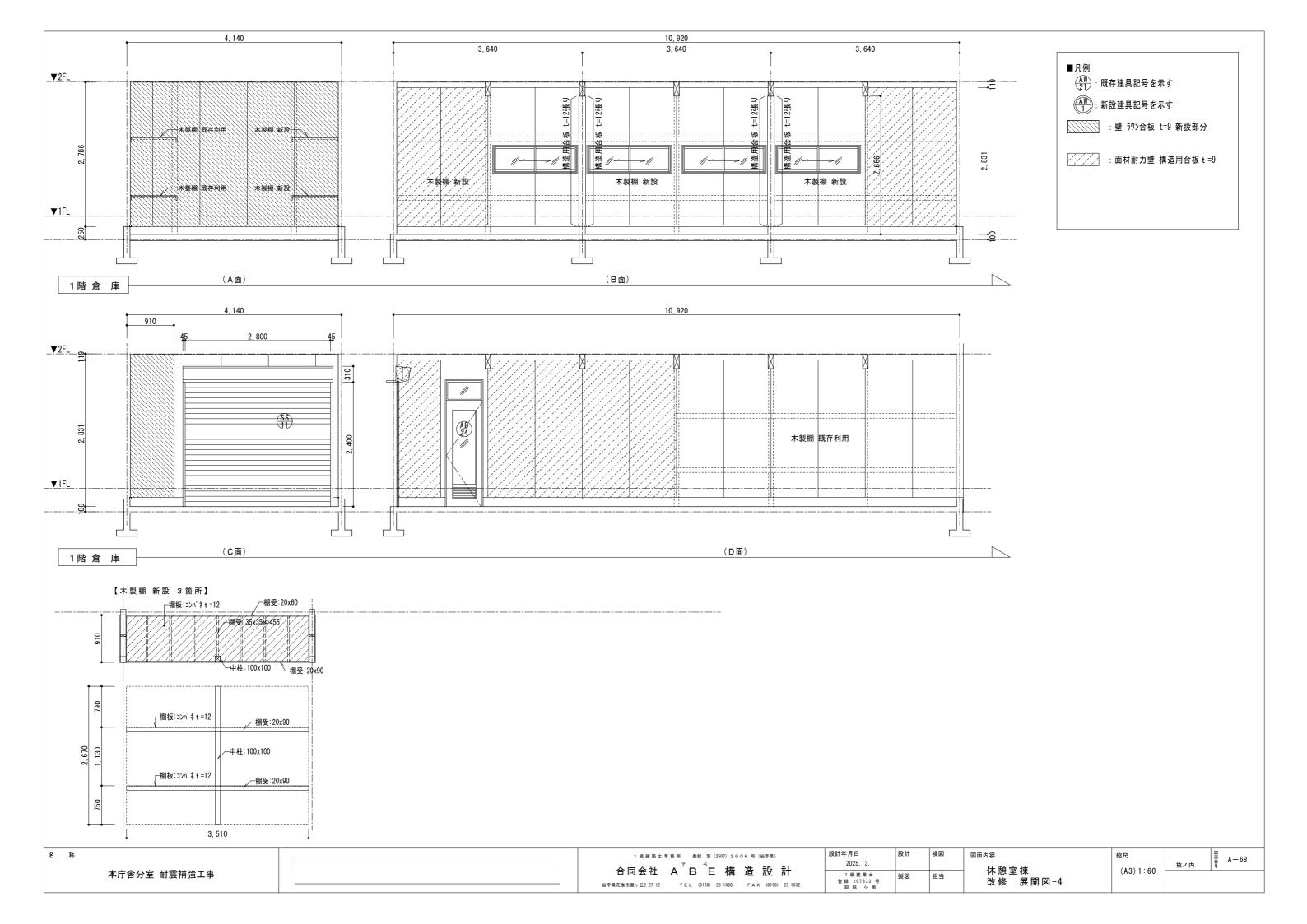


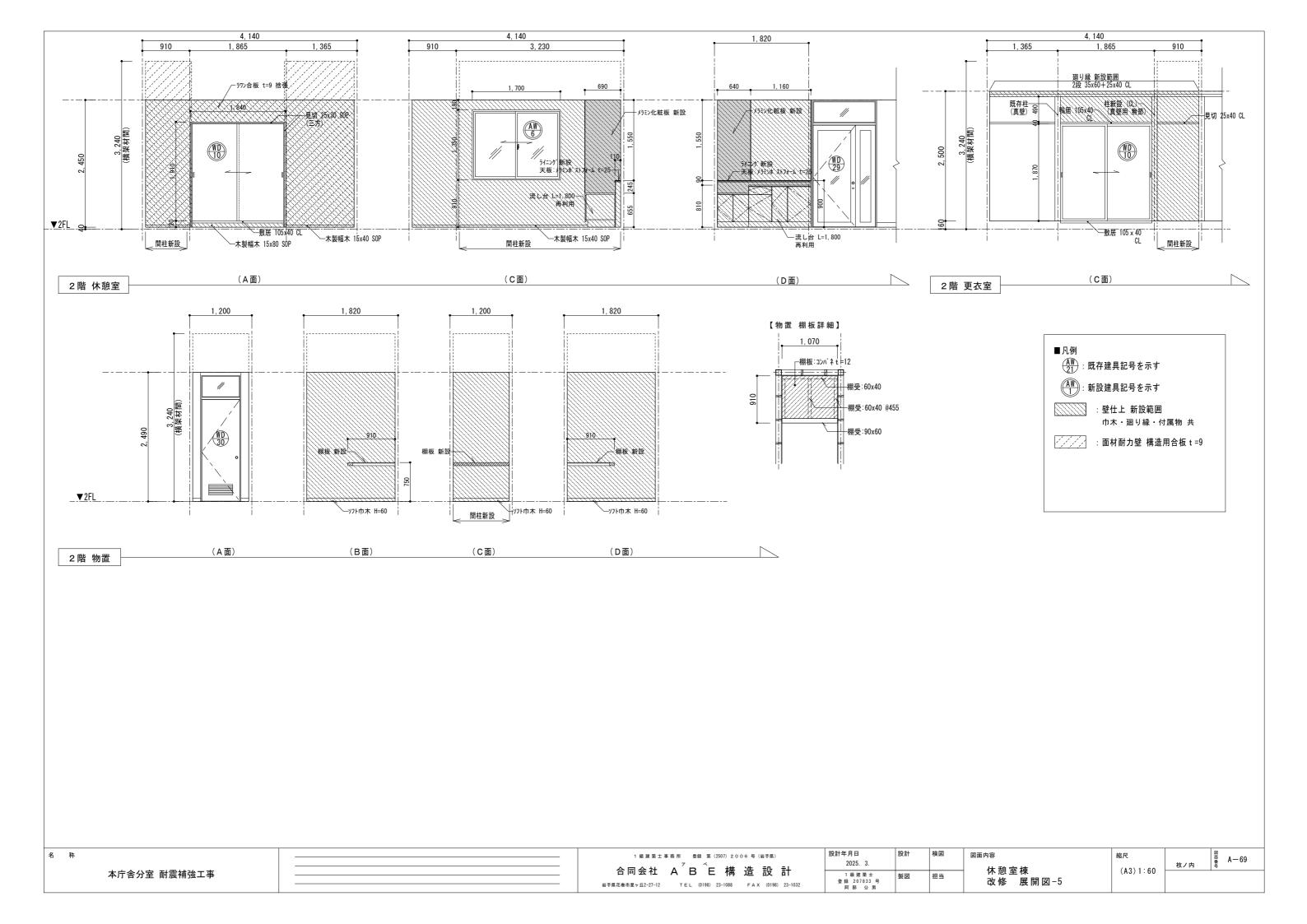


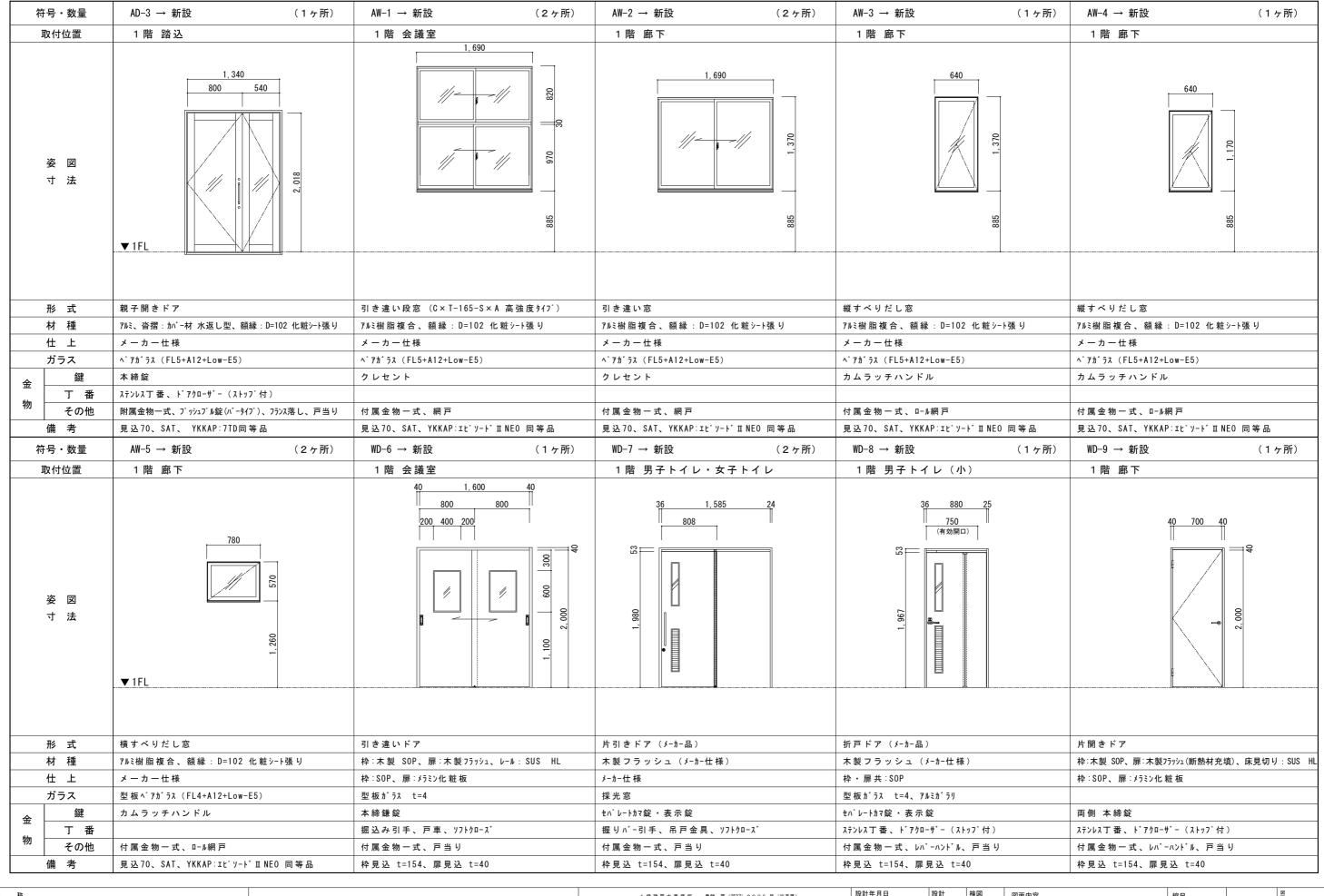


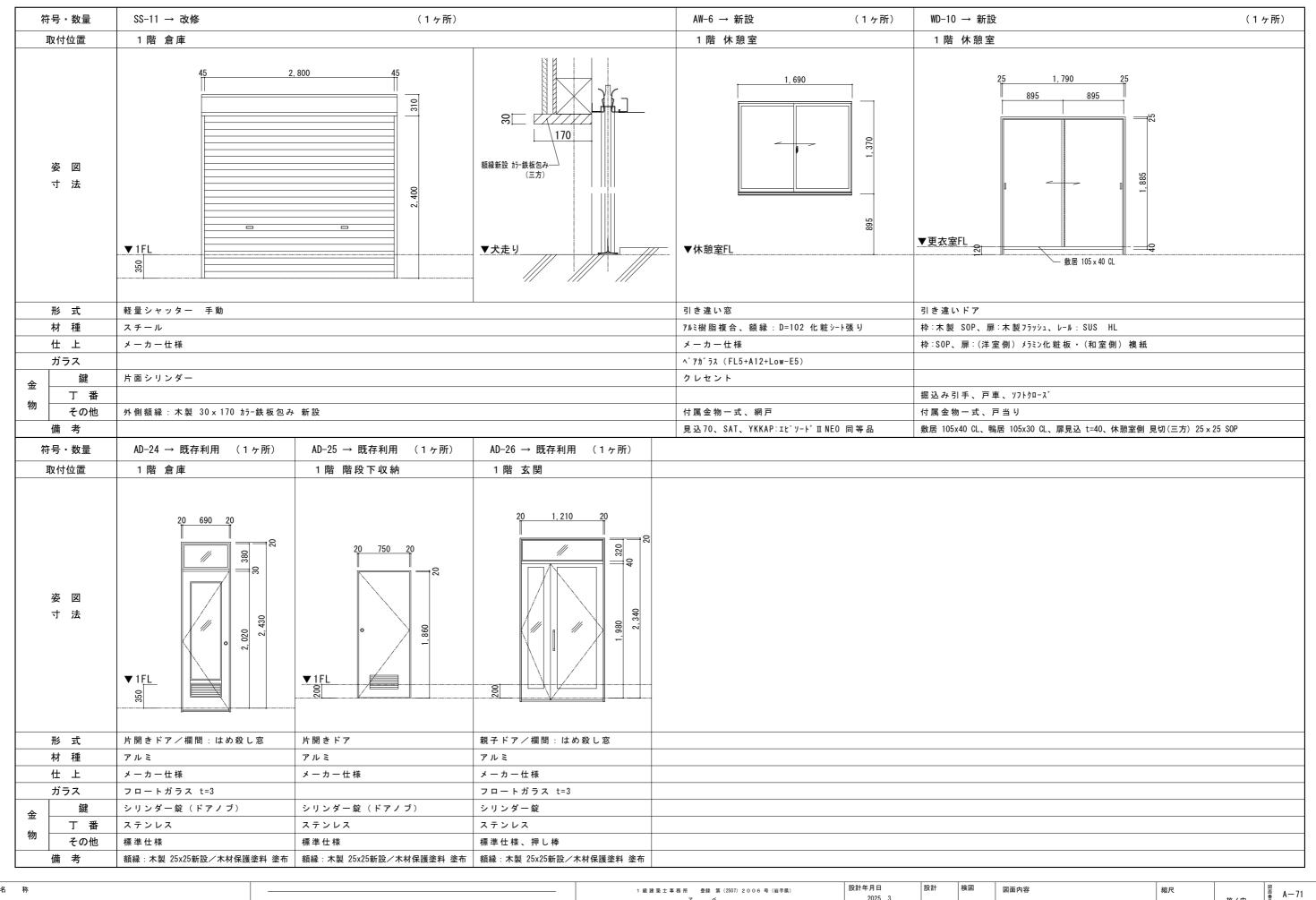












# 構造設計標準仕様書

適用は 📵 印を記入する。

# 1. 建築物の構造内容

(1)建築場所 岩手県花巻市城内1番43号

(2)工事種別 □新築 ■増築 □ 增改築

(3) 構造種別

□ 木造(W) □ 補強コンクリートブロック造(CB) ■ 鉄骨造(S)

■ 鉄筋コンクリート浩(RC) □ 壁式鉄筋コンクリート告(WRC)

□ 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)

□ プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC) □

(4) 階数

棟 地下 階 地上 2階 塔屋 階

(5)主要用途 会議室

(6)屋上付属物

□高架水槽 kN □キュービクル kN □広告塔 □煙 突

(7)特別な荷重

□ エレベータ 人乗 (マシンレス ロープ式 油圧式) □ ラックリフター kN □ ホイスト kN □ ホイスト kN □ 倉庫積載床用 N/m □ 受水槽 kN

(8) 付帯工事

□門塀 □擁壁 □自転車上屋 □自動車機械駐車 □ ) 画無

(9)増築計画 □ 有(

(10) 構造計算ルート ■ X方向ルート 3 - ( ) Y方向ルート 3 - ( ) □

# 2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 Fc=N/mm <sup>2</sup>	スランプ cm	備考
捨コンクリート	■普通	1 8	1 8	
土間コンクリート	■普通	2 1	1 8	
基礎、基礎梁	■普通	2 1	1 8	
	□普通、 □ 軽量			比重
	□普通、 □ 軽量			比重
	□普通、 □ 軽量			比重

□ 単位水量は 185kg/m3以下、単位セメント量は 270kg/m3以上

(2) コンクリートブロック(CB)

□ A種 □ B種 □ C種 厚□ 100 □ 120 □ 150 □ 190

(3) 鉄 筋	種 類	径	使用箇所	継手工法
	■ S D 295	D10~ D16		■重ね継手
異形鉄筋	■ S D 345	D19~ D22		
<b>美形数</b> 肋				■ガス圧接継手
				□特殊継手
高強度せん断補強筋				( )
丸 鋼	□ S R 235			
溶接金網 (JIS G 3551)				

# (4) 鉄 骨

	種	類	使用箇所	現場溶接	備考
■ SS400	□ S M400	■ SN400A.B.C	大梁・小梁	□有 圖無	
STKR400	□ STKR490	□ S T K400	柱・間柱	□有 圖無	
□ BCR295	□ B C P 235			□有 圖無	
□ SM490A	■ SN490B	■ SN490C	ダイヤフラム・柱脚	□有 團無	
□ ssc400	П			口有 口無	

○ 使用筒所の詳細については別途図示とする。

■ 高力ボルト

□ 普通: F10T **■** 特殊: S10T 認定品(□M12, ■M16, ■M20, ■M22, □M24) 高カボルトすべり係数試験 🛭 要 🗎 否 ■ 中ボルト

■ アンカーボルト ABR400 M = 20 L = 500mm ナット(シングル、ダブル) 定着板有 ■ アンカーボルト ABR400 M = 16 L = 400mm ナット(シングル、ダブル) 定着板有

D22 L = 180 mm 使用箇所 ( 團柱 團大梁 □小梁 ) SD345 D16 L = 130 mm 使用箇所 ( □柱 圖大梁 □小梁 ) SD295 \*材料試験 1)全数の打音検査を行い、固着度を確認する。

2) 各階 梁・柱 それぞれ3か所非破壊引張試験を行う。

高力ポルト導入張力確認試験 🛘 要 🗎 否

(6) 屋根、床、壁

壁厚 □ スライド構法 □ ボルト止め構法 □ ロッキング構法 □ALC版

H = 90mm 厚 0.8 ■折 版 Π デッキプレート 型式 厚 □ キーストーンプレート 型式

□ 特殊デッキプレート

名 称

(7) 梁貫通孔補強 (使用する際には、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

□ 設計図 ■ 鉄筋標準図 ■ 既製品(リング型、パイプ型、金鋼型) □ 鉄骨標準図

(1) 地盤調査資料と調査計画

■有 (■敷地内 □近隣) □無 (調査計画 □有 □無)

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画
ボーリング調査			静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験堀 (支持層の確認)			平板裁可試験			液状化判定		
スウェーデン式サウンディング	0		現場透水試験			PS測定		

注)上記表中の資料の有るもの、調査計画の有るものに〇を記入する。調査計画は地業工事着手前に行う。

#### (2) スウェーデン式サウンディング試験

深度	半回転数	Nsw	斯 N	貫入量	1 m当	りの半回	転数(N	sw)		
及	数		100	50	100	200	300	400	600 ○調査地盤	
0.5	- 4 - 3 - 11 - 18	16 12 44		<u> </u>	G			-	- ○位置図	N A
1.5	27 8 13 11 18	108 32 52 44 72	9. 2 4. 1 5. 5 5. 2 6. 6	2 22 1 2 22 1 2 22 2 2 22 1 2 22 2	224	*****	,,,,,,,,	1		
2.5		307	20.3						6	宇舎分室
										表示データ
									ついての	、地層及び深さに コメント -0.8m)を掘削した結
									料性土である。	
									〇孔内水位	
										タの調査基盤と
								+	距離があ	
									○備考	
				式験杭の結果に						

# 4. 地業工事

(1) 直接基礎 □ベタ基礎 ■ 布基礎 ■ 独立基礎 試験堀 口有 團無 深さ GL-0.8 m, 支持層 - 粘性土 , 長期許容支持力度 65 kN/m載荷試験  $\square$  有  $\blacksquare$  無

(2) 地盤改良 □ 浅層混合処理方法 □ 深層混合処理方法 □

深さ G L ー m ,支持層 ー ,長期許容支持力度 kN/㎡ 載荷試験 □有 □無 (3) 杭基礎 支持層一

杭 種	材 料	施工法	備考
□RC □PRC	PRC(□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種)	□打ち込み	
□ PHC □ H鋼	PHC(□A種 □B種 □C種)	□ 埋込み(セメントミルクエ法)	
□鋼管 □摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	□スクリュウパイル工法	
□場所打ち	コンクリートFc N/mm <sup>2</sup>	ロオールケーシング 口拡底杭	
コンクリート杭	スランプ	ロリバースサーキュレーション	認定
	セメント量 kg/m3	ロアースドリル ロミニアース	第 号
	鉄筋 主筋 SD	□BH □深礎 ┌□手堀	年 月 日
	HOOP SD	□機械堀	

杭仕様 □施工計画書承認 □杭施工結果報告書

試験杭	(口有・	□無) (□打ち込み	→・□載荷・□孔壁測定)	本	
杭径	(mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ(m)	本 数	特記事項

# 5. 鉄筋コンクリートエ事

本標準仕様書及び鉄筋コンクリート構造配筋標準図はコンクリートの設計基準強度(Fc)が 36 N/mm<sup>3</sup>以下に適用し、鉄筋の材種は SD390 以下に適用する。

(1) コンクリート

■ コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5(2009)による。

・コンクリートの材料は、JIS A5308「レディミクスコンクリート」の規定に適合して ` ・混和材を使用する場合には、法第3837条第1号 (JIS 5308A) 又は同条第2号の

認定(平12建告1446号)に適合していること。

■ セメントは、JIS R5210の普通ボルトランドセメントを標準とする。

□ 耐久設計基準強度 Fd □短期 □標準 □長期 □超長期

■ 調合計画は、工事開始前に工事管理者の承認を得ること。

■ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、

養生、管理方法など必要事項について、工事管理者の承認を得ること。

■ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工場現場で(財)国土開発技術研究センター の技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごと に撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料 から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

■ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T−603)は、現場水中養生、 または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。 また、打込み量が150m3をこえる場合は、150m3ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、

供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当り6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。 ■ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由

落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送 技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間 間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は120分、25℃以上の場合は90分以内とする。

■ コンクリート打込み中及び打込み後5日間は、コンクリートの温度が2度を下がらないようにする。

■ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。 (2) 鉄 筋

■ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除き JASS5(2009)による。

■ 高強度せん断補強筋は、JIS G3137に規定されるD種1号適合品とする。

■ 鉄筋の加工方法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは 「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 標準図(1)(2)による。

#### ■ 鉄筋継手等

継手の位置等の設計を				
(1) 引張力最小部位	(2) (1)以外の	部位 (注)		
	A 級	B 級	SA 級	
■ 40d □ 35d □ ( )d				■ D (16)以下
■ 告示1463号第2項各号	•			■ D (19)以上
□ 告示1463号第3項各号				□ D ( ) 以上
□ 告示1463号第4項各号				口 D ( )以上
	(1) 引張力最小部位  ■ 40d □ 35d □ ( )d  ■ 告示1463号第2項各号 □ 告示1463号第3項各号	(1) 引張力最小部位 (2) (1) 以外の A 級 ■ 40d □ 35d □ ( ) d ■ 告示1463号第2項各号 ■ □ 告示1463号第3項各号 □	# 40d □ 35d □ ( )d ■ 告示1463号第2項各号 ■ □ 由示1463号第3項各号 □	(1) 引張力最小部位 (2) (1) 以外の部位 (注) A 級 B 級 SA 級 ■ 40d □ 35d □ ( ) d ■ 告示1463号第2項各号 ■ □ □

注 (1)以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号にだし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準(建築物の構造関係技術基準解説書 2007)」 によって検討した部材の条件・仕様によること。

■ D19未満は、すべて重ね継手とする。

■ 継手部分の施工要領は 社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手工事標準仕様書」(ガス圧接継手工事、 溶接継手工事、機械式継手工事)による。

継手部分の検査方法:外観試験 □有 □無・引張試験 □有 □無・超音波探傷試験 □有 □無 ガス圧接部の検査を超音波探傷試験によって行う場合、最初の数ロットについては引張試験も併用し 1回の試験は 5本以上をする。

(1ロットは同一作業研が同一日に作業した圧接箇所で 200箇所程度とする)

□ 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)

□ コンクリート及び鉄筋の試験は公的機関として行政より認定を受けた試験機関で行うこと。 試験機関名 —— 工事監理者の指定する機関 代行業者名 —— 工事監理者の指定する機関

代行業者名とは、試験・検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

■ 材料 合板厚 1.2 m/mを標準とする。 □

■ 施工 JASS5による。

	種類	せき	: 板	支 柱			
//	部位	基礎、はり	側、柱、壁	スラブ下		はり下	
- 1	セメント平均気温を対象を	早強ポルトランド セメント	普通ポルトランド セメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルトランド セメント	普通ポルトランド セメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルトランド セメント 普通ポルトランド セメント 高炉セメント A種 シリカセメント A 和	
コンクリ	15℃以上	2	3	8	1 7	2 8	
ク科 [	5°C ~15°C	3	5	1 2	2 5	2 8	
(H)	5℃未満	5	8	1 5	2.8	2 8	
	フリートの 縮強度	5.0 N/mm²	-				

注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。

注) 2 大はりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として、 行わない。

注) 3 上表以外のセメントを使用する場合は工事監督者の指示による。

### 6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。

■ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

□ 錮材俱楽部「建築鉄骨工事施工指針」 □ 鉄骨製作管理技術者登録機構「空合サ継手の食い違い十口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

■ 製作工場 ■ 製作要領書 ■ 工作図 ■ 施工計画書 ■ 認定または登録工場 (大臣認定 M グレード 以上)

■ 材料規格証明書(※) または 試験成績書

■鋼材 ■高力ボルト ■特殊ボルト □スタッドボルト

※ 社)日本鋼構造協会「建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン」の規格証明方法、またはミルシート

■ 社内検査表 (3) 工事監理者が行う検査項目

(圓印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

■ 現寸検査 □ 組立・開先検査 □ 製品検査

■ 建方検査 (4) 接合部の溶接は下記によること

■ 平成12年建設省告示第1464号第二号 イ、ロ

□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱

□日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅷ、Ⅷ、Ⅸ」

□ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針 工事現場施工編」

(5) 溶接部の検査

■ 溶接部の検査(検査結果は後日工事管理者に報告する事)

検査簡所	検査方法	検:	数	備 考		
快互回別	快宜刀压	社 内	第三者	工事管理者	] 1/8 1/5	
■ 完全溶込み溶接部	外観検査(※)	100 % 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示	
(突合せ溶接)	超音波探傷検査	100 % 個	% 個	% 個	第1464号第二号による (目視及び計測)	
	内観検査(※)	100 % 個	% 個	% 個	CH DISCO HIND	
	マクロ試験・その他	個	個	個	(注)東京都の要綱に	
	外観検査(※)				基づき必要となる建築 物の場合に実施する	
第三者検査機関名		(都知事登録		号)		

第三者検査機関とは、建築主、工事管理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約 注1) 現場溶接については原則的として第三者検査機関による全数検査とし、原則として外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと

注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること ■ 高力ボルトの検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

軸力導入試験 □ 要 □ 否 ニカボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否

■ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、共同り等の以上がないことを確認する。

トルシヤ形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 妨錆塗装 ■ 妨錆塗装の範囲は、高カボルトの接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。

鋳止めペイントは、JIS K5621、4つ星2回塗りを標準とする。 ■ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ鋳止

めペイントを使用し2回塗りとする。 (7) 耐火被覆の材料

# 7. 設備関係

建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による

□ 設備機器の架台及び基礎については工事管理者の承認を得ること。

□ 建築設備(昇降機を除く)の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。

□ 屋上から突出する水槽・煙突・冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上 主要な部分に緊結する。又、支持構造部は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。

□ 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造・石造・コンクリートプロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けた

ものを除き、90㎝以下とすること。

□ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5㎝以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが

2.5㎝以上の無筋コンクリート造・れんが造・石造・若しくはコンクリートプロック造とすること。 □ 建築物に設ける給水・排水その他の配管設備は以下による

□ 風圧·土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

□ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。

□ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の 損傷防止のための措置を讃ずること。

□ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手 を設ける等有効な措置を講ずること。

□ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動 及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管系の3倍以上かつ 5㎝以上とする。 □ 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するもの

にあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全 なものとすること。 □ 給湯設備(※)は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造 とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造と

して、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。 ※ 「給湯設備」: 建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当

# 8. その他

図面内容

するものを除いたもの

■ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い

工事管理者に報告すること。

■ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

合同会社 A B E 構 造 設 計

設計年月日 設計 検図 2025. 3. 製図 担当

構 告 設 計 標 準 仕 様 書

屬 S−01 枚ノ内

本庁舎分室 耐震補強工事

岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

1 級建築士事務所 登録 第(2507) 2006 号(岩手県)

縮尺

# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

# 1. 一般事項

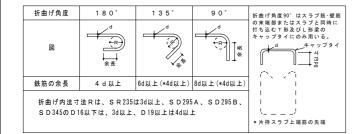
- (1) 構造図面に掲載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径 @…間隔 r…半径 C;…中心線 lo…部材間の内法距離 ho…部材間の内法高さ

ST…あばら筋 ΗΟΟΡ…帯筋 S.ΗΟΟΡ…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

# 2. 鉄筋加工、かぶり

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状



#### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折り曲角度90°以下

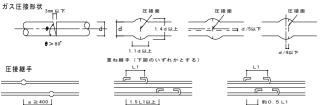
図	鉄筋の使用箇 所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径によ る区分	鉄筋の折り曲げ 内のり寸法(R)
- T	帯筋	S R 235, S R 295 S D 295 A · B	16¢ 以下 D16 以下	3 d 以上
R JEGIN	スパイラル筋	S D 345	19¢ 以上 D19 以上	4 d 以上
<del>,</del>	上記以外の S D 295 A · B S D 345 S D 390	S D 205 A . B	D16 以下	40 W.E
/ 11 . 1			D 19~ D 25	6 d 以上
R'			D 29~ D 41	8 d 以上

### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

	普通、軽量コン	定着の長さ			特別の定着及び
鉄筋の種類	クリートの設計 基準強度の範囲	一般 (L2)	下ば筋		重ね継手の長さ
	(N / m m <sup>2</sup> )	一般 (L2)	小 梁	スラブ	(L1)
S R 235	21, 24	35 d フック付	25 d フック付	150mmフック付	35 d フック付
5 R 235	18以下	45 d フック付	250 7971	150mm ノックト	45 d フック付
S D 295 A	27~36	30d又は20dフック付	25 d または	10g かつ	35d又は25dフック付
S D 295B	21, 24	35d又は25dフック付		150mm 以上	40d又は30dフック付
S D 345	18以下	40d又は30dフック付			45d又は35dフック付
S D 390	27~36	35d又は25dフック付			40d又は30dフック付
2 0 390	21, 24	40d又は30dフック付			45d又は35dフック付

[注] 許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、 梁主筋の柱への定着は 40d とする。

- 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
- 継手位置は応力の小さい位置に設けることを原則とする。 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。 D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない。 鉄筋径の差が5㎜を越える場合は、圧接としてはならない。



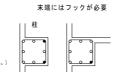
(4) かぶり厚さ (単位:mm)



[注] 1.外壁の屋外に面する部位にタイル貼り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上げ、その他これらと 同等以上の性能を有する処理が施されている場合にあっては、屋外側の部分に限り 設計かぶり厚さ を1 cm減ずることができる。 2 . 土に接する部分のかぶりは、増加する厚さを打ち増しとする。

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5 d以上 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上



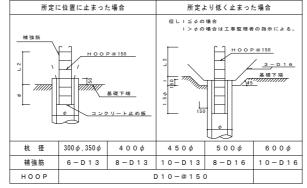


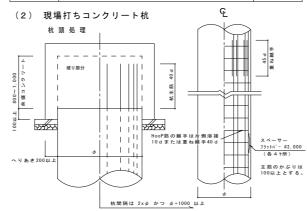
図の●印の鉄筋の重ね継ぎ手の

- (6) 鉄筋のフック (a~fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける。)
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他. 本配筋標準に記載する箇所

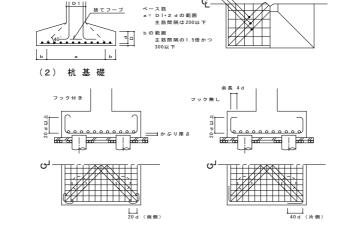
# 3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。)

#### (1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う





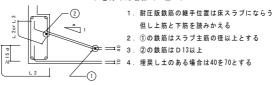
# 4. 基 礎 (1) 直接基礎



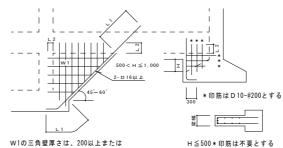
G \_

### (3) べた基礎

ハンチを付けた場合(a≧3)



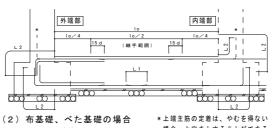
# (4) 基礎接合部の補強



地中梁幅とし、配筋は胴厚の壁リストにならう

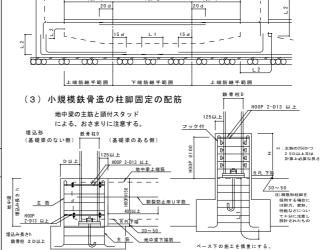
# 5. 地中梁

# (1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



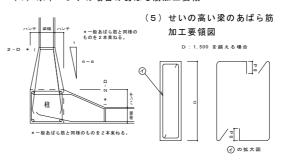


内端部

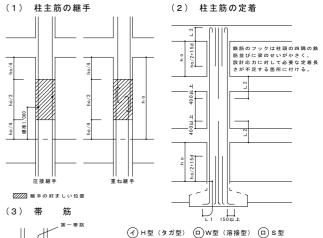


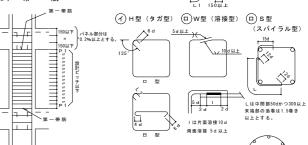
### (4) 水中ハンチの場合のあばら筋加工要領

(注1 計算によらない場合である)



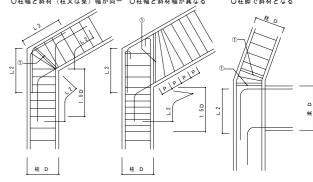
# 6. 柱



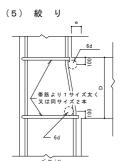


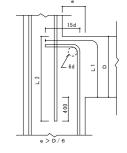
- 注1. 第一帯筋は、梁づらにいれる。 注2. W型で現場溶接をする場合は、
- 主筋の位置をさける。 注3.フック及び継手の位置は、 交互とする。
- (4) 斜め柱・斜め梁

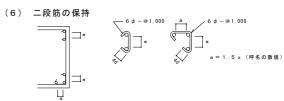




注1.1.5D範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする。 注2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする。







名 称

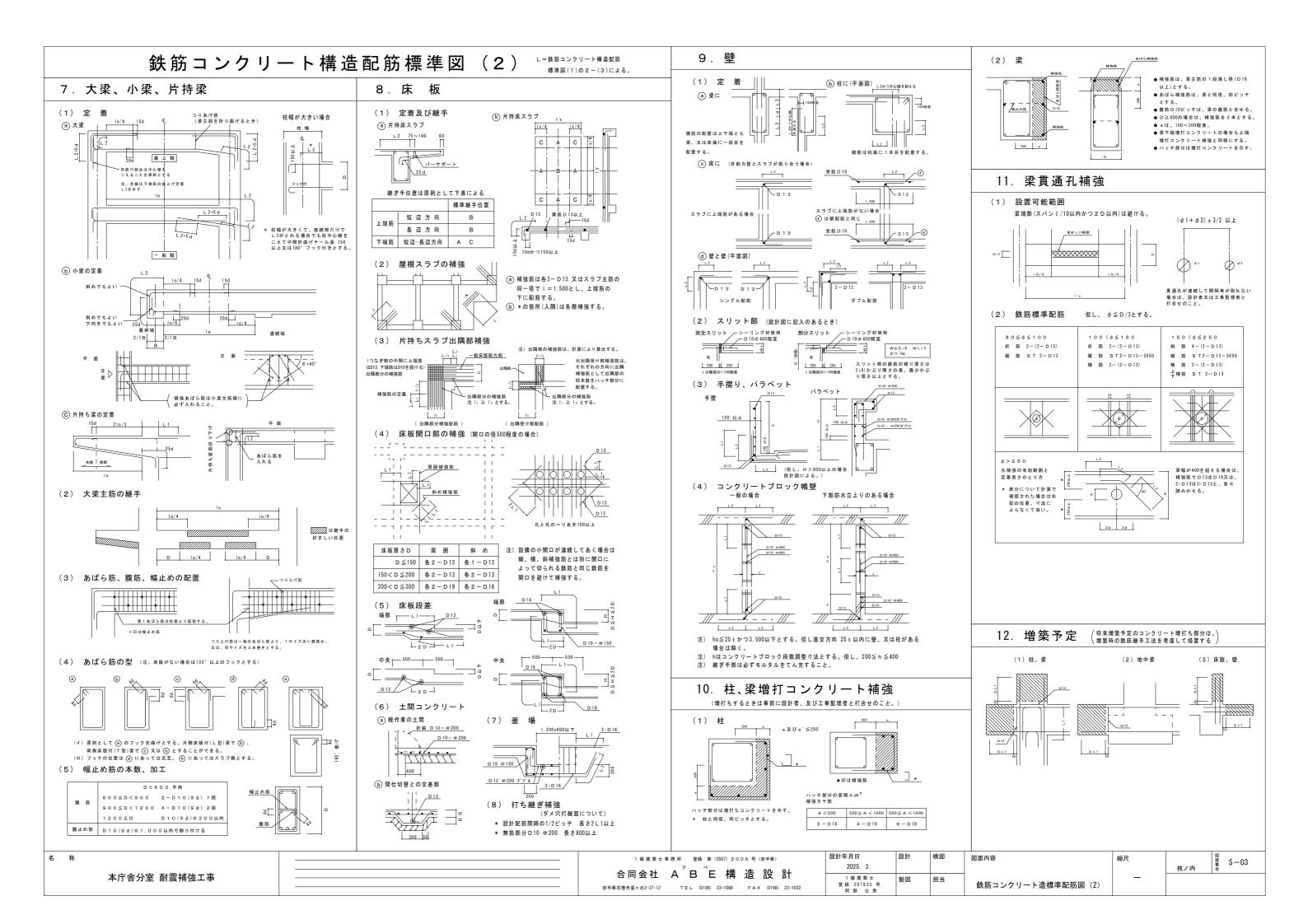
1 級 建 築 士 事 務 所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県) 合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032 2025. 3. 製図

図面内容

縮尺 枚ノ内 鉄筋コンクリート造標準配筋図(1)

■ S-02

本庁舎分室 耐震補強工事



### 鉄 骨 構 造 標 準 図 (1)

# 1. 一般事項

## (1) 材料及び検査

- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

#### (2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 抗張力鋼の歪矯正は、冷間矯正とする

#### (3) 高力ボルト接合

(a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

### (4) 溶接接合

# (a) 溶接技術者

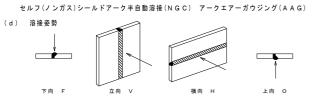
溶接技術者は施工する溶接に適応するJAS Z3801(手溶接)又JIS Z3841(半自動溶接)の 溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
- (二) 炭酸ガスアーク半自動溶接機

但し梁成がD=150 mm未満の場合の カラーラップは r=20 mmとする。

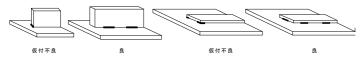
- (ロ) アークエアーガウジング機(直流)
- (ホ) 溶接電流を測定する電流計 (へ) 溶接棒乾燥機
- (ハ) サプマージアーク溶接機 1 式 (c) 溶接方法

ガスシールドアーク半自動溶接(GC) アーク手 溶接 (MC)



### (e) 仮付溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う

仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



### (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する。



### (d) 溶接姿勢

- (イ) エンドタブ
- (I) 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と 同厚で、同開先形状のエンドタブを取り付ける。 エンドタブの材質は、母材と同質とする。
- (Ⅲ) エンドタブの長さは、MC:35 mm以上 NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、 母材より10 mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする。
- (IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者 又は工事監理者の承認を得る。
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶 接で6mm、半自動溶接で 9 mm以上とする。
- (ハ) スカーラップ 半径は30~35mmとする。
- (二) 裏はつり

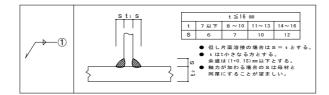
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を 励行し、部材に確認マークをつける。

(ホ) 現場溶接の開洗面には、溶接に支障のない妨錆材を塗布する。又、開先部を いためない様に養生を行う。

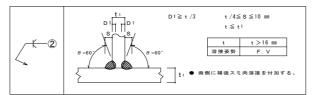
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと 一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

# 2. 溶接規準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長

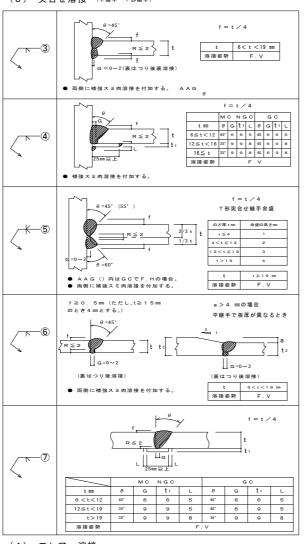
### (1) スミ肉溶接



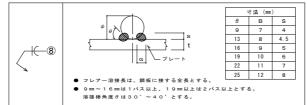
### (2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所に注意)



### (3) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)

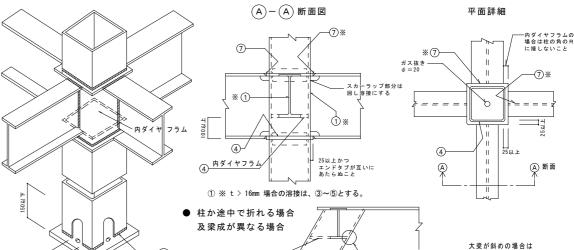


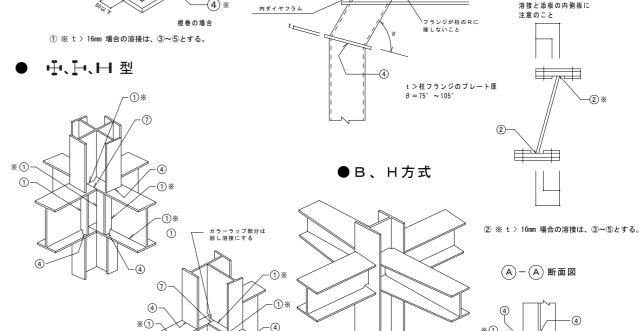
# (4) フレアー溶接

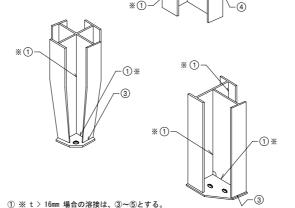


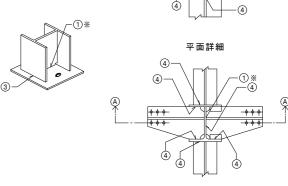
## ○ 溶接記号番号を〇中に記入のこと

# ■ BOX型 (通しダイヤフラムの場合)









① ※ t > 16mm 場合の溶接は、③~⑤とする。

S − 04

枚ノ内

1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)

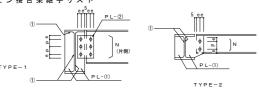
合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032 設計年月日 図面内容 縮尺 2025. 3. 製図 担当 鉄骨構造標準図(1)

### 鉄 骨 構 造 標 準 図 (2)

# 3. 継ぎ手規準図、その他

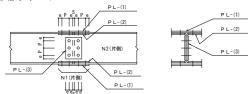


- [注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離 (2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
- (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の線端距離

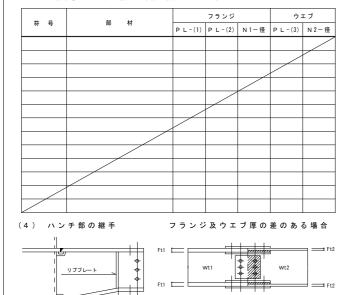


呼び	タイプ	部材	P L - (1)	P L - (2)	N - 径

#### (3) 剛接合継手リスト



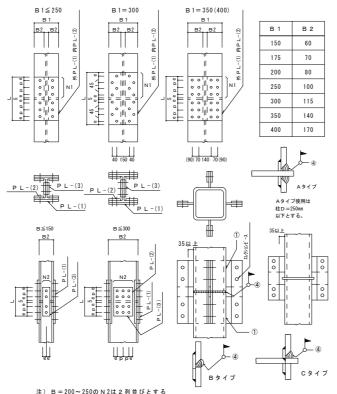
## 注) 端部をHBとする場合の部材は設計図による。



Wt1-Wt2

≧ 1 mmフィラプレート併用のこと

(5) 柱継手リスト



注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	于号 部 材		フランジ			ウエブ	
付与	BP 19	P L -(1)	P L - (2)	N 1 - 径	P L -(3)	N 2 - 径	

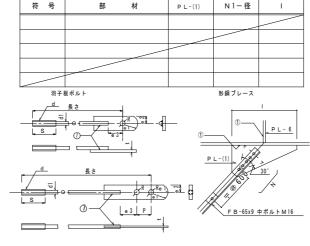
(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする…JISA5540~5542…1982)

ねじ	の呼び (d)	M 12	м 14	M 16	M 18	M 20	M 22	M 24
軸径 d1	最 大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
報住 ロー	最 小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねし		100	115	125	140	150	165	175
	ルト穴径 +0 -0.5mm R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき	(最少) (2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (1)e 2 (最小)	22	28	28	34	34	38	38
91 10 26	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平銅製	へりあき (最小) (1)e 2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト蛸穴心あき	から取付ボルト (最小) e 3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長。	ち(最小) I	40	50	55	60	75	85	85
	72 02	JIS B	1186	2 種高力7	ポルト (F	F 10 T ) 3	スは	
	(2) 取付ポルト ねじの呼び		1180	中 8g 10.9	)			
取刊小ル			M 16	M 16	M 20	M 20	M 22	M 20
	本 数	1	1	1	1	1	1	2

- 注 (1) e 1, e 2が確保されていれば形状は自由てよい
- (2)羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、
  - 一面せん断(支圧)接合とする

#### (b) 形鋼ブレース

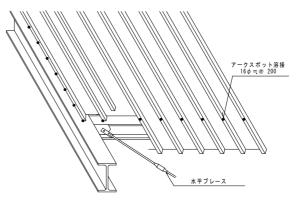
符号



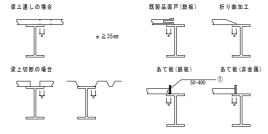
N 1 — 径

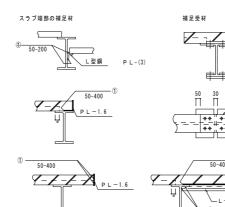
(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

梁との溶接およびコネクター

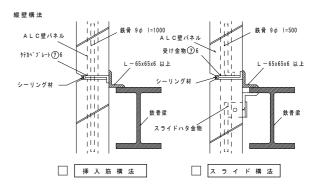


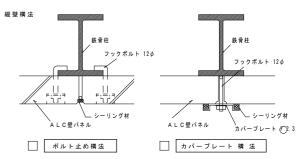
受梁へのかかり寸法および端部処理





#### (8) A L C 板取付要領

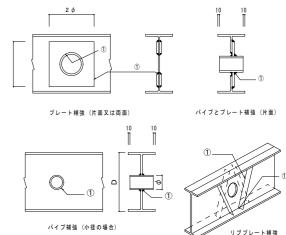




(9) 頭付きスタット (JIS 1198)

		スタット 材						
D	呼び名	軸形d	頭径D	頭高さT	溶接後の長さL			
	呼び名	nn	nn	mn	mm			
	φ 13mm	13.0	22.0	10.0	E0 00 100 120			
	ψısıııı	12.7	25.4	7. 9	30, 80, 100, 130			
d L	φ 16mm	16.0	29.0	10.0	00 100 120			
	Ф Гопп	15.8	31.7	7. 9				
	4 10	19.0	32.0	10.0	00 100 120 150			
	φ 19mm	19.0	31.7	9.5	80, 100, 130, 150			
	4 00	22.0	35.0	10.0	100 120 150			
	φ 22mm	22.2	34.9	9.5	100, 130, 130			

- ●計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくても良い。
- ●梁端部(スパンのI/10以内かつ2D以内)は避ける。



(11) その他

鉄骨構造標準図 (2)

名 称

本庁舎分室 耐震補強工事

ハンチ起点は避けた方がよい

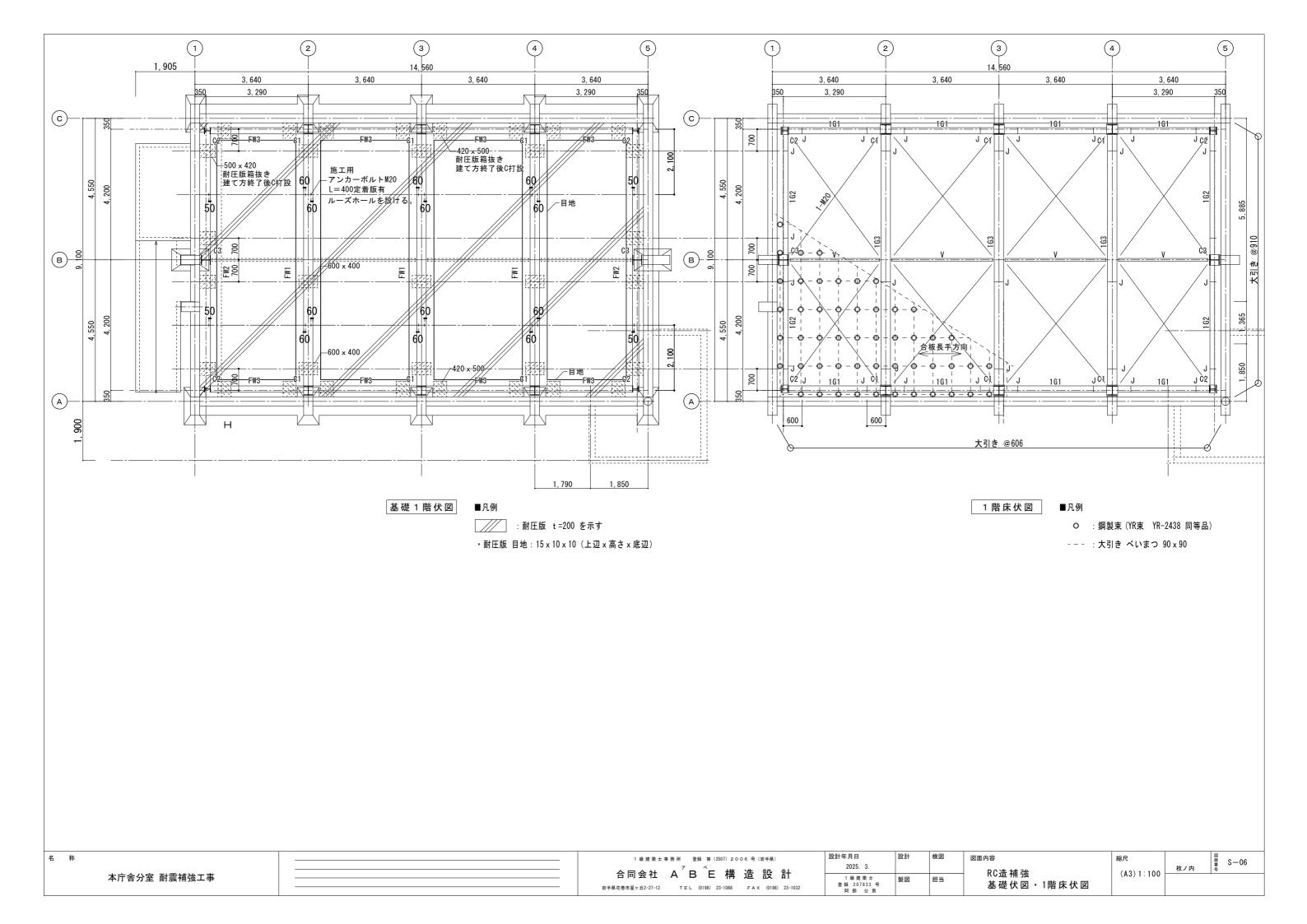
ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による

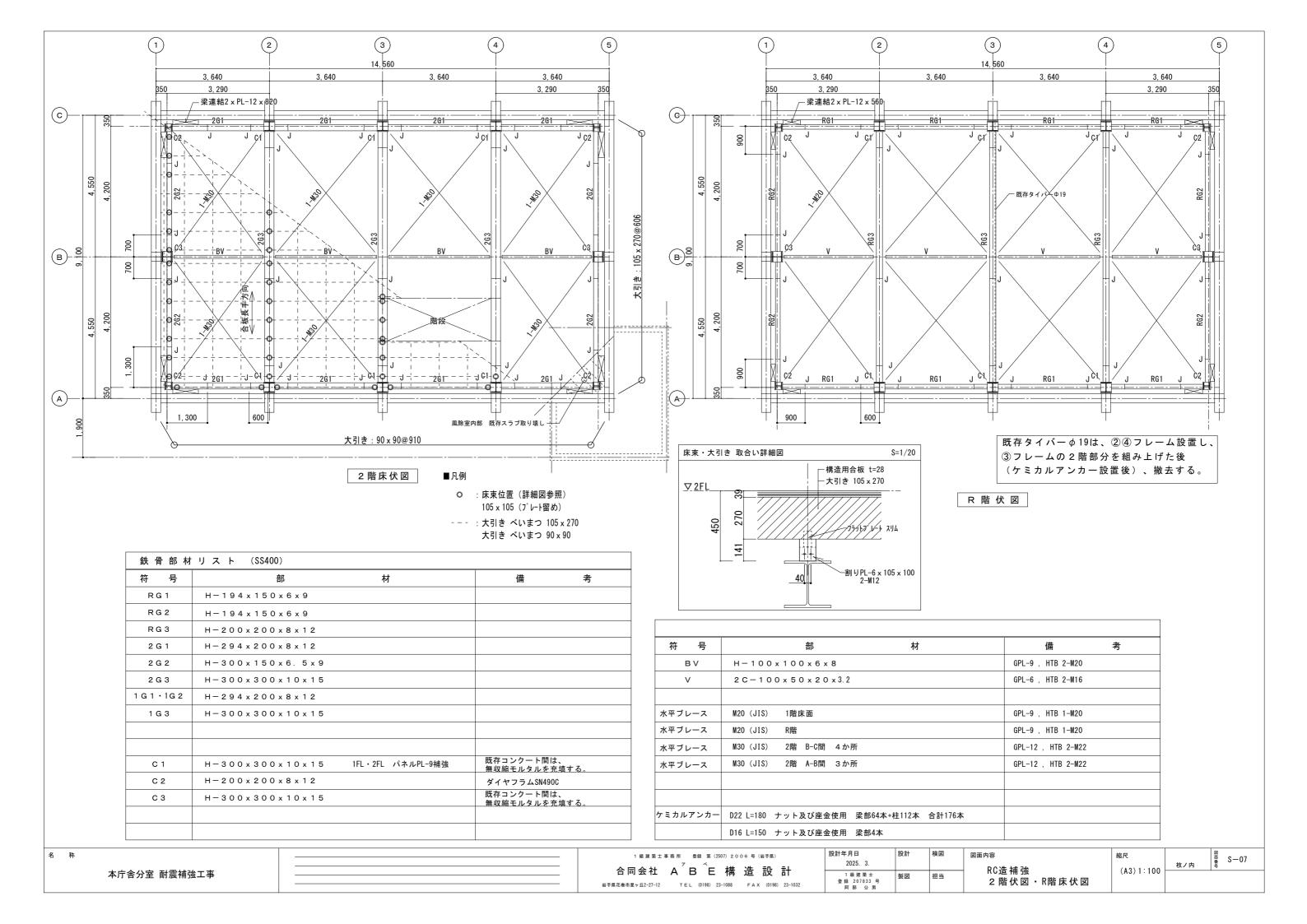
合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032 2025. 3. 製図

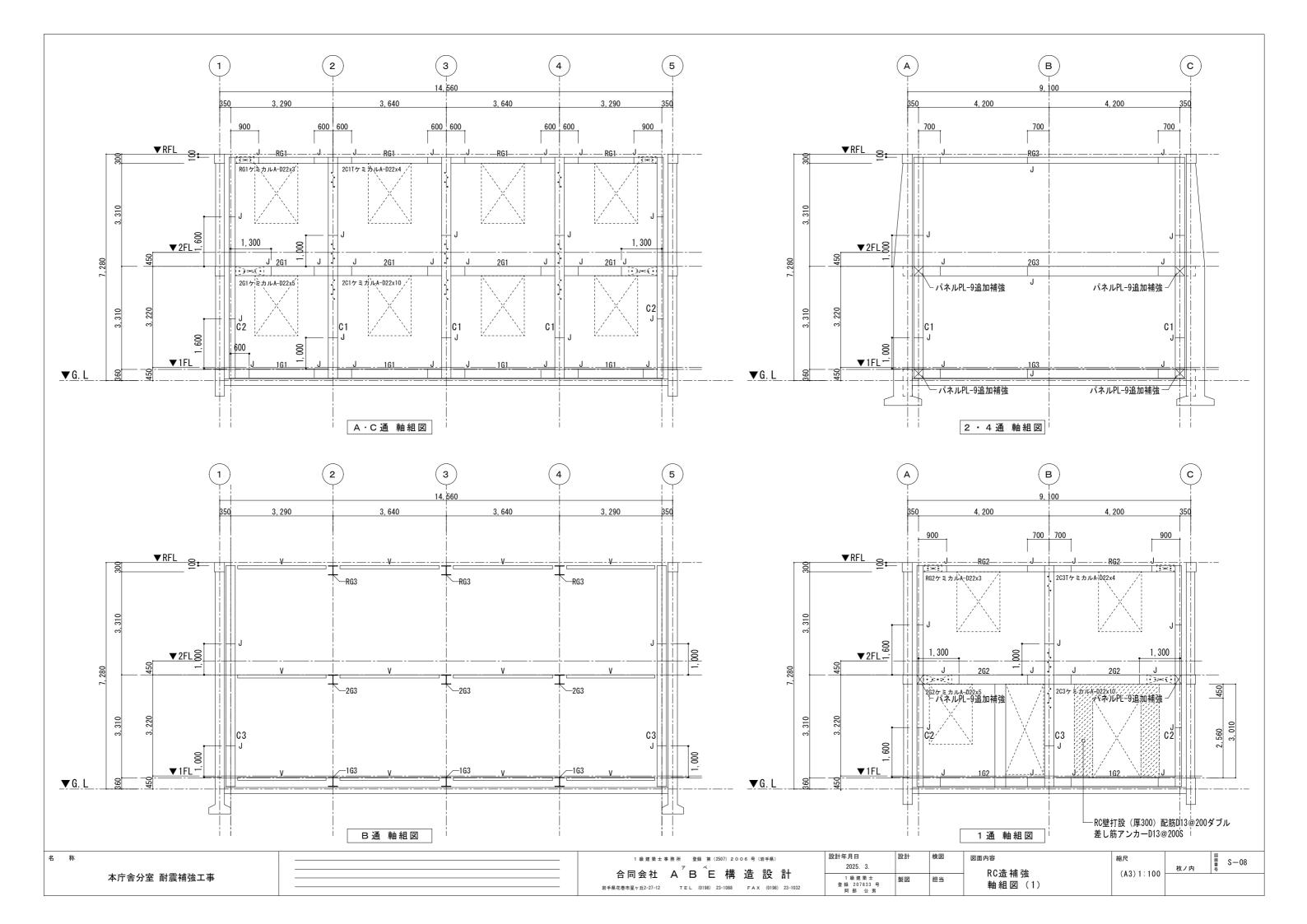
図面内容

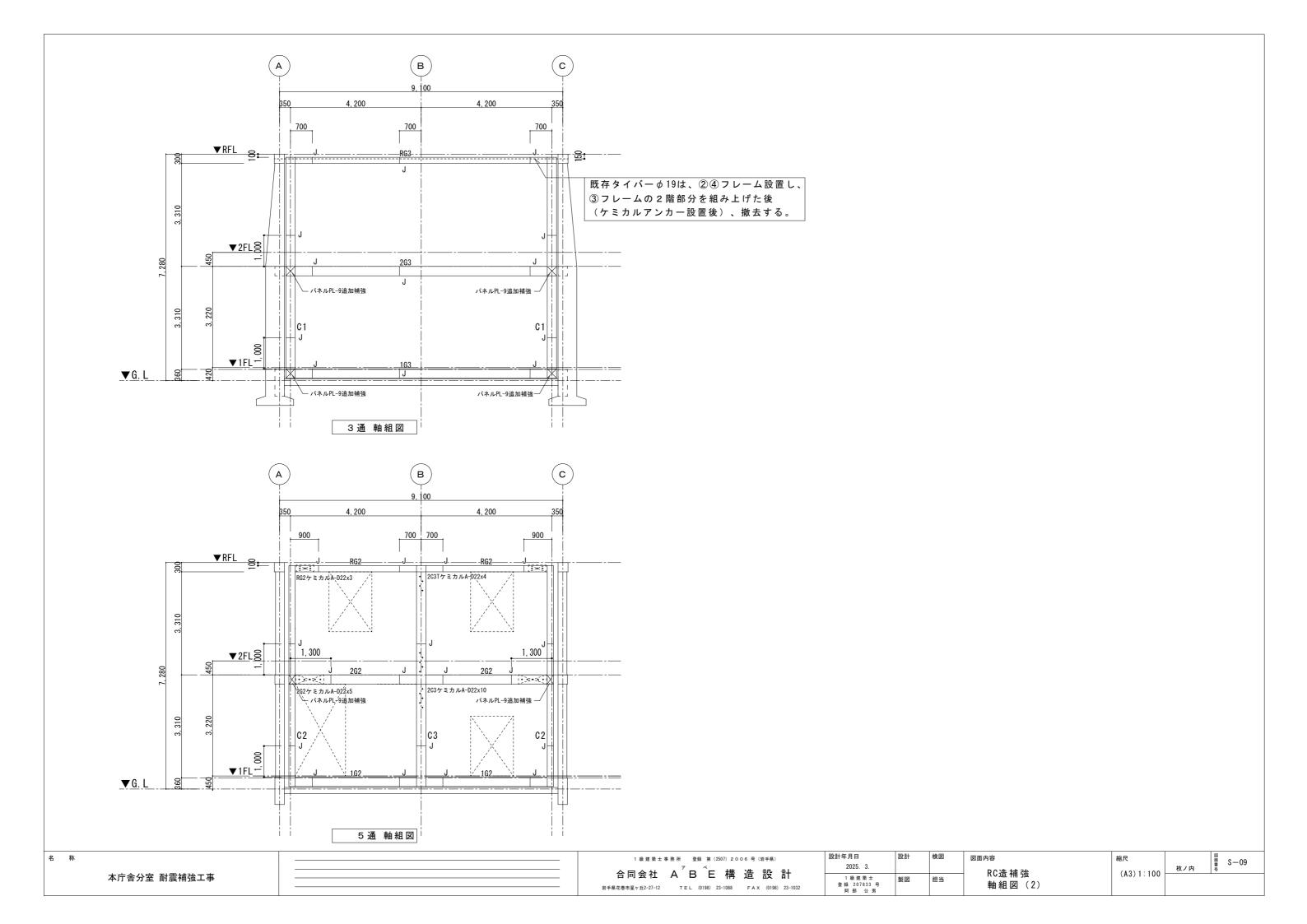
縮尺

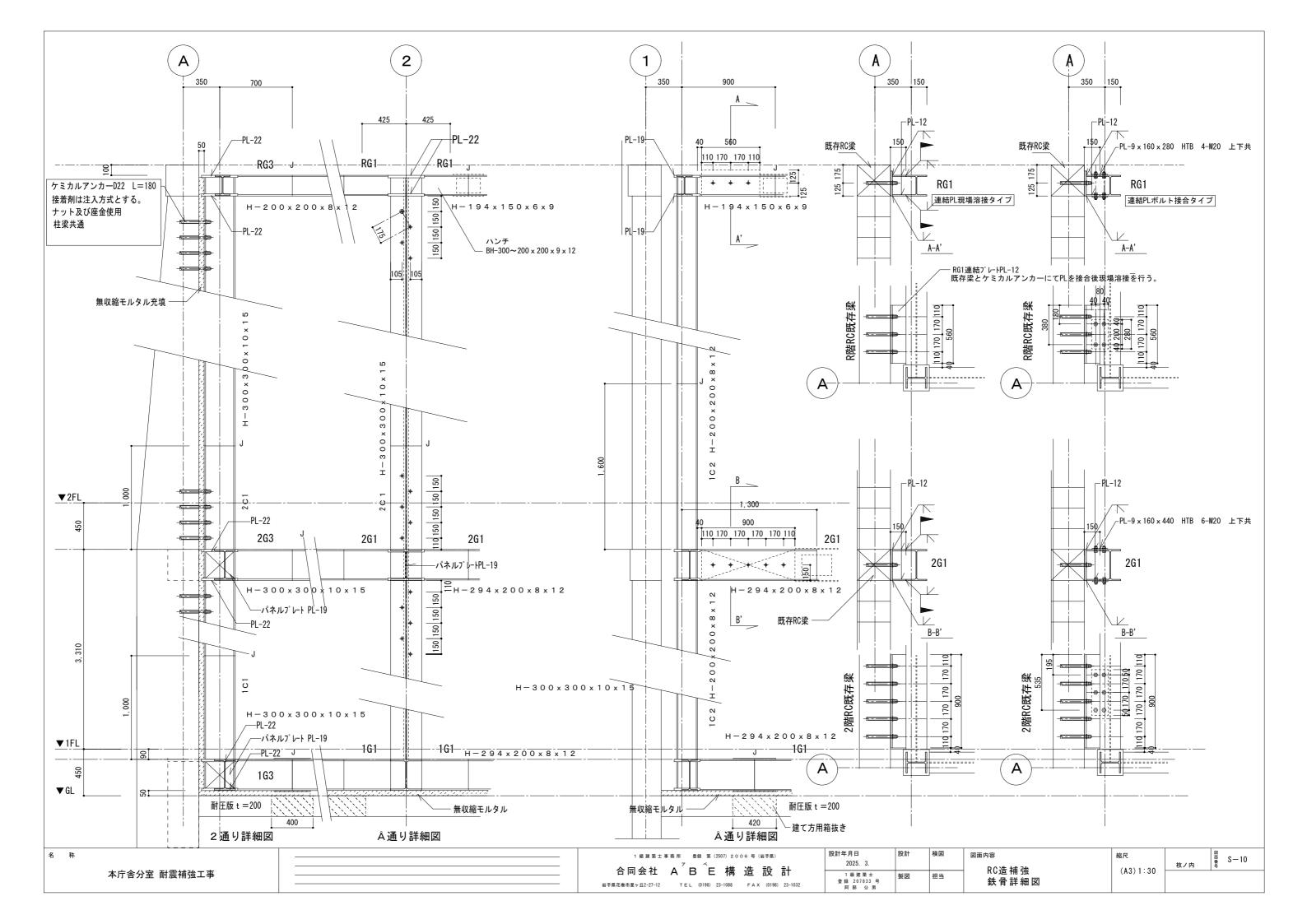
■ S-05 枚ノ内

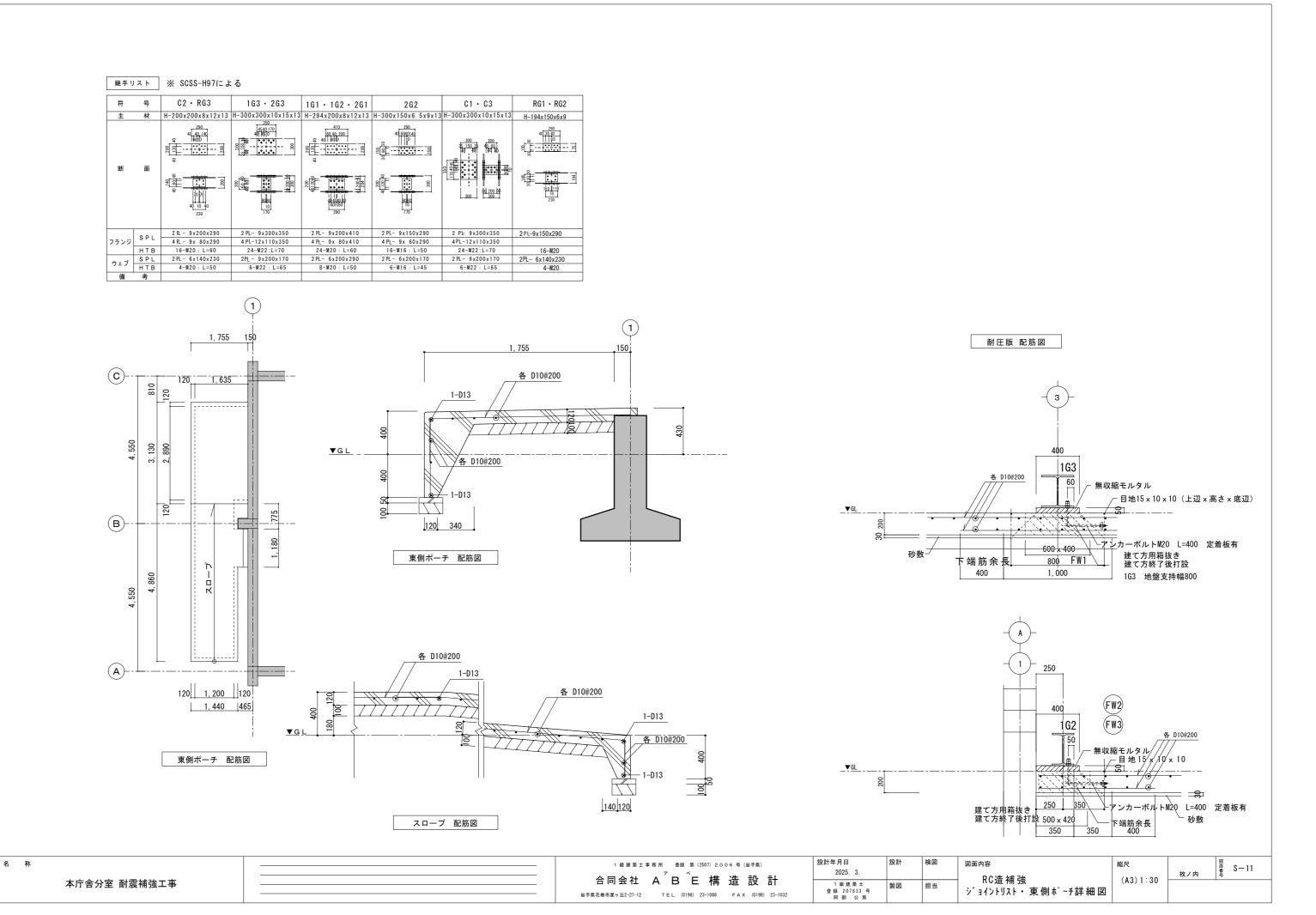


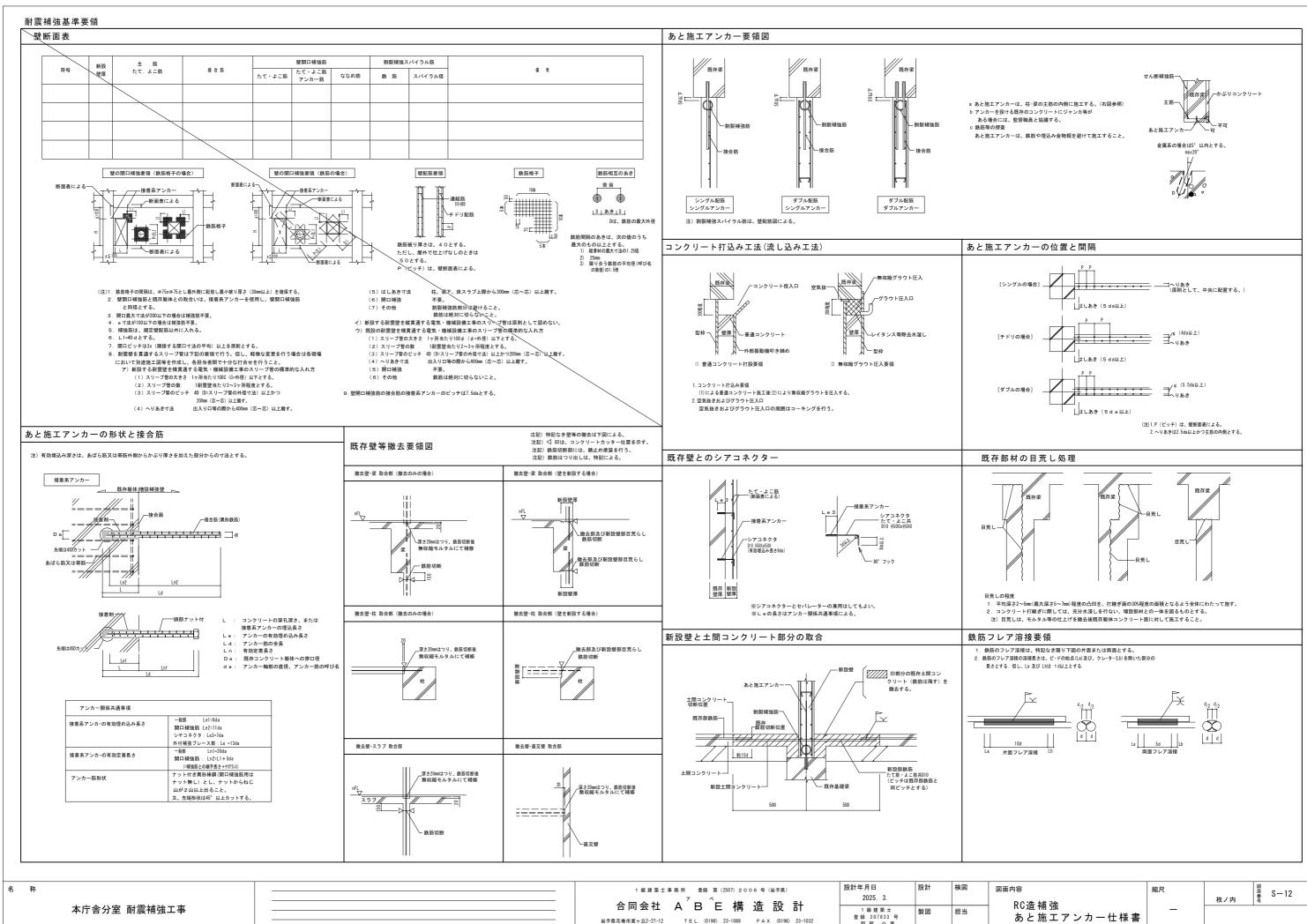












あと施エアンカー仕様書

# 木質工事特記仕様書

※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

#### (2)設計図書

設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書(現場説明書及び質疑回答書を含む)をいう。

#### (3) 準拠する図書

設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。(※全て最新版による。)

#### 「木造住宅工事仕様書」(住宅金融支援機構監修)

「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

### 「木造計画·設計基準 平成23年版」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)

「木浩軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」(日本住宅・木材技術ヤンター) 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版) 上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

#### (4) 設計図書の優先順付

#### 設計図書の優先順位は下記による。

1. 指示書 (現場説明書及び質疑回答書) 3. 特記仕様書 2. 設計図

#### 4. 標準図

#### (5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する

#### (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

#### (7) 施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモック アップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

#### (8) 製作工場の選定、承諾

(9) 各種試験・検査報告書の提出

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を 有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。 ●は適用項目を示すものとする。

### 2. 材料の品質 2.1 木質材料

### (1) 構造用製材

本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

#### 【構造用製材】

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
梁 (記入例)		甲種 II 1~3級または E50 ~E150 で指定	未仕上材 D15、D20、D25	K1, K2, K3, K4, K5	造作用製材の 材面の品質の
柱(記入例)		乙種 1~3級または E50 ~E150 で指定	仕上材 SD15、SD20 で指定	の性能区分で指定	基準により指定
梁	米松	無等級	D15		
柱	すぎ	無等級	D15		
土台	ひのき	無等級	D15		

## | 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。

## 背割りを行う部材の有無

●有(背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。)

#### ● 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口 や接合部に欠点が当たらないように注意する。

耐 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

# (2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

### ●【構造用集成材・LVL】

ラミナの	枚数や特殊な試	験については必要に応	じて特記する。			
部 位	樹種名	品 名 (LVLの場合は区分)	強度等級 (LVLの場合は曲げ性能)	材面の品質	使用環境	ホルムアルデヒド 放 散 量
梁 (記入例)	複数樹種の場合 は最外層、中間 層を明示し記載	同一等級、異等級、対称、 非対称、断面の大、中、 小を記載	E120-F330 などと記載	1種、2種、 3種より示す	A、B、C で指定	F☆☆☆☆ 等で指定
梁	米松	対称異等級構成集成材	E120-F330	2種	В	F☆☆☆☆

# (3) 構造用合板、構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等

本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及び MDF等の日本工業規格に準拠する。

#### ■【構造用合板・構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等】 単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する

+-IW 02 IN	主人の情が、例れたる	EIC 20 C16223	- NO C 19 III 7 0 0		
部 位	強度等級 (OSBの場合は曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸 法	ホルムアルデヒド 放 散 量
(記入例)	2 級	表面および裏面の品質 の基準(A~D)で指定	屋外・常時湿潤な場所は特類 断続的に湿潤な場合は1類	厚さ を記載	F☆☆☆☆ 等で指定
耐力壁	2 級	C – D	特 類	9	F☆☆☆☆
床	2 級	C – D	特 類	24	F☆☆☆☆
屋根	2 級	C – D	特 類	12	F☆☆☆☆

注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は 1 級がB-C. 2 級がC-D

OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること。

注2. 特注品の場合は納期に注意すること(2ヶ月以上)

#### (4) 丸太・そま角

#### 【丸太・そま角】

本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級
(記入例)		Ef150など測定した縦振動ヤング係数 で定められる区分で示す	材の品質を1等、2等、 3等、4等で示す

#### 2.2 接合具

接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。 接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準 めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板: Z27(JIS G 3302) 電気亜鉛めっき: Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

#### (1) くぎ、木ネジ

種類	材 質			径 (mm)	長さ(mm)	使用箇所	頭部/胴部形状
N ≨Ţ	鉄	JIS G 3532	SWM-N	2. 87	50.8	耐力壁、床板、屋根	皿頭網目付き /スムース
CN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	3. 33	63.5	耐力壁、床板、屋根	平頭フラット
□ZN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			補強金物	平頭 フラット/バーブ
☐ S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び 網目付き/スムース
□GN釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			石膏ボード用	平頭フラット

#### (2) 木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ(mm)	使用箇所

#### (3) ボルト、ナット、座金

ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種類		材 質		径 (mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など
□ 呼び径六角ボルト □ 有効径六角ボルト	鉄	010 0 0101	SS400 SWRM8~10 SWRCH8~10			□ 電気亜鉛めっき □ ( )
□ 全ネジボルト	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
	鉄		SS400 SNR400B, 490B	M12	400	電気亜鉛めっき
<b>●</b> アンカーボルト	**	JIS G 3505 JIS G 3507-1	SWRM8~10 SWRCH8~10	M16	700	
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
● 角座金	鉄	JIS G 3131	SPHC	厚 4.5	40 × 40	● 電気亜鉛めっき
丸座金	\$X	013 0 3131	SS400	厚 6.0	54 x 54	( )
	ステンレス	JIS G 4303	SUS304			生地
└						

#### ・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。 尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様に準ずる。(単位:mm)

座金の大きさ	ボルト径	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4. 5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3. 2	3. 2	3. 2	4. 5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68

# (4) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種類		材	質	径 (mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など				
● ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又 は4Tに適合する 炭素銅	12. 0	118	● 電気亜鉛めっき ( )				
● ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又 は4Tに適合する 炭素銅	9. 0	2d以上	● 電気亜鉛めっき □ ( )				
□木栓	堅	木(樹種:	)							

- ドリフトピンの先端テーパー部の長さ:10mm以下
- ・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし 先端は、3~5mm程度面取りすること。

種類	品名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
筋かい耐力壁の	筋かいプレート BP2			● 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっ
接合部				□溶融亜鉛めっき □電気亜鉛めっ
	※ 告示1460号第2	号に対応した柱接合金	物	● 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっ
● 柱頭・柱脚接合部				□溶融亜鉛めっき □電気亜鉛めっ
				□ 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっ
	TL-150 φ 18	12.7 kN (短期·引張)	(株)ホームコネクター	● (全ねじボルト エボキシ樹脂注入)
● 横架材接合部	TL-400 φ 24	45.2 kN (短期·引張)	(株)ホームコネクター	● (全ねじボルト エボキシ樹脂注入)
	K10PL-2	16.9 kN (両面)	(株)タナカ	● 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっ
	KS10-300	12. 0 kN	(株)タナカ	● 溶融亜鉛めっき □ 電気亜鉛めっ

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備考	

# 3. 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理)

#### (1) 木材の防腐・防蟻処理

木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。

・高耐久材の使用 (注:部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする) ・工場処理材 (注:現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる) 保存処理材 (性能区分) : K5 K4 K3 K2 K1

AQ認証保存処理材: 1種 2種 3種

 現場処理: 塗布、吹付、浸漬 (特記無き場合は、処理量: 300 ml/m<sup>2</sup> 、処理回数:2回) (注:接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。 給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。 処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。)

### 使用薬剤:日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材			工場処理材		現場処理	
土台	● ( ひのき	)	☐ K3		)	□ 塗布	
外周柱下部1m		)	☐ K3		)		)
外周筋かい下部1m		)	☐ K3		)	② ( 塗布	)
外周木質系面材耐力壁下部1m		)	☐ K3		)	● (塗布	)
水周り		)	☐ K3		)		)
その他		)	☐ K3		)		)

口防蟻薬剤による処理:薬剤( 特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等 以上の効力を有するものとする。

□防蟻薬剤による処理と同等以上の対策 ( べた基礎 □土壌処理省略 □北海道 □東北 □北陸 □(

注:処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cm を標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に進じる。

# (3) 耐候加理(涂盐)・少亜環接に署かれる大量等を対象とする

部位	製品名(会社名)	塗り回数

### 4. 材料品質の検査方法 📵 は適用項目を示すものとする。

#### (1) 構造用製材

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、 速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に 基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則 全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

検査項目					
● 含水率測定	抜き取り	(部位: 土台, 柱,	梁のうち無等級材	)	□ 全数
□ ヤング率測定 □	抜き取り	(部位:		)	□ 全数
● 材種・等級の確認 [	抜き取り	(部位:		)	● 全数
● 外観検査	抜き取り	(部位:		)	● 全数
● 寸法検査 □	抜き取り	(部位:		)	● 全数

- □ 日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は 製造工場の認定書の写しを確認する。
- □ 含水率測定の時期は、監理者の指示による。
- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
- ・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は 公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は 全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
- 全乾重量法や静的ヤング係数試験は1荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用 する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。
- ・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
- ・特記無き場合は、動的試験は製材後(継手などの工場加工前に)に行う。

# (2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)、構造用合板、構造用パネル等

・搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品である ことを、日本農林規格(JAS)-MDF等の場合は日本工業規格(JIS)-の表示ラベルまたは出荷証明書 で確認すること。

### (3)接合具

- ・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ 製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。 ・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。
- 木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。 また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状 製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。

・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

5. 木材の加工
(1) 刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
(2) 加工寸法の精度
図面表示は仕上がり寸法である。
下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法
許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。
材種:□ ( ) □ (
構造用製材、構造用集成材、LVLの材長
●
集成材 : d+1.0mm (d≦M12) 、d+2.0mm (d≧M16)
接合金物等: d+1.0mm (d ≦M12)、d+1.5mm(d ≧M16)
ドリフトピン・木栓の木材の穴径: d ±0mm(dはドリフトピン・木栓径) ドリフトピンの接合金物等の穴径: d +1.0mm( d ≦M12) 、 d +1.5mm( d ≧M16)(dはドリフトピン径)
(3) 表面仕上げ
□ 製材 ( ) □ 集成材·LVL ( ) □ その他 ( )
(4) 面取り
□ 柱:( ) mm □ 梁:( ) mm
(5)加工状況の検査
□ 立ち会い検査
□ 外観検査 □ 加工寸法検査
● 施工者自主検査記録の提出〔 
G 清柳 - 油士

#### 6. 運搬·建方

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し 十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。 □ 輸送計画書の提出 〔

## (2) 集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。 降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥に よる割れが発生するため避ける。

# ● 集積場の確認

# (3) 建方計画

□ 建方計画書の提出

アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、 養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは 柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に 対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。

#### ● 施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時荷重条件の通知

# (5) アンカーボルトの施工

- ・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
- ・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを 行う。
- アンカーボルトはダブルナットとする。 □ 適用除外 〔
- ・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

#### (6) 建方精度 ・建方の精度基準は下記による。

0	建物の倒れ	:	e ≤H/2500+10mm かつ e ≤50mm	
9	梁の水平度	:	e≤L/700+5mm かつ e≤15mm	
	(節点間のレベル差)			
9	建物のわん曲	:	e≤L/2500mm かつ e≤25mm	
			Π (	)

#### 柱据え付け面の高さ及びアンカーボルトの位置 Пг 柱据え付け面の基準高さからの誤差 : 📵 ±3mm以下 通り芯からの誤差 ±3mm以下 П ( ¬5mm≤△H≤+5mm

・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

# (7) 施工状況の検査

□ アンカーボルト施工時の立会い検査 施工者自主検査記録の提出〔 □ 地組み時の立会い検査

施工者自主検査記録の提出〔 □ 建方時の立会い検査 施工者自主検査記録の提出〔

#### □ 建方後の施工状況の検査 施工者自主検査記録の提出〔

● 最終確認 工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面の はがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は

速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

□ 施工者自主検査記録の提出〔

S - 13枚ノ内

1 級 建 築 士 事 務 所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県)

合同会社 A B E 構 造 設 計 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

設計年月日

2025. 3.

製図 担当

検図

図面内容

設計

木質工事特記仕様書

縮尺

名 称

本庁舎分室 耐震補強工事

#### 木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図(1)

# 1. 一般事項

# (1) 適用範囲

※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる 工事に適用する。

木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。

設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書(現場説明書及び質疑回答 書を含む)をいう。

### (3) 準拠する図書

設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。 (※全て最新版による。)

#### 「木造住宅工事什様書」(住宅金融支援機構監修)

「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」 (国土交通大臣官房官庁営繕部監修) 「木造計画·設計基準 平成23年版」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修) 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」 (日本住宅・木材技術センター

「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」(2015年改訂版)

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

#### (4) 設計図書の優先順付

設計図書の優先順位は下記による。

- 1. 指示書(現場説明書及び質疑回答書)
- 2. 設計図
- 3. 特記什样書
- 4. 本標準図

#### (5) 疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理 方法について協議する。

#### (6)製作要領書及び施工計画書の作成・提出

丁事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成1、 監理者の承諾を受ける。

### (7)施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて 接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、 プレカット図を施工図と位置づける。

### (8) 製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ 白主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、 監理者の承諾を受ける

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。

- ・継手仕口による在来工法
- ・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法

なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。

また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる 場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。

本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。

## (11) 加工部材に関する留意事項

本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。

- ・梁:部材断面が幅90mm~150mm、梁成が幅と同寸~450mm、及び材長6m以下
- ・柱:90角~150角の正方形断面、長さ6m以下

これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の 加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

# 2. 材料

(1) 木材及パ木質材料

主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。

# (2) 控合目

主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ (N釘) または 太め鉄丸くぎ(CN釘)または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ(ZN釘)または ステンレス鋼釘 (S釘) またはせっこうボード用くぎ (GN釘) を用いる。

主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを 選定することとし、造作用のビス(コーススレッド等)を用いてはならない。 使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。

### c) ボルト・ナット・座金

- 1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。
- ・ボルトはJIS B 1051 , ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす
- ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト 及びナット

【 フマーク表示金物 】

- 【 Dマーク表示金物 】
- 【 Sマーク表示金物 】
- ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績 書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット
- 2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目 ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。
- 3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法 と厚みのある座金を用いる。
- ※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理について は特記仕様書で指定する。

#### d) ドリフトピン・ラグスクリュー

主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靭性が確保されるものを 選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様 書で指定する。

### e) 木栓・木ダボ

主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。

節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。

# (3)接合金物

### a) 担格全物

構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。

- · JIS A 5531; 木構造用金物
- ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物
- Zマーク表示金物 . 又は Cマーク表示金物
- 同等認定金物: Dマーク表示金物
- 性能認定金物; Sマーク表示金物

上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価 機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として 使用できる。

使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。

製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、 特記仕様書及び設計図による。

### 4) 接着剤

原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入 しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む 場合はこの限りではない。

建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による

### (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理

防腐防蟻処理及び耐候処理(塗装)は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う 適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

### 3. アンカーボルト

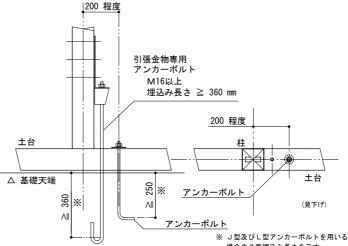
#### ※共涌事項

・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。

### 1) 土台固定用アンカーボルト

- a). アンカーボルトの埋設位置; アンカーボルトの埋設位置は以下による。
- -1 耐力壁(筋交い 合板仕様共通)の下部・

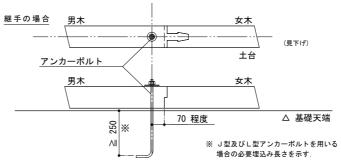
耐力壁(筋交い,合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した 付置(柱芯より200mm内外)とする。

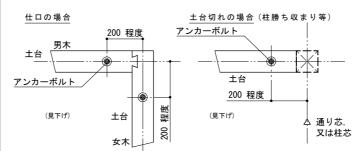


場合の必要埋込み長さを示す。

# -2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口:

土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。 当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。





-3. その他; 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。

## (2) 引張金物専用アンカーボルト

- a). 引張金物専用アンカーボルトの径 引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。
- b) 引張金物車用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ 引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、 J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他の アンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満た埋込み長さとする。

# (1) 紅接合

4. 接合一般

- ・紅の長さは材厚の2.5倍以上とする。
- ・面材表面に対し、釘頭がめり込んではならない。
- ・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込ん だうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。
- ・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

#### (2) 木質構造用ビス接合

- ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重が 0.5 以上の樹種・・・・呼び径の 60~75 %

上記以外の樹種・・・・・呼び径の 40~70 %

#### (3) ボルト接合

・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適している ことを確認する。

※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。

- ・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない
- ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを 確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれる タイプのものについては、メーカーの使用条件による。
- ・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のもの については、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。

- ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。
- ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適 していることを確認する。
- ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。;

比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60~75 % 上記以外の樹種 ・・・・・呼び径の 40~70 %

- ※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて 行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。
- ・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。
- ・細板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造 ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。
  - ・呼び径 M12以下・+1 0mm
  - ・呼び径 M16以上: +1.5mm

### (5) ドリフトピン接合

- ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。
- ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に 用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
- ・施工に際しては、孔に対しテーパーのある側を先端にして打込み、無理な打撃を 加えてはならない。

### (6) 木栓接合

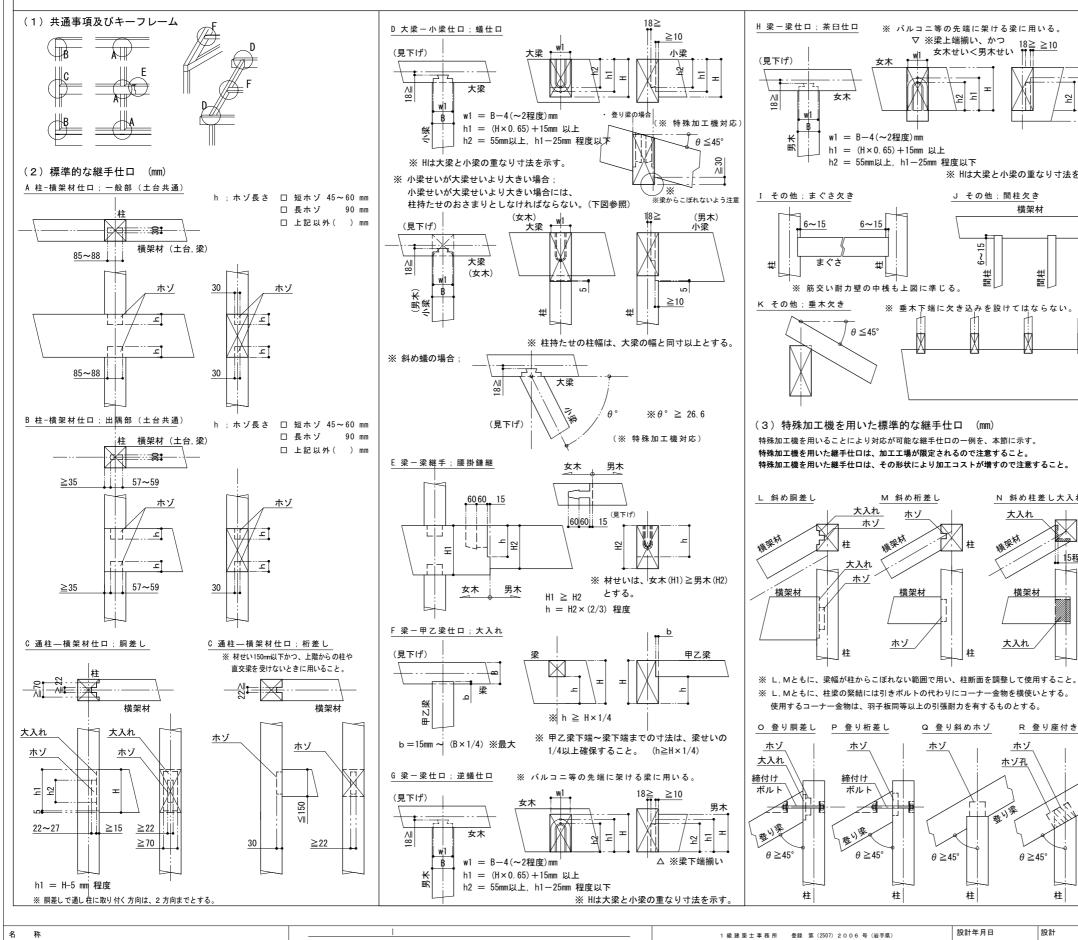
- ・木栓は 孔に密着させて使用し 木材に対し遊びがあってはならない
- ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いる ものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
- ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等 が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。
- ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。

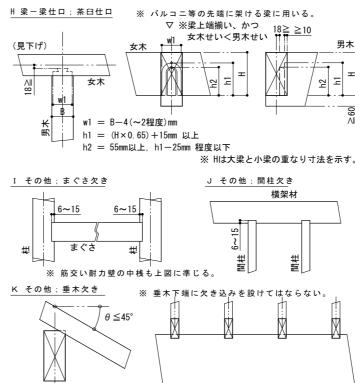
# (7) グルードインロッド接合

- ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して 樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張 によって、応力を伝達する接合をいう。
- ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い 木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。
- ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等 を導守して適正に行う。

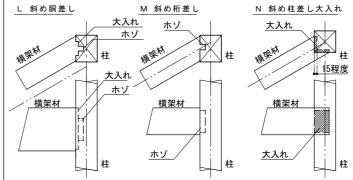
設計年月日 名 称 1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2 0 0 6 号 (岩手県) 図面内窓 縮尺 S - 142025 3 枚ノ内 合同会社 A B E 構 造 設 計 本庁舎分室 耐震補強工事 1 級建築士 木 告 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1) 担当 製図 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

# 図(2)

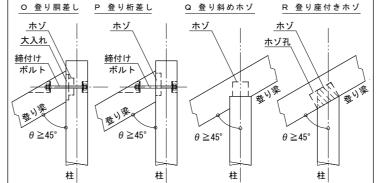


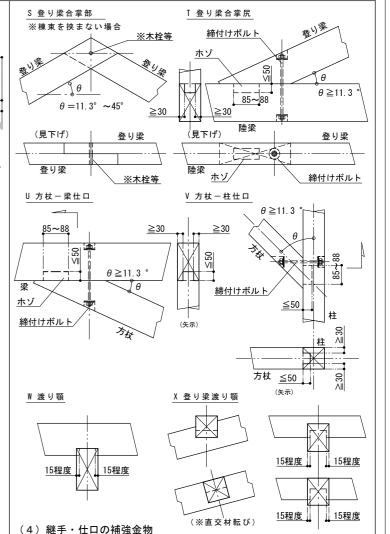


特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。 特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

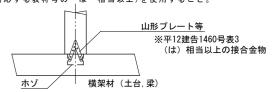


※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。 使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。





- ・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上 の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の柱脚接合部には、5.1KN以上の引張耐力を保有する接合金物(平12建告 1460号表 3 に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



、宋 宋 は日 m / ・水平構面の外周部横架材接合部 においては、床水平構面による 引抜力を計算し、引抜力以上の 耐力を保有する接合金物を使用

・上記以外の接合部には、7.5KN 以上の引張耐力を保有する接合 金物を使用すること。(右図参照)

両引きボルト ・孔深さ57~60 ,角座金 羽子板ボルト

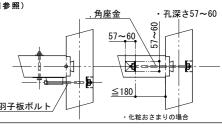
縮尺

短冊金物 ビス又はボルト留め

短期基準引張耐力7.5kN以上

(小梁端部接合部) ・小梁端部接合においては、

地震力によって外れ落ちる ことのないよう、最低3.0kN 以上の引張耐力を保有する 接合金物で緊結すること。



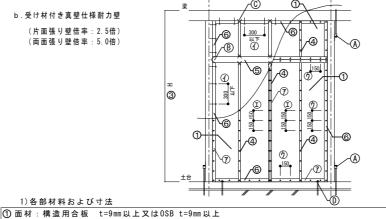
合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

設計 2025. 3. 1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男 担当 製図

図面内容 木造軸組接合部標準図(2)

S - 15枚ノ内

#### 図(3) 6. 耐力壁 (注) (単位)mm 6.1共涌事項 各部仕口形状は、(3) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図 (2) 5. 軸組標準接合部に準ずる。 面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする。2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。 耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。 柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。 筋かいの芯は、柱と横架材の内法面の交点にあわせる (1) 施行令46条に準じた耐力壁 2 P 2 段の場合 (6000mm≥H>3000mm) a.筋かい耐力壁: 45×90以上 (片筋かい壁倍率 : 2.0倍) (たすき掛け壁倍率: 4.0倍) 1段の場合 (H≤3000mm) 梁 (A)-(0) 柱勝ち 湿 勝 ち 柱勝ち 中栈端部補強金物 (在来工法) (在来工法) (金物工法) 必要耐力 筋かいプレートのビスと 1Pの場合: 8kN以上 梁受け金物が干渉しない 3 2-N75 2Pの場合:16kN以上 ように注意すること 土台勝ち 両面釘打ち (在来、金物工法共诵) <u>a</u> 15mm大入 1)各部材料および寸法 筋かい: 45mm×90mm以上(節,目切れ等軽微なもの) ② 柱間隔:900mm ≤ P ≤ 2000mm ③ 高さH≤3000mm: 1段、 H>3000mm: 2段 2 段の場合: 6000mm≥H>3000mm イ詳細図 ア詳細図 H 1 及びH 2 は、H/2内外 中桟: 幅:柱と同寸、成≧柱幅 間柱:幅30mm以上、間隔500mm以下 端部は上下横架材 の間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち 2) 各部仕口形状及び性能 🕼 筋かい端部: 突き付けの上 筋かいプレート(2倍用)を使用 在来工法及び金物工法とも柱梁ビスどめタイプを基本とする ⑧ 各階の柱頭柱脚部∶ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する ⑥ 中桟端部: 15mm大入れの上、必要耐力以上の金物を横向きに使用 必要耐力:1Pの場合→8kN以上、2Pの場合→16kN以上 ◎ 梁端部在来仕口部補強金物: 耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする ⑥ 梁端部金物工法梁受け金物: 耐力壁の許容せん断力以上の引抜耐力を有するものとする ● 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける 2 P | | 200 (2)昭56建告1100号に準じた耐力壁 (C) **①** a. 面材張り大壁仕様耐力壁 b. 受け材付き真壁仕様耐力壁 (片面張り壁倍率・2.5倍) \p (片面張り壁倍率・2.5倍) **6** X(6) (両面張り壁倍率:5.0倍) (両面張り壁倍率: 5.0倍) **A** (I) **A** (A)~ ∕® **/**4 I **A** 7 *A* **A**4) 、受け材の接合は b. ④ に準ずる 1 A(7) 両面張り耐力壁出隅部要領図



③ 高さ: H≦6000mm 

④ 間柱: 幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上) ⑤ 中桟: 幅90mm以上 ⑥ 受け材:幅45mm以上

2) 各部仕口形状及び性能

(A) 各階の柱頭柱脚部:ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力

中桟端部:突き付けの上、2-N75斜め釘打ち

間柱端部:突き付けの上、2-N75斜め釘打ち

© 間柱端部:突き付けの上、2-N75斜め釘打ち

の 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカー

ボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

を上回る耐力を有する金物を使用する

3)構造用合板の釘打ち方法

構造用合板(又は0SB)の4周を釘打ちする

⑦ 受け材に対するかかり寸法:22.5mm以上 合板に対するへり空き:10mm以上

受け材のへり空き:12.5mm以上

金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする

④ 受け材と柱はり:N90@300mm以下(両面構造用合板(又はOSB)張りの場合は@150以下)

⑦ 受け材、中桟: N50@150mm以下① 間柱:N50@150mm以下

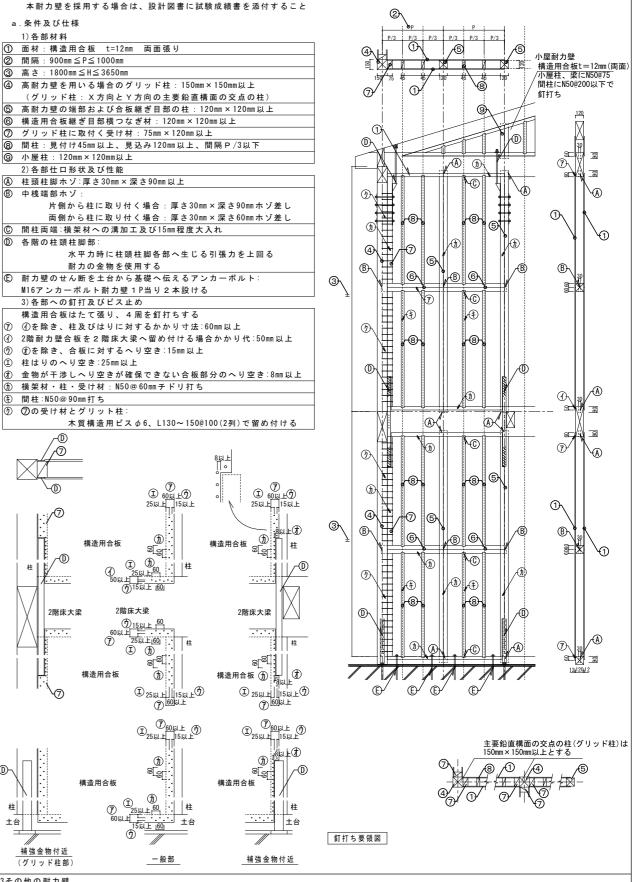
1 級建築士事務所 登録 第(2507) 2006 号(岩手県)

合同会社 A B E 構 造 設 計

2025. 3. 1 級建築士

図面内容 木造軸組接合部標準図(3) 担当

縮尺 S - 16枚ノ内



(3) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JISA 3301標準仕様) : 短期許容せん断耐力⊿Qa=29.6kN/m

6 3 そ の 他 の 耐 力 壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2008年版) の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。

・指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様に準拠することとする。

設計

製図

・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

本庁舎分室 耐震補強工事

1) 各部材料および寸法

② 柱間隔:600mm≤P≤2000mm

2) 各部仕口形状及び性能

3)構造用合板の釘打ち方法

合板に対するへり空き:10mm以上

柱はりのへり空き:12.5㎜以上

① 横架材・柱:N50@150mm以下

名 称

構造用合板(又は0SB)の4周を釘打ちする

⑦ 柱及びはりに対するかかり寸法:22.5mm以上

⑤ 中桟: 幅90mm以上

① 面材:構造用合板 t=9mm以上又はOSB t=9mm以上

④ 間柱:幅30以上、間隔500mm以下(合板継目部は幅45mm以上)

® 中桟端部:まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

⑥ 間柱端部:間柱欠きに6~15mm大入れの上、2−N75斜め釘打ち

③ 高さ: H≤6000mm

② 各階の柱頭柱脚部:ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力

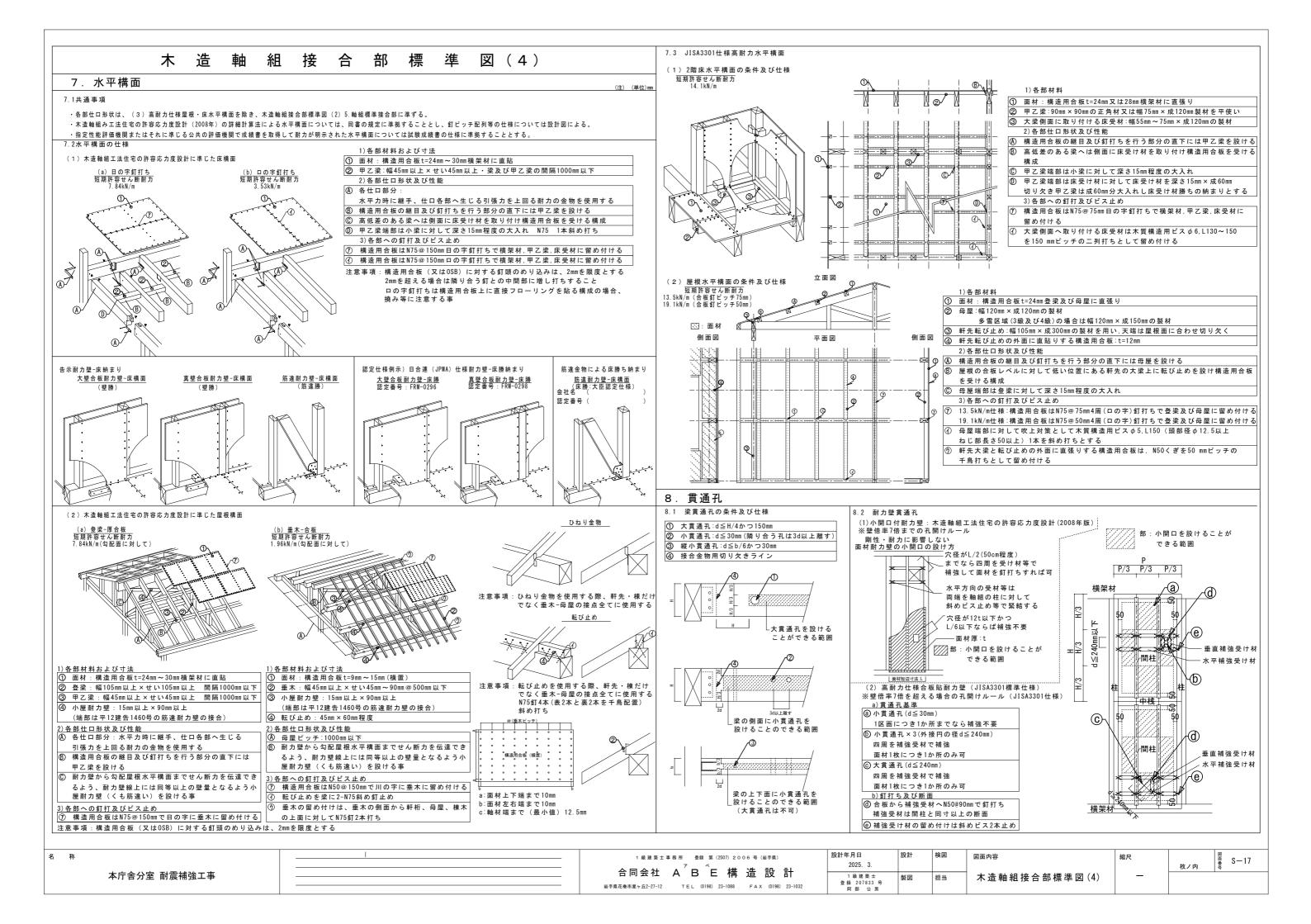
ボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

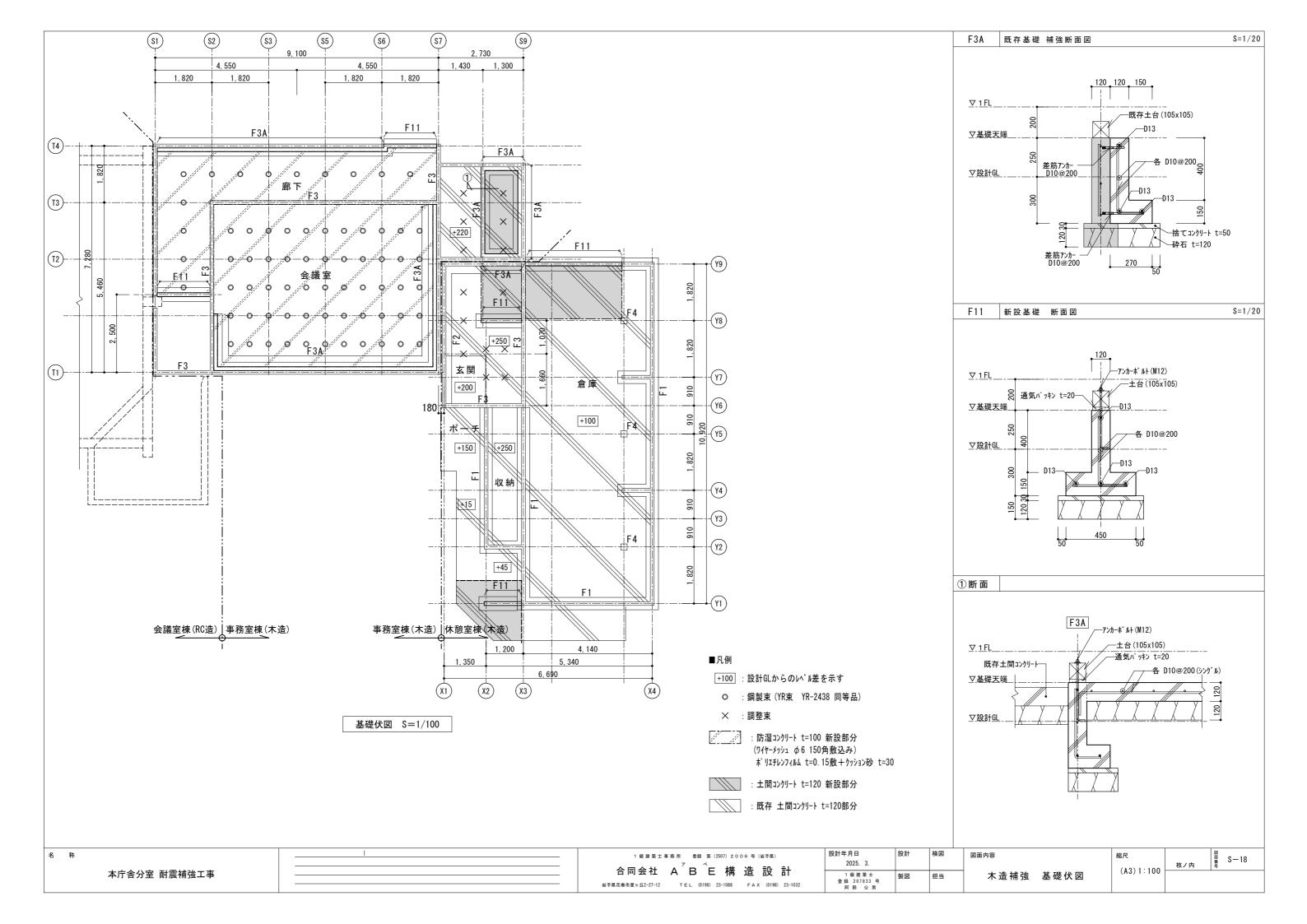
金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする

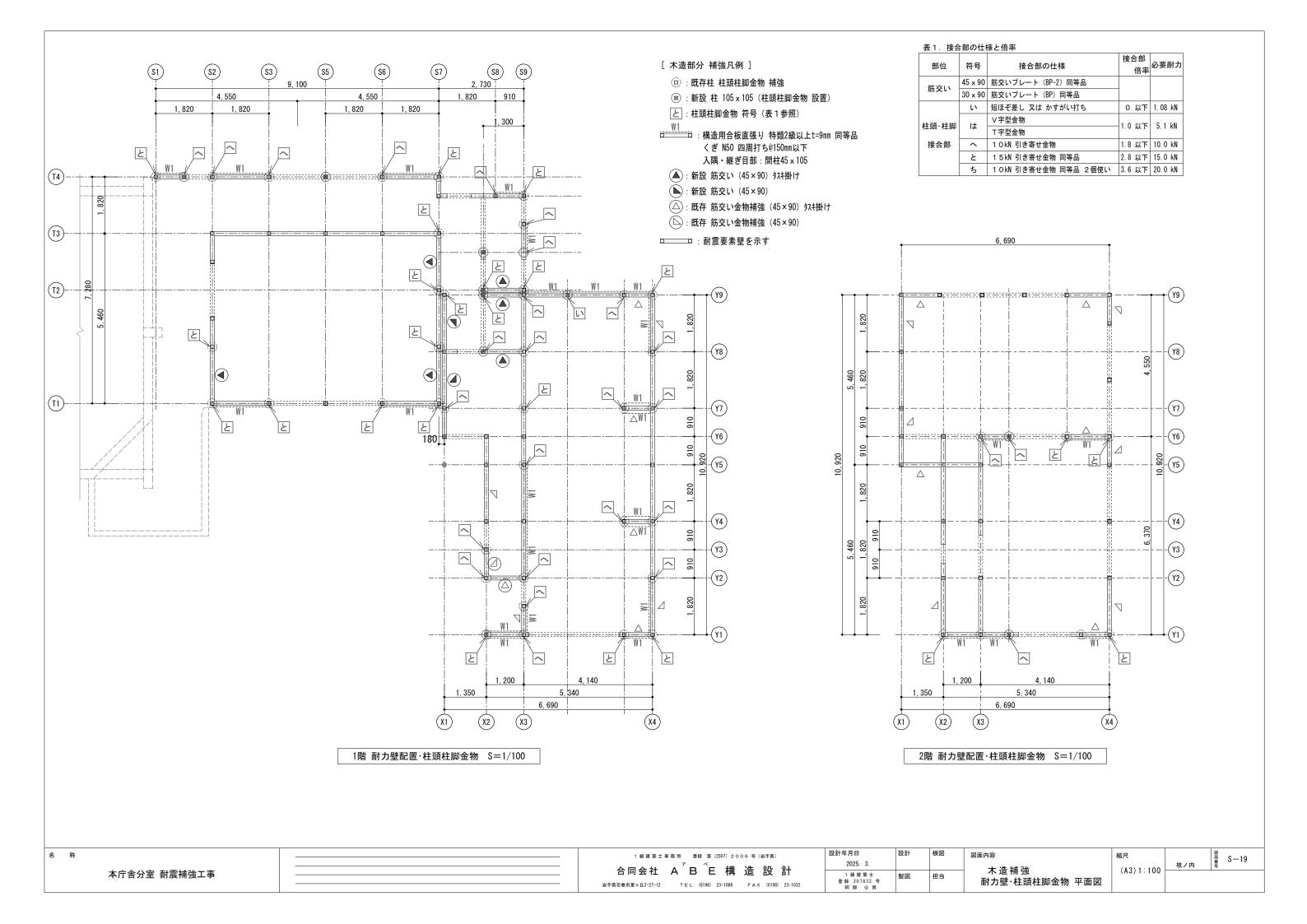
① 間柱:N50@150mm以下

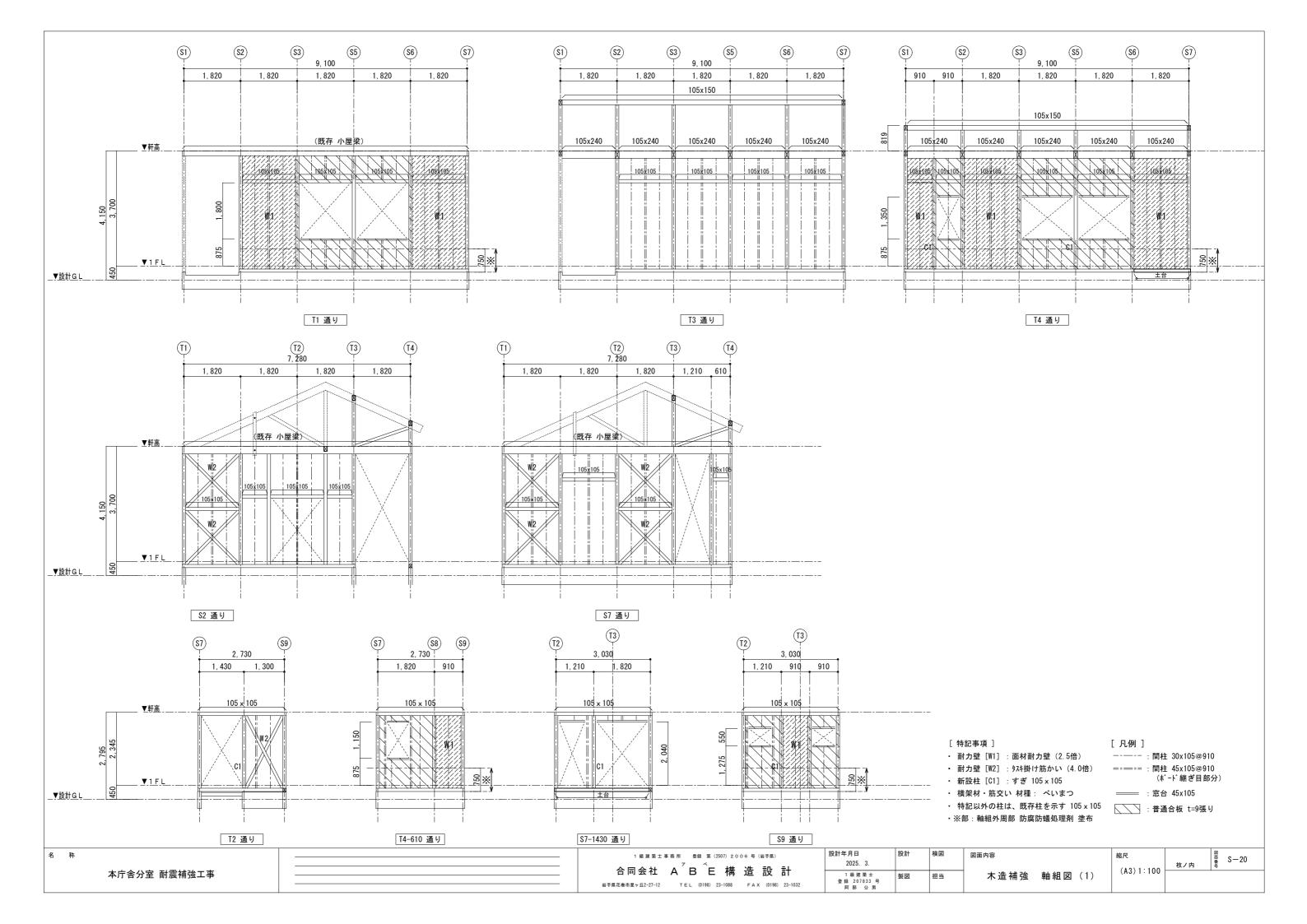
を上回る耐力を有する金物を使用する

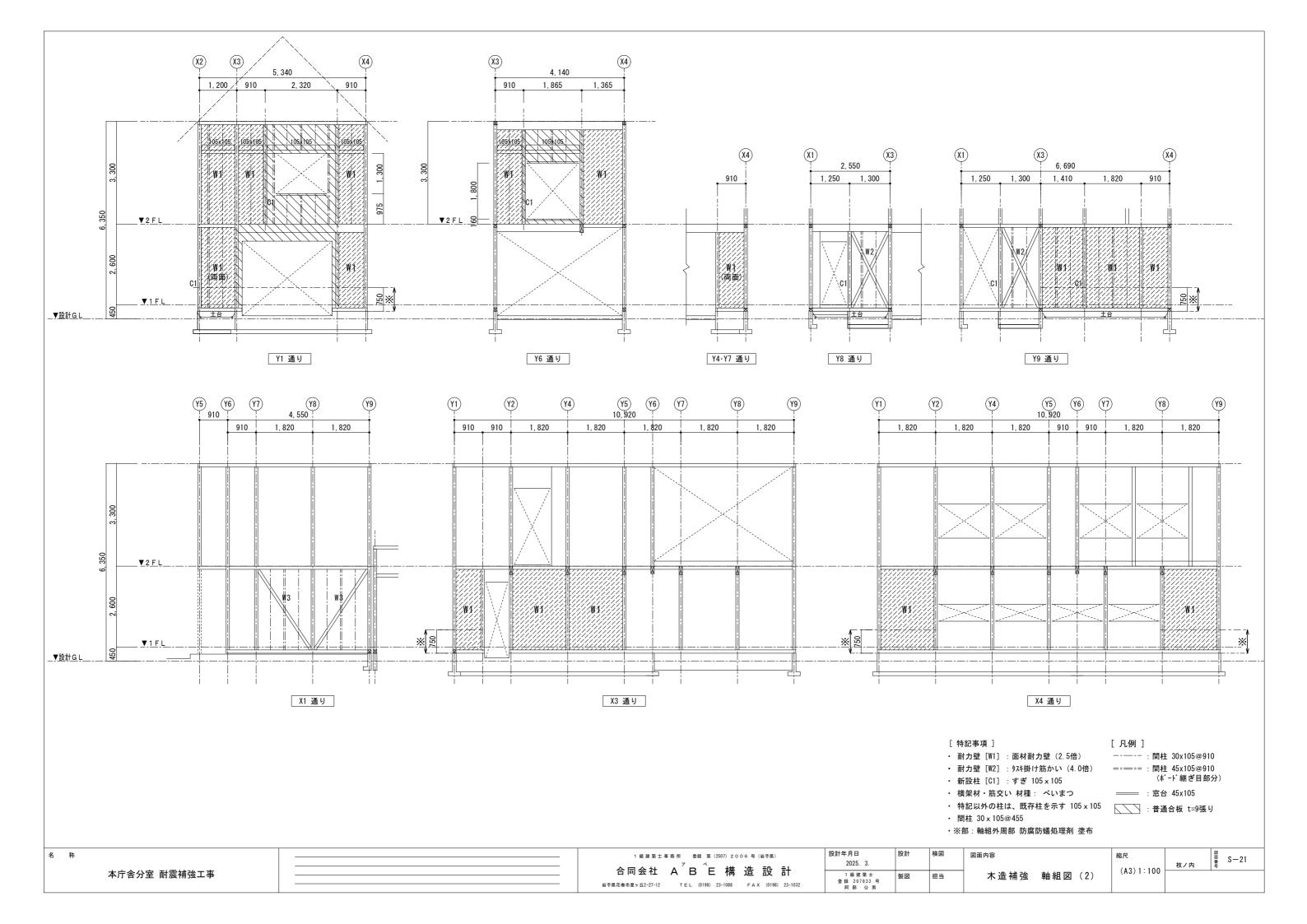
TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032

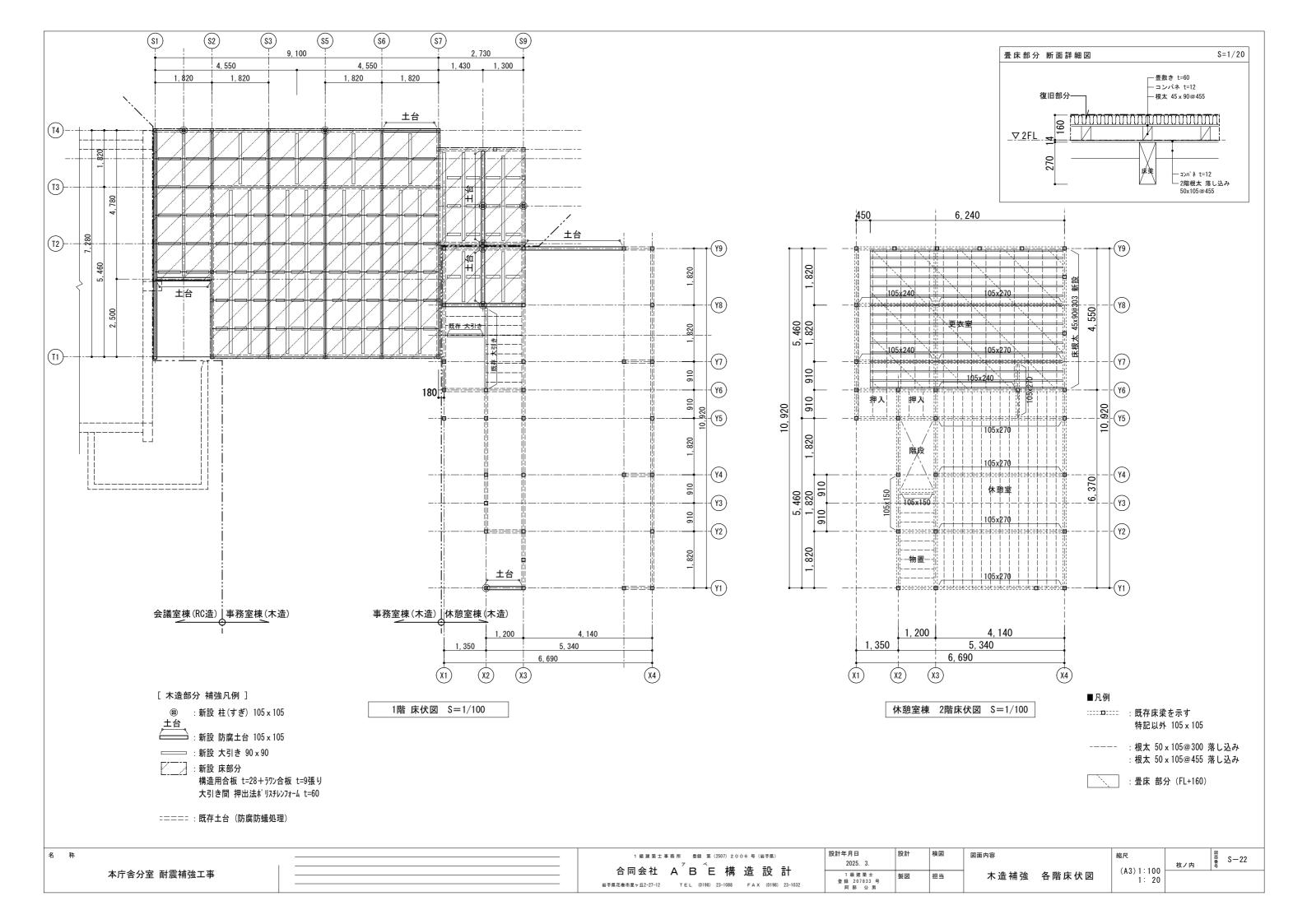


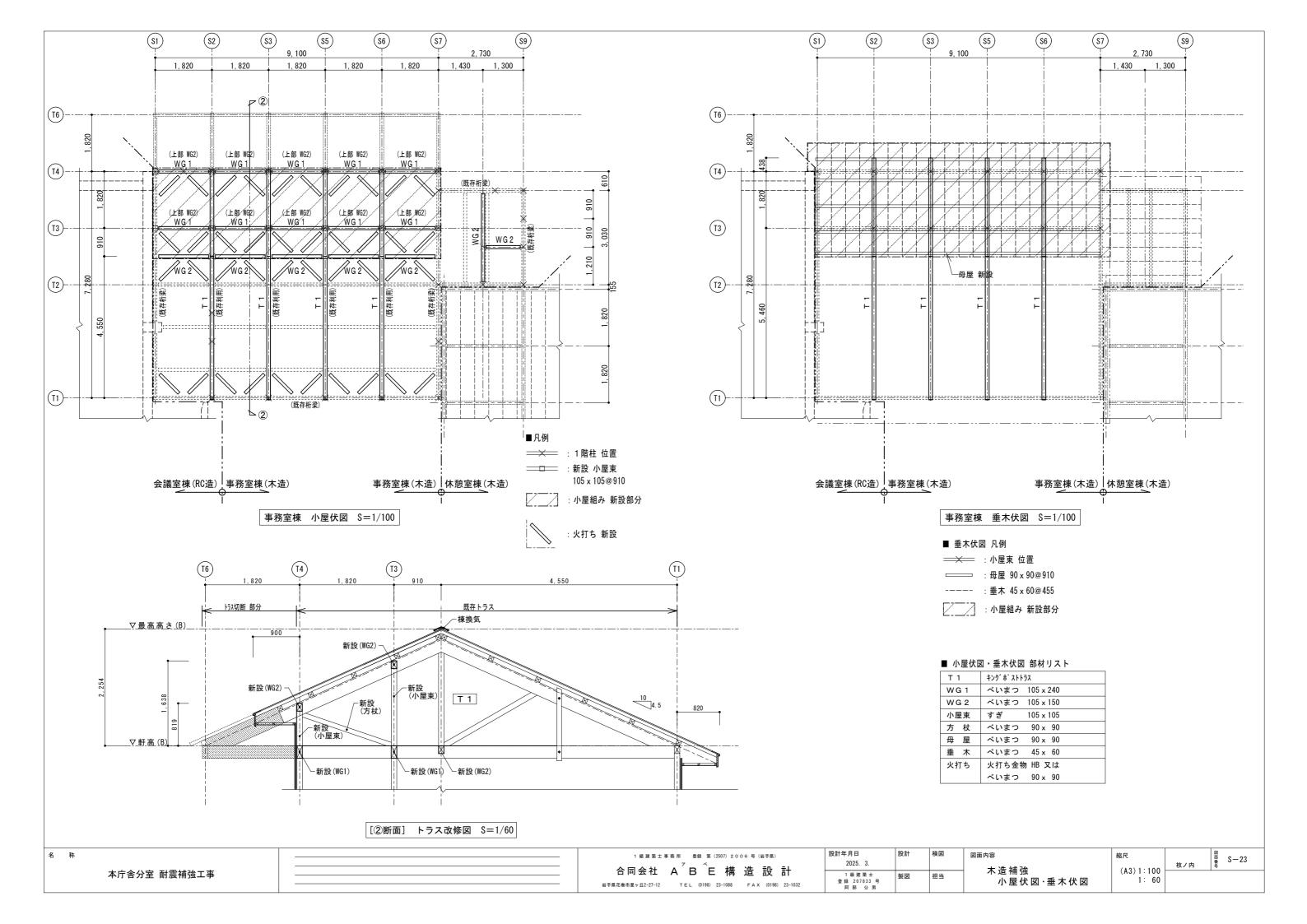


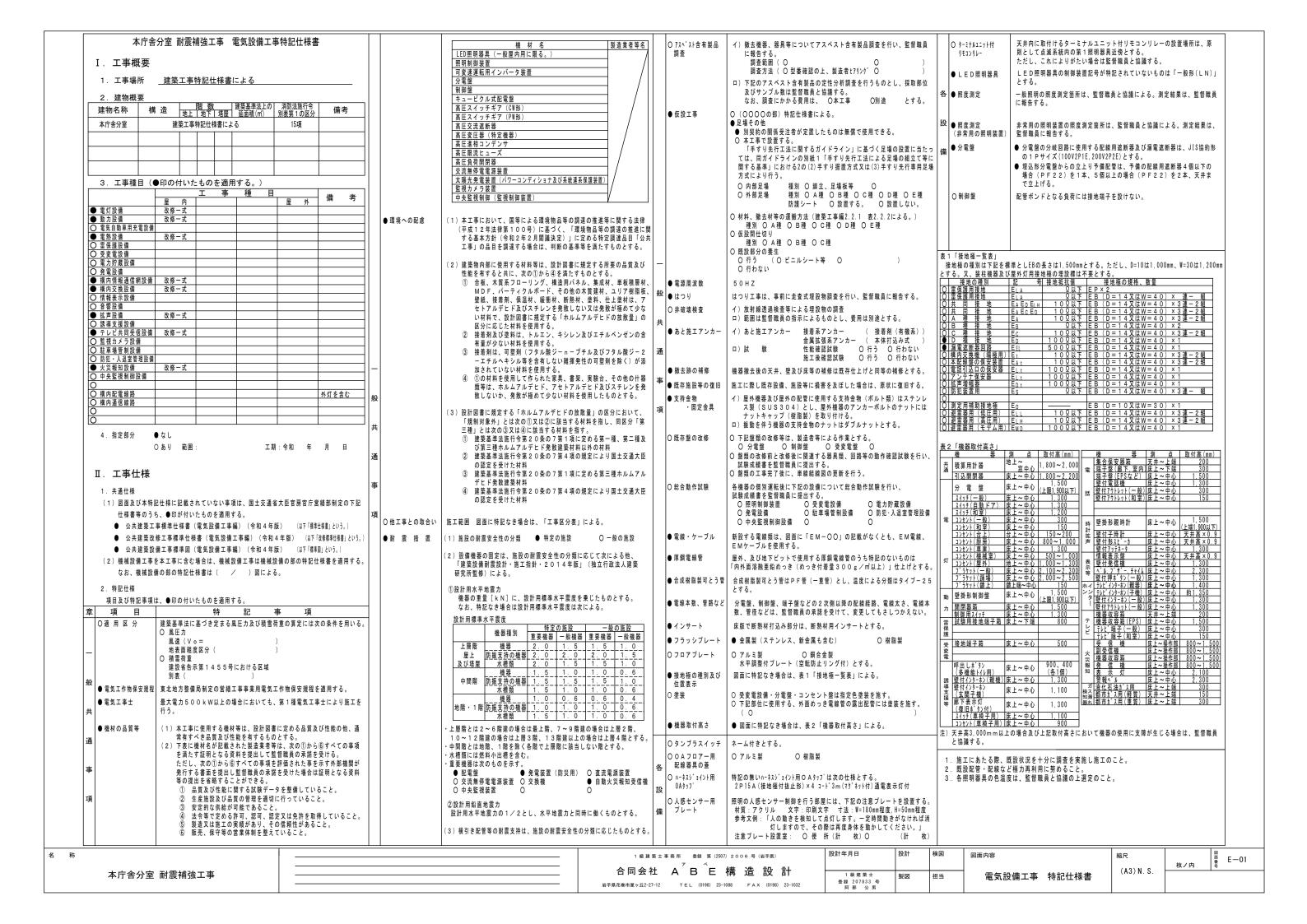


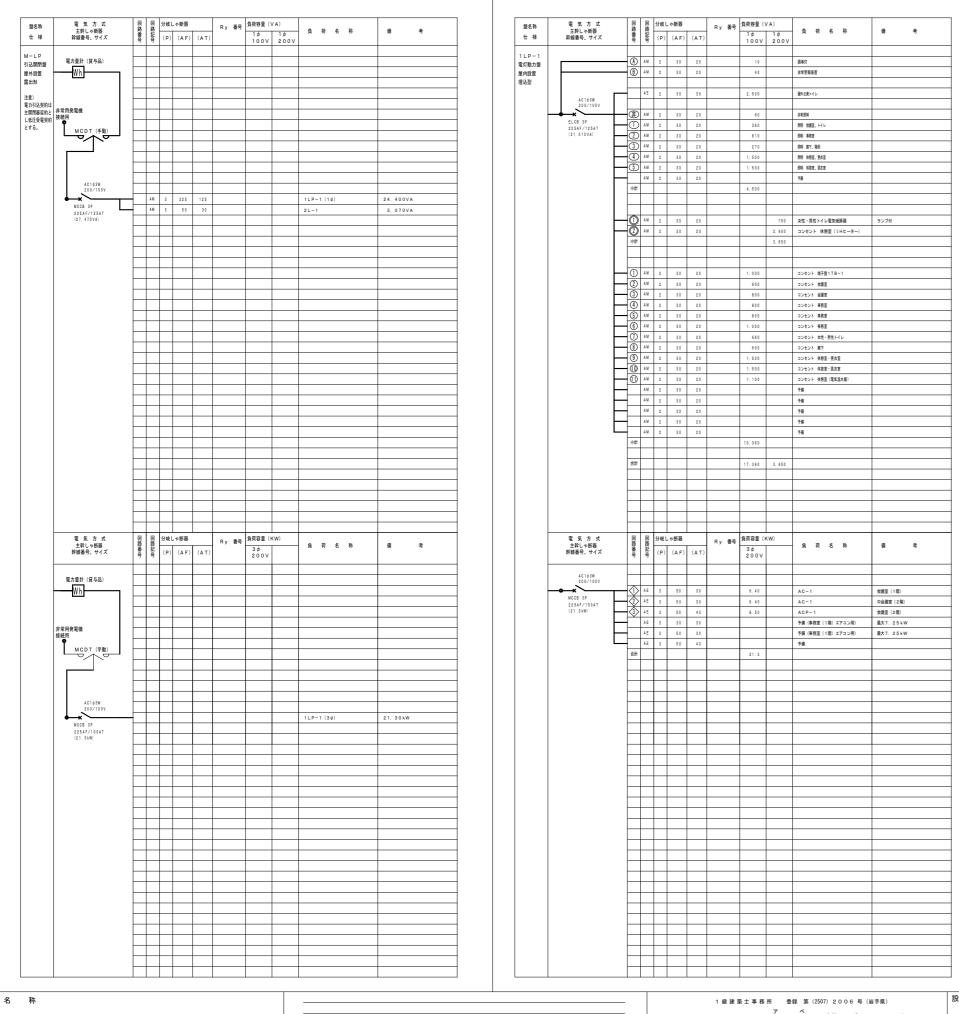


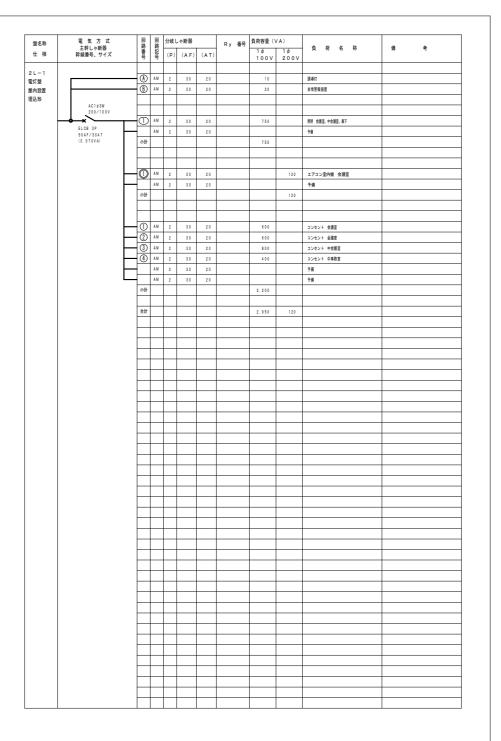












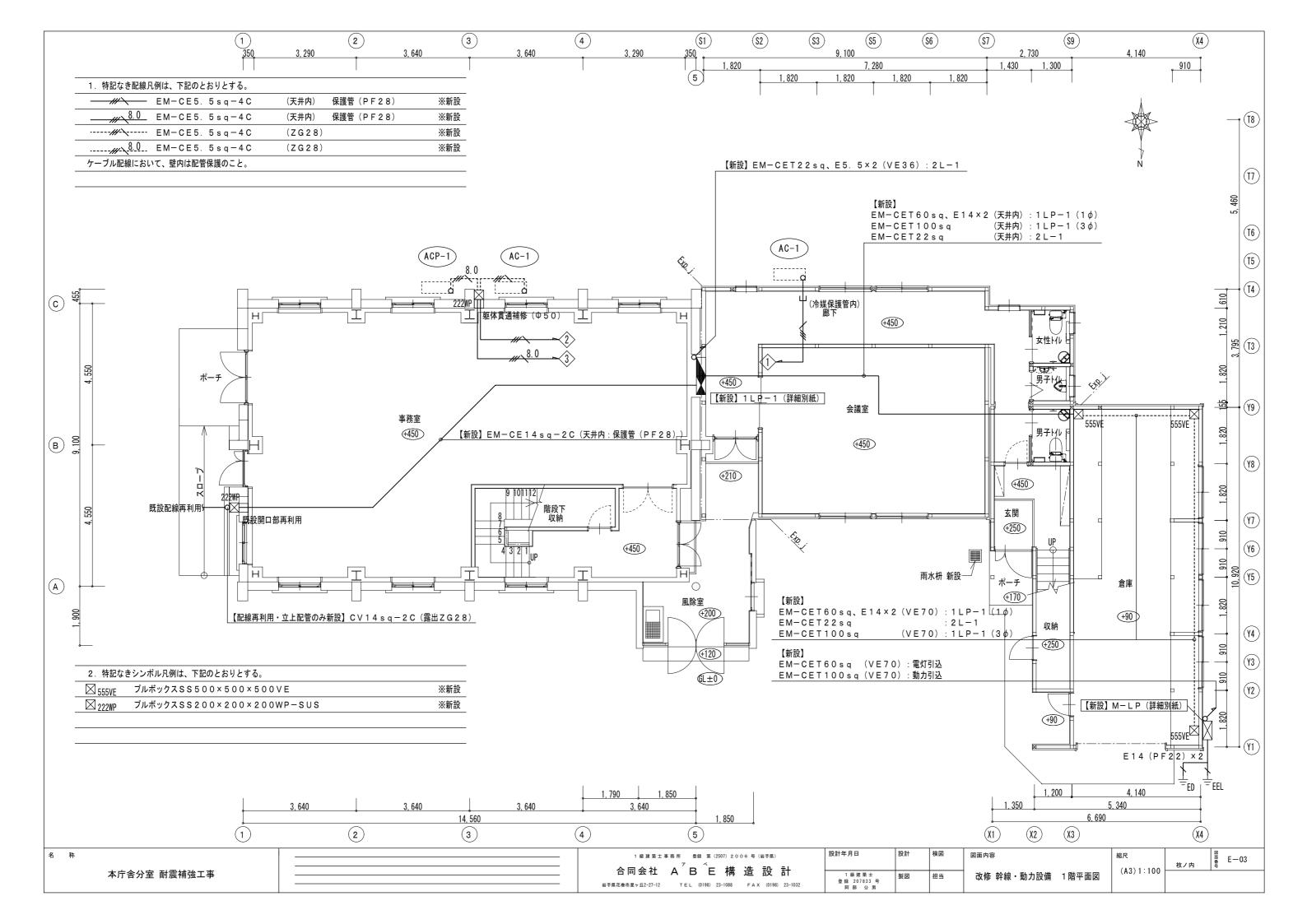
	回路記	. 号
構 成 図	AM-MCB	BM-MCB
	AE-ELB	BE-ELB
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	*	*

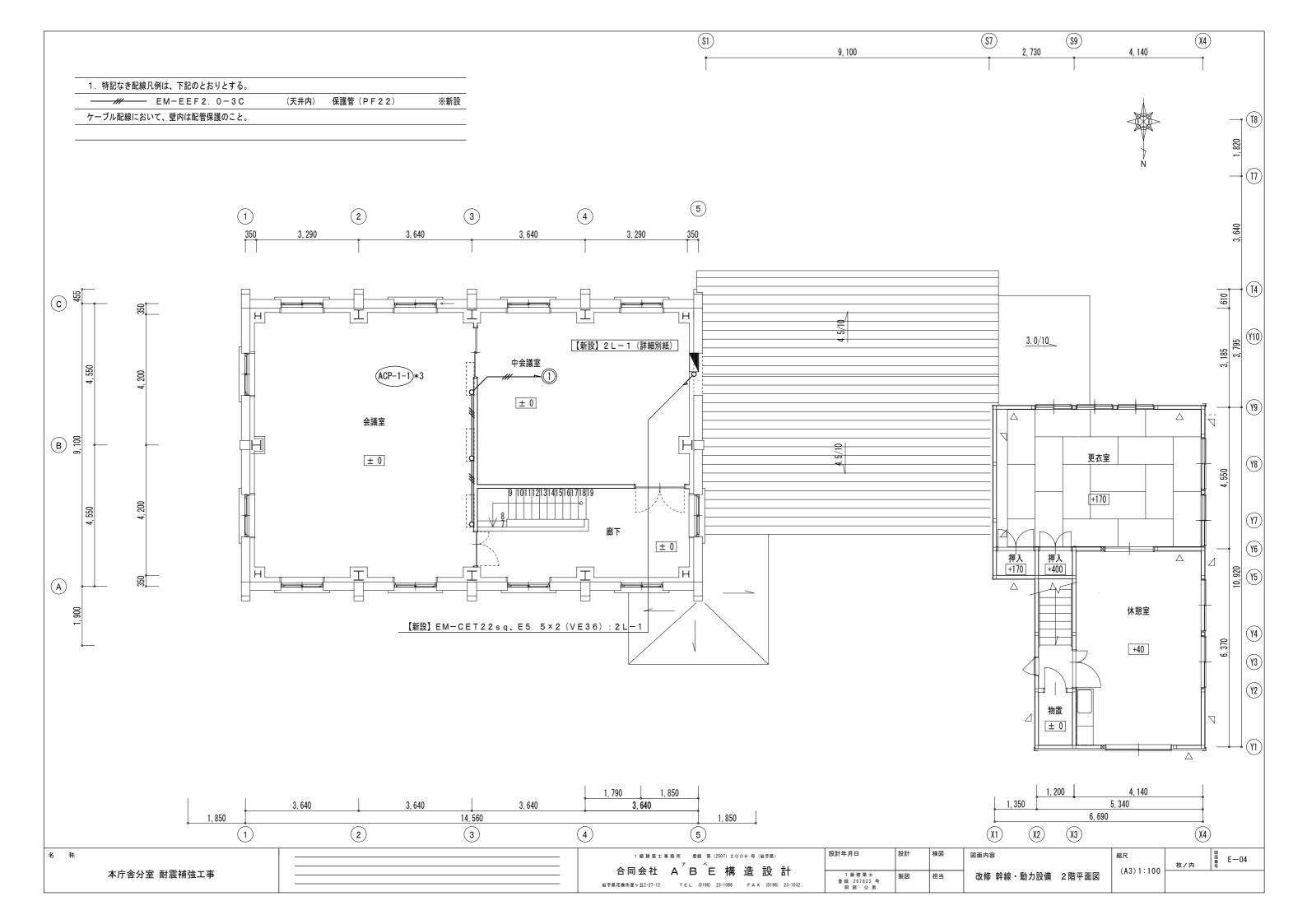
本庁舎分室 耐震補強工事

合同会社 A B E 構 造 設 計 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032 設計 検図 図面内容 担当 製図

縮尺 (A3) N. S. 改修 分電盤結線図

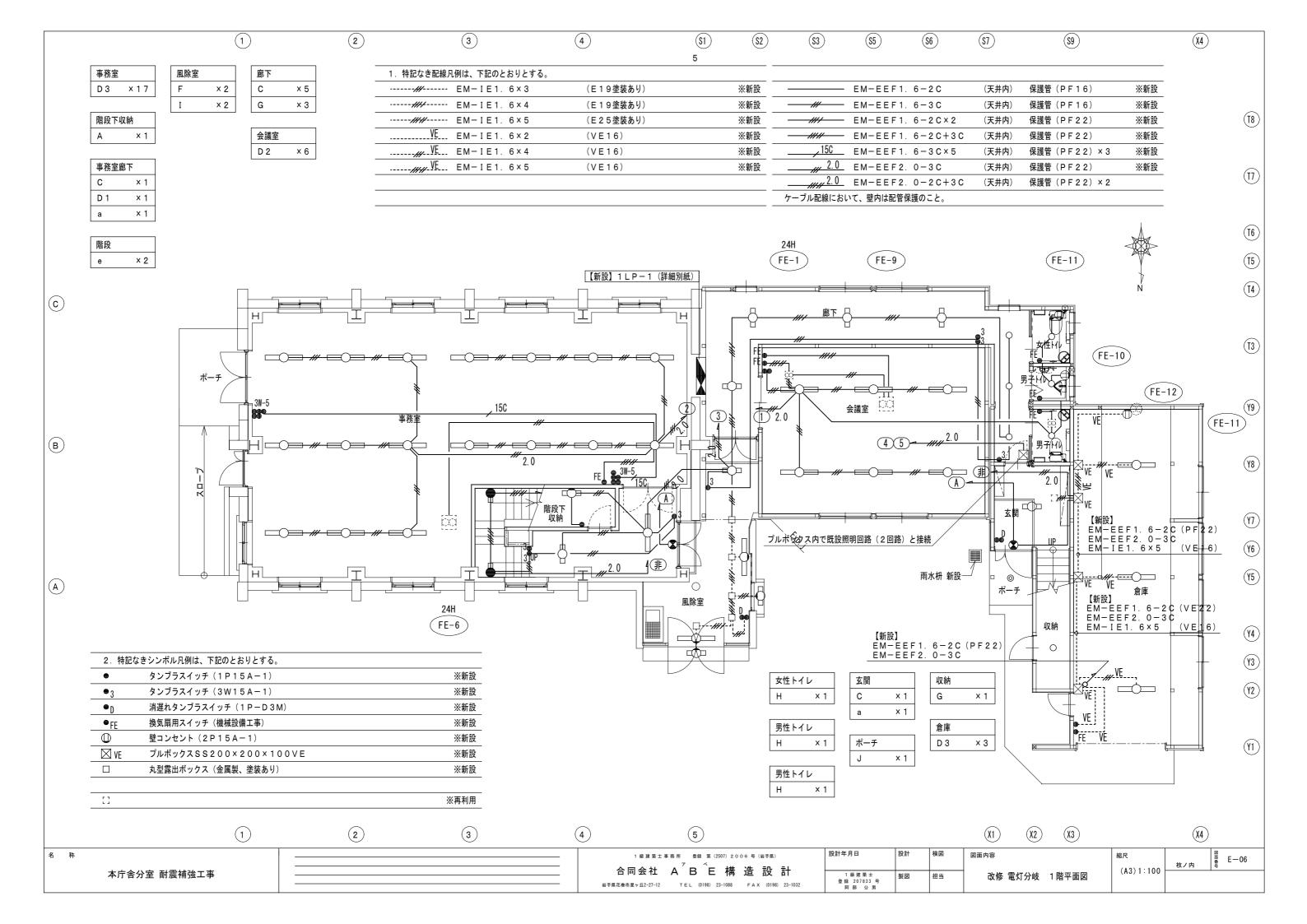
枚ノ内	凶面番号	E-02	

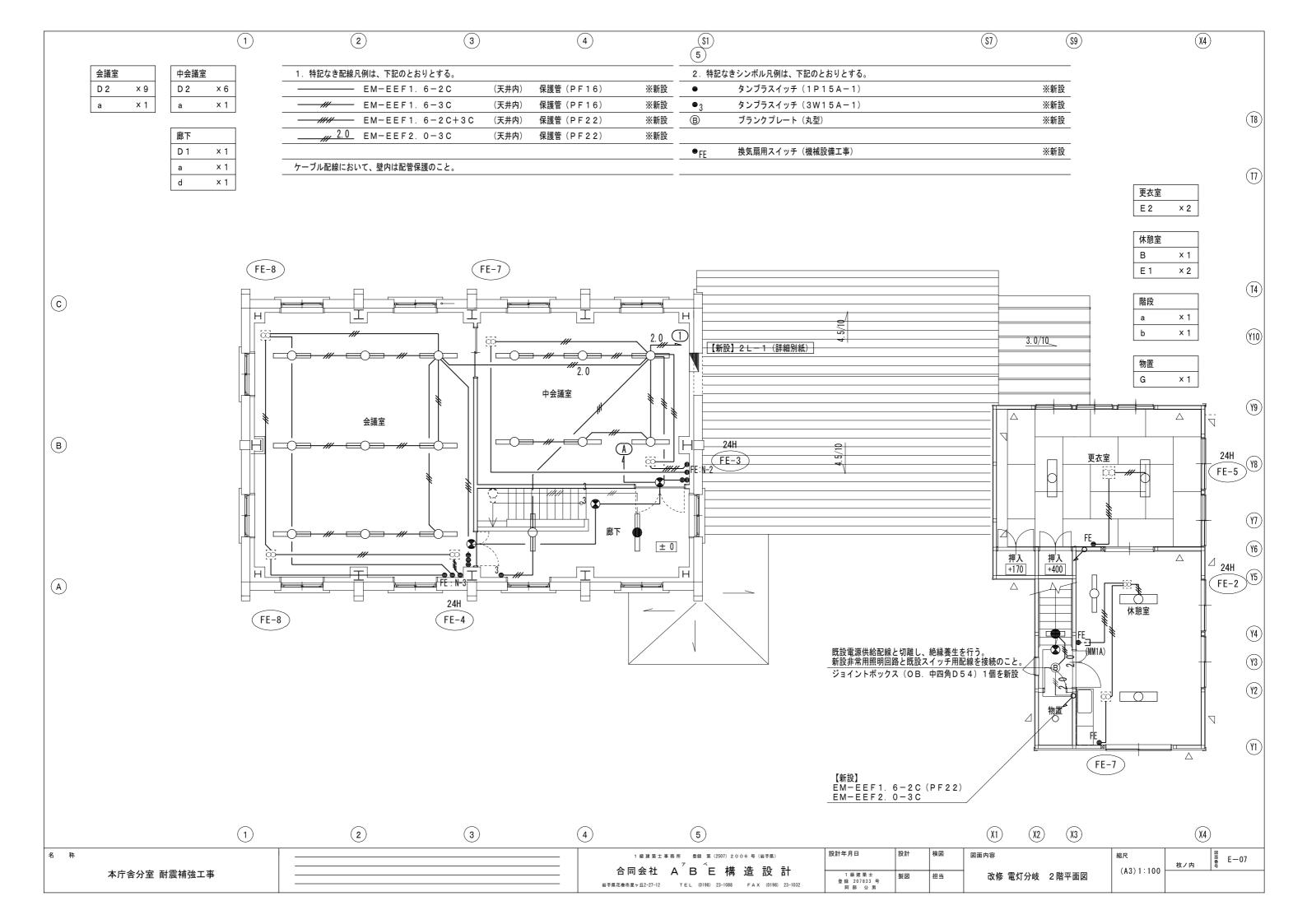


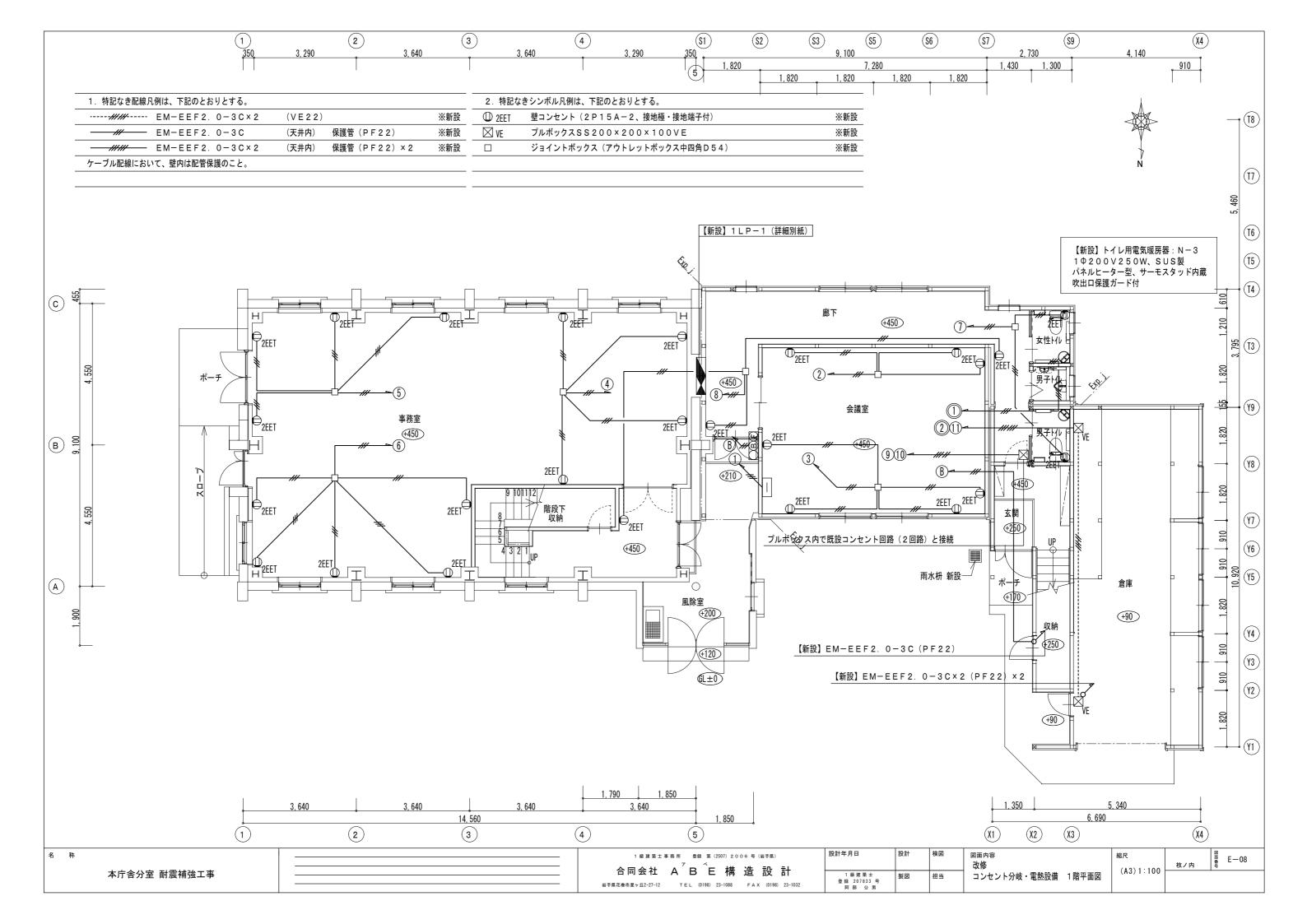


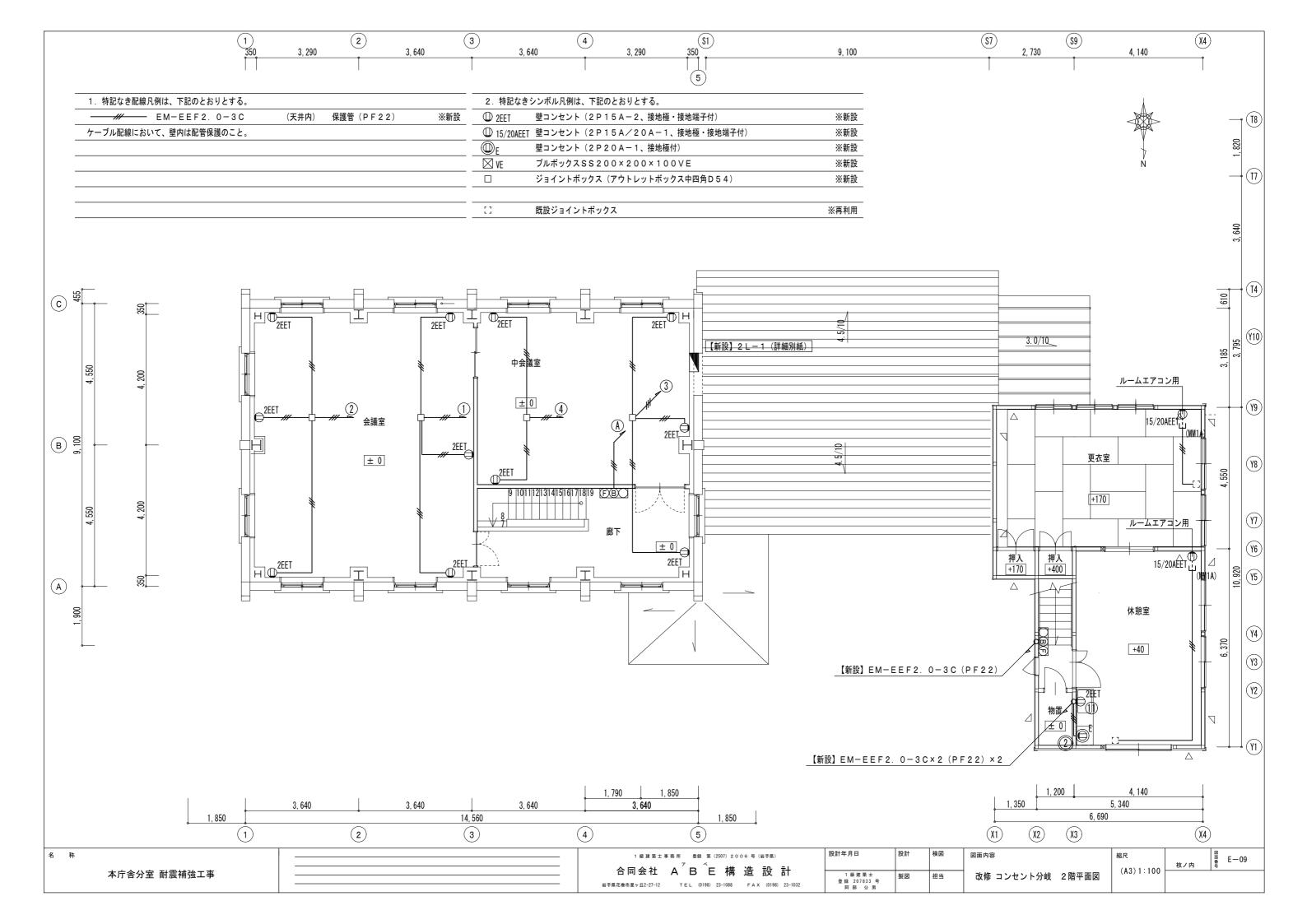
A	露出形LED照明器具	B 吊下形 L E D 照明器具	С	露出形LED照明器具	D	露出形LED照明器具	T E	露出形LED照明器具	F	露出形LED照明器具(防湿・防雨形)
	LED21. 6W 3, 200 Im 5000K	LED19. 5W 3, 200 Im 5000K		LED21. 6W 3, 200 Im 5000K	D1	LED19. 5W 3, 200 Im 5000K	E1	LED32. 5W 5, 200 Im 5000K		LED10. 6W 1,000 Im 5000K 防雨
					D2	LED32.5W 5, 200 Im 5000K		LED43. OW 6, 900 Im 5000K		
					D3	LED43.OW 6,900 Im 5000K				
公:LSS G	S1-2-30LN LED小形シーリングライト LED7.8W 860 lm 5000K	LEKT407323N-LS9+PW-415CK 相当品 H LED小形シーリングライト LED8.1W 830 lm 5000K ON/0FFセンサー 防雨	公:LS: I	S9-2-30LN 露出形 L E D 照明器具 LED28.7W 2,500 lm 5000K	D1 公立: D2公立: D3 公: J	LSS9-4-30  N   LSS9-4-48[ N   LSS9-4-65[ N   埋込形 L E D 照明器具 軒下用   LED7.9W 1,030   m 5000K   既設開口部再利用	E1 公 E2 公	: LSS10-4-48LN : LSS10-4-65LN	公:L	BF3MP/RP-2-06LN
LEDG87	003N-LS 相当品	LEDG87904YN-LS 相当品	LEDB83	8110N+LDL4OS¥U+FF65N/19/25-G2 相当品	公:LR	RS1RP-08LN				
а	LED避難口誘導灯片面 C級 壁・天井直付形	b 露出形LED非常用照明器具	d	露出形LED非常用照明器具	е	露出形LED非常用照明器具				
	LED1. 4W	LED13.2W 1,600 lm 5000K		LED21. OW 3, 200 Im 5000K		LED12.6W 870 lm 5000K				-
						-	+			
	型式認定番号:1AS111-3570	非常灯評定番号:LALE-023 型式認定番号:3AE-1054		非常灯評定番号: LALE-023 型式認定番号: 3AE-1054		! 非常灯評定番号:LALE-05 型式認定番号:3AE-1056	1	I		I .
公: SH	1-FSF20-C	公:K1-LSS9-2-15LN	公: K1	-LSS9-4-30LN	LEDTC3	31688N-LS1 相当品				

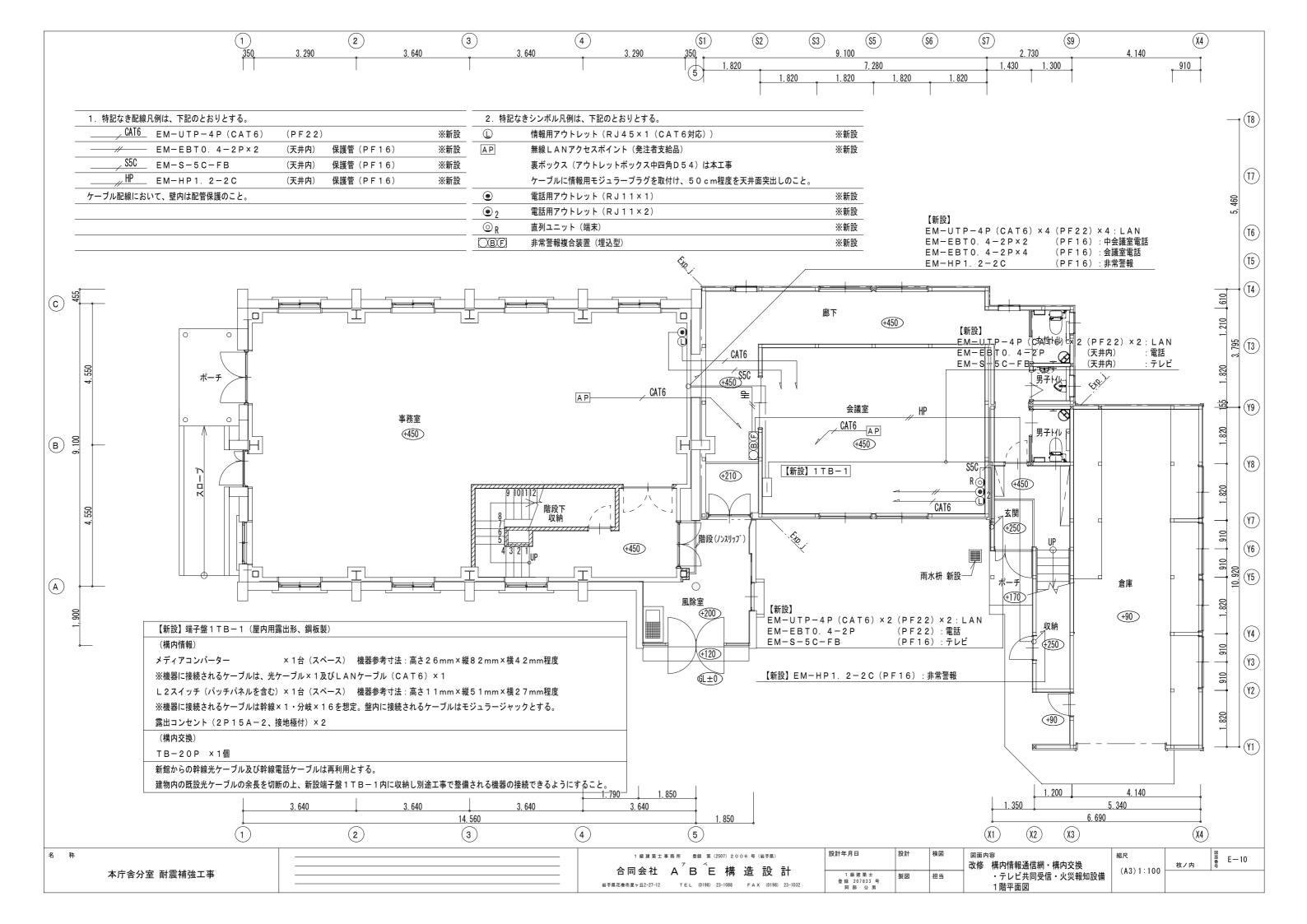
名 称	 1 級建築士事務所 登録 第 (2507) 2006 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	® E−05
本庁舎分室 耐震補強工事	合同会社 A´B E 構 造 設 計	1 級建築士	製図	担当	」 改修 照明器具参考姿図	(A3) N. S.	./ M 号
	 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	登録 207833 号 阿部 公男			Wind Wind World Wind Wind Wind Wind Wind Wind Wind Win		

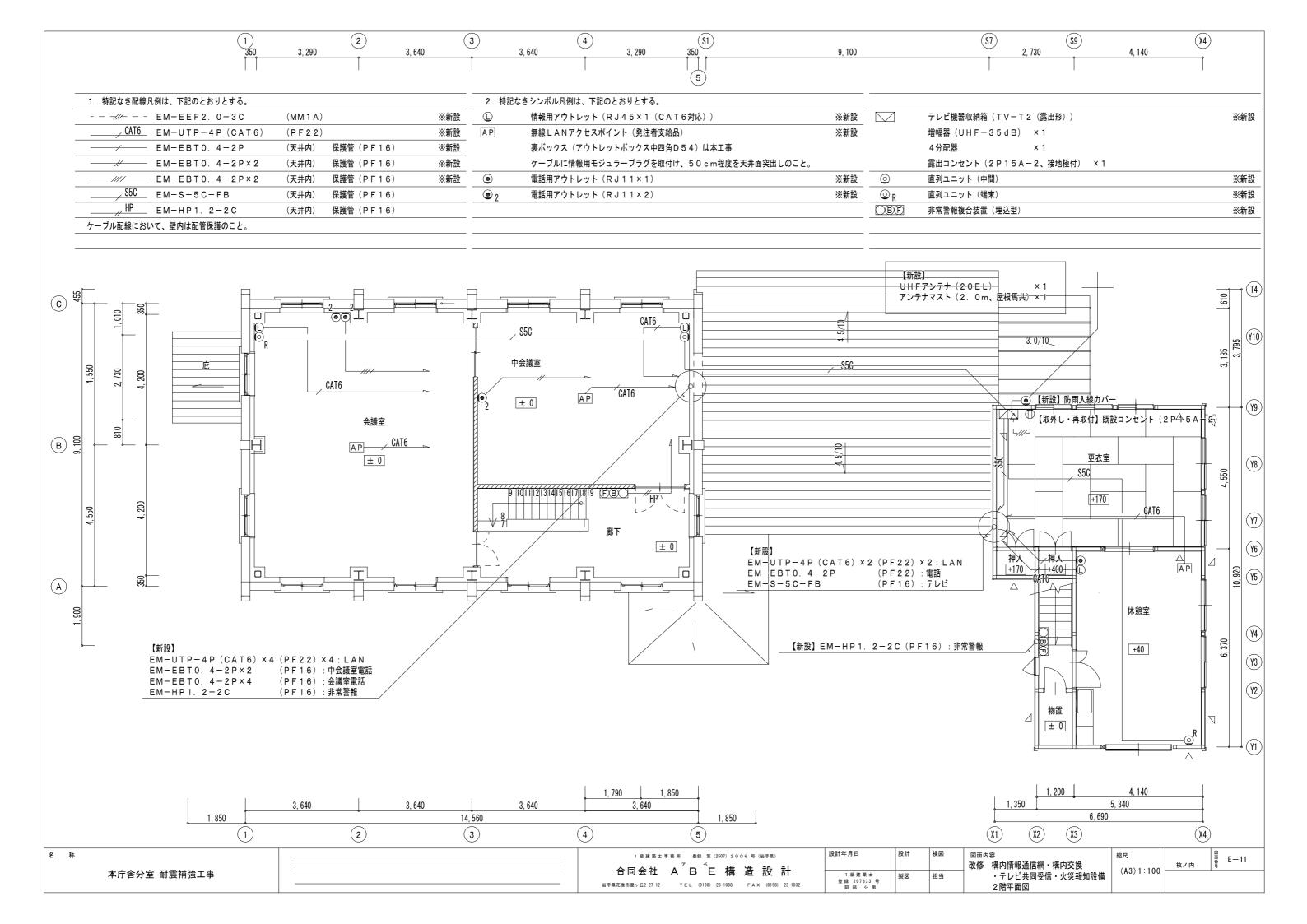


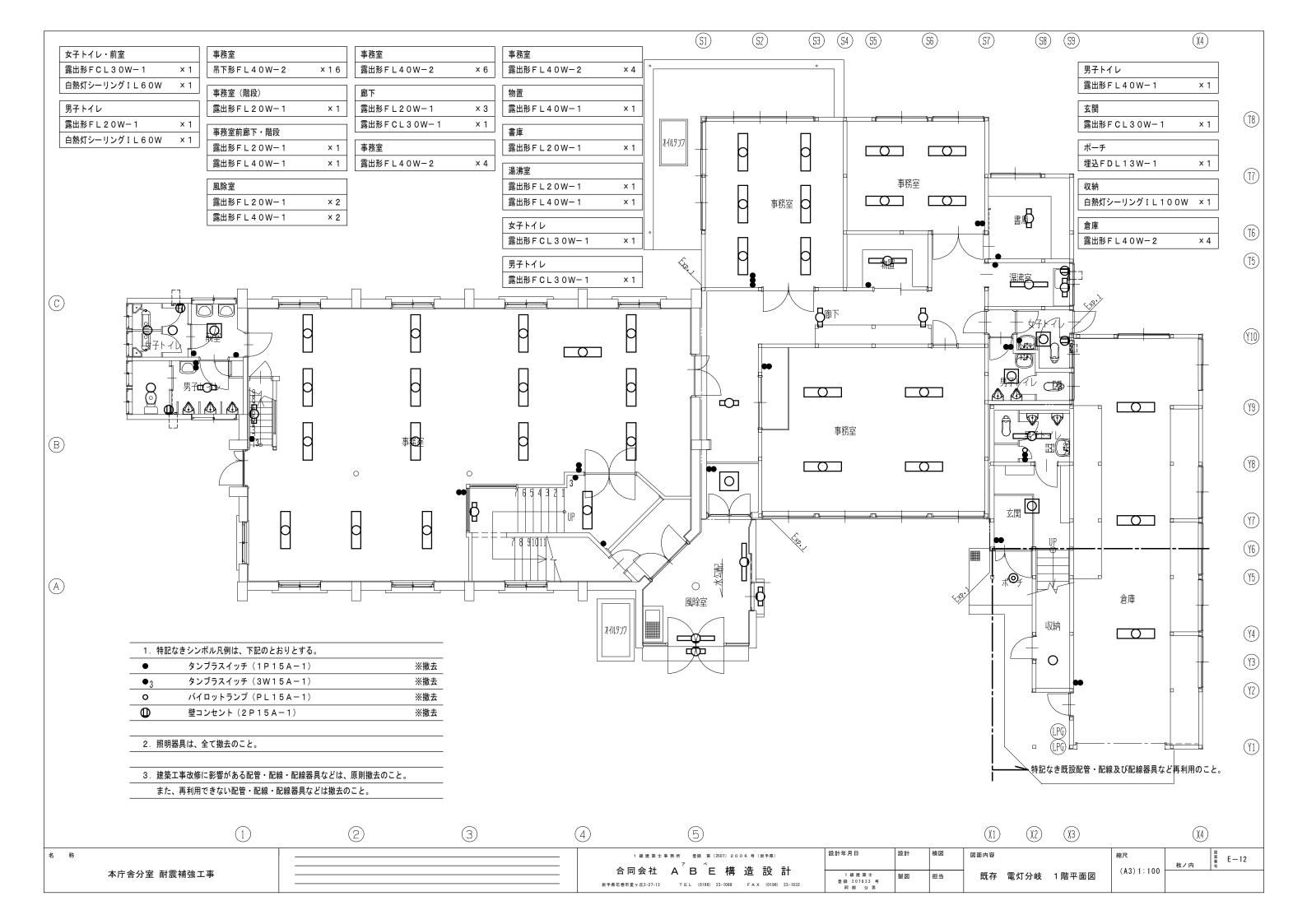


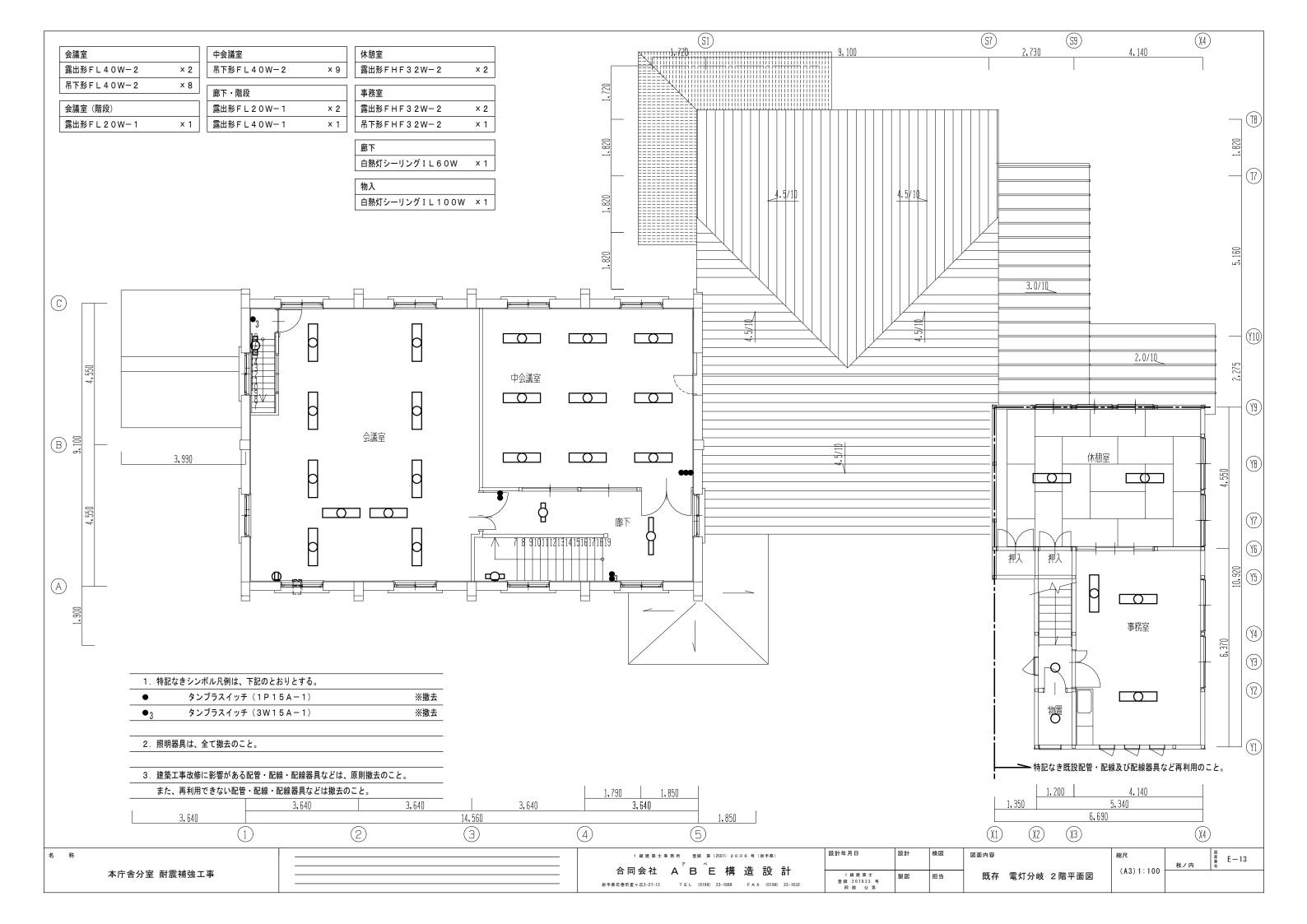


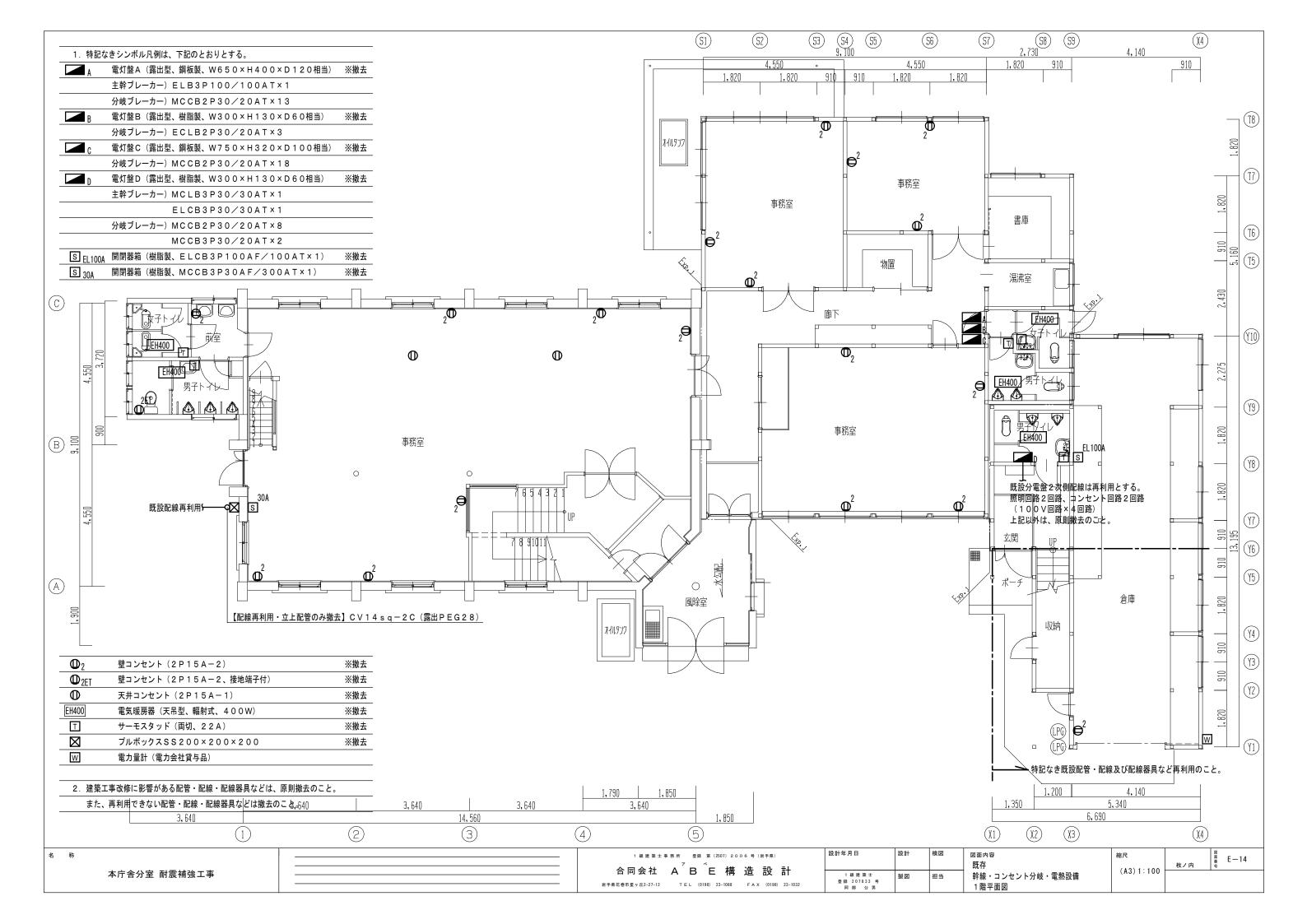


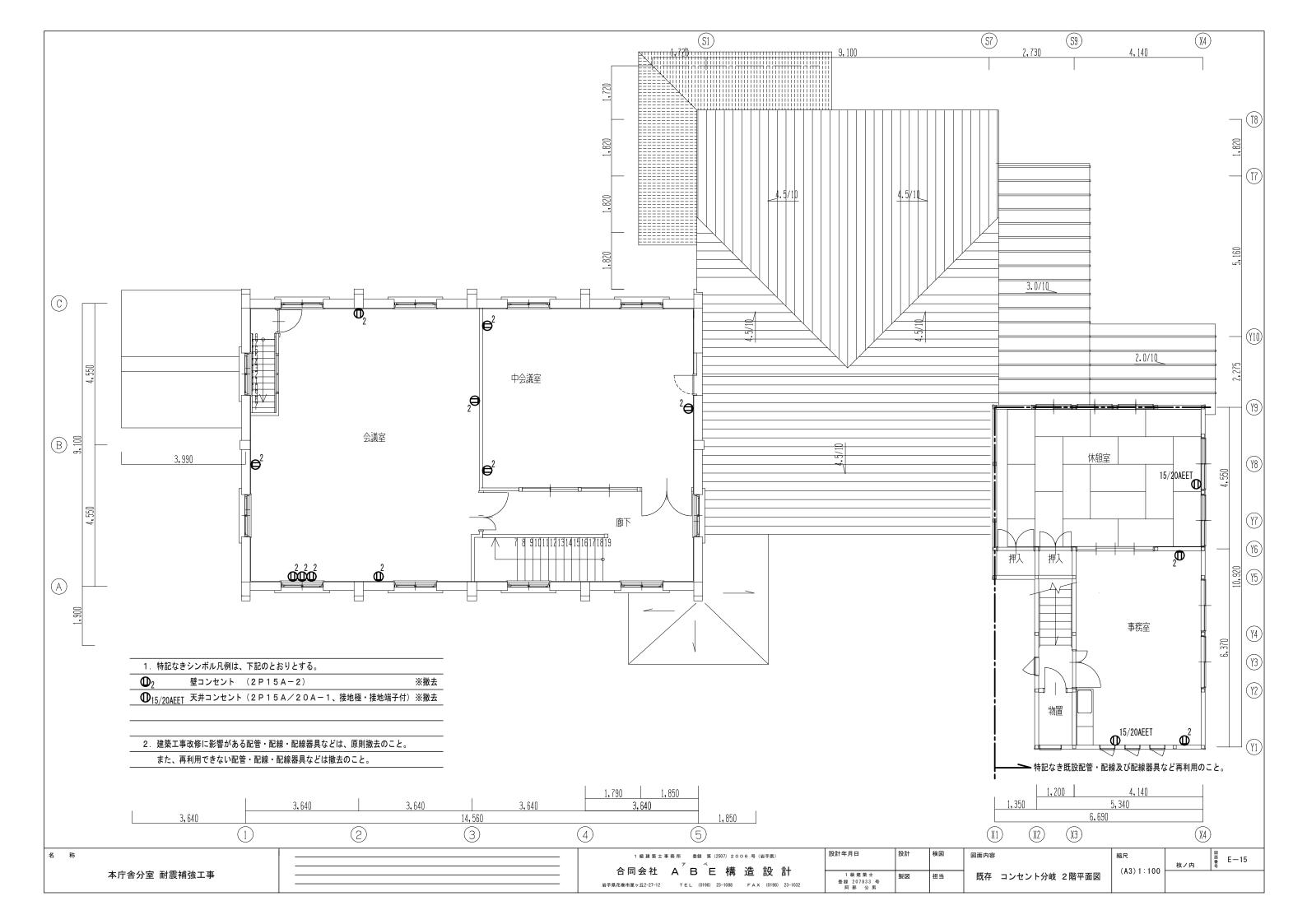


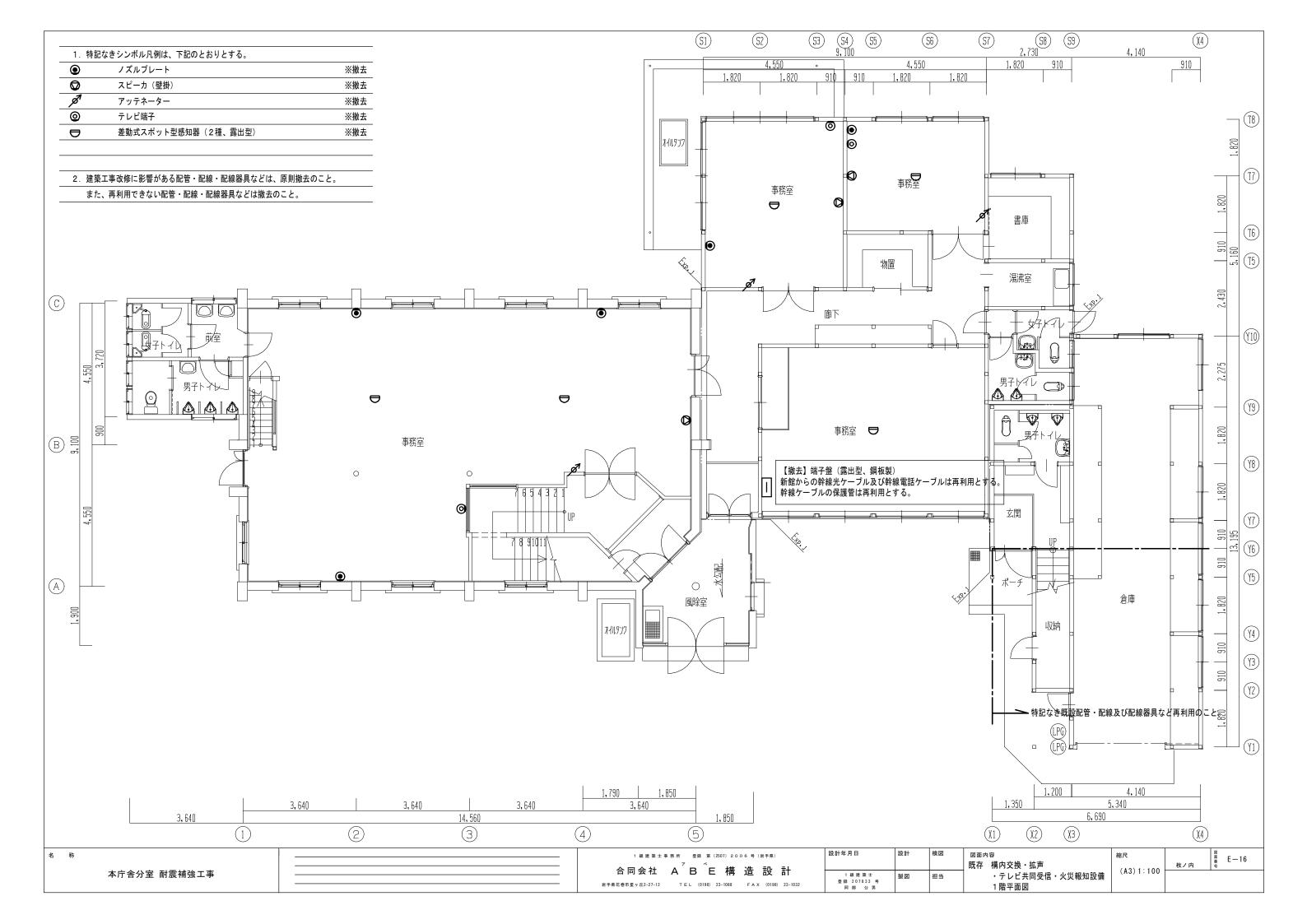


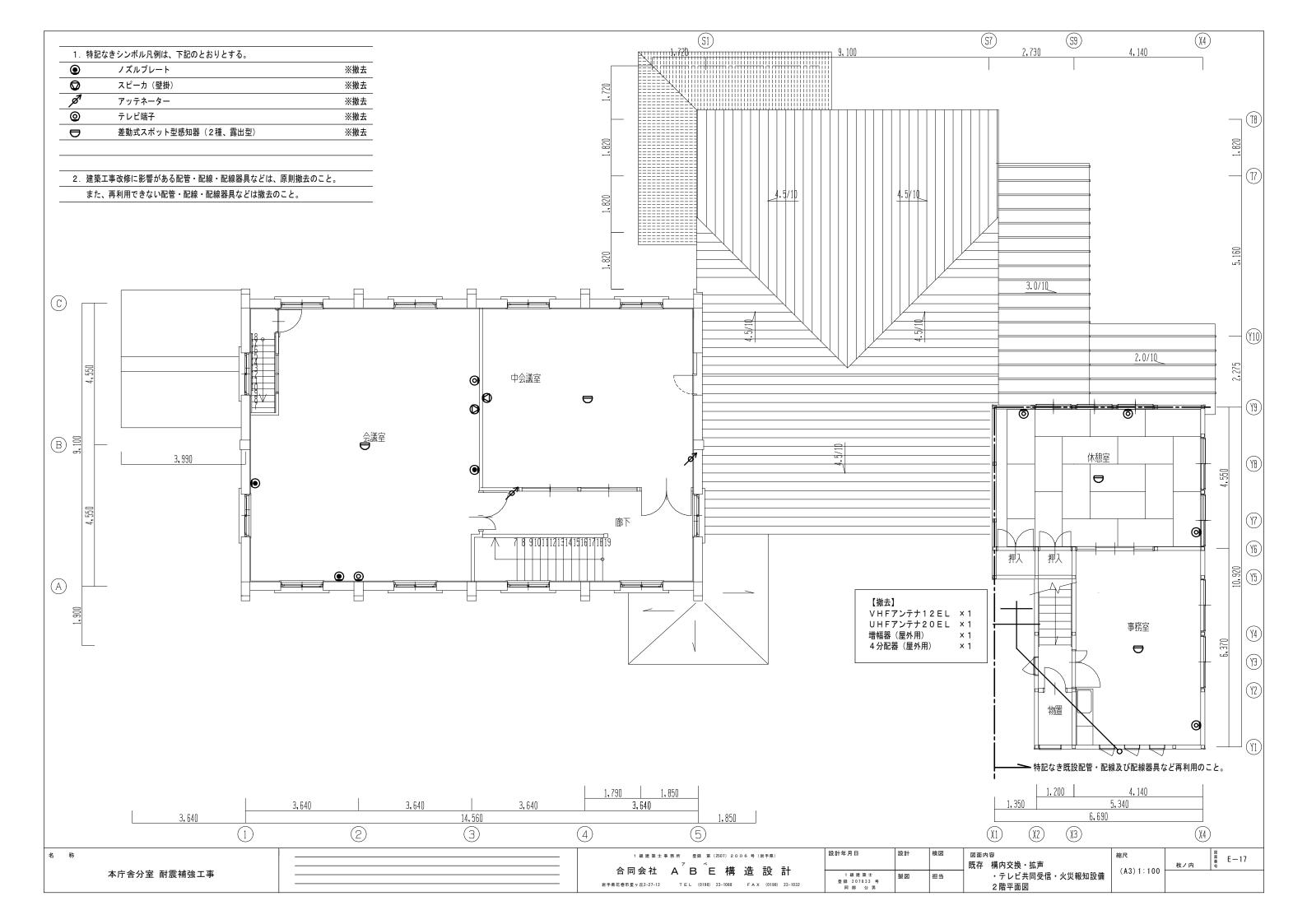












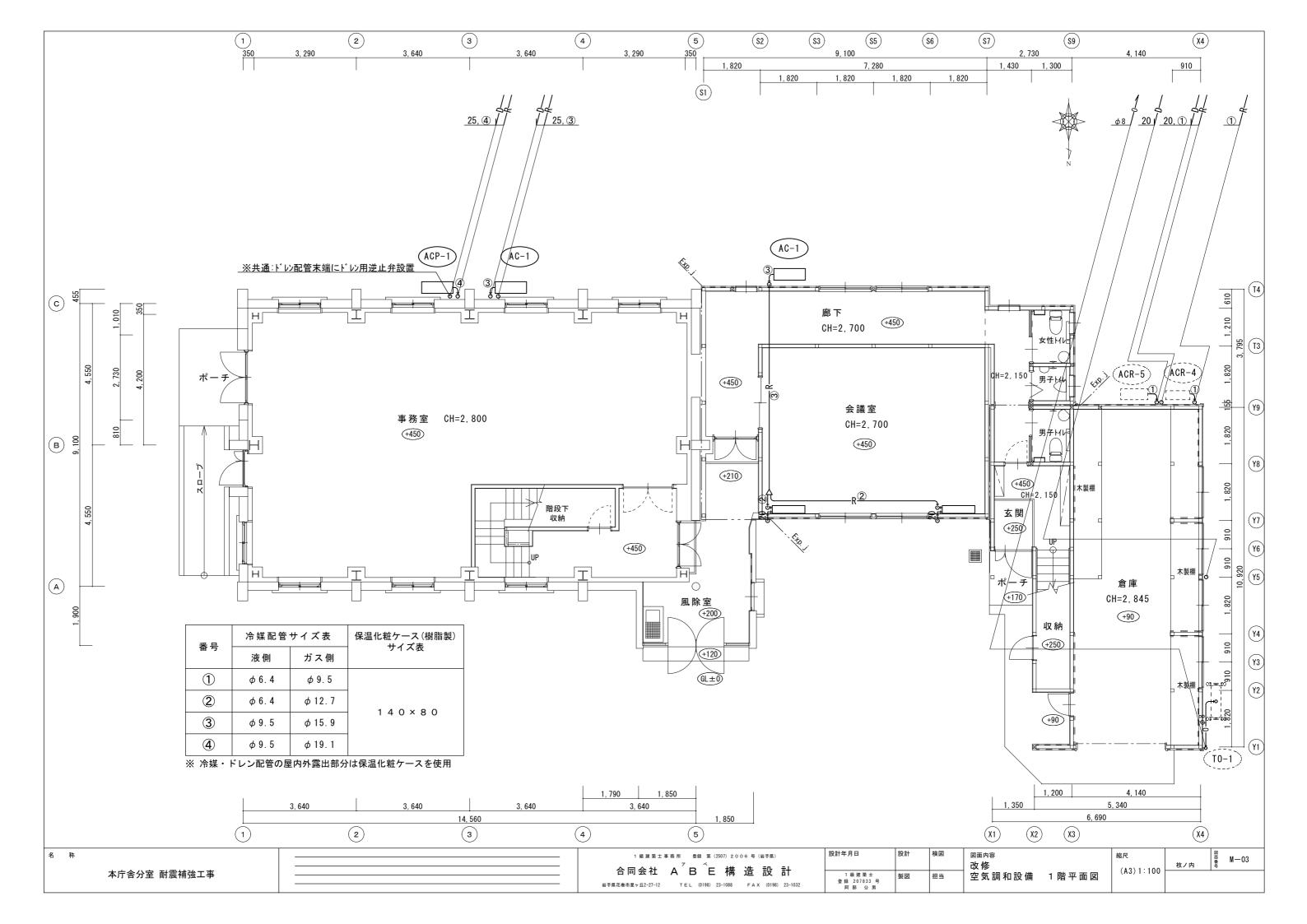
機械設備工事 特記仕様書	(A) the second			15. 瞬間流量計	イ)冷凍機又は冷温水発生機の冷水出口	'		
I. 工 事 概 要 1. 工事名称_本庁舎分室 耐震補強工事		ダイヤモンドカッターによる。 イ) 端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。		及び測定用	- 瞬間流量計 ( 固定形 - 着脱可能形)	0	①. 配管材料	イ)屋内汚水管 ・排水用塩ビライニング銅管 ・ コーティング銅管 ・ メカニカル形排水鋳鉄管
2. 工事場所 花巻市城内1-43 3. 建物概要	—   15. 他工事との —   取り合ι	口)機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側電気工事は全て		タッピング (32mmピトー	・ タッピングを取付ける ロ) 冷凍機又は冷温水発生機の冷却水出口	'		① ビニル管(VP) 鉛 管 耐火二層管
建物名称構造階数延面積(㎡) 消防法施行令(別表) 備 考	_	* 別途 ・ 本工事 ハ)機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て		管流量計用)	瞬間流量計 (固定形 若脱可能形)	排		ロ)屋内雑排水管 ・配管用炭素銅銅管(白) ・排水用塩ピライニング銅管 ・コーティング銅管
本庁舎分室 S 造·木造 2 階 4 7 8 6 9	]	※ 本工事 · 別途			・ タッピングを取付ける ハ) ボイラー又は熱交換器の温水出口	'		・排水用鋳鉄管 ・ 詳水用鋳鉄管 ・ 耐火二層管
	-	ニ)全てのスリーブ入れ及び箱入れは ※ 本工事 ・ 別途 ホ)スリーブ及び箱入れの補強工事は ※ 本工事 ・ 別途			· 瞬間流量計 ( · 固定形 · 着脱可能形)	. '		ハ)屋外汚水、雑排水管 ・ ヒューム管 (1種B形) ・ ビニル管 (VP) ① ビニル管 (VU)
	<del> </del>	へ)天井、壁のボード類(軽量鉄骨も含む)の下地切込み及び開口補強は			・ タッピングを取付ける 二) 空気調和機の冷温水入口	水		コーティング銅管 配管用炭素銅鋼管(白)
4. 工事種目(〇印のついたものを適用する)		※ 本工事 ・ 別途 官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議のうえ、講負者が代行処理する。	0	,	- 瞬間流量計 ( 固定形 着脱可能形)	'		二)通気管、空調用排水管 ・配管用炭素銅鋼管(白) ・排水用塩ビライニング鋼管 ・コーティング鋼管
建物 別 及 屋 外 工 事 種 別 備 考 本庁舎分室	17. 予備品等	ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として、20%納入する。		.	・タッピングを取付ける	設		・排水用鋳鉄管 ① ビニル管(VP) ・耐火二層管
工 事 種 目 屋内 屋外		(種別ごと最低1個) 導 建物導入部の変位吸収は標準図(施工4及び5)による。	꽃		ホ) 冷温水ヘッターの各送り管 ・瞬間流量計 (・固定形 ・着脱可能形)	'	2. 滿水試験継手	・ 取付けない ・ 図示した箇所に取付ける
○ 空 気 調 和 設 備 ○ ・		収 対象管 ・給水管 ・ガス管 ・油 管	気		・ タッピングを取付ける	<u></u>	③. 別途流し	トラップは(① 別途 ・ 本工事) 立管は本工事
○ 換 気 "     ○ ·       · 排 煙 "     · ·	19. 管周囲の保 砂及び埋戻し	護 イ)管周囲の保護 ・山砂 土 ロ)埋戻し土 ・山砂 ・良質発生土		16. オイルタンク	イ) 遠隔油量指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない   ロ) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100 実測目盛印とする。	1/用	④. 試 験	排水管は、衛生器具などの取付け完了後煙試験又は通水試験を
- 自助制御 "	20. 地中埋設標		西町		計量口は錠付きとする。	'		※ 行う・ 行わない
○ 衛生器具 "     ○ ·       ○ 給 水 "     ○ ○	及び埋設表示 テープ	用 イ)給水管地中埋設標(・要 ・ 不要) 埋設表示用テープ(・ 要 ・ 不要)	和	17. 積算油量計	・取付ける 取付けない	'	5. 放流負担金	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
○ 排 水 ″ ○ ○	-	ロ) ガス管地中埋設標 (・要 ・不要) 埋設表示用テープ (・要 ・不要) ハ)油 管地中埋設標 (・要 ・不要) 埋設表示用テープ (・要 ・不要)		18. 消音内貼り	イ) 施工箇所は図示による。 ロ) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。		1.配管材料	・耐熱性塩ビライニング銅管 ・ステンレス銅管 ・銅 管 ・被覆銅管
○ 給 湯 " ○ ·		ジ 図示による。	設	(9) 保 温	1) 対	.		・保温付被覆銅管
・消 火 n         ・ l           ガ ス n         ・ l	型 取付箇所 ② 弁等のサイ	ズ 特に明記のない弁等のサイズは、接続配管サイズに同じ。	備	1 -	項による。	給	2. 弁 類	給水設備の当該事項による。
・し尿浄化槽 "・・・	□   ②. 試 り	凍結の恐れのある水道管、冷温水管等の一部施工時の気密試験については、水圧試験を空気圧試験に代えることが出来るが、完成時までに水圧試験を実施すること。			ロ)屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 ハ)外気取り入れダクトの保温を ・ 行う ・ 行わない	湯	③. 湯沸器回り 配 管	機器に接続する給水管、給湯管は鋼製又はステンレス製のフレキシブルチューブを 使用してよい。
○ 撤去工事     ○ ○       ○ 発生材処理     ○ ○	_   Q9. ₹ o te				二)屋外の冷媒管の保温外装は ・ 化粧ケース (樹脂製) とする。	設	4.湯沸器の	使用してよい。 ※ 本工事(厚さ 0.5 mm以上のステンレス鋼板製) ・別途
○ 発生材処理		口) 本工事に使用する鋳鉄製マンホール蓋には、県(市町村)章を入れること。			ホ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚 mmとする。	備	10.00	↑ 平工学(序でも、 5 mm 以上のハランレス類似数) /// // // // // // // // // // // // /
	一	ハ) 本工事完成 1 年後に経年検査を行うこと。 後 本工事の訓負者は、工事期間中工事目的物及び工事資材に対して、下記により組立保		20. 電気工事の 範 囲	イ) 地震感知器の配管配線は 別途 本工事 ロ) 防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御器から煙感知器までの	"	5.保温	湯沸器排水筒の保温は ※ 行う ・ 行わない
	-     💞 *			** **	記管配線は · 別途 · 本工事		1 配管材料	1) 一般
5. 設備概要(〇印のついたものを適用する)	_	加入金額 請負金額の100% 加入時期及び期間 資材搬入前から完成後30日まで	1	21. カセット形	- 亜鉛鉄板製	201/		・配管用炭素銅銅管(白) ・ 圧力配管用炭素銅銅管 (SCh40) ・ 圧力配管用炭素銅銅管 (維目無管) (SCh80)
・全空気方式 ・ファンコイル−ダクト併用方式 ○パッケージ方式	-	加入時期及び期間 資材搬入前から完成後30日まで	1	ファンコイルユニットの風	- 自己消火性のポリスチレンフォーム製	月月		口)地中重接截
空 気 調 和 方 寸 等 - 湿 国 曜 草 棒	20. 完成時提出		]	量分配ダクト		火		· 外面被覆鋼管 (SGP-VS) 外面被覆鋼管 (SGP-PS)
温風暖房 全空気方式・ファンコイル-ダクト併用方式	─ 通 書 <sup>3</sup> ─ ※建築工事に準ず	- 皇成図書   - 姜女子人里表號   - Δ 4 到   - 2  元 风闷(珍 正 区 1 卤)、 泥 上 舀		1. 準用事項	[・暖房・冷房・空気調和設備の当該事項に準ずる。]	設	2. 消火栓開閉弁	- JIS 1 0 k gf/cm2 - JIS 2 0 k gf/cm2
・ 直接暖房 ・ 蒸気暖房 ・ 温水暖房 ・ 総 水 方 式 ○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ 加圧送水方式	1	試験成績書、出荷証明書、保証	$   ^{\odot}$		. 7 . 8 . 9 . 10		3.保温	屋外露出管については給水管に準ずる。
建物内の汚水及び雑排水 (① 分流式 ・ 合流式)	]	書、官公庁届出書類写し、産業 廃棄物処理関係書類(委託契約	換	②. ダクトの工法	・アングルエ法 ・コーナーボルトエ法 (・共板 ・スライド)	備	4.2号消火栓 の圧力損失	k gf/cm 2 以下
排 水 方 式 放流先 汚水 ○ 下水道直接放流 · し尿浄化槽 雜排水 ○ 下水道直接放流 · し尿浄化槽 · 側消	-	書、許可証、マニフェスト等) 写し、関係・緊急連絡先一覧	気		○ スパイラルダクト			
程序小 ♥ 「小垣直接放派 ・ し床浄化信 ・ 側滑 給 湯 方 式 ● 局所式 ・ 中央式	-  ■	表等を一括パインダー製本と する。なお一冊の厚さは10cm程	設	3. 厨房用フード	( ・ 一重 ※ 二重 ) としてフードコック ( ※ 有 ・ 無 ) とする。		1. ガスの種類	- 都市ガス (発熱量 k CAI/m 2) 都市ガス供給業者 ( )
・ 屋内消火栓 ・連結送水管 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー	]   '	度とする。		④ 保 温	イ)外気取り入れダクトは保温する。ただし、送・排風機は除く。	'		・ 液化石油ガス (12,000 k CAI / Kg)
・二酸化炭素消火・連結散水 ・粉末消火・泡消火・その他 II. I 事 仕 様	-	・完成図     ・二つ折り製本     ・A4判     ・2 A 1 判二つ折り       (修正設計図)     ・A2判     A 3 判二つ折り	Nie Nie		口)全熱交換器に接続するダクトは、保温を行う。 ハ)外壁より1m部分の排気ダクト及び浴室排気ダクトは、保温を行う。	'	2. 配管材料	イ) 一般 ・配管用炭素銅鋼管 (白) ・ポリエチレン被覆鋼管
1. 共通仕様		・施工図 ・二つ折り製本 ・A4判 ・2 A1判二つ折り			ハノア主のグー川のガジガスアノドスで泊上がスフノドル、外価と日ノ。	_  · '		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共 工事標準仕様書(機械設備工事編) (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)	· 集	· A 2 判 A 3 判二つ折り	.	1.8 5	- 亜鉛鉄板製 - 銅板製 (1.6 mm以上)	'	)	・ ガス用ポリエチレン管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・
(最新版)及び公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) (最新版)による。 2.特記仕様	項	・完成写真 ・市販ファイル ・A 4 判 ・ 1	排	2. 排煙口開放	・ 手助式 (・ワイヤー式 ・ 電気式)	ガ	3. 都市ガス	1) カスメーター
1)項 目 番号に〇印のついたものを適用する。		・工事写真     ・市販ファイル     ・A 4 判     ・1 営繕工事写真撮影要領(国土交通 省大臣官房官庁営繕部)による	煙	装置	・手動及び遠隔操作可能なもの	'		親メーターはガス供給事業者より借用
② 印の付いたものを適用する。 ③ 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。		・保守管理 ・市販ファイル ・A4判 ・2 日常保守管理案内書(使用者が 案内書 おしております。	設	3. 排煙風量測定方法	排煙風量を測定する場合は JIS A 4303 の接煙設備検査基準 4.2.1 (2) (C) による。	"		子メーターは買取りとする。 ロ)引込み負担金
○ 印と ⑧ 印の付いた場合は、共に適用する。		・工事関係 ・市販ファイル ・A4判 1 施工体制台帳・体系図、下請調 書写し、材料検収簿(監督員また	備	4. 排煙口の形式	- 可動羽根(スリット共) - 可動パネル	'		· 不要 · 要 ( · 別途工事 · 本工事)
章 項 目 特 記 事 項  ① 適用基準等 ・工事写真撮影ガイドブック機械設備工事編(平成30年版)国土交通3	+ 5	は補助監督員が認印したもの)等				> <sub>in</sub>	4. 液化石油ガス	
官房官庁営繕部監修		・電子納品 ・CDーRまたは ・2 「岩手県電子納品ガイドライン」 DVDーR ・による。	自設			100		(・ 1 0 k g ・ 2 0 k g ・ 5 0 k g 本) ロ)ガスメーター
・機械設備工事監理指針(令和元年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕ぎ 2. 電気保安技術者 工事現場におく電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設	27 干市中住村	報 ※ 適用する	動	2. 中央監視制御の構成機能	図示による。	'		親メーターはガス供給事業者より借用
守管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保			81 2m 43	3. その他	<u>室内温湿度</u> 模出器等を2個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。	備		子メーターは買取りとする。 ハ)転倒防止用の鎖は ・ 本工事 ・ 別途工事
び工事監理の業務を行うものとする。 ③ 技 能 者 配管施工技能士 ① 熱絶縁施工技能士 ・ 塗装施工技能士	28. 施工条件	・本工事は建物を使用しながらの工事であること。		+ = 00 + 10 4	・不凍結節水弁付とする。	- '		- ) 転倒防止装置は ・ 本工事とし施工要領は標準圏 (施工 73)による。
— ○ 冷凍空気調和機器施工技能士 · 建築板金施工技能士			0	1. 大便器洗浄弁 ②. 大便器洗浄用	* へ深報即が开刊とする。 ※ 防露形ロータンク (※ 手洗いなし ・ 手洗い付)	'	5. ガス漏れ警報 遮断装置	· 本工事 · 別途工事
(4).機 材 本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及びを有するものとするほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とす			衛	タンク ③. 小便器洗浄	○ 押ボタン式 (不凍結節水弁付) · 自動洗浄	'	20100	図示の場所に ・取付ける (・分離形 ・一体形) 外部出力端子 (・あり ・なし)
合は監督員の承諾を受ける。 ⑤、機材等の検査 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。	1. 温 湿 度		生	- 基署	1 -	'	6 埋設深さ	·一般敷地内 ( m以上) · 敷地内車輌道路 ( m以上)
及び試験	調整目標値		器	4. 小便器洗净管	※ 埋込 - 一部埋込 露出 吊りこま式(節水こま式)とする。実験器具用は除く。			・公道(ガス供給事業者及び道路管理者規定による)
般 ⑥ エ事用水の電力 ・水・その他 受電後引渡し又は、使用開始までの電気料金は、関係各請負業者におい		冬期 C 96 C 96 C 96 C 96 C 96 D 96 D 96 D 96	具	6.注記板	大便器及び小便器の壁に取付ける - 陶器製 ・樹脂製		1. 処理能力	図示による。
協議の上負担すること。	2. ばい煙濃度		設	7. 自動水栓	電源供給方法(※ AC100V ・ 乾電池)	[ . '	2. 放荡水質	図示による。
⑦. 足場その他 ※別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の類は、無償で使用でき ・ 本工事で定置する。	。 3. ばいじん量 測定口	・ 取付ける (測定口80 フランジ止) ・ 取付けない	備				3. 処理方式 4. 主要構造	図示による。
⑧ 工事用仮設 ◯ 構内に作ることが ◯ 出来る ・ 出来ない	4.煙 突	・ 別途 ・ 本工事(銅板厚 mm、高さ m以上)	-		Mark to the World The Total Control of the Control			
共 工事用駐車場 ( 構内に駐車	5.煙 道	- 銅板厚300以下は3.2 mm、300を越えるものは4.5 mm とする。 - 図示による(410以上の煙道には、掃除口に蝶番を取付ける)		1.量 水器	親メーターは ※ 借用 ・ 買取り 子メーターは ※ 買取り	浄	5.制御盤	※ 制御盤には漏電、過負荷、滿水警報等の 括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 ・ 製造者標準品とする。
③ 残土処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所 ・ 構内指示の場所にたい利	6. \$ 2 1			2.量水器桝	イ) 親メーター用 水道事業者の指定店 標準図(機材 5.7)	化		
① 発生材の処理 イ)引渡しを要するもの ※ なし ・ あり ( ) ロ)特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり ( )	空	・ 低速 ・ スパイラルダクト 取付け場所は図示による。取付け面は監督員の指示による。			ロ)子メーター用・標準図(機材 5.7) ・水道事業者の指定店	18	6.消毒剤	30日分を納みする。
ハ)上記イ)ロ)以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において 再利用・減量化等を図るものとし、処理方法等は監督員と協議する	7. 風量測定口		<sub>60</sub>	③. 配管材料	イ)一般用 ・塩ビライニング鋼管 ⊙ ポリ粉体鋼管 ・ステンレス鋼管 ・鋳鉄管	設	7. 維持管理	※ 使用開始後請負者において1年間維持管理すること。 (放流水の水質検査書を提出する)
二)現場において再利用を図るもの	気	・順送り・同時	#4		ロ) 地中用 (屋内地中も含む)	備		・一定期間定常状態において使用後、放流水の水質検査書提出すること。
通 現場における分別ー保存材は、機器・配管・ダクト等と分別する。 ホ)本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場(中間	9. 防火ダンパ	図示のFVDとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調節機構は、 段階的調節機構とする。			・塩ビライニング銅管 ① ポリ粉体銅管 ・ ピニル管 ① ポリエチレン管			
処理施設経由を含む)に搬入される産業廃棄物については、岩手県 産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。	副 10. 定量ユニッ	ト ・メカニカルタイプ ・ 風速センサータイプ	.	4. 散 水 栓 ボックス	※ 鋳鉄製・ステンレス製 (・ 鍵付・ 鍵無)	撤	① 撤去工事	空調設備 ① 給排水衛生設備
①. 総合調整 各機器の個別運転調整後に下記の総合調整を行う。	和 ①. 配管材料	イ) 冷温水管 ・配管用炭素銅鋼管 (白) ・圧力配管用炭素銅鋼管 ・耐熱性ライニング鋼管 ・ステンレス鋼管	1   1   1	5. 弁 類	水道直結部分 ※ JIS 1 0 kgf/cm 2 高置水槽以降 ※ JIS 5 kgf/cm 2 - JIS 1 0 kgf/cm 2	五		・ アスベストの撤去 ・ 有り ・ 無し
- 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及び塵埃の測定 ・ 騒音の測定 ・ 初期運転状態の記録	[ - ]	- 耐然性 フィーング調管 - ステンレス調管 ロ)冷却水管 配管用炭素銅銅管 (白) 圧力配管用炭素銅銅管		6. 給 水 栓	- 一般水栓 · 耐寒水栓	*		
・ 機器の絶縁抵抗の測定	設	・ 塩ピライニング鋼管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管		7. 埋設深さ	※ 一般數地内 (0.6 m以上) · 敷地内車輔道路 ( m以上)	Q	① . 発生材	<ul><li>発生材は、金属(鉄、アルミニウム、ステンレス等)、樹脂(プラスチック、ピニル管</li></ul>
事 ① 容量の表示 イ)電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。 ロ)冷温熱源機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上とする。	備	・ ステンレス鋼管 ハ)蒸気管 送り管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管	設	0 10 20 4- 00 00 -	※ 公道部分(※水道事業者及び道路管理者規定による)	生		等)、保温材(ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム等、その他、(コンクリート破片等)等に分けて分別収集する。
<ul><li>ハ)電源の周波数は、50Hzとする。</li></ul>		返り管 配管用炭素銅銅管 (黒) 圧力配管用炭素銅銅管 一般配管用ステンレス銅管		8. 埋設弁開閉用	本工事に ※ 含む(水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない	· 村	②. 産業廃棄物	・産業廃棄物の処理は、収集から最終処分までをマニフェスト交付を経て適正に処理する。
13. 耐 震 施 エ 耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)」による。		二)油管、油用通気管 ・配管用炭素銅銅管 (黒)		9.保温	イ)量水器桝内の保温を行う。	埋		その他発生材の処理については、一般共通事項10.発生材の処理による。
設計用標準水平震度		ホ)膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりポイラー等への給水管	備		□ D 屋外配管 (弁、フランジ類を含む) は、標準仕様書第 2 編 2.3.5表 e 2 (n)、厚さは、呼び径 2.5 m 以下のものは 5.0 m、呼び径 3.2 m 以上のものは 4.0 m とする。	0	※防食工事	土中埋設鋼管には、ペトロラタム系防食テープをハーフラップ1回巻きの上、防食用
設置場所   特定の施設		配管用炭素銅鋼管(白) へ)空調用排水管 配管用炭素銅鋼管(白) (・) ビニル管(VP)		10. 水道加入全生	呼び住25mm以下のものは50mm、呼び住32mm以上のものは40mm29る。 水道加入金 · 要 (・本工事 · 別途工事) · 不要	ť		用プラスチックテープをハーフラップ 1 回巻きとする。 被覆銅管も同様とする。
上層階、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中間階 1.5(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0)		ト)冷媒管 · 銅管 · 圧力配管用炭素銅銅管 ⊙ 断熱材被覆銅管		(f). そ の 他	お水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。	他		TXX (MZ 50円 15代 C 9 句 。
1階及び地階 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)	12. 弁 類					'		
注 1 ) 設置場所の区分は標準仕様書による。 注 2 ) ( ) 内の設備は防震支持の機器の場合に適用する。	13. 銅 管 用 伸縮管継手					'		
イ)本工事の施設は、(※一般の施設 ・特定の施設)とする。 ロ)地域係数は、1.0とする。	14. 温度計	標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。 (配管用はし形、ダクト用は丸形)				'		
ハ)100kg以下の軽量な機器(標準仕様書の適用を受けるものは除く		イ) 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、環気ダクト及び外気ダクト				'		
においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記 指針の方法によらなくてもよい。		ロ) 冷温水ヘッター (往) 及び冷温水ヘッターの各環り管 ハ) パッケージ形空気調和機の冷却水出口				'		
二) 重要機器類(高架タンク、受水タンクは機器表による。)		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				'		
名 称			L	事務所 各級 筮 ラ	(2010) 1 1 6 9 号 (岩手県) 設計年月日 設計 検図	国	  面内容	縮尺 図 図
			7	~	2025.03.			
本庁舎分室 耐震補強工事 ———		<i>F</i>	4 В	E 構造	i 設計 1 8 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7	機械設備工	.事 特記仕様書 (A3)N,S
		岩手県花巻市星ヶ丘	£2-27-12	TEL (0198) 23	1-1088 FAX (0198) 23-1032 登録 207833 号	- 1	HAS 1910 —	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

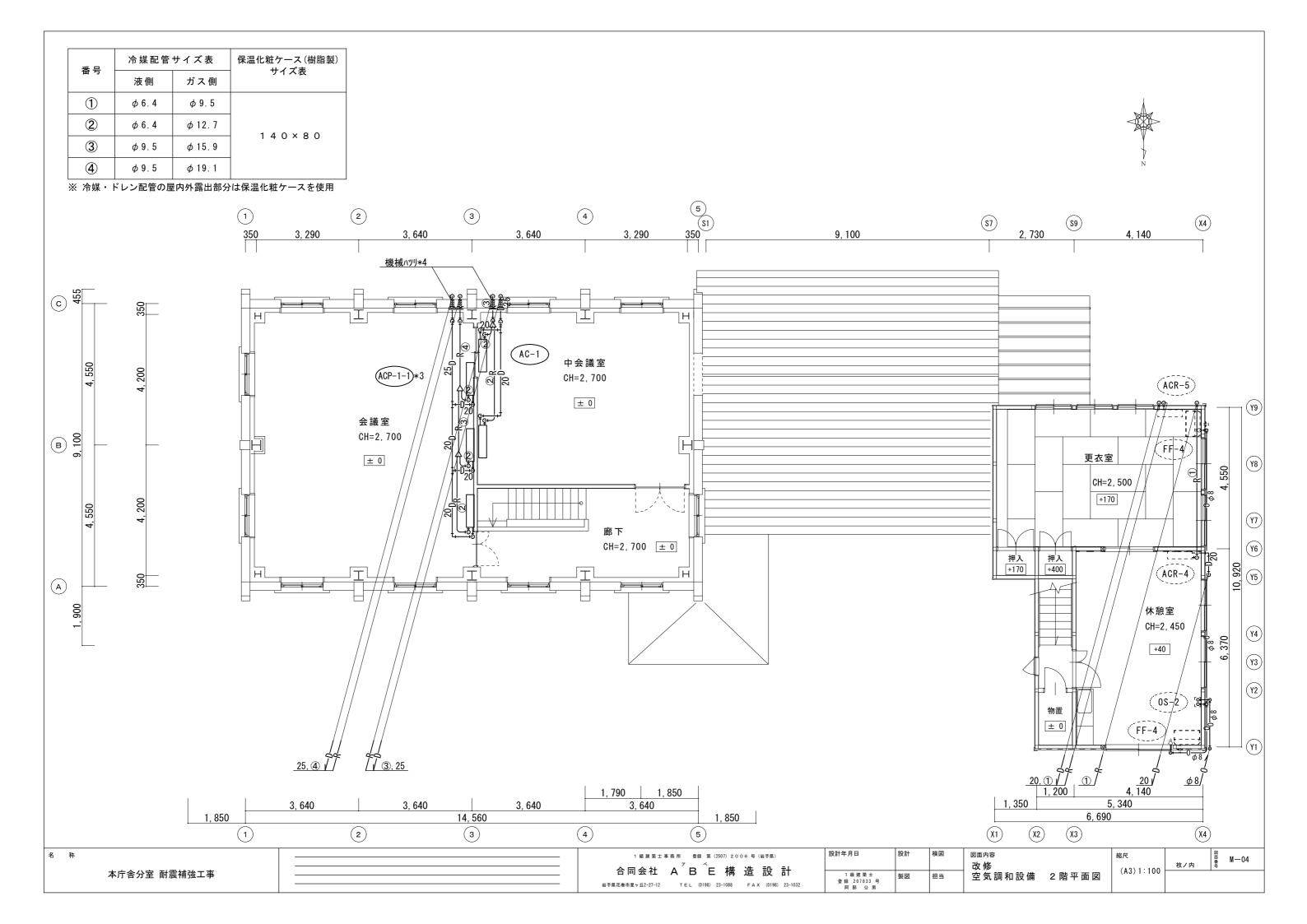
	改修 空気調和設備 機器表											
記号	機器名称	- W B (1 H ( + + + + + + + + + + + + + + + + + +			電	気 仕 様		台 数	備	考		
一品 方	<b>放 奋 石 </b>	機器仕様(参考型番)	政	φ	<b>V</b>	k W (最大消費電力)	k W (定格消費電力)	口奴	1/H	<i>1</i> 5		
A C – 1	パッケージエアコン (寒冷地仕様)	暖房能力 11.2 kW 冷房能力 10.0 kW 壁掛型(同時ツイン)・ワイヤードリモコン・ドレンアップメカ 防雪屋根・平置架台(H500)・コンクリート入固定ブロック×2・室外機転倒防止 他標準付属品一式 GKHB11211MUB	外部 会議室(1階) 中会議室	3	200	暖房 6.40	暖房 2.95 冷房 3.05	2				
A C P — 1	マルチエアコン (室外機) (寒冷地仕様)	暖房能力 18.0 kW 冷房能力 16.0 kW 防雪屋根・平置架台(H500)・コンクリート入固定ブロック×2・室外機転倒防止 分岐管 他標準付属品一式 室外機:1.01×0.37×1.55H・163kg MCY-MAP1601HN	外部	3	200	暖房 8.50	暖房 4.90 冷房 4.50	1				
A C P-1-1	マルチエアコン (室内機)	暖房能力 6.3 kW 冷房能力 5.6 kW 壁掛型・ドレンアップメカ付・ワイヤードリモコン×1 他標準付属品一式 MMK-UP561H	会議室(2階)	1	200		0.032	3				

冷房・暖房能力及び電気特性は(JIS B8616)に規定された定格条件による。 各エアコンの室内外機の連絡配線と操作配線は冷媒配管に共巻とし本工事とする。 アクティブフィルター必要機種は対応を行う

		再使用 空気	周和 設 備	桡	と				
<del>-</del> -7 D	100 DD 27 If-		=0. BB 18 =1		電	気 仕 様		/、 华L	/#± -±/.
記号	号 機器名称 機器仕様		設置場所 一	φ	V	k W (最大消費電力)	k W (定格消費電力)	台 数	備考
A C R - 4	ルームエアコン	暖房能力 5.0 kW 冷房能力 4.0 kW	外部	1	200	暖房 2.285	暖房 1.46	1	既存事務室設置機器を再使用
		壁掛型・リモコン、壁掛架台再使用   	休憩室			冷房 1.54	冷房 1.33		冷媒、ドレン配管は新規とする
A C R - 5	ルームエアコン	暖房能力 5. 0 kW 冷房能力 4. 0 kW	外部	1	200	暖房 2.355	暖房 1.30	1	既存休憩室設置機器を再使用
		壁掛型・リモコン、壁掛架台再使用   	更衣室			冷房 1.45	冷房 1.16		冷媒、ドレン配管は新規とする
FF-4	FF式石油暖房機	暖房出力: 7. 41kW 灯油コック・給排気筒再使用	休憩室 更衣室	1	100	0. 107		2	既存事務室設置機器を再使用 既存休憩室設置機器を再使用
0 S – 2	オイルサーバー	灯油用・15L/h・最大揚程:8m	休憩室	AC	100	0. 01		1	既存事務室設置機器を再使用
T O – 1	オイルタンク	200型						1	既存外部設置機器を再使用

名	称	1 級建築士事務所 登録 第 え (2010) 1169 号 (岩手県)	設計年月日 2025.03.	設計	検図	図面内容 改修	縮尺 (42) N C	枚ノ内図面番号	M-02
	本庁舎分室 耐震補強工事	A B E 情 垣 設 計 #手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	1 級建築士 登録 207833 号 阿部 公男	製図	担当	空気調和設備 機器表	(A3) N, S		



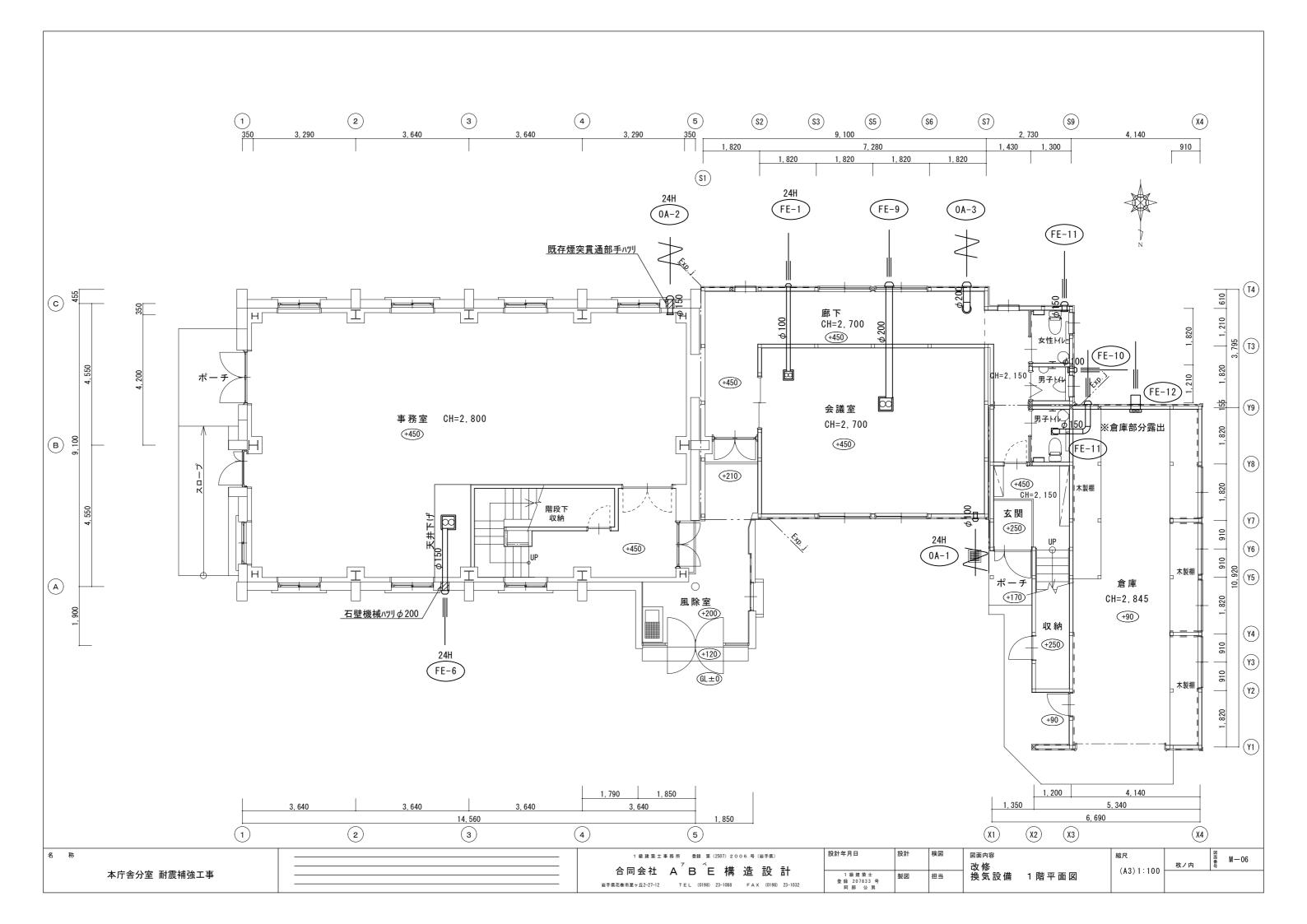


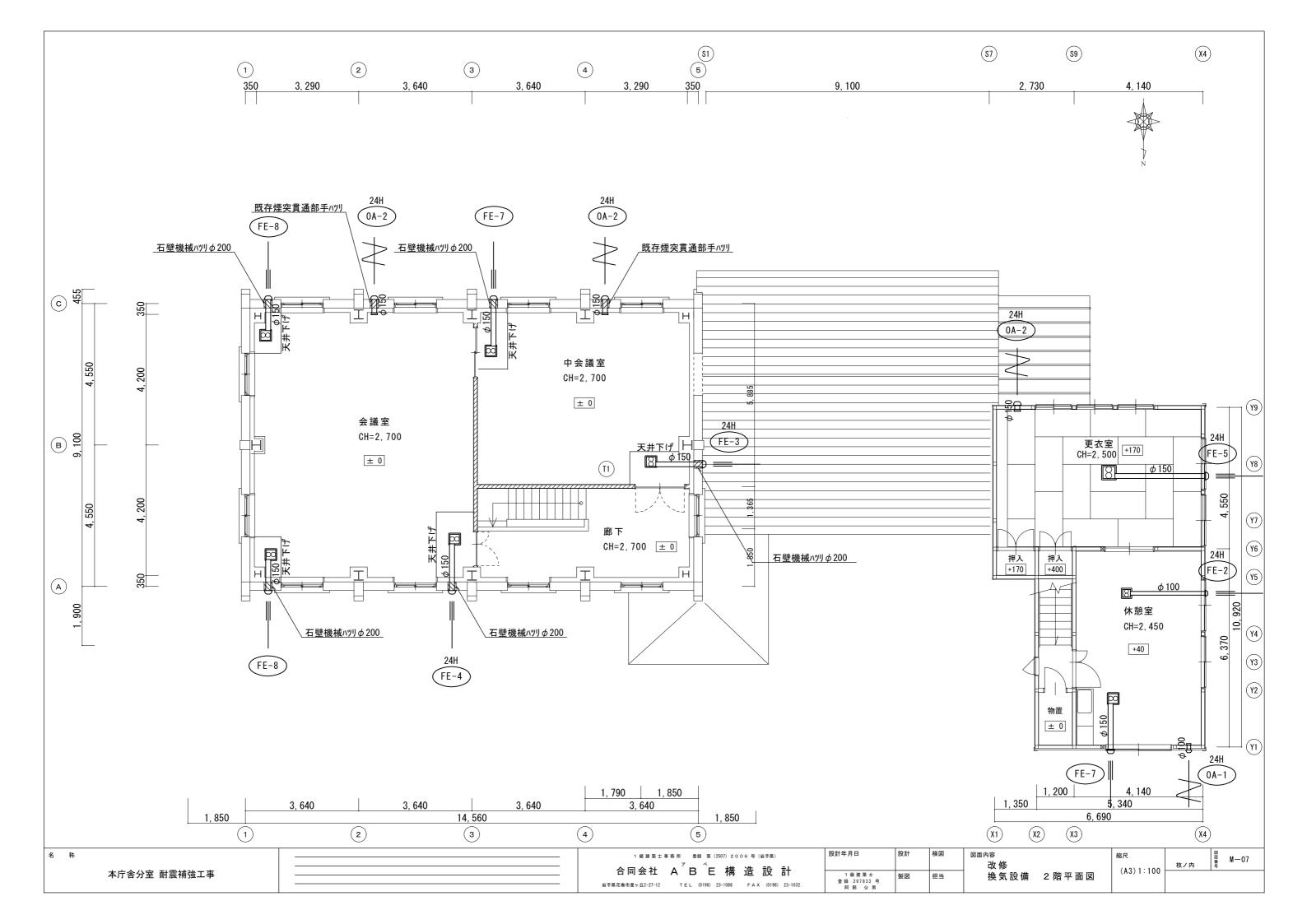
## 換 気 設 備 機 器 表

記号	機器名称	 		電気	仕 様	台	備者
記 写	放 奋 石 州		双 恒 场 川   ¢	V	W	数	1編 考 
F E - 1	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ100・風量 強120m³/h - 40Pa 24H65m³/h - 15Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-15ZLXP14-CS	会議室(1階)	1 0 0	強20.0 24H7.5	1	2 4 時間換気
F E - 2	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ100・風量 強130m³/h - 40Pa 24H40m³/h - 5Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-15ZLXP14-CS	休憩室 1	1 0 0	強20.0 24H7.5	1	2 4 時間換気
F E - 3	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ150・風量 強300m³/h - 50Pa 24 H 6 0m³/h - 5Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZLX14-CS	中会議室	1 0 0	強42.0 24H13.0	1	2 4 時間運転
F E - 4	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ 150・風量 強350m³/h - 55Pa 24H100m³/h - 5Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-20ZLXP14-CS	会議室(2階)	1 0 0	強54.0 24H18.0	1	2 4 時間運転
F E - 5	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ 150・風量 強 460 m³/h - 110 Pa 24 H 50 m³/h - 5 Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-23ZLXP13-CS	更衣室	1 0 0	強78.0 24H28.0	1	2 4 時間運転
F E - 6	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ 150・風量 強495m³/h - 105Pa 24H160m³/h - 15Pa SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共 VD-23ZLXP13-CS	事務室	1 0 0	強78.0 24H28.0	1	2 4 時間運転
F E - 7	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ 150・風量 335m³/h - 50Pa VD-20ZX14-C SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共	中会議室 休憩室	1 0 0	42.0	2	
F E - 8	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・高密閉風圧式シャッター付・接続ダクトφ 150・風量 340m³/h - 50Pa VD-20ZX14-C SUS製深型フード(ギャラリ付)・天吊金具・コントロールスイッチ共	会議室(2階)	1 0 0	42.0	2	
F E - 9	天 井 換 気 扇	低騒音形・ボディ:金属製・ファン、グリル:プラスチック製・風圧式シャッター付・接続ダクトφ200・風量 強600m³/h - 70Pa 弱400m³/h - 40Pa VD-25ZX13-C	会議室(1階)	1 0 0	強80.0 弱57.0	1	
F E - 1 0	パイプ用ファン	低騒音形・角形格子グリル・電気式シャッター付・接続ダクト φ 1 0 0 ・風量 5 0 m³/h - 5 Pa V-08PSD8 S U S 製深型フード(ギャラリ付)・コントロールスイッチ共	男子トイレ(小)	1 0 0	4. 2	1	
FE-11	パイプ用ファン	低騒音形・角形格子グリル・電気式シャッター付・接続ダクト φ 1 5 0 ・風量 6 0 m <sup>3</sup> /h - 5 Pa V-12PSD8 V-12PSD8	男子トイレ(大) 女性トイレ	1 0 0	5. 9	2	
FE-12	有 圧 換 気 扇	排気専用・羽根径25cm・風量 800m³/h - 25Pa・SUS製電動シャッター付ウェザーカバー・取付枠・バックガード・コントロールスイッチ共 EWF-25ASA2	倉庫	1 0 0	42.0	1	
O A - 1	自然給気ユニット	接続ダクト100φ 角形・壁据付・シャッター開口面積調節、ロック機構付・風圧シャッター付・外気清浄フィルター P-13KQU SUS製深型フード(ギャラリ・防虫網付)	会議室(1階) 休憩室			2	2 4 時間運転
O A - 2	自然給気ユニット	接続ダクト150φ 角形・壁据付・シャッター開口面積調節付・外気清浄フィルター SUS製深型フード(ギャラリ・防虫網付)	事務室・中会議室 更衣室 会議室(2階)			4	2 4 時間運転
O A - 3	給排気グリル	接続ダクト200φ 丸形・天井据付・風量調節付・SUS製深型フード(ギャラリ・防虫網付) P-23GLC4	廊下			1	

24H他コントロールスイッチは電気工事に支給のこと

換気ファンの電動機出力又は消費電力は(JIS B 8330又はJIS C 9603)に規定された数値とする



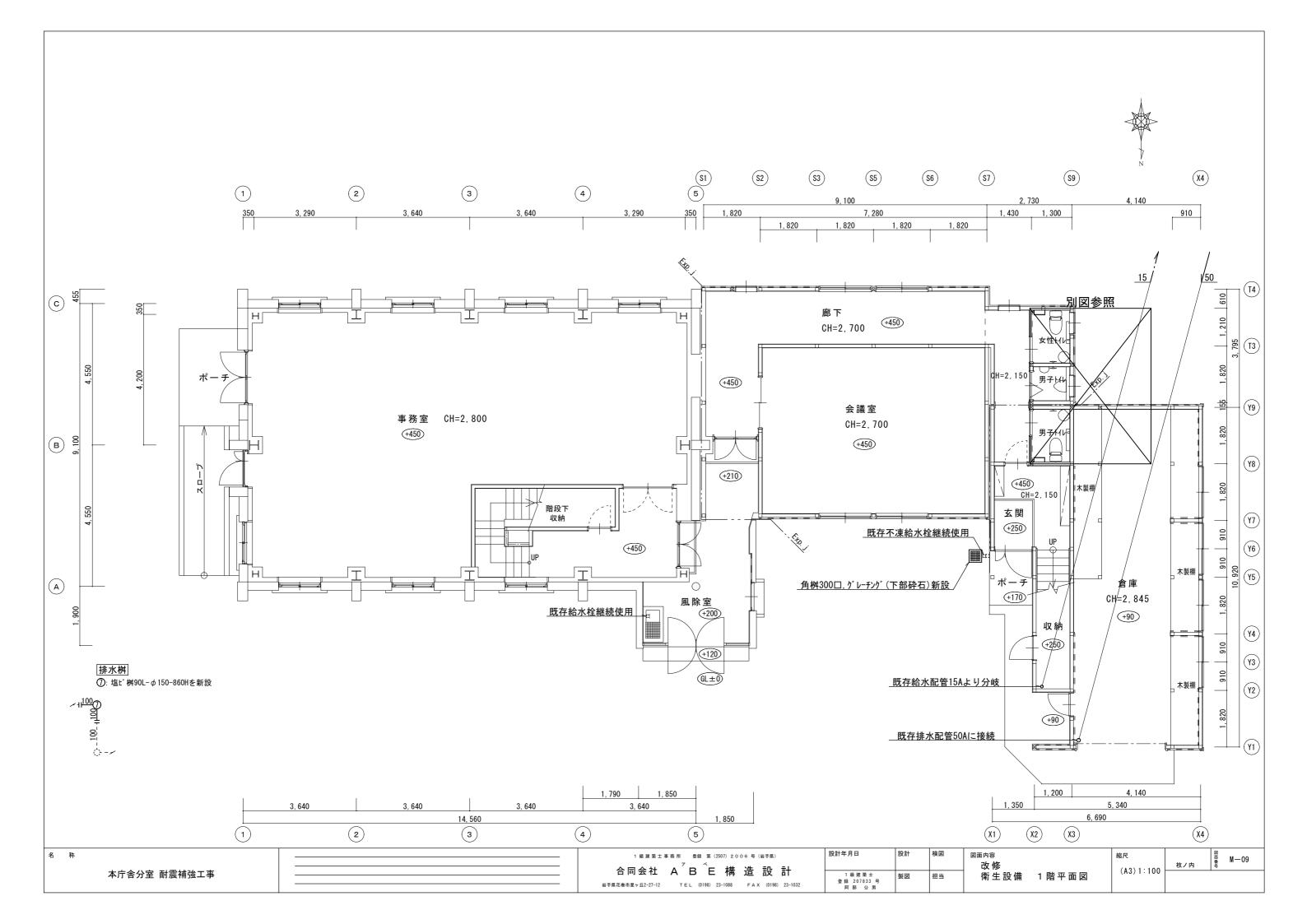


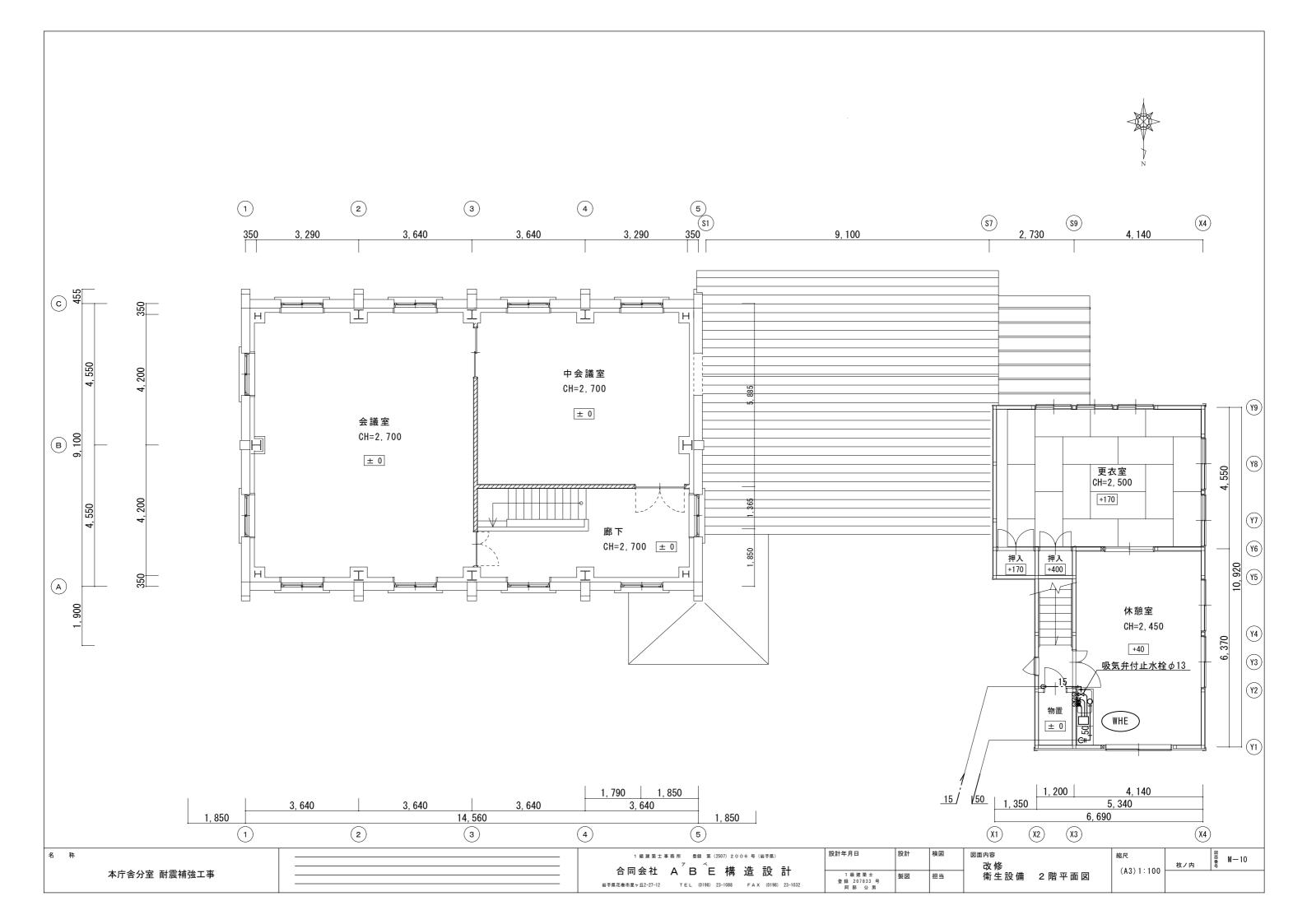
	衛 生 設 備 、 器 具 表					
名 称	参 考 型 番	男子トイレ	男子トイレ(小)	女子トイレ	休憩室	合計
腰掛式便器	TOTO:CS232BM SH232BA TCF6623 YHB63FR・LIXIL:BC-Z30H DT-Z350HN CW-KB31 NKF-3WU2 (リモデルタイプ・節水:4.8Lタンク・ウォシュレット:318W・手すりセット棚付二連紙巻器)	1		1		2
床置小便器	TOTO:UFH507CR TG600PL・LIXIL:U-321RM UF-3JHT UF-300WP (大形・寒冷地フラッシュバルブ)		1			1
コーナー手洗キャビネット コーナーミラーキャビネット	TOTO:該当品無・LIXIL:YL-D201CCHE TSF-621 (ハンドル水栓・床給排水金具)	1		1		2
手洗キャビネット	TOTO:ULRB3LTBNNNNNNN・LIXIL:L-D203SCHE (ハンドル水栓・床給排水金具)		1			1
化粧鏡	TOTO:YM4560A • LIXIL:KF-4560 (450×600)		1			1
ミドルキャビネット	TOTO:UGLD05 • LIXIL:TSF-107 (扉付·360×150×600程度)	1		1		2
タオルリング	TOTO:YT405 • LIXIL:FKF-AD70C (210×53×91.5程度)	1	1	1		3
電気温水器 (WHE)	TOTO:REKB12A1SW35D TH651 RHE140*3 ・LIXIL:EHPM-KA12ECV3 LF-3VK EFH-DA1 SF-WCH390 EFH-CP1 (飲料,洗い物用・据置12L-AC100V-1.1kW・セット内訳:熱湯用水栓付壁付シングル混合水栓・耐震用脚・開放式排水ホッパー・接続ロキャップ・連結管*3)				1	1
吸気弁付継手	φ13LKSTL型(同等品)※便器、手洗器	2	1	2		5
吸気弁付止水栓	φ137ングル型 ※電気温水器				1	1

電気温水器の能力及び消費電力は(JIS C 9219)に規定された定格条件による。

電気温水器の満水時質量が15kg以上の場合は転倒防止措置を行う。据置型は告示第5号の2号による。

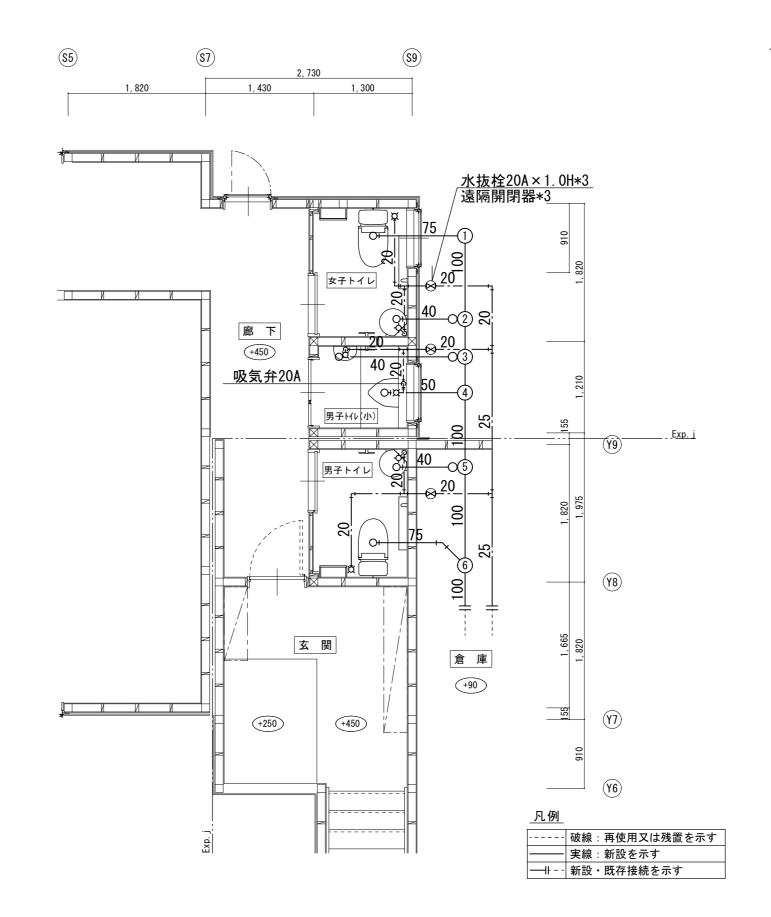
名 称	 1 級 建 築 士 事 務 所   登録 第 え (2010) 1 1 6 9 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	図面
	7 4	2020. 09.			과 攸	1127	枚ノ内   器 M-08
ナウタハウ おあせみてす	 Δ´Β F 構 浩 設 計				以 19	(A3) N, S	12 12 12
本庁舎分室 耐震補強工事		1 級 建 築 士	製図	担当	衛生設備 器具表	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	登録 207833 号 阿部 公男					





	排 水	、 桝 表	ŧ		
桝番号	記号	流入管底 (mm)	桝蓋	設計GL	距離 (m)
1	100-150 90L	-662	樹脂性	± 0	1 10
2	100-150 UT	-684	樹脂性	± 0	1. 10
3	100-150 UT	-694	樹脂性	±0	0.50
4	100-150 90Y	-704	樹脂性	± 0	0.48
5	100-150 UT	-724	樹脂性	± 0	0.99
6	100-150 45YS	-750	樹脂性	± 0	1. 30

- ※ 樹脂製蓋はターンアップ式とする。
- ※ トラップ桝はエアキャップ付蓋とする。
- ※ 配管勾配は2%以上とること。
- ※ 流入管底は設計GL±0の数値とし、施工時に現場GLを測定の上、流入管底を決定すること。





## 撤去機器表

						1	階						2	階				
名 称	仕 様 	事務室 1	wc	事務室2	事務室3	事務室4	書庫	湯沸室	男子WC	女子WC	男子WC	会議室	中会議室	事務室	休憩室	外部	計	備考
煙突式石油暖房機: F-1	暖房出力:16.3kW 煙突共	1															1	重量 約 34.0kg
煙突式石油暖房機: F-2	暖房出力:11.0kW											1					1	重量 約 24. Okg
FF式石油暖房機:FF-1	暖房出力: 5. 0 kW 給排気筒共	1															1	重量 約 22. Okg
FF式石油暖房機:FF-2	EEH カ・15 Q L W			1													1	重量 約 47. Okg
FF式石油暖房機:FF-3					1												1	重量 約 27. Okg
ルームエアコン:ACR-1	壁掛型・暖房:7. 1 kW・冷房:6. 3 kW			1									1				2	重量 約 49.5kg(室外機)
ルームエアコン:ACR-2	冷媒ガス回収・処分共(R32:1.42kg)         壁掛型・暖房:4.8kW・冷房:2.8kW				1												1	重量 約 17. Okg(室内機)  重量 約 40. Okg(室外機)
	冷媒ガス回収・処分共 (R-22:0.58kg)   壁掛型・暖房:3.2kW・冷房:2.8kW																	重量 約 7.5kg(室内機) 重量 約 28.0kg(室外機)
ルームエアコン: ACR-3	冷媒ガス回収・処分共(R410A:0.98kg)											1					1	重量 約 7.5 kg(室内機)
オイルサーバー: 0 S - 1	灯油用・最大揚程:8m・油ホース共	1										1					2	重量 約 3. Okg
オイルタンク: TO-2	250型・防油堤共															1	1	重量 約       43. Okg(タンク)         重量 約       19. Okg(防油堤)
オイルタンク: TO-3	490型・表示板3枚共															1	1	重量 約 81.0kg
オイルタンク: TO-4	小型・65L・油ホース共			1													1	重量 約 13.0kg
換気扇:FE-1	羽根20cm・ウェザーカバー共		2				1	1									4	重量 約2. Okg(換気扇)重量 約1. Okg(ウェザーカバー)
換気扇: F E – 2	羽根20cm								1	1							2	重量 約 2. Okg
天井換気扇:FE-3	ダクトφ 1 0 0 用										1						1	重量 約 3. Okg
天井換気扇:FE-4	二部屋換気用・ダクトφ100用 女子トイレ副吸込グリル共								1								1	重量 約 4. Okg
天井換気扇:FE-5	ダクトφ 150用													1			1	重量 約 6.4kg
換気扇:FE-6	羽根25cm・ウェザーカバー共													1	1		2	重量 約       3. Okg(換気扇)         重量 約       1. Okg(ウェザーカバー)
換気扇:FE-7	循環・空調形											1					1	重量 約     3. Okg(換気扇)       重量 約     1. Okg(ウェザーカバー)
洋式便器(ヒーター付)	タンク式、暖房洗浄便座、紙巻器、手すり共		1														1	重量 約 19. Okg(便器) 重量 約 16. Okg(タンク) 重量 約 6. Okg(便座)
和風便器	タンク式、紙巻器共		2						1	1	1						5	重量 約     9.5kg(便器)       重量 約     20.0kg(タンク)
小便器	壁掛形		3														3	重量 約 6. Okg
小便器	床置形								2		2						4	重量 約 38.4kg
洗面器	壁掛形		3						1	1	1						6	重量 約 12.4kg
化粧鏡	450×360								1	1	1							重量 約 2. Okg
単水栓類	1 3 A		3					1	1	1	1			1				重量 約 0.5kg
ガス湯沸器:WHG	壁掛型・5号							1						1				重量 約 5.4kg
A CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR																	+-	
ガスメーター・ボンベ	ガフォーカー・ボンズックけ供処衆李~海却															1 40	1 40	
カステーダー・ホンへ	ガスメーター・ボンベ×2は供給業者へ返却															1組	1組	

名 称	 1 級 建 築 士 事 務 所 登録 第 え (2010) 1 1 6 9 号 (岩手県)	設計年月日	設計	検図	図面内容	縮尺	⊠ m M—12
		2020. 09.			既存撤去	(A2) N C	枚ノ内 雪 "'' '2
本庁舎分室 耐震補強工事	 ABE慎逗設計	1 級 建 築 士	製図	担当	機械設備機器表	(A3) N, S	
	 岩手県花巻市星ヶ丘2-27-12 TEL (0198) 23-1088 FAX (0198) 23-1032	登録 207833 号 阿部 公男					'

